

昭和52年11月2日第3種郵便物認可 昭和53年7月1日発行 (毎月1日発行
通巻第36号 昭和52年8月19日国鉄首都特別扱承認誌第3335号

UFOs & SPACE

UFOと宇宙

AMAZING
NONFICTION
STORIES

特集

1978 7

よみがえったアダムスキー



UFOの製造現場
見たい！



長さ 9.7cm 巾 7.6cm 高さ 4.0cm 重さ 100g

金属プレートに指を置けば、ビーという音が出ます。あなたがリラックスするにつれ、皮膚抵抗が増大し、音は低くなり、反対にイライラしたりすると抵抗が減り、音が高くなります。あなたはGSR2の音をできるだけ低くすることを習うことにより、リラックスする方法を憶えられます。

●受験生、経営者、タレント、プロスポーツ選手、管理職、サラリーマン、OL、教師、医師…全ての方々

●GSR2 バイオフィードバックは何に有効か？

GSR2は「健全な心」を自分で作り、それを保つためのモニターと云えます。ですからGSR2は「心の鏡」とも云われます。毎日「心」を鏡に映して、具合が悪ければ、自分でメイクアップして「美しい心」にしましょう。

1. ストレスを追いはいらい、リラックスできます。

精神的なイライラやストレスを自分自身で、GSR2を使いながら追いはいらい、ゆったりとリラックスした壮快感を味わうことができます。今までにない幸福感すら味わえるようになります。

2. 精神統一が上手になり集中力が養えます。

毎日GSR2の練習を続けると、集中力が高まります。受験生などはイライラすることなく勉強に集中できるようになりますし、野球の選手などは、バッターボックスで打つ球に集中できるようになります。

3. 深いめい想に入れます。

GSR2の練習を積みまると、禅やヨガで得られる瞑想に早く入ることが出来ます。

4. 赤面、対人恐怖の不安を克服でき、あがらなくなります。

GSR2に習熟すると、いたずらに不安を感じたり人前でドキドキしたり、顔が赤くなったりすることが、次第に少なくなってゆきます。自分自身に今までよりもっと自信がもてるようになります。

5. ピンチに強くなります。

野球の投手はピンチを迎えても今迄とちがうはずです。ゴ

アメリカ、カナダで今、 爆発的人気!! バイオフィードバック

GSR2

ジー エス アール ツー

1ヶ年保証

¥20,000(送料サービス)

練習用カセットテープ、説明書、イヤホンつき

ルフの選手もこゝ一番に強くなります。受験生も本番で強くなるはず。すくカーツとしたり、イライラする性格が改善されてゆくからです。

6. ESP能力が増します。

ヨガ瞑想者や禅瞑想者は、通常普通の人が出しているβ波とちがうα波と云う脳波を出すと云われます。GSR2で精神統一をするとα波が出るようになり、この訓練を続けるとESP能力が増すと云われます。

7. 記憶力が増します。

先のα波を出している状態では、記憶がどンドン入ることが実証されています。受験生や学生にはたいへんな武器になります。

リラックスする方法は2、3日で習得でき、その日から効果が出ますが、他は3~6ヶ月以上の練習が必要です。

GSR2にはアクセサリが付付けられます。●●●●●●●●●●

1. サーマスター

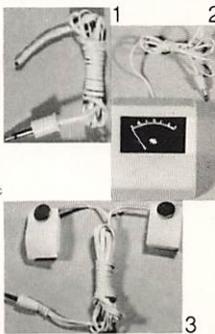
サーミスターはGSR2に全く別の新しい体温によるバイオフィードバックという機能を加えます。 ¥8,000

2. メーター

メーターをつけると、GSRや温度の変化を音でなくメーターで読むことができます。 ¥6,000

3. 電極

GSR2をポケットに入れて使うときや、お年寄、お子様には指先に固定できるので便利です。 ¥6,000



説明書・テープも別売致します。説明書 ¥500 テープ ¥1,000 但し、GSR2には、あらかじめセットされておりますので、後で本体をお買上げの場合、値引きはありませんので御了承下さい。

アメリカでは「21世紀はバイオフィードバックなしには考えられない。」と云われているほどです。GSR2でストレスを追い出すことを憶え、タフな精神を養い、平和で豊かな心で人生を快適なものにしましょう。

問合せ、カタログ請求は下記へ。

輸入総代理店

ポラックス株式会社U係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元

THOUGHT TECHNOLOGY LTD.

CANADA

お申込みは、取扱店又はポラックス(株)へお願いします。直接ポラックス(株)へお申込みの場合は、氏名、住所、年令明記、捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替(東京4-8703)でポラックス(株)U係へお願い致します。現品急送します。

驚異のカラー撮影

光線を放つUFO



この写真は、昭和47年8月中旬、午後8時30分～9時30分頃、当時函館市の港中学に在学中の矢田英夫さんが撮影したもの。気分転換にふと戸外に出たところ、函館山の方から音もなく真っすぐこちらに向かってくるオレンジ色の光を目撃、即座にカメラを取りにもどり、UFOが上空を通過する際、フラッシュをたいて2度ほどシャッターを切った。現像してみたところ、銀白色で底が真赤にハレ

ーションを起こしている円盤が見事に写っていた。不思議なのは、物体の底部から円錐状に発している光線で、矢田さん自身は「円盤は見たが光線はなかった」と証言している。なお、この写真は、かつて日本宇宙現象研究会の機関誌『未確認飛行物体』に白黒で発表されたことがあるが、その後、陽の目を見ずに眠っていた。(35mmカメラ・48mmレンズ・レンズシャッター・カラーフィルム)

佐賀県内で 初のUFO 撮影に成功!!

真夏の太陽が照りつける去年の8月下旬の昼下がり。佐賀市兵庫町別に住む城東中学2年生・西川敬恭君は、自宅の居間でカメラをいじりながら、腕だめしに飼いなコなどを撮影した後、開け放った居間の窓から夏空に向けて2度ばかり面白半分にシャッターを切った。一カ月ほどして24枚のフィルムを全部撮り終え現像に出したところ、

驚いたことに、その2枚にUFOが写っていた。カメラは10年ほど前に買ったオート式ハンディカメラ。レンズに異常があれば、他の写真にも同様の影が写るはずだが認められない。現像したサカカメラ現像所で鑑定したところ、フィルムの傷などの異常もなく、現像・焼付けの際のミスでもないという。

川崎市上空に アダムスキー型UFO現わる!

この写真は、1977年2月末の午後3時ごろ、川崎市幸区南加瀬の小学生が自宅の市営住宅ヘランダから撮影したもの。室内の風景などを撮り終えた後、フィルムが1枚残っているのを外を眺めていると、西方の市営プール上空にピカッと光るものがある。そこでさかさずシャッターを切り現像してみると、この物体が写っていたという。





カナダ上空に UFO の大編隊

1973年8月5日、カナダの商業・貿易・金融の中心として知られるモントリオールの上空にUFOの大編隊が出現。その驚くべき光景を、アングボウ氏が見事にカメラに収めている。

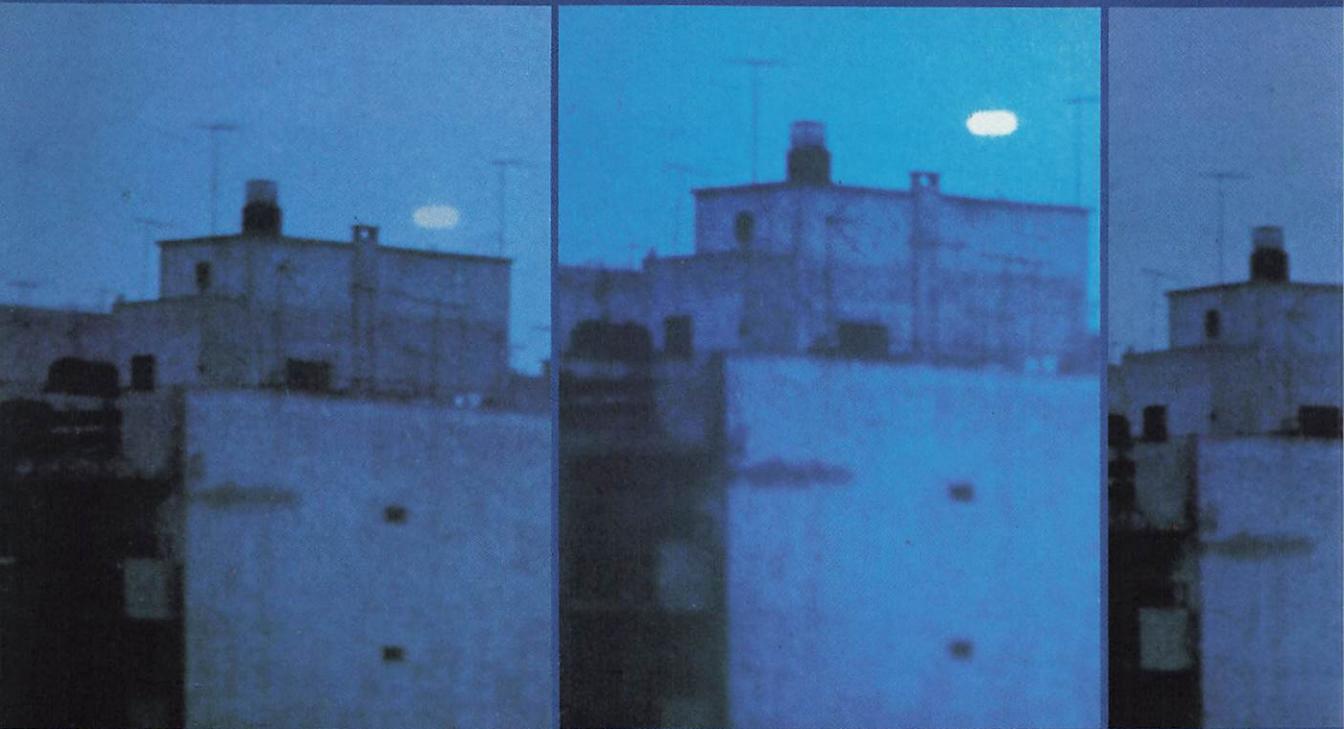


アルゼンチン 独立記念日のUFO

1975年7月9日は、アルゼンチンの独立記念日にあたり、首都ブエノスアイレスは記念行事でにぎわっていた。テレビや映画のカメラマンと通信員記者たちは、中央通りに面したビルにそれぞれ陣取って、最後の軍隊行進の様相を報道しようとしていた。ところが、軍隊行進が始まる少し前、近くのビルの後に東の方から不思議な物体が飛来してきたのである。ほとんどの観客がこれに気づいた。このUFOが通過していくところには、特別番組のテレビ撮影を進めていた2局のテレビカメラによっても同時に記録されている。数社の新聞社の記者たちは、記事の証拠にするためカメラマンに撮影を命じた。あるカメラマンなどは、UFOの追跡に熱中するあまり、記念式典がまだ終わっていないのに大切な予備フィルムまで使い切ってしまった。しかし彼は、このおかげで大変ほめられた。アルゼンチン最大の発行部数を誇るコクニア紙は、「独立記念日を空飛ぶ円盤が支持」という見出しをつけて、夕刊で事件を報じた。この事件の記事を掲載した夕刊は、国中の人気を独占したものだ。

(Contactos Extraterrestres Vol.1126 友の中村和枝訳)





▲ 3年前のアルゼンチン独立記念日に、主都ブエノスアイレスに出現したUFOの連続写真。撮影者はラ・ナシオン紙のカメラマン、ホルヘ・マグリオーラ氏。



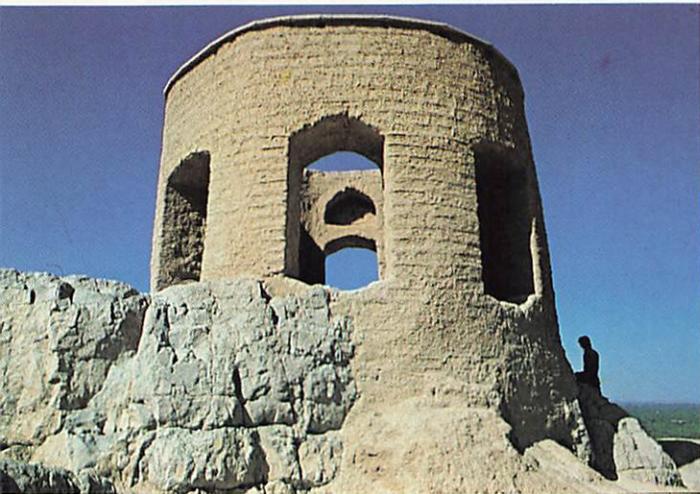
南米に出現した ドーム型UFO

1970年9月6日、アルゼンチン東部、エントレ・リオス州の州都バラナに出現したドーム型UFO。撮影者はセルヒオ・シユリモリツチ氏。



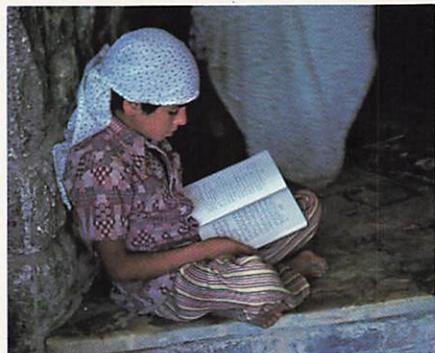
▼イスファハン郊外に残るゾロアスター教の拝火神殿跡。高さ50mほどの岩山の山頂にあり、7世紀初めに造られたものといわれるが、地元の考古学者の間ではあまり注目されていない。恐らく現在のイラン人の99%以上が熱心なシーア派のイスラム教徒であるからだろう。

▶ペルセポリスの柱に残るゾロアスターの紋章。翼の中央に立っているのがゾロアスターだ。今もヤズドやテヘランのゾロアスター寺院正面にはこのシンボルマークが入っている。



◀岩山の急傾面にへばりつくように建つチャクチャクの建物。500mぐらいの絶壁の真ん中にある。まわりは砂漠で、一番近い町まで70kmもある。

▶拝火壇に座り、熱心にアベスタを読むゾロアスター教徒の少年。



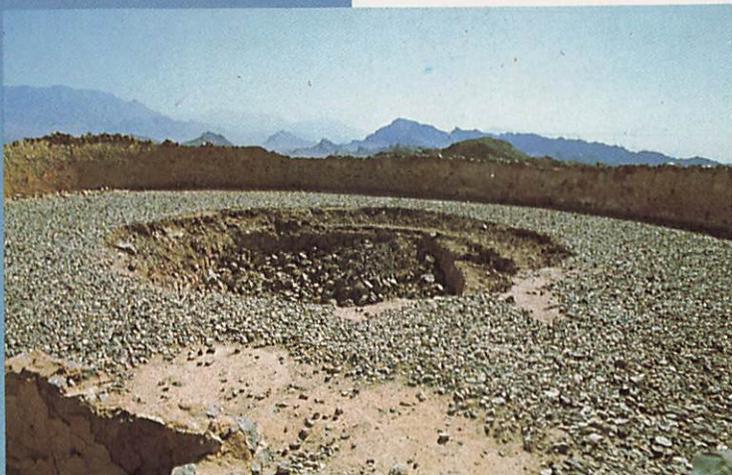
秘儀に潜入

旅行ライター■上林直樹

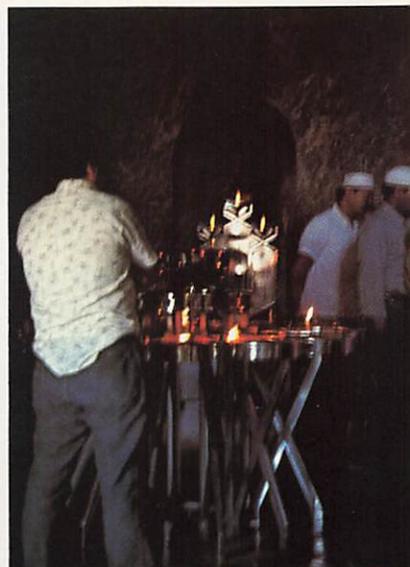
ゾロアスター教は、紀元前6世紀、8世紀にヘルシア（現在のイラン）に興った宗教だが、その正確な年代は紀元前3千年からという説もありはつきりしない。火、土、水、風を神聖視する。聖典はアベスタ。光明神（善の神）アフラ・マズダと暗黒神（悪の神）ア・リマンの2神の闘いによって世界が成り立っていると説く。この2元論は、後のキリスト教、仏教など多くの宗教に影響を与えたというのが学界の定説となっている。とくに聖火を通じてアフラ・マズダに祈りを捧げるところから日本では拝火教と呼ばれる。紀元前6世紀から7世紀まで強勢を誇ったアケメネス、ササン両ヘルシア帝国の国教となっていた。今はイランに約3万人、インドのボンベイに約10万人信者がいるのみだが、聖典をもった現代に生きつづける宗教としては世界唯一のものだ。

昨年、私はこのゾロアスター教徒の年に1度の「チャクチャク」と呼ばれる祭りに参加した。チャクチャクは祭り名であるとともに、ゾロアスター教徒の巡礼地でもある。ヤズドというイラン中西部の小さな町からさらに砂漠の中を2時間（75km）、北東に行つた岩山の中腹にチャクチャクはある。500mほどの岩山の中腹に11階建のレンガ製の建物があつて、この一角に拝火神殿がある。チャクチャクとはゾロアスター語で「流れ落ちる泉」という意

イランのゾロアスター教徒の半数以上が住むヤズド郊外の岩山に残るダフメ。ダフメはゾロアスター教徒が鳥葬に使ったもので、岩山上にある直径30m、高さ7mほどのほぼ円型のレンガと漆喰で造られたドーム。「未知との遭遇」のデビルズ・タワーに似ているが、英語では「サイレンス・タワー」と呼ばれている。



ダフメの内部→



▲手前は12枚の菊の花弁を形どった線香を立て。その奥の岩壁の穴の中で燃えているのが聖火だ。

ゾロアスター教の

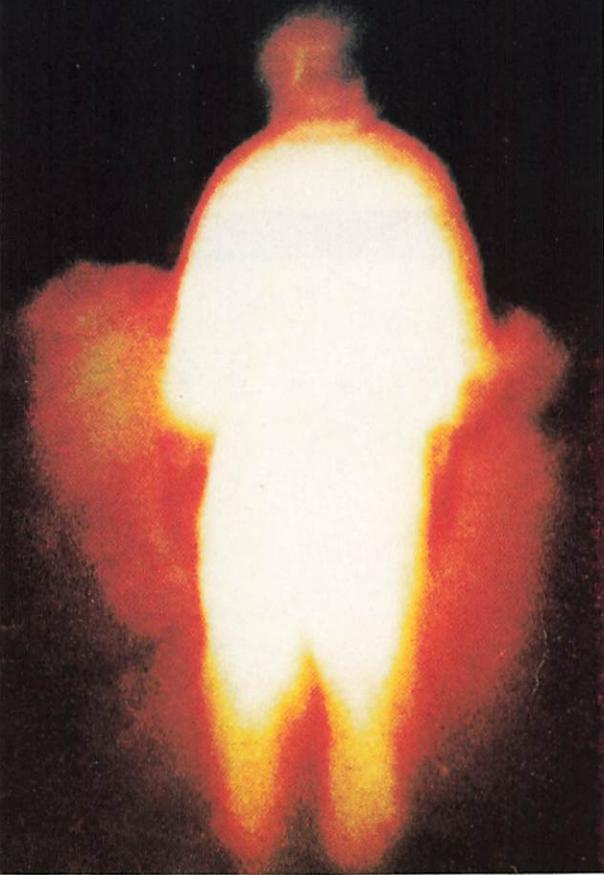
味であるが、その名のとおり、砂漠にもかかわらず神殿脇に泉が流れていた。この水が、茶一色の砂漠の岩山のほんの一点であるチャクチャクにわずかながら緑の木を茂らせ、巡礼者に水を提供しているのだ。このチャクチャクに参加するにはヤズドのゾロアスター寺院司祭の許可が必要であり、日本人としてはもちろん初めて、異教徒としては異例の参加であった。



UFO FANTASY!



愛媛県川之江市の塩田さんが撮影した宇宙人。



●安井清隆
1960年4月30日深夜、当時岡山市で語学塾を開いていた私（当時45歳）は、自宅付近に着陸した円盤から現れたハンサムな宇宙人と会見。その後4回にわたって円盤に同乗し、金星や月などの様子を見学した。



●福田雄治
1974年9月3日早朝、国道30号線をトラックで岡山県宇野港に向かって私（当時29歳）は、突然目の前に現れた髪の長いロボット型宇宙人に頼まれ、クビをすげかえた。気がつくとトラックはもう、宇野港についていた。

宇宙人はすでに日本列島に潜入している！ 謎に包まれた宇宙人の活動を探るため現地を訪れた編集部がコンタクトティーに徹底取材。未公開情報をふんだんに盛りこみ、事件の全貌を明らかにする。宇宙人問題の真相を解くカギが本書に隠されている。

宇宙人白書

著者 ■ 本誌編集部・内野恒隆



札幌の中野青年が会った異星人「ラミュー氏」の似顔絵。



関東大震災のときK婦人が目撃した宇宙人（高坂剋麿画）。



●佐藤和俊
静岡県富士市でトラックの運転手をして私（当時42歳）は、1974年5月末、市内で黒塗りのベンツに乗った2人の宇宙人と会って以来数度のコンタクトを重ね、7月には大型円盤で金星や土星に案内された。

ついに登場!!
本誌編集部が全国の
宇宙人コンタクトヒーを
直撃する
興奮の新刊



●山島克博(左)河野雅人(右)
 1975年2月23日夜、山梨県甲府市に住むぼくたち(当時7歳)は、河野君の家の近くにあるぶどう畑にUFOが着陸するのを見て近づいた。すると中から1人のロボット型宇宙人が出て来て、山島君の肩をたたいたんです。



●塩田義一
 愛媛県川之江市で写真店を営む私(当時49歳)は、1973年ごろから市内の埋立地でUFO観測を続けていたが、1975年3月31日深夜、目の前にオレンジ色の光に包まれた宇宙人が現れ、夢中でシャッターを切った。



●藤原由浩
 北海道北見市仁頃で農業を営んでいた私(当時28歳)は、1974年4月6日から3回にわたり、タコ型小人宇宙人に円盤の中へ吸いこまれた。3回目には木星から石を持ち帰った。(写真提供・矢追純一)



●北野恵宝(真言宗大僧正)
 1975年7月22日深夜、所用で広島県三原市の仏通寺に滞在していた私(当時80歳)は、着陸した円盤から出現した1人の宇宙人と会話し、奇妙な宇宙語などを教わった。そして今年1月、ついに宇宙人の声の録音に成功したのだ!

にっぽん

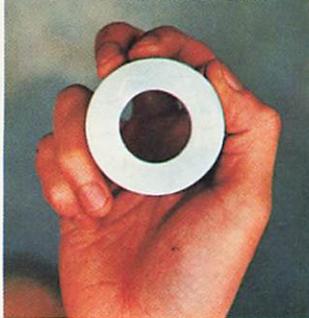


●中野青年
 札幌市北区に住む私(当時20歳)は、1977年6月、自宅付近で異星人“ラミュ一氏”から謎のドーナツ型金属をもらった。それ以来彼とのコンタクトは続き、地球人へのメッセージを伝えられたほか、円盤にも同乗した。

札幌の中野青年が異星人“ラミュ一氏”からもらった謎の金属。



●河上おつ
 京都市大原古知谷で旅館「紫雲」を営む私は、1974年5月15日深夜、自宅の庭先で身長30~40cmの奇妙な宇宙人を目撃、その直後顔面にまばゆい光線を浴びた。(写真提供・林一男)



静岡市の福田さんがクビをすげかえた宇宙人。



7月中旬 全国一斉発売!

本誌を読んで答えてください!

——豪華賞品が当たる

UFOと宇宙

クイズ

賞品



金賞 アダムスキー型コードペンダント
(当社商事部 ¥13,800) 1名

●他では決して手に入らないユニバース出版社の独占販売品。スイッチに触れるだけで明かりが明滅するタッチスイッチ付。(ボールランプ25W×3・但し40W使用可、大きさφ390mm×H200mm)

銀賞 30cm LPレコード/富田勲の世界
(RCA ¥4,000 2枚組) 2名

●全世界を驚嘆させた、トミタ・シンセサイザーの秘密が今ここに解明されようとしている! 本誌5月号*横尾忠則UFO対談*で興味深いお話をした下さった氏の電子音楽、シンセサイザー。



銅賞 『UFOと宇宙』用特製バインダー
(ユニバース出版社 ¥500) 20名

●『UFOと宇宙』を破損・紛失しないための特製バインダー。6冊をとじこむことができます。

- 『UFOと宇宙』5月号の、宇宙人の乗っていた外車の車種を当てるクイズは、Bのペンツが正確でした。応募総数1214通のうち、正解は1197通、抽選により、左記の方々がめでたく当選されました。
- ☆金賞(ポケットカメラ/1名)
片岡純久(福井県武生市平出)
- ☆銀賞(LP未知なる訪問者/5名)
山本洋一(兵庫県豊岡市)
田畑良勝(熊本県熊本市)
川村隆男(千葉県船橋市)
湯浅和成(岡山県児島郡)
千葉正浩(岩手県東磐井郡)
- ☆銅賞(未知との遭遇/15名)
賞品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

- (問題) 去る5月、ジョージ・アダムスキーの高弟として知られるシャロット・プロップさんとその一行が来日し、東京をはじめ各地で盛大に講演会が開かれました。一行の一人でメキシコ人のレオホルド・ティアス氏は、2年前の10月28日に、ミルクのような白い肌をした背の低い宇宙人に会い、メッセージをもらったという話をしてくれましたが、さて、このティアス氏の職業はつぎのどれでしょうか?
- 運転手
○ 弁護士
○ 医者

●必ず官製はがきを使用。
●締切り 昭和53年7月20日。当日消印有効。
●発表 『UFOと宇宙』9月号(8月20日発売)誌上。正解者多数の場合は抽選で決定します。

応募のきまり

はがきの書き方

●あて先 郵便番号110
東京都台東区上野5-1-6

- ヤマトビル ユニバース出版社
『UFOと宇宙』7月号クイズ係
- 裏面には、あなたの住所・氏名・年齢・職業(学生は学校名/学年)、そして次の順序でお書きください。
- ① 解答
 - ② 本誌を買った理由・動機
 - ③ 本号で良かった記事の題名2つ
 - ④ 本誌への感想または企画
 - ⑤ 今後、クイズの賞品として希望する商品名

●『UFOと宇宙』5月号
クイズ——当選者発表!

UFO 7月号 と宇宙

■カラー■

- 1 光線を放つUFO
- 2 佐賀県内で初のUFO撮影に成功!!
川崎市上空にアダムスキー型UFO現わる!
カナダ上空にUFOの大編隊
- 4 アルゼンチン独立記念日のUFO
南米に出現したドーム型UFO
- 6 ソロアスター教の秘儀に潜入
- 8 UFO FANTASY (イラスト)

■特集 よみがえったアダムスキー



16● アダムスキーの高弟 **シャーロットに直撃**
22● **宇宙人を診察した医者**

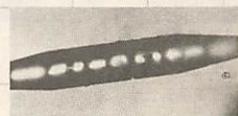
26● **横尾忠則UFO対談(5)古山晴久**

38● 本邦初公開 **アダムスキー・インタビュー**

34● **アダムスキーあらかると**

14● ついに来日!! アダムスキーの弟子たち

32● 新発見!! ロドファー・フィルムはインチキではない!



■シャーロット来日記念特別企画

46 ついに発見! UFO製造秘密工場 B・グロペッティ

52 銀河大渦巻の謎 斎藤守弘

62 重力異常地点ミステリー・スポット 矢追純一

68 日本におけるUFO事件の全貌(完) 池田隆雄

77 謎のピラミッド・パワーを探る! 中岡俊哉

85 空飛ぶ円盤とオカルティズム(完) 平野威馬雄

92 日本の科学者に問う(4) 森脇十九男

- 45 UFO界情報
- 98 情報パック(海外・国内)
- 106 科学ニュース
- 111 読者の声
- 118 蚤の市
- 12 豪華賞品が当たるクイズ



ついに来日!!

特集・よみがえったアダムスキー

アダムスキーの弟子たち



奈良・慈光院の境内で宇宙について語り合う小山氏と「UFO教室」主幹の葦沢潤一郎氏。

去る5月2日夕刻、UFO教育センター幹部のシャイロット・プロップ、レオボルド・ディアズ、トマス・ハイマン、古山晴久の4氏を乗せた飛行機が羽田に到着した。一行は出迎えに来たUFO教育グループの葦沢潤一郎氏

彼女はアダムスキーの信頼を得た数少ない地球人の1人である。アダムスキーは死ぬ1週間まえに、講演のためニューヨーク州ロチェスターに立ち寄った際、ウィリアム・シャイロット氏とララル・バーナ夫妻の3人に「ジャ

福岡のサンハクト・ホテルのロビーで熱心な地元の研究者と懇談する一行。

本誌贈呈の花束を受けとったシャイロット女史。



差し回しの車で、夜のとばりの降りる中、都内のホテルへと向かった。UFO教育センターは、カリフォルニアのバリー・センターに本部を置き、ウィスコンシン州のアプルトンとメキシコにそれぞれ支部を持っている。実質的な代表者であるシャイロット・プロップ女史は20年ほど前、アプルトンで頂点から真っ青の透明な光線を発するアダムスキー型円盤を近接目撃して以来、同地でUFO研究のサークル活動をやってきたが、やがてアダムスキーと交通したり、時折訪問したりするうちに、1963年からカリフォルニアのビスタでアダムスキーと一緒に仕事をするようになった。

シャイロット・プロップが私の仕事を引き継ぐだろう」と語ったそうである。シャイウッド氏とバーナ氏は有名なロードファー夫人のUFOフィルム(32ページ参照)を現像したコダック社の技師である。

古山晴久氏は千葉県出身の日本人で1970年に渡米、72年からシャイロットたちと合流、UFO教育センターの活動に幅広い国際色を添えている。古山氏はアメリカから安斎純天、葦沢潤一郎氏を中心とする日本国内の同志に向けて日本語版『コズミック・ニューズレター』を発行していたが、これは去年の6月から葦沢潤一郎氏編集の『UFO教室』に引き継がれた。



奈良・慈光院の茶室にて。向かって左から招聘元のUFO教育グループ代表の安斎純夫氏と竹島正氏、ディアズ、シャーロット氏をばさんで右端はフォーク・シンガーの福沢諸氏。



日本テレビ「11PM」に出演。左から古山、ハイマン、ディアズ、シャーロットの各氏。

トマス・ハイマンはセンターの広報部長であると同時に宇宙音楽の作曲家としても有名な人物、レオポルド・ディアズはメキシコのグアダハラで病院を経営する医師で、その特異なコンサート体験については22ページの記事を参照してもらいたい。

この4人はいずれも数回ないしは十数回におよぶ宇宙人との接触体験をもっているという。アダムスキーが「ブラザース」と呼んだ太陽系の、ことに金星の宇宙人たちは、核開発による地球の破壊（それは単に地球だけの問題ではなく、全惑星の磁氣的、電磁氣的な不調和をもたらす）を止めさせ、地球文明の発達と地球人自身の精神的進化を援助するために地球に飛来している。彼ら宇宙人の一部は地球人社会の中に溶け込み、アダムスキー亡き後

も、その活動を引きついだUFO教育センターを陰に陽に支援しているというのだ。

今回の来日も、数年前から古山氏を通じてUFO教育センターと連絡をとりつつ、日本で独自の活動を行ってきた安斎、福沢両氏を中心とするUFO教育グループとの連携により実現したものであるが、最終的には古山氏がメキシコ滞在中に宇宙人からぜひ日本に行くようすすめられ決断したものだという。

その日本における講演会は5月2日の東京牛込公会堂をかわきりに、高知、京都、奈良、福岡の各地で盛大に催された。講演会とは別に5月6、7日の両日にわたって都内では特別講習会も開かれた。もちろん、いずれも成功裡に終わり、日本のUFOファンにさわ

やかな印象を残し、彼らは去って行った。

UFO教育グループの特色はなんといっても活動的なことである。シャーロットたちは、カリフォルニアとウィスコンシンを往復しながら各地で講演やミーティングを行う他、テレビ、ラジオへの出演、各界指導者たちとの懇談ではとんど休む間もなく、宇宙人來訪の事実と目的、アダムスキーの宇宙哲学の啓蒙活動に専心しているのだ。

その結果、ウィスコンシン州ではすべてのポリス・ステーションが一般の人々からのUFO目撃報告があればUFO教育センターの方にまわすようになったという。

今年でアダムスキーがこの世を去って13年、彼がカリフォルニアのモハーベ砂漠で金星人のオーソン（これはアダムスキーが仮につけた呼び名で、本当は宇宙人には名前がないという。念のため）と会見してから26年目になる。

UFOに対して積極的な関心をいだく人々の間で、アダムスキーほど評価のわかれる人物は他にないだろう。ある人々にとっては、彼は真面目に検討するに値しない精神錯乱者かベテン師であり、他の人々にとっては、その体験が事実であることはもちろん、アダムスキーは20世紀最大の思想家であり、迫害されたキリストですらある。私たちは、アダムスキーのすべてを熱狂的に支持し信仰する必要もない

が、また「アダムスキー」と聞いただけでアレルギーを起こすのもバカげたことだ。ゴードン・クレイトン、チャールズ・ボウエン、ジェームズ・マツキャンベルなどの非宗教的で悲理想主義的で真面目なUFO研究者も、アダムスキーをまったく無視することには批判的である。UFO問題や宇宙人問題を考えるためには、アダムスキーを避けて通ることはできないのだ。

なによりもアダムスキー型のUFOは今日でも世界各地で目撃されているし、彼の生涯にわたる確信に満ちた一貫した態度を精神病理学やベテン師的な才能で説明しつくすことも不可能だろう。

そして今また、彼の弟子たちは、宇宙人と友人のようにつき会っているという。ゴードン・クレイトンの言ったように「ジョージ・アダムスキーはまだ影を投げかけている」のであり、今やその驚異に満ちた伝説は不死鳥のごとくよみがえりつつあるのだ。

コラム

UFOや宇宙哲学に関する質問、UFO教育センターの活動に関する質問は左記のいずれかへお願いします。またセンターでは活動資金のカンパを募集していますので、そちらの方もよろしくのごことです。

- UFO教育グループ / 〒350-12 埼玉県入間郡日高町高萩264-8-38
- UFO Education Center/P.O. BOX 55 Valley Center, Ca. 92082, USA

アダムスキーは国連上層部にも認められている

——アダムスキー氏との出会いと、最初の印象について語って下さい。

チャーロット アダムスキー氏との初めての出会いは、ブラザースを通じてでした。

彼らは私にブラザースやアダムスキー氏とともに仕事をしていくように、と告げました。私はアメリカのミッドウエストで多くの人々と語り合い、そしてアダムスキー氏のためテレビ、ラジオ、大学での講演の準備などをやりました。ミッドウエストでの自分の職を、自分から進んで離れようとしたわけではありませんが、ブラザースが私に對して言った言葉——あなたはジョージ・アダムスキーとともに仕事をすべきだ——この言葉を聞き、ただちに仕事をやめて西部カリフォルニアの彼のもとへ行ったわけです。

アダムスキー氏は、もともと尊敬に値する、威厳のある人道主義者の一人でした。そして彼はいつも「宇宙人に出会った地球人は、宇宙人から得た知恵を皆で分かち合う義務がある」と

言っていました。また、アダムスキー氏に對し怒りをぶつける者があっても、それらに對し彼はあくまでも忍耐強く、優しさを失うことなく寛大でした。本当に彼が怒った姿は一度も見た事がありません。常にだれに對しても寛容さを失うことはありませんでした。

——ブラザースはあなた、あるいはあなたのグループとコンタクトしているのですか？ そうだとすれば、あなた方にどのような援助を与えていますか？

チャーロット 彼らは地球上にいる彼らの仲間を援助しています。ブラザースの計画を地球上で実行している人々は、現在の地球上に住んでいて、もちろん我々の文明を援助するために来ているわけです。ところが我々地球人は、地球人がけが地球の限られた所有者ではないという認識を持っていません。地球上の文明は宇宙の偉大な文明の一部分である、ということをお忘

れてしまっているのです。金星やその他の惑星からやってきた崇高な異星人達は、地球上に住み、様々な形で、人間を援助しているのです。

——各界の有力者、指導者で、宇宙哲学やあなた方の運動を支持し、協力している人々について教えて下さい。その人々はアダムスキー・コンタクトを真実のものと認めたのですか？

チャーロット アダムスキーのコンタクトは国連の上層部、ホワイトハウスの要人の間にも広く認められています。メキシコ大統領の妹のマルガリータ・ロベス・ポルティエリョと、彼女の右腕として有名なブカレット・カメーリョ氏らも宇宙哲学を100パーセント信じており、それらに對する助力をおしきません。アダムスキーは18カ国に及ぶ国々の指導者達と会見しました世界中の宗教指導者とも会っています。私はチベットのダライ・ラマとの

連絡に当たっていました。彼もアダムスキー氏を支持していました。彼は、アダムスキー氏の哲学は文明の最高点からきていると言っています。その他、今ちょっと名前がでてきませんが、分野の上層部の人間が彼を全面的に支持しています。

——原子力発電所の問題を含めて、あなたは公害反対運動を支援しますか？

チャーロット 核エネルギーは破壊的なものです。原子力というものは、もともと絶えず解放されようとする方向に動くものなのに、人間はそれを1カ所にとじ込め、その自然の動きを抑えつけようとしています。そのため原子はますます解放されよう

とし、その結果その力は大気汚染してしまわうわけです。異星人は地球人が現在地球上で行っているような方法で原子力を使っているではありません。現在の我々の原子力の使い方はちょうどダイナマイトに点火して、それが爆発するのを待っているようなものです。なぜなら、原子力を開発しようとした結果がどんなものであるかわからないにしても、その結果は近い将来出てくるのですから。

もつと高次元のエネルギー、傷つけ敵対するエネルギーではなく、もつと自然な、万物から成り立っているエネルギー、我々地球人から成り立ち、宇宙の中で成り立っているエネルギーなのです。我々も、このエネルギーに目を向けるべきです。これは電子エネルギーで、これにより我々は放射能汚染や、死の恐怖から解放されるでしょう。

巨大野菜の栽培法を教わった男

——エドアルド・メイヤー、ダニエル・フライ、ハワード・メンジャー、エリザベス・クララなどのコンタクト・ストーリーについてどう思いますか？

チャーロット それらのうちの

いくつかは本当のコンタクトであると言えますが、永続的なものはありません。宇宙船のパイロットとコンタクトした

という特権を得た

人もいますし、そのコンタクトによる情報を我々に還元してくれた人もいますが、それらの多くはごくわずかの時間のコンタクトを拡大して伝えたり、

真実でないことをつけ加えたり、誇張がかなり見られます。

たとえば、メキシコのある農夫は、宇宙船が地上に降りてき

シャーロット・ブロップに直撃インタビュー

て、宇宙人から巨大な野菜を栽培する方法を教えてもらったという経験をしました。ブラザースの一人が私にこのことを話してくれましたが、これはある程度のところまで本当です。ところが、その土地の市長やメキシコのある有力議員などが話を聞きにやって来た時、その農夫は話を少し変えてしまいました。彼は、たしかに宇宙人から巨大

な野菜の栽培法を教わり、それを世界中

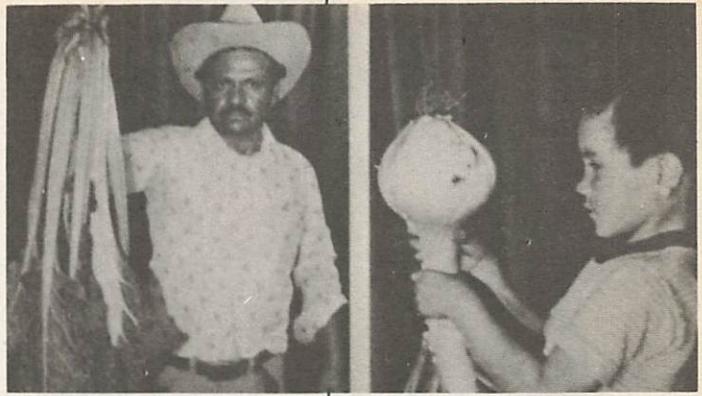
の人々にも伝えることができたのですが、そうすることはせず話を変えてしまったのです。巨大な野菜を我々に知らせるかわりに、まずどのようにして宇宙人がやってきて、宇宙人がどんな様子をしていたか、彼らが何を話したかなど話はどんどん大きくなり、簡単な報告が混乱に陥ってしまいました。

多くの人は、ブラザース達が価値ある情報を世界の人々に与えようとする、それを自分だけのものにしようとしてしまいます。自分の利益しか考えず世界の利益のためなどと考えてはくれない——とブラザース達はこの問題を語っています。

ダニエル・フライ、ハワード・メンジャーのコンタクトは本当でないと思います。エリザベス・クララについては少し知っています。そうですね。初期の頃は本当でしたが、でも最近ではどうでしょうか。だんだんと彼女の個人的な要素が多くなりはじめたようです。たとえば彼女は、宇宙人は野菜しか食べないから我々地球人も野菜のみを食べるべきだと説いています。

でも地球人にはプラスの磁力があるため、ある一定量の炭素、たとえば肉とか魚といったたん

特集 ■ よみがえったアダムスキー



あるメキシコの農夫は、宇宙人から巨大な野菜の栽培法を教わり、実験に成功した。



は個人個人にとって何が一番必要な食物であるか、また何が一番理想的な食物であるかを検討して決めつけたりしません。

映画「未知との遭遇」についてどう思いますか。

シャロット この映画は、一般大衆が地球のまわりの異星に対して持っている興味を満足させるために作られたものです。これは、一般の人々にSFの世界に対するセンサーショナルな興味を持たせ、そのSFの世界が真実であるかのように思わせるためです。

モスマンや怪物など存在しない

UFOによる誘拐事件、ウル・ミューティレーションなど、エストバリーニアのモスマン、フラットウッズの怪物、キャト

ル・ミューティレーションなど、邪悪な方向に向かっている宇宙

人や怪物的宇宙人の存在についての意見も聞かせて下さい。シャロット すべての怪物は

る映画にすぎません。そしてまた、宇宙人は地球人とは全く異なった生物で、「人間」というよりも怪物や悪魔であると我々に思わせています。しかしながら、これらの宇宙人のとらえ方は全くはずれています。

「スター・ウォーズ」についてはどうですか？

シャロット 地球人がいったん宇宙へ出ると「戦争」という事を考える余裕はありません。なぜなら宇宙は限りなく大きく、工夫を重ねた道具や飛行機などを作ることに注意を向けている時間こそあっても、武器を作る時間などありません。宇宙開発に必要な科学者や教育者を育てるため、子供の教育に専念していると戦争のことなど考えてはられないのです。宇宙人は現在、まさにその途上にあつて、戦争には無関心です。彼らはあくまでも平和的かつ人間的で、同じ「人間」でありながら地球人とは違います。

地球人によってつくり上げられたものです。宇宙人が怪物であると考える人間こそむしろ怪物なのです。もちろん、ウエストバリーニアのモスマンなど存在しません。「未知との遭遇」を見た人が不思議な生物や宇宙船が地上に降りるのを目撃したとすると、やはりそれらに対し恐怖感を抱き、それらを怪物と思うのも当たり前かも知れませんが、これらは地球人が作ったイメージにすぎません。

こんな話があります。シャカがこの地球上に生きていた頃、彼は弟子に「人間を尊敬しなさい」と教えました。また、キリストは次のように説きました。「人間は最高の存在だ。しかし人間は最も無知である」。我々はこのことばに耳を傾けるべきです。そうすれば、地球人の言うところの怪物が、実は我々と同じような家に住み、我々と同じような人間で、しかも戦争など一度もしたことのない人間であることがわかります。そして怪物というのは宇宙人でなく、我々地球人であることがわかるでしょう。

つまり地球こそが地獄で、他の惑星はすべて天国なのです。

もし今、シャカやキリストが地球上にいたら、地球人は彼らも怪物呼ばわりするかも知れません。

恋愛やセックスについて宇宙的立場からのアドバイスをお願いします。

シャロット 地球上の言葉である「愛」とか「セックス」は曲解されています。なぜなら、これら二つの言葉が示すフィリングや動作が一語で表現できる言葉があるはずだからです。愛という感情表現は、それが魂の内側から発せられるものでない限り、いかなる人間によっても説明されることはありません。魂のみが愛の表現を感じることができのです。それが本当の意味での「一致」でないかぎり、男女間の愛も決して表現され得ないでしょう。

ところが現在、この地球上に「一致」は見当たりません。地球上では、人はまず相手を見て、その見たものに対し、好きであるという判断を下します。でもその人間の内側を見ようとはしません。本当の一致とは、個人がそれぞれ持つことができるものです。つまり同じフィーリング、同じ考え、同じ目的、近似性、同じ願望といったことです。

性、同じ願望といったことです。



▲米カリフォルニア州パロマー・ガーデンズのレストランに集まる、ありし日のアダムスキーとその弟子たち。左から4番目がシャーロット・ブロップ。5番目からマデリン・ロドファー夫人、アダムスキー、同レストランの経営者アリス・ウェルズ夫人、アダムスキー夫人のマアリー、秘書のルーシー・マクギニス夫人。

男女が本当の意味で結びつけられたとき、それは創造主が結びつけたのです。たとえば、もしある人が何かやりたいという望みを持っていて、その人が自分と同じ望み、感情を持った相手を見つけるとします。これは

神がすでに結びつけていることなのです。これが、神の尽力による「一致」なのです。もしその人がそれを否定し、その人の目にもっとよく映る他の人を相手に選んだとすると、そこでその人は「一致」を破壊し、神を拒

絶したことになります。つまり進歩から一歩ずつ後退していくわけです。これはアダムスキー氏も常々言っていたことで、我々がもっとよく考えねばならない点だと思います。

米、ソ宇宙開発計画の真相

——NASA（米航空宇宙局）やソ連の探査機が火星や金星に着陸した結果、人類は住めないというデータが送られてきました。が真相はどうでしょうか。

シャーロット 論理が飛躍しているように思われるかも知れませんが、現在地球上の軍部が一般の人々に教育していること、そして、いろいろな組織も人々がコントロールするのではなく逆に経済によってコントロールされていること、などがすなわち、金星などの他の惑星に人間が住んでいるという全面的真実の裏づけになります。

もう少し話を具体的にしてみよう。NASAやその他の宇宙計画組織グループが火星には建物や街があること、また人工衛星を火星の街の建物の上に乗せるとなると問題が起こ

るので、その衛星を他の場所に移動させたこと、などを世界の国々に対して告白すると、その声明を出した国は大勢に反することになります。他の国々、特に国力を持つ大国は、その声明を出した国に対し気違いじみているおろかな国だと、うる指を指すでしょう。

現に国連では、このような事態が起こっています。米国がリーダーシップをとって国民に対する宇宙計画の教育をはじめようとしているわけですが、これに対して、ソ連や他の大国は、米国は気違いだと指摘しています。従って、どこの国もはや多数の国の支持を得ない限り、この問題を国連に持ち込もうとはしません。科学者は世界の人々に、金星は非常に高温であり、火星は異常乾燥で低温、生物は

存在しないと数十年にわたって言い続けています。そこでもし彼らが突然、他の惑星にも生物がいると言いだしたらどうでしょう。地球上の人々は政府に対し、何十年も前にさかのぼる情報を要求しはじめるでしょう。現在我々がかかえている多くの深刻な問題——核問題、エネルギー問題、公害問題等に対し、なぜ政府が、これらの問題の対策として、彼ら異星人の所有するエネルギーを我々地球人にも分け与えなかつたのか、と詰問することでしょう。政府も科学者もこれを恐れているのです。

従って、我々一般人が彼らに真実を強く要求しない限り、いかなる科学組織も我々に真実を知らせてくれないでしょう。——アダムスキーはケネディの秘密ブレンだったということ

を聞いていますが本当ですか。また、あなた方はフォード、ニコソンに比べてケネディやカーターを支持しているそうですね。その根拠は何ですか。毛沢東やホー・チ・ミンについての意見も聞かせて下さい。

シャーロット アダムスキー氏はケネディ大統領に2回会っています。そして我々はケネディとカーター大統領を支持しています。なぜなら、両者ともに核エネルギーを縮小しているからです。そして両者とも宇宙計画に取り組んでおり、人類に平和をもたらすよう多大な努力を重ねています。

フォード氏は、ニコソン氏とはちがったタイプの人です。ただ彼は、持ち前の人道的信条を弁護する力が充分ではなかったようです。

ニコソン氏はもちろん支持できません。なぜなら彼は全面的に核エネルギーに賛成で、より性能の良い兵器を作り、軍隊の力をさらに強化し、そして他の国が核保有国になるべく援助を与えたりしていたからです。ニコソン氏を支持することは人類の破滅を支持することになります。人間は生きるために存在するもので、自らの手により破滅

するために存在するものではありません。毛沢東、ホー・チ・ミンについては、どんな主張をしていたのか知りません。

シャカは「人間は自分自身の中に神を所有している」と説いており、多くの神を信仰せよと

古霊術と心霊手術

——地球の磁力低下と地軸変動が観測されていますが、地軸が急激に傾き地球が破滅するということはあるのですか。

シャーロット このレポートを發表したのは日本の科学者ですが、他の国の科学者はまだそういう報告は出していません。しかし地球上の磁力が低下しているというのは本当です。そして人間が核エネルギーを使うたびに、地球の振動数や磁場の自然的秩序を妨害し、さらに地球の内部や地球の周りにある磁力をも妨害することになります。そして、核の力は太陽系を妨害し、太陽そのものまでも妨害するという全面破壊を引き起こします。

ブラザースが私に話してくれたのですが、太陽系のエネルギーは、地球とのバランスをとる

は言いませんでした。ところが人間はいろんな人を神にしたがります。その結果現在では数多くの神が存在しており、彼らもそれらの神の1人となっているのでしよう。

古代の人間の持っていた純潔

ため地球の方向へどんどん引き込まれ、その結果太陽エネルギーが低下し、その影響で太陽系も変化しつつあるということですね。そこでブラザースはこの太陽系に居住地を求め、すでにそこに住みはじめているということ

です。しかし、地球人が宇宙人のアトモスを拒絶し、アダムスキーを拒絶し、そしてブラザースに出会った私達のような立場にいる人間の言うことを拒絶する限り、彼らは我々地球人を新しい太陽系へ導いていくことはできないのです。エネルギーを人類の利益のために使うのではなく、現在のように個人の利益や富、利己的な目的のために使っている限り、地球の命、太陽系の命はあとわずかで終わりを

つぎ、無邪気さは現代ではすっかり失われています。地球に失われている平和を取り戻すのは、リーダー達のコントロールによってではなく、個人個人の魂の意識を変革させることによってのみなし得ることです。

——人間は猿から進化したものではないか。

シャーロット いいえ、ちがいます。創造主が人間を造ったのです。創造主こそが、知性を持った人間を地球の土から形作ったのです。だから人間の知性はユニークで、あくまでも特別なものののです。シャカもキリストも、人間はもともと猿であったなどと言っていません。人間が創造主によって造られている以上、人間も創造主であるわけ

です。——人間の運命や性格は、生まれた年や月に左右されるということはありませんか。

シャーロット それはありません。人間の運命は魂を意識することによってきまるのです。たとえば私の場合ですが、私は

この地球上に以前生きていたことがありました。そして今、過去の生涯を通じて私のできる限りの貢献を同胞に対して行っています。

このように、私の運命を決定する力は肉体的なものによるのではなく、あくまでも永久不変の精神的なものによるのです。

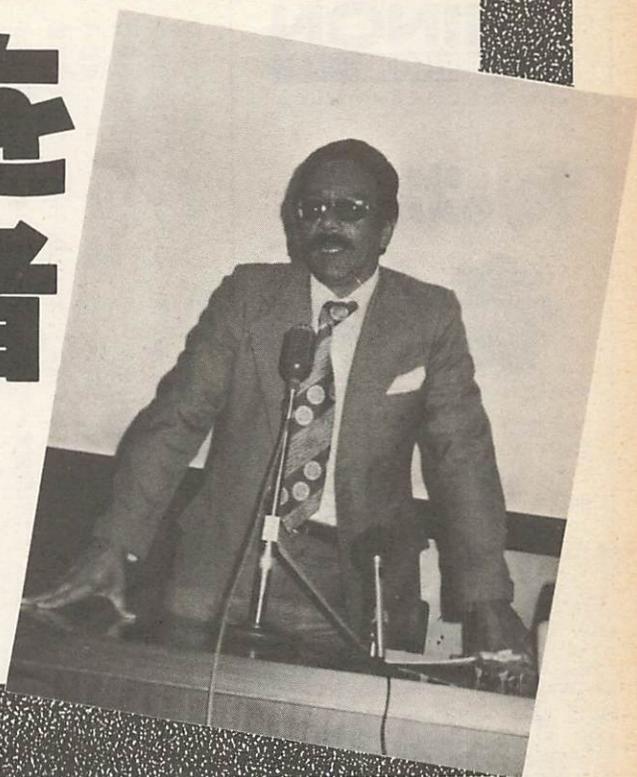
創造主が言うように、人類に対する貢献はすべての人間の義務であり、また生きる目的です。——心霊手術についてどう思いますか。

シャーロット 信じていません。魔術師というのは偉大な力をもっているふりをするものです。そしてその力によってお金も得ているのです。その力のため、人々は彼が偉大であると思いがみますが、彼は単なる魔術師にすぎないのです。魔術師の手の動きがあまりにす早いので、一方の手を見ている時、他方の手が他の活動をしているのをはつきりつかめません。人々は、この魔術師が神だと思いがみ入ります。ご存じのように医学の分野の魔術師もいれば、科学の分野にも、経済、政治、軍隊とあらゆる分野におられます。

シャカがかつて、患者の悪化した患部を治療したことがあり

宇宙人をした医者

シャーロット女史と共に来日したメキシコの病院長レオポルド・ディアズ氏は、1976年10月26日、牛乳のような白い肌をした背の低い宇宙人の訪問を受けた！



レオポルド・ディアズ氏の神秘の体験談は、5月4日、新宿区の牛込公会堂で開かれたUFO教育グループ主催の講演会で初めて明らかにされた。

シャーロット女史の一行に謎のメキシコ人が加わるといことは前々から知られてはいたが、主催者側でもその詳細は不明で、当初は「宇宙人と地球の各界要人との重要会議に立ち会った貴重な体験をもつメキシコからの人物」というふうに紹介されていた。

残念ながら、来日してみると、これが誤った情報に基づくものであることが明らかになったが、その代りに私は、ディアズ氏自身の不思議な体験を聞くことができたのだ。

ディアズ氏は豊かな口ひげにちぢれっ毛、浅黒い顔の典型的なメキシコ人であるが、実に温和で、ゆっくりと一語一語かみしめるようにしゃべる。

彼は、マリアッチの曲で有名なメキシコ2番目の都市グアダハラハラの一番大きな病院の院長をしている。日本で病院の経営者という強つくりばりの金銭亡者というイメージが浮かぶが、ディアズ氏は過去23年間、貧しい人々の医療奉仕に献身してきた医者のかんともいふべき人だ。これは後でわかったこととて、ディアズ氏は今回はじめて宇宙人コンタクトティールとして日本に紹介されたわけだが、医者としては、金持ちからは取っても貧乏人はタダで診る「メキシコの赤ひげ」として、日本の医療関

係者のみならず、世界的にも有名な人だそうである。

ディアズ氏のこういう良心的な生き方が、宇宙人が彼をコンタクトティールとして選ぶ一番の理由となったことは疑いえない。

さて、UFO問題にはまったく無知、無関心であったディアズ氏にとって、すべては2年前の1976年に始まった。

「アメリカでのバカンスを楽しんでいた帰途、ナヤリト州（グアダハラハラのある州）に入ったところ、ちょうど午後6時半頃のことです。突然、私は素晴らしいものを見ました。巨大な円形の物体が、国道から3キロほどはなれた小さな山の上空に停まっていた。それは赤、オレンジ、グリーンと様々な色に輝き、私はもちろん、他のドライバーたちも車をとめて見ました。物体は2分ぐらいたつと、グッと浮き上がって南西の方へ猛烈なスピードで去って行きました。ああ、これがUFOというものなんだなあと思ひ、もちろんUFOの存在を事実として信じるようになりました。また、UFOというものについて詳しく調べようと思いましたが、メキシコには専門的な書物はなく、手に入るのほとんど興味本位でセンチショナルなものばかりでした」

そこでディアズ氏は自分の眼で何度か見て確かめようと、いつも空を見上げるようになった。彼は郊外に小さな別

特集 / よみがえったアダム

診察

レポーター

■武内 裕■

◆診察を要求した宇宙人

荘をもっているが、そこではいつも天気がよく雲もほとんどなく、何度もはつきりとUFOを観測することができた。ある時などはジグザグ飛行する5機のUFO編隊を友人といっしょに目

こうしてディアズ氏は、UFOの実在をますます確信するようになり、また彼の周囲でも多くの人々が目撃するようになった。

そして、いよいよ運命の日、1976年の10月28日、ディアズ氏の病院へ一人の男が訪ねてきた。一日の診察が終わって、ふと待合室を見つみると、まだ1人の患者が雑誌を読みながら待っていたのだ。その男を見たディアズ氏は、何か不思議な特別なものを感じ

撃した。

また、病院に患者として来た2人の鉄道員が、ちょうど鉄道に沿って2つの怪光体が飛行するのを見たとき興奮しながら語ったこともあった。

じ、興味ひかれた。

「どこか具合でも悪いのですか？」

とたずねると、男は、

「ええ、ぜひ先生に診察してほしいのです」

と答え、立ち上った。

「男は背が低く、驚いたことに皮膚の色は牛乳のように真白でした。診察室に入るように言うと、不思議な声——何か女性のようなでもないが、それに近いような、まるでテナーで歌ってでも

いるかのような声で答えてくれました。そこで診察室に入って、机の前に座ったのですが、まず気づいたのは、彼の内からにじみ出てくるような、やさしさ、博愛の心、何ともいえない心の良さでした」

ディアズ氏が、

「どこが悪いのでしょうか？」

とたずねると、その男は、

「どこもこれといって悪くはないんですが、血圧と心臓と体温を調べて下さい」

と言うのだった。

そこで上着を脱がせてよく観察すると、肌は非常に柔らかく、まるで2才くらいの赤ん坊のようだった。体毛はほとんどなく、ただこめかみのところにだけは毛が生えていた。血圧を測るために近づいて眼の中を見ると、濃いブルーで紫に近いような色をして、その視線は限りないやさしさをたたえていた。

ディアズ氏は彼がいったいどここの国から来たのかたずねてみようと思っただ。考えてみると、ヨーロッパのスペインあたりから来たタイプの人種が住んでいると聞いたことがあった。

しかし、出身地をきいたディアズ氏の質問に対して男は、

「そんなことどうでもいいじゃありませんか」

と答えたので、

「では年齢を教えてください。血圧を測

る場合には、年齢を知ることが必要なので……」

と言うと、驚くべきことに、男は80歳だと答えたのであった。

「私は45〜50歳くらいかと思っていたので、ずいぶん若く見えませんか、という、彼は健康にはたいへん気を使っている無理は絶対にしないということでした。どこも悪くはなく、まったく若い人と同様に完璧だという、とても喜ばしてね。しかし、どうも奇妙な感じがしました」

実際、診察が終って服を着ると、男は奇妙なことを語りはじめたのだ。

「実は、私は診断を受けに来たわけではなく、色々あなたと話したいことがあったのです。最初に一応、あなたの反応を試すために診察を受けたのです。別に私は暴力をふるうわけではありませんが、これから私の話すことを怖がらずに落ち着いて聞きなさい。

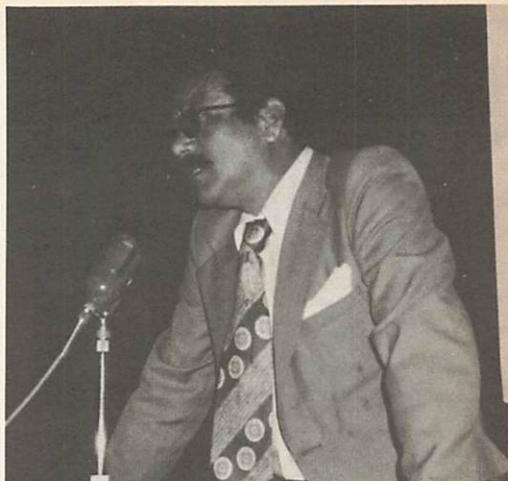
私と同じような者は、たくさんやって来ているのです。なるべくあなた方のための思っ、情報を伝えに来ているのです」

ディアズ氏は最初と同じ質問を試みようとした。

「あなたは、いったいどこから来たのですか。はっきり教えてください」

「そういうことは問題じゃないでしょう。私はメッセージを伝えに来たのだから」

男はにべもなくディアズ氏の質問を



◆新エネルギーは水晶からとれる

さえぎると続けた。
「あなた方は物質的な事柄にあまりにも執着し過ぎです。本当はもっと精神的な価値に力を向けるべきなのです。地球人は、自らの手で地球を危機に陥れています。水や空気を汚染し、公害を作り出すことによって、自らを破滅へと近づけているのです。あなた方地球人は、自分たちが誰であるのかをまったく知らねばなりません。宇宙の中の自分たちの立場というものをね」
ディアズ氏は最初、彼が何か宗教的な観念について語っているのかと思っただけだ。

「これから一番大事なことは、新しいエネルギーを発見することです。宇宙にはまったくただで手に入るようなエネルギー資源が存在するのです。このエネルギーは電子を分離することによって得られるもので、水晶から採れるものなのです。この永遠不滅のエネルギーを支配することにより、どこへでも飛んで行くことができます」

「宇宙に存在するものはすべて人も生物も電気の働きによって成り立っています。あなた方も、すべての物質は電子や陽子のような荷電粒子から出来ていることを知っていきましょう。地球的な科学の概念では生物と非生物の区別をつけたがりませんが、すべては同じ荷

電粒子の集合なのです。ただ、物によって周波数が異なるだけです」
「細胞は異なる周波数をもった多くの荷電粒子によって構成されています。細胞が集合して出来ている人間の体も一種のコンデンサーのようなものです。様々な周波数の電気が人間の体内でバランスを保っているなら、それは健康な状態ですが、周波数のバランスが崩れるといわゆる病気の状態になります」

「原子自身も意識をもっています。たとえば水素の中でも電子が陽子の周囲をまわるといふ状態をつくり出す意識が存在します。分子も同様に意識をもっていますし、個々の細胞にも意識は

あります。周波数が高くなると意識も高度になります。人間の頭脳はもっとも周波数の高い状態にあるわけです」
「もしあなた方が、すべてが荷電粒子から成ることを本当に理解するならば差別というようなことはなくなるでしょう」

「宇宙のすべてを構成する荷電粒子の創造者をあなた方は知りたく思うでしょうが、創造主には形がないということに気がついていないのではないのでしょうか。至高の光を受けとるための唯一の方法は、視覚とかがいったものによつてではなくて、ある特殊な感覚で、ある感銘を受けとることです。最高なる英知、すべてはそこからきています。すべての存在は、この英知の表現です。その英知は、英知自身が電子・陽子・原子などの背後にあるオリジン（源泉）を支配しているのだということとあなた方に知らせる、そういう英知なのです」

こんな調子で話は2時間ほど続いた。ディアズ氏はもう一度、彼がいったいどこから来たのかと、改めてたずねてみた。すると男は、非常に低い声

「その後、私はこの体験をごく親しい友人とか親戚の人をのぞいてほとんど他人にしゃべりませんでした。やはり医者としての立場を考えたからです。

でこう言ったのだった。

「私は太陽の向う側から来ました」

そして、
「もうこれ以上長くしゃべると、あなたも混乱するでしょう。今日はこれで終りにしてまた来ます」

と言いつつ立ち去った。ディアズ氏は彼を追いかけようと思ひ、10秒ほどしてから外へ出た。が、その時にはもう男の姿は掻き消すようになつていった。

「それは本当に消えたという表現がびつたりでした。私の病院は大きな通りに面していますが、その通りは右左どちらへ行っても次の交差点まで何百メートルもあるのです、どこかを曲るといふことは考えられなかったからです」

なぜ宇宙人が自分の目の前に出現したのか——あまりの不可解な事態にともどいながらもディアズ氏は数日前の出来事を思い出した。隣の若夫婦がディアズ氏の家の真上で、緑とも青ともつかぬ光体が上下運動しているのを目撃し、翌朝その婦人が「あれが円盤ではありませんか」と告げに来たことを思い出したのである。

◆国連とハイネック博士も調査？

それから1年たち、シャロットさんと知り合い、彼女と話してみると、まったく同じ体験をしていることがわかりました。しかも宇宙人が私に教えて

アメリカへの道程…

横尾 古山さんはいつ頃アメリカへ渡られたんですか？

古山 1970年です。

横尾 じゃあ、8年ぶりですねえ。その間一度も日本に帰っていらっしやらなかった？

古山 ええ。この8年でずいぶん日本というか、東京も変わりましたね。

横尾 アメリカに行かれた動機

は、何だったんですか？

古山 はっきりしてないんですけど。友人と話している内になん

となく行かねばという気になって…。はっきりした目的をもつて渡米したというんじゃない

て、内からの衝動にかられた感じから、でかけていった。

横尾 日本にいた頃から、宇宙

的活動といったことをされてい

たんでしょう？

古山 GAP(アダムスキーの宇宙哲学研究グループ)の古い

メンバーでいろいろ活動して

ましたが、何かもの足りないも

のがあったんですよ。もつとも

っとUFO問題、宇宙人問題に

ついて研究したかった。それ

と、ジョージ・アダムスキー氏

についても、彼をよく知ってい

る人から直接話を聞きたいと思

っていた。

横尾 なるほどね。そういった

ことがアメリカ行きの動機とも

なったわけですね。

古山 ええ。ともかく行かねば

と、友人と2人でまずカナダに

渡ったんです。

横尾 カナダに？ どうして？

古山 カナダで下準備をしよう

と思ったんです。言葉の方も全

くだめだったものだからね。

横尾 ずっと、友達と一緒に行

動されていたんですか？

古山 いや、友人はしばらくし

てニューヨークへ進出していき

ました。彼はイラストレーター

だったし…。

私1人になると、自分はどう

したらいいのか、こんなのにん

気カナダで過ごしてはいはい

っていた宇宙の友人が1つの意

味あることをしてみせてくれた

んだと思った…。で、何か力づ

けられて、すぐアダムスキー氏

の後継者であるシャロット・

ブロップ女史に会いたいと手紙

を書いたんです。

横尾 今、一緒に来日されてい

る方でしょう。

古山 そうです。以前から知っ

てはいたんですが、円盤を見た

時点から急に自分になすべきこ

とはシャロット女史にまず会

うことだと強く思い始めたん

です。

横尾 使命感みたいな…。

古山 ええ、自分の使命はこの

ままでは達成できないんじゃないかという感じが湧き起こって

すぐにでもカリフォルニアのシ

ャロット女史の所へ行こうと

予定をたてました。

古山 それから1カ月もしない内に

彼女から返事をもらいまして、

自分はウィスコンシン州の方に

来ているからそこですぐ合流し

ようといってきたんです。

横尾 シャロットさんは古山

さんを知っていたんですか？

古山 面識はなかったんです。

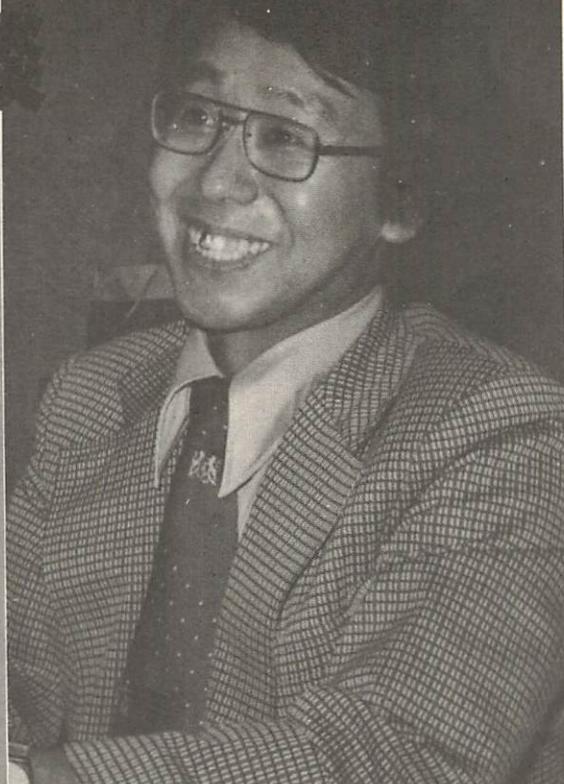
ぼくは彼女から待っているから

早く来いという返事がくるなん

で思ってもみなかった。後で、

対談

古山晴久



待っている

横尾忠則 UFO

◆連載第5回◆

- ◎アダムスキーを引き継
- ◎ぐグループに合流して
- ◎活動を続ける古山氏。
- ◎彼は地球の未来のため
- ◎に宇宙的生命観への変
- ◎革を試みる…。
- ◎横尾氏との間で、対話
- ◎がどう進んでいくか!

横尾忠則



宇宙の友があなたを

彼女から聞いたんですが、ぼくが手紙を出す前に、シャーロット女史は、スペース・ブラザーズにあって、古山という日本の青年が来るから…と話されたらしいですね。だから、彼女はぼくが手紙を出す前から、ぼくが来ることをよく知っていたんです。

横尾 はあ…！ ブラザーズから連絡されていたから…。

古山 ぼくはそんなこと知らないから、驚きましたよ。もうあなたの部屋も用意しているって書いてありましたしね。ぼくは一応訪ねて会見しようというくらいにしか考えていなかったんですからねえ。

横尾 それで、すぐ出発されたんですか？

古山 身軽なものですから、すぐに発った。カナダのトロントからアメリカ側のデトロイトへね。ところが、このデトロイトの税関でアメリカへの入国を拒否されたんです。ぼくの荷物をすみからすみまで調べ、シャーロットからの手紙を読んで、「FBIファイルをチェックしろ！」なんてどなっているんですね。ぼくは気楽に構えていたから、どうしてぼくなんかこんなにマークされるのか不思議

だったんですよ。結局、カナダへつっ返されてしまった。

横尾 それで、どうしました？

古山 どうもぼくが往復切符をもっていなかったのがつっ返された理由だと思って、今度は往復切符を買って、翌日デトロイトへと、昨日と同じバスに乗って出かけた。ところが、また昨日と同じ。門をビシャリとしまられて、カナダ側へつっ返されてしまった。

横尾 どうしてですかね？

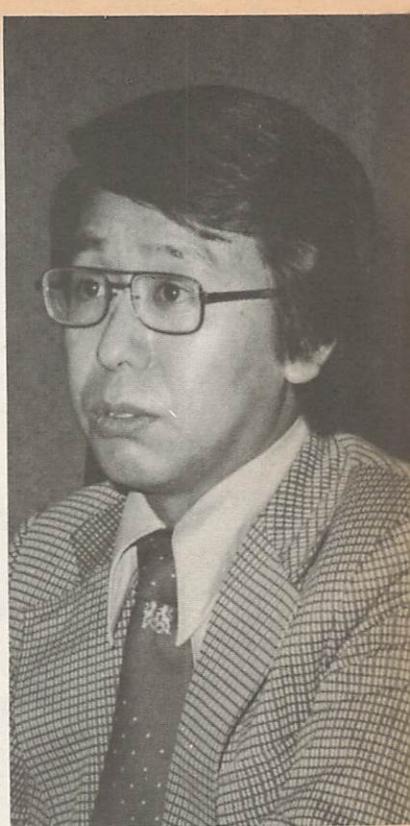
古山 税関で、ぼくのアメリカ入国の目的を知っていたからでしょう。後でシャーロットから聞きましたが、アダムスキー氏もデトロイトという町ではさうさん妨害を加えられたそうですよ。

横尾 へえ、デトロイトはそういう町ですか！

古山 そんなことから、アメリカへ行くのは少し延ばして、飛行機でトロントからシャーロット達のいるウィスコンシン州のグリーンベイまで行こうと思いたったんです。それで今度は準備をすっかりやって、身分証明書や肩書も用意したんです。

横尾 今度はだいじょうぶだったんでしょね？

古山 ええ。この時、ぼくは初



宇宙旅行の重要性を話す！

宇宙意識の重要性……

だなかなか哲学的な面において入ってこれない人がたくさんいますね。

横尾 講演ではどういう内容の話をするんですか？

古山 ぼくに関しては、宇宙旅行の重要性については、宇宙旅行の重要性についてよく話しますね。ぼく達がスペース・ブラザースの仲間入りをするには、地球人も宇宙へ飛び出さなくてはなりません。その時点で、いかに地球人が自分自身を宇宙の中において考えられるかが問題でしょう。今の地球の人々のように対立意識とかエゴ欲とか、利己的な面をむき出して宇宙へ出た場合、困った状態に陥ります。宇宙の友人達はもう宇宙の中で生活している。そこへ押し込んでいくわけですからね。月にポーンと行って、ここはぼくの土地だ、私の土地だと言う感じではいけないんじゃないですか。宇宙意識のもとで、地球の人々が宇宙旅行できるようにもっていくと努めています。もう一つは実際のエネルギーをどう宇宙船に使ったらいいのか、未来の文明においてエネルギーをどういう風に考えていったらいいのかを話します。

横尾 それで、科学者達とか政府関係者に対する呼びかけもや

古山 ぼくに関しては、特にエネルギーの問題と宇宙旅行の重要性、それと、日本のUFO情報の紹介が主な仕事ですね。

横尾 アメリカの人達のUFOに対する関心というのはどの程度ですか？

古山 もう関心というよりももっとつこんだものですね。

横尾 宇宙意識に対する関心？

古山 そう。とても哲学的にUFOに対して興味を持っています。そこから、たとえばどんな風に自分が生きていきたいのか、宇宙の中でね。そういうことをしっかり考えています。

横尾 自分の生き方とUFOとの関係をそういった人達はどういう風にとらえているのかな？

古山 ある人は100%打ち込んでいて、ぼく達と同様な活動をしている。ある人はUFO問題に関しては半分活動して、残りの半分は個人的な方面で生活するという協力型……。この2通りあるようですね。

横尾 講演されて、人々はすぐ理解して受け入れますか？

古山 いろいろです。UFO自体には関心を持っていても、ま

横尾 シャーロットさんはどんな活動をされているんですか？

古山 アダムスキー氏が亡くなった後、彼女がシャーロット・ブロップ女史はアダムスキー氏を継いで、彼同様の活動を始めました。

横尾 同様の活動というところ、いわゆる講演会を開いて講演したり、人々に宇宙教育、UFO教育をしたりということですか？

古山 そうですね。講演会とかラジオやテレビなどを通じて人々に宇宙意識をもってもらいように活動する。アダムスキー氏は講演活動を何度もやっていています。アダムスキー氏は亡くなる前からシャーロットに自分のやってきた講演活動を任せ、彼は書物を書く方に力を注いでいたようです。講演活動には体力が必要ですからね。毎日続くと同当ハードです。シャーロット女史はアダムスキー氏が生きていた頃は彼の代弁者として、今は彼女自身宇宙問題を語るために講演を続けている。

横尾 古山さんのアメリカでの活動の主な内容というか、目的はどういったことですか？

が、ブラザースには会っている

んです。しかしながら、彼が宇宙の友だとなかなか気づけないわけなんです。いつ気がつくかが重要で、一度気づくと記憶のようなものが残って簡単にブラザースとわかるようになる。

横尾 むしろそういった非常に困惑した状態というか、不安な状態の中だったからこそ、意識が開けて、彼がブラザースだとわかったのかもしれないね。

古山 おそらく、そうでしょうね。

横尾 それからはうまくいってシャーロットさんにも会えたわけですね。

古山 ええ。彼女と話合っけてより一層この方面で活動を深めていこうと。そして人々により多くを知らせ、宇宙教育をしていかなくちやあいけないんだ！という気持を強めて、今日に至

めてスペース・ブラザースの1

人に気付いたんです。前の経験からぼくは空港でびくびくしていたんですよ。ひょいと見ると税関の入り口付近で1人の若い紳士がぼくをじっと見つめているんです。なにかものすごくぼくを心配してくれているっていう感じで：ね。それでいながら、その顔は親愛感に満ちて、だいじょうぶだ、心配するな、行けるぞって言っている風なんです。彼の方を見ていると、ぼくも自信が湧いてきて……

横尾 うまくいったんですね。

古山 すぐ、許可がおりました。

横尾 その時の不思議な人物はすぐ宇宙人だとわかりました？

古山 ええ、感じとして。

横尾 それまでに、スペース・ブラザースにお会いになったことはないんですか？

古山 会っているのかもしれないんですが、気付かなかった。誰も



アメリカでの主な活動は？

つておられるわけでしょうか？
古山 やっていますよ。3週間前に国連から帰ってきたばかりなんです。

横尾 彼等は充分理解しますか？
古山 とてもよく理解します。

横尾 たとえば、すでにUFOが宇宙から地球に飛来している、宇宙人も地球に降りてきている。我々の中にも姿を変えて存在している、生活している。そこまで理解している？
古山 理解していません。

横尾 古山さん達の話を聞いて理解したんですか？ それともそれ以前に我々の想像を絶する手の届かない組織みたいなものがあった、それによって知っているんでしょか？
古山 うーん。現段階で言えることは国連等の人達はこの問題について大変よく知っている。宇宙人が来ているということも、ある情報網からね。しかしながら、彼等もどうしたらいいのかわからないですね。

横尾 そりゃあ、わからないでしょうね。
古山 だから、我々が宇宙人はどういう目的で来ているとか、いろいろな話をして、どういう方法をとっていいのかわかるとか、何らかの協力をしたりする。

横尾 かなり具体的なところまで進んでいるんですか？
古山 はい、現在非常に重要なポイントに立っています。政府・国連関係の人達も今、とてもやる気になってる。

横尾 ほおっ！ おもしろくなりそうですね。
古山 ホワイトハウスの中にも哲学的な面においても非常に宇宙人・UFO問題に理解を持っている人がいますよ。

横尾 カーター大統領ほどの程度関心を持っていますか？
古山 当然なものですよ。UFOというものに関してはね。カーター大統領と直接話をしてる人もほく達のグループの中にいて、UFO問題については必ず大衆に知らせるとカーター大統領が言っていたと話してましたね。政府も今はとても熱心にこの問題に取り組んでいると思いますよ。

アメリカでの主な活動は？

横尾 でも、たとえば、古山さん達の運動を阻止しようとする動きは全くない？
古山 いや、あるある。

横尾 被害を受けることはありますか？
古山 被害を受けることはありませんでした？ 運動が展開しにくいとか。

横尾 やはり、ありますよ。
横尾 今度、来日されるのには妨害はありませんでした？
古山 秘密の内の行動なので、今回は全くなかった。

横尾 日本では妨害はないでしょう？
古山 全く、ないようですね。アメリカではやはり妨害活動が

あるんですよ。いろいろと。横尾 そうらしいですね。その妨害活動をやっているのは一体何者なんですか？ サイレンス・グループとか、黒衣の三人男とか言われているようだけども。
古山 多分、財閥というか、世界をコントロールしている人々に雇われた一種のギャングみたいなグループだと思いますね。

横尾 その程度のもんですか？
古山 その程度と言ってもすごいでしょ。その辺にいるチンピラじゃあないですからね。ここまで言ってもいいかどうかかわからないけど、CIAと言えはそういう暗い意味も含んでいますからね。

横尾 妨害活動をしている謎のグループもまたUFOの秘密をある意味ではUFO研究家以上によく知って研究しているわけですよな。
古山 そう、知っている。知っているからこそ、我々の運動をストップさせようとしている。

横尾 話の飛びますが、最近いろんなUFO現象が起こっていますね。アダムスキーを否定するようなもので、地球人に

宇宙人はあくまで友好的……

友好的でなく、攻撃的と思えるような宇宙人事件……。その点について古山さんはどうお考えですか？

古山 ぼくの体験ではまだ非友好的な宇宙人には一度も会ったことがない。会えばいいなと思うんですが、会えばよく理解できませんからね。ところが会えないんですよ。というところは、アダムスキー氏の本の中で言われているように、まあ95%以上は友好的な宇宙人だと思っんです。しかし、なぜそうではない事件が起きているのか。

横尾 特にアメリカに多いんじゃないですか？
古山 ええ、そうですね。ぼくは、それは宇宙人ではない宇宙人がいるからだと思っています。真実の宇宙人観をねじ曲げるために、攻撃的事件をだれかがだれかにやらせている……。

横尾 じゃあ、宇宙人ではないわけですか？
古山 そうです。それとまたこういう場合もだと思います。アダムスキー氏はほとんどの宇宙人はこの太陽系内から来て、非常に友好的だと言っていますね。これは私の体験からものはつきり肯定できます。しかし、ほんの少しはこの太陽系外から来ているんですね。だから彼等が攻撃的だとは言えないし、他の太陽系から来る宇宙人は、この太陽系の秩序を乱さないよう約

友好的でなく、攻撃的と思えるような宇宙人事件……。その点について古山さんはどうお考えですか？

古山 ぼくの体験ではまだ非友好的な宇宙人には一度も会ったことがない。会えばいいなと思うんですが、会えばよく理解できませんからね。ところが会えないんですよ。というところは、アダムスキー氏の本の中で言われているように、まあ95%以上は友好的な宇宙人だと思っんです。しかし、なぜそうではない事件が起きているのか。

横尾 特にアメリカに多いんじゃないですか？
古山 ええ、そうですね。ぼくは、それは宇宙人ではない宇宙人がいるからだと思っています。真実の宇宙人観をねじ曲げるために、攻撃的事件をだれかがだれかにやらせている……。

横尾 じゃあ、宇宙人ではないわけですか？
古山 そうです。それとまたこういう場合もだと思います。アダムスキー氏はほとんどの宇宙人はこの太陽系内から来て、非常に友好的だと言っていますね。これは私の体験からものはつきり肯定できます。しかし、ほんの少しはこの太陽系外から来ているんですね。だから彼等が攻撃的だとは言えないし、他の太陽系から来る宇宙人は、この太陽系の秩序を乱さないよう約

古山 ぼくの体験ではまだ非友好的な宇宙人には一度も会ったことがない。会えばいいなと思うんですが、会えばよく理解できませんからね。ところが会えないんですよ。というところは、アダムスキー氏の本の中で言われているように、まあ95%以上は友好的な宇宙人だと思っんです。しかし、なぜそうではない事件が起きているのか。

横尾 特にアメリカに多いんじゃないですか？
古山 ええ、そうですね。ぼくは、それは宇宙人ではない宇宙人がいるからだと思っています。真実の宇宙人観をねじ曲げるために、攻撃的事件をだれかがだれかにやらせている……。

横尾 じゃあ、宇宙人ではないわけですか？
古山 そうです。それとまたこういう場合もだと思います。アダムスキー氏はほとんどの宇宙人はこの太陽系内から来て、非常に友好的だと言っていますね。これは私の体験からものはつきり肯定できます。しかし、ほんの少しはこの太陽系外から来ているんですね。だから彼等が攻撃的だとは言えないし、他の太陽系から来る宇宙人は、この太陽系の秩序を乱さないよう約

古山 ぼくの体験ではまだ非友好的な宇宙人には一度も会ったことがない。会えばいいなと思うんですが、会えばよく理解できませんからね。ところが会えないんですよ。というところは、アダムスキー氏の本の中で言われているように、まあ95%以上は友好的な宇宙人だと思っんです。しかし、なぜそうではない事件が起きているのか。

横尾 特にアメリカに多いんじゃないですか？
古山 ええ、そうですね。ぼくは、それは宇宙人ではない宇宙人がいるからだと思っています。真実の宇宙人観をねじ曲げるために、攻撃的事件をだれかがだれかにやらせている……。



東ができていますからね。サンプルを採集したり、チェックしたり、科学的な目的で彼等はやってきているので、実際は危害を加えることはしないはずですよ。ただ、地球人をよく知らないがために、恐怖を感じさせたり、攻撃的と受け取られるような事態になったりする場合もある……ということですね。私の知っている宇宙人はあくまで友好的です。現在起きている恐怖的遭遇事件はつくられたものという気がしてならないですね。

横尾 飛行場で最初に古山さんが遭遇された宇宙人にはその後何度もお会いになっていらっしやるんですか？

古山 ええ。

横尾 どういった時に現われるんですか？

古山 予期しない時、突然です。ね。ぼくが呼んで現れるのではなく、彼等の方からやってく

る。何か指示したい時とか、我々の行動を支持するという時とかによく出会います。ぼくがある原子力の会議に参加して、今後の原子力の問題について話し合った時……ぼくは自然エネルギーについて話したんです。その会議の帰りにブラザース3人に会いました。そして、ぼく達のその会議での行動について支持していると話しました。

横尾 そのブラザース、宇宙人は特別変わった姿をしているわけではないんですか？

古山 していない。しかしながら、よく見るととても繊細な感じ、内部から磨かれた魂によって肉体全体が輝いているような感じがどの宇宙人にもあります。到底ぼくなんか到達できないような精神的波動をもっている。これは宇宙人だと会った人を見抜かなければそれまでです。もし横尾さんが宇宙人に会って、彼がスペース・ブラザースだと見抜けば彼等の態度もずっと親密に変わってくるはずですよ。

横尾 見抜けばね。見抜かない限りは全くわからない？

古山 わからない。見抜けば、その時点で魂と魂の触れ合いがあって、彼等は受け入れ態勢を

とります。彼等はいつも何かをぼく達に教えようと思っただけだからね。

横尾 そういう人物は非常に多いですか？

古山 多いですよ。ぼくも気づかない頃は、1人か2人いるのになくらいに思っていました。ね。気が付いてみると、とてもたくさんいます。アダムスキー氏が言ったように相当の数ですよ。ぼくは今までに10人ぐらいの宇宙人に会いましたね。

横尾 宇宙人はある地域に住んでいて、そこで行動しているわけですか？ それとも自由自

我々も創造主に近い……

在にどこにでも行けて、コンタクトしたい人の所へ現われるんじゃないか？

古山 両方でしょうね。彼等は自分の正体が絶対ばれないようにして我々の間にひっそりと住んでいるんです。

横尾 講演会場でブラザースに会うこともあるわけですか？

古山 ええ、よくあります。ぼく達はスペース・ブラザースの望んでいる方向に向かいたいというも思っているんで、彼等の力づけが必要です。個人的な活動をいくらしても彼等が支持してくれなければしかならない。

横尾 日本での講演会の反響はどうですか？

古山 日本人の関心がすごく高いのには驚きましたよ。ぼく達に対する質問やら、もっと深く話したいという人がどんどん押しつけてくるんです。

横尾 日本の科学者、政府関係の人達とは会われましたか？

古山 今のところ、会っていません。でも、予定はあります。ぼく達は科学者や政府関係者と攻撃し合うのではなく、協力関係をぜひとも持ちたいのです。

った時にはセンターへ電話をするように指示していますね。だから、ぼく達は直接、何か体験を持った人と話せるし、説明もできる。

横尾 アメリカにはUFO目撃者が多いんですか？

古山 多いですよ。とても多い。一晩の内にUFOを見たという電話が120件もかかってきたこともありますよ。

横尾 とところで、宇宙人は地球で何をやっているんですか。ただ我々に彼等の存在を知らせるためにUFOを見せたりするのか、それと同時に地球の異変を察知して救済しようとしているのか？

古山 全ての面で地球人に協力しようとしているんですね。地球上の問題はすべて私達で解決しなくてはならないんです。しかしながら、我々の力には限界がある。そこで、彼等は見えない所で助けてくれている。今、地球は非常に危険な状態になっている。また、この地球が破壊すると太陽系全体の破壊ともなりかねないのです。

横尾 どうして？

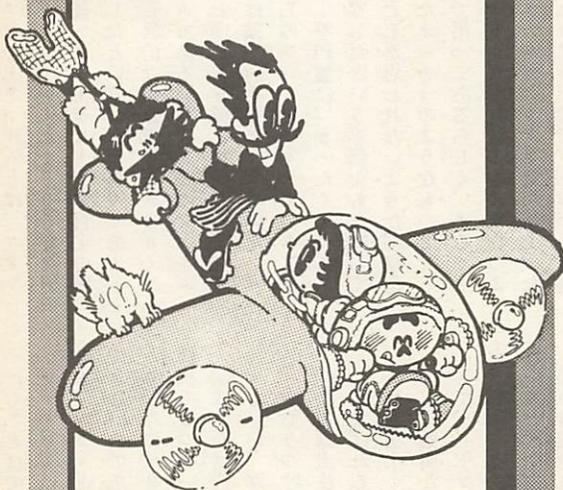
古山 原子力の問題からです。1952年にアダムスキーがオーソンという金星人に会った時

宝島

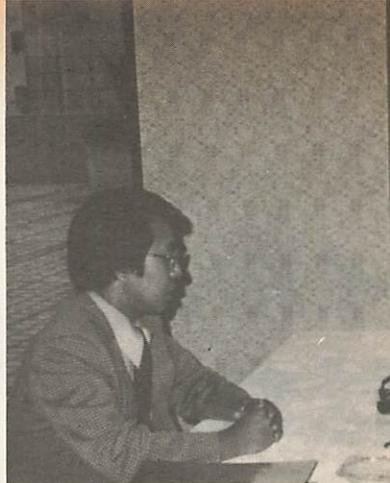
毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



〒162東京都新宿区揚場町15セントラル
・コーポラス207 電話03(268)6312



宇宙意識に目覚めてほしいノ

から核実験の危険性が警告され続けてきたんです。アダムスキはそれを至る所で述べたにもかかわらず無視されてきた。そして現在、大気異変や地軸のムーブメントの変動、地球のサイクルの乱れを起こしている…。

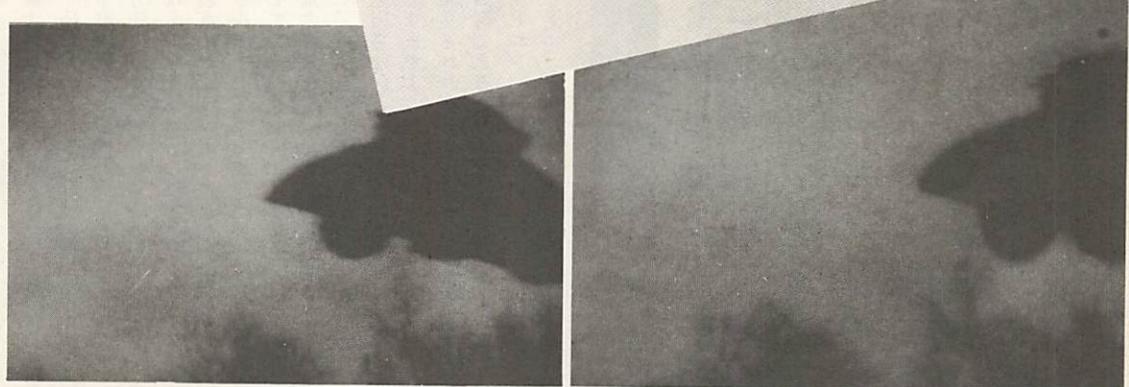
核実験はもちろんのこと、核発電もやめた方がいい。これは人体にも有害なものを出し、その処理方法すらわかっていない。そんなものを使用するのはどうかと思うでしょう。もっと自然のエネルギーを使う方法を研究推進していくべきなんです。自然を荒すことなく、自然と調和できて、エネルギーともなる方向を見出さないと今に大変なことになりますよ。自然エネルギーが開発されれば、宇宙船も自由に制御できるようになると思いますしね。

横尾 えつ、宇宙船が…？
古山 それを現在研究している
古山 宇宙船の動力は自然エネルギーでこの地球と同様の原理でつくられるわけです。ミニチュア・ブラネットの形で、宇宙旅行をする。安全で、何の苦勞もない。今の宇宙ロケットには大変な訓練を受けた特別な人しか乗れませんからね。宇宙旅行の真実が大眾に知られないことになりすよ。だれもが宇宙旅行に出かけられるようにならなくてはね。

横尾 うーん、その自然エネルギーっていうのはどうしたら得られるんでしょうね。
古山 それを現在研究している
横尾 わけなんですよ。
横尾 では、最後に古山さんがぜひ、これだけは言っておきたいということをして…。

古山 私達は今宇宙時代に生きているということなんです。宇宙の中の自分にめざめる必要がある。宇宙人がなぜこの地球へ来るかというのは、自分の内にある神に気づけ！ 自分自身を知れ！ ということで、私達はスペース・ブラザーズと同じ状態にまで到達しなければいけないんです。宇宙という非常に雄大な永遠に続く、創造主の庭みたいなものの中にいる自分を知って、一つずつ学習していく。それによって創造主に近づくことが必要なのではないでしょうか。私達は創造主の子供です。だから、人間みんなの内部には彼を知りたい、彼に戻りたいという衝動があるわけです。それには彼の創造物を通してしか、彼を学ぶことはできない。創造主の創造物はどこにあるかという宇宙全体なんです。
横尾 古山さん達は日本にいらして、各地で講演されるわけですが、ぼくはその成果を大変期待しています。
古山 どうもありがとう。

イルム はない!



ロドファー・フィルムとは、マデリン・ロドファー夫人が1965年2月26日午後、メリーランド州の自宅の庭で撮影したという、もし事実であるとすれば驚異的な実録近接UFO8ミリフィルムである。しかし、このフィルムは、いわゆる科学派と称される研究者たちには頭から相手にされていない。「これらのフィルムに写っているアダムスキー型円盤は、まったくアダムスキーが写したという写真をもとにして作ったとは思われないような、模倣としたオモチャのようなもので、それが糸で吊ってあるらしく、まるでマリオネットの人形芝居の中の乗物のようにガタガタガタガタ不器用に上ったり下ったりするだけで、ちょっと教養のある人や分別のある人が見たら、誰でもあきれてこんなものトリックにちがいないと軽蔑しそうな代物なのだ」(高梨純一『日本UFO侵略』スポニチ出版)

まず、断っておかなければならないことは、私もアダムスキーが6インチ望遠鏡で撮影したと称する、いわゆるアダムスキー型円盤および葉巻型母船の一連の写真群については、様々な理由から肯定することはできないし、また彼の体験談も信じることはできないということである。

しかしながら、ロドファー夫人の撮影した8ミリフィルムについては、高梨氏のように簡単にナンセンスときめ

つけることはできない。少なくとも、インチキ写真の作り方として知られる3大フォート・トリックでは絶対に説明できないのである。

ちなみに、3大フォート・トリックとは次の3つをいう。

①はりつけ法——グラス・ワークともいい、ガラスにUFOの絵や影を貼りつけて撮影する。

②多重露出法——いわゆる二重写しとよばれる方法である。

③吊し法——UFO模型を竹ざおなどに透明な糸で吊し撮影する。

さて、ロドファー・フィルムの場合、物体には立体感があるので①ではないことは明白である。

②の可能性はどうか? 一般に、この方法で撮影したフィルムを見ると、カメラ(つまり画面)の動きが、物体と背景に対して一致しないことが多い。

たとえば、UFOが左→右に動いているのに、バックの風景は右→左に動く——そこまで極端ではなくても非常に不自然でチグハグな仕上りになってしまっているのである。ところが、このロドファー・フィルムの場合には、そのような多重露出特有の不自然さはまったくくない。もちろん、不自然さをなくすように二重写しをすることも不可能ではないが、そのためには正確なコマ割りや算出せねばならず、当時の8ミリカメラでは事実上不可能に近い。

③の吊し法——これが反アダムスキー

新発見!!

ロドファー・フ はインチキで

日大UFO研究会副会長 岡本譲治

1のUFO研究家の間では最も有力視されている。高梨純一氏もこの説をとっているようだ。そこで私は、この意見に対して反論を加えてみたいと思う。

ロドファー・フィルムをよく見ると、驚くべきは、円盤全体が傾いている場合でも、アダムスキーいうところの「円盤の磁気柱」に相当すると思われる上部の出っ張りや底部円柱の軸線は常に地面に対して鉛直で、これは撮影の間ずっと維持されている。

さらに画面上の物体が歪むように変形するのも奇妙である。しかも、その変形は位置エネルギーと運動エネルギーの変換を示すがごとく物体の上下運動に一致し、かつ着陸ギヤの出入りの間にも相関関係がみられる。この点は、クランプの双極場推進理論にお

ける物体のコントロールに関する説明とよく一致している。

これらの事実は単に模型を吊して撮ったといういいかげんな説明を排除する。それでも否定論者は、部分可動の精巧な模型を吊したにちがいないと言いかもしれない。しかし、中央の円柱を常に鉛直に保つことはできても、フィルム上にみられる変形の法則性を実現することはほとんど不可能に近いと思われる。物体の変形は機械的動作によるものではなく、しいていうなら弾性変形のような印象を受けるのである。こういふとさらに、弾性変形をする材質で模型を作ったと反論するかもしれないが、そんな材質ではますます変形に法則性を与えることは困難になるだろうし、中央の円柱を鉛直に保つ

ような仕組みも不可能になろう。

以上のようにロドファー夫人のムービーは、3大フォトリックでは絶対に説明できない。特に、「磁気柱」の軸線が地面に対して常に鉛直であり物体が弾性的であると同時に一定の法則に基づいて運動をしているというこのフィルムに有利な最も重要な点が、アダムスキー追隨者たちによっても明確に指摘されていない。さらに、この2点を合理的に説明できる否定説も発表されてはいない。これは、肯定論者はアダムスキーを神格化し頭から信じこみ、否定論者はアダムスキーと聞くところからバカにしてろくに分析をしようともしないUFO研究の悲しむべき現状の端的な反映に他ならないのである。



特集、よみがえった「アダムスキー」

アダムスキー あらりかると

アダムスキーの体験については、いろいろの人々が様々な立場からその真実を証明しようとしてきた。ヨコスタン円盤と比較した正射影図、ハンテンパトグによる金星文字の解読などはあまりにも有名である。こうした事実を、クレイジーの一言で片付けられるだろうか。

「ストレイイス書簡事件」

ジョージ・アダムスキー教授殿

スター・ルート、バリー・センタ

1、カリフォルニア州

拝啓。しばらくの間、この手紙を個人的なものとなされ、決して国務省の公式文書としてお受け取りになりませんようお願い致します。とかく論争されているUFO問題に関して、私が申し上げることは、省内のごく一部の意見を代表しているに過ぎませんが、私のグループはUFO問題に対する政府の方針を遠慮なく批判してきたということも申し上げてもよろしいかと存じます。

私たちは、空軍がUFOの中心調査機関のごとくふるまっていることに対し、同様に批判してきました。あなた御自身の体験によってすでにおわかりのように、国務省は独自の調査を行ない、多くの妥当な結論に達することが

出来ました。あなた御自身の主張が世間でとやかく言われていることは、私たち双方が認識していることなのです

が、そのあなたの主張を証明する非常に多くの確実な証拠を国務省が保管しているということをお知りになるなら、あなたはきっとお喜びになるでしょう。

国務省としましては、確かにあなたの体験を公式に認めることは出来ませんが、あなたの活動やあなたが真剣に信じておられる知識が米国民に伝わるべく、適度にご援助することが出来ると思っております。

ワシントンに來られます折には、国務省にお立ち寄り下さって、非公式の話し合いをもたれますよう心からお願い致します。2月中にはほとんどワシントンにはいませんが、その月の最後の週までには帰るつもりであります。

R・E・ストレイイス

文化交流委員会

1957年12月6日

敬具

●以上がいわゆるストレイイス書簡の全文であるが、国務省はストレイイスなる人物も文化交流委員会なるものも存在しないと主張した。以下は「フライング・ソーサー・レビュー」誌の問い合わせに対する国務省の回答と、アダムスキーの反論で、ともに同誌第4巻4号に掲載された。

フライング・ソーサー・レビュー御中

ダウティ・ストリート 1

ロンドン WC1

拝啓。貴殿が「文化交流委員会 R

・E・ストレイイス氏」宛で出された1958年5月28日付の手紙に関して回答いたします。R・E・ストレイイスなる名前の人物は国務省に存在せず、職員名簿にも記録は見当たりません。さ

ニルス・ウィリアム・オルソン

国務省・英国・北欧連絡局

公務担当官

敬具

らにまた、国務省には「文化交流委員会」という部門も存在しません。何者かが官用箋を不正に入手して、アダムスキー教授宛の手紙に署名したという可能性がないか、目下調査中です。ご承知と存じますが、国務省は「未確認飛行物体」「空飛ぶ円盤」「宇宙からの来訪者」などの現象に関して、なら特別な情報は有しておりません。これらの件に関しては、今後、空軍省にお問い合わせされたく存じます。

1958年6月10日

……ストレイイス書簡を公表する前に私はこの書簡の出所の正しさを徹底的に調べました。その当時、私はストレイイス氏が国務省の職員で、彼の仕事があのような性質（スパイ活動？）を帯びているため、彼の氏名が国務省の公式人名簿に載っていないのだという、はつきりとした証言を得ました。しかしながら、私がストレイイス書簡を公表して以来、あきらかにこの情報提供者に圧力がかかって、彼は言明を撤回しました。……

文化交流委員会の存在が否定されたことは、まことに当惑にたえません。その活動は国際的に知られているからです。親善で海外旅行するアメリカ代

Prof. George Adamski
Star Route,
Valley Center
California

My Dear Professor:

For the time being, let us consider this a personal letter and not to be construed as an official communication of the Department. I speak on behalf of only a part of our people here in regard to the controversial matter of the UFO, but I might add that my group has been outspoken in its criticism of official policy.

We have also criticized the self-assumed role of our Air Force in usurping the role of chief investigating agency on the UFO. Your own experiences will lead you to know already that the Department has done its own research and has been able to arrive at a number of sound conclusions. It will no doubt please you to know that the Department has on file a great deal of confirmatory evidence bearing out your own claims, which, as both of us must realize, are controversial, and have been disputed generally.

While certainly the Department cannot publicly confirm your experiences, it can, I believe, with propriety, encourage your work and your communication of what you sincerely believe should be told to our American public.

In the event you are in Washington, I do hope that you will stop by for an informal talk. I expect to be away from Washington during the most of February, but should return by the last week in that month.

Sincerely,

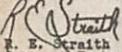

R. E. Straith
Cultural Exchange Committee
RJS/me

EXHIBIT I

論議的となったストレイス書簡

最近、私がワシントンの通信員から聞いたところによると、ストレイス書簡のレターヘッドは、何万枚とある白紙に国璽を押したものとわかったそうです。私には信じられません。確かに、国璽がレターヘッドに同じ色で刷られていれば、一回の印刷作業でできるでしょうし、これまで私が政府から受け取ったレターヘッドでは、国璽が青で印刷されてきました。しかし、私がストレイス氏から受け取った手紙は、国璽が用箋に押されていて色はついていません。この件に関して私を訪ねてきた國務省の代表者は、白紙に国璽を押すことは決してないと認めています。しっかり覚えておいてください。我が国の最高の公文書には国璽が押されているのです。

式の認可としての重みを持たなくなり、また、これは他国との交渉にも影響を及ぼす重大な事柄ですので、政府首脳が関心を持ってしかるべきです。もし国璽を不正使用している者がいるのなら、その人物をつきとめ、明らかにすべきです。

したがって、もし政府職員と認められる人が、国璽は本来の価値を失い、国璽を押したレターヘッドを誰でも自由に使えるようになったと通告してくだされば、その手紙を写真に撮って、ストレイス書簡のコピーを配布した人々に郵送しましょう。

表団がビザを入手するのはこの委員会を通じてですし、他の国の同様のグループも訪米の手続きをしています。まさにその名の通り、諸国間の文化交流に携わっているのです。……文化交流計画については、電波や印刷物によって広く報道されています。例えば、英米両国の新聞は、……ホープ・ホープが最近の訪ソのビザを文化交流を通して得たと報じています。……なんらかの「計画」の編成は、普通グループによって扱われます。アメリカでは、こうしたグループは「委員会」と呼ばれる慣しです。ストレイス氏は自分が文化交流委員会のものだと述べています。

簡のレターヘッドは、何万枚とある白紙に国璽を押したものとわかったそうです。私には信じられません。確かに、国璽がレターヘッドに同じ色で刷られていれば、一回の印刷作業でできるでしょうし、これまで私が政府から受け取ったレターヘッドでは、国璽が青で印刷されてきました。しかし、私がストレイス氏から受け取った手紙は、国璽が用箋に押されていて色はついていません。この件に関して私を訪ねてきた國務省の代表者は、白紙に国璽を押すことは決してないと認めています。しっかり覚えておいてください。我が国の最高の公文書には国璽が押されているのです。

式の認可としての重みを持たなくなり、また、これは他国との交渉にも影響を及ぼす重大な事柄ですので、政府首脳が関心を持ってしかるべきです。もし国璽を不正使用している者がいるのなら、その人物をつきとめ、明らかにすべきです。

したがって、もし政府職員と認められる人が、国璽は本来の価値を失い、国璽を押したレターヘッドを誰でも自由に使えるようになったと通告してくだされば、その手紙を写真に撮って、ストレイス書簡のコピーを配布した人々に郵送しましょう。

ユング博士も認めた

コンタクト・ストーリー、なかでも人間の乗員が出てくるものは真実と認められない。ユング博士は私にこう語った。彼が私の持っている最良の写真を見る前に論争したくなかったので、私はジョージ・アダムスキーの写真を伏せておいた。でもユングの態度が本当に客観的で公正だったので、しばらくしてから、これらの写真を見せられえないかと頼みやすかった。彼はすこしためらってから承諾したが、本当に関心があるからというより、私を喜ばせようとしてのように思えた。(彼は、キーホーがある著書の中でアダムスキーの性格や背景についておこなっている辛辣な、実は偽りの描写に再三言及している)そこで私は彼の前に写真を広げ、何も言わずに黙っていた。再び、彼の顔から笑みが消えるのがわかった。アダムスキーの写真は、モングッチの写真と同じ熱心さと誠実さで検討された。彼は、やはり大変長い時間をかけた。突然、驚いたことに彼は写真

最高に美しいとお考えですか」と私は尋ねた。「なるほど。そういう風に考えたことはなかったよ」……

数カ月後、私はアグネス・サンボーン夫人の素晴らしいカラー写真を携え、再びユング博士の家を訪ねた。この写真を見て彼は心から驚き、直ちにその物体がアダムスキー型に類似してい

アダムスキーとグレン中佐

しかし1954年に彼が私に話したある驚くべき事が発生していた。これはパンアレン帯が発見されるより以前

のことである。しかも最初の宇宙飛行士が人工の宇宙船に乗って地球の周囲を回ったときよりもはるか以前のことなのだ。UFOに乗って宇宙飛行をしているあいだに彼が見たり聞かされたりしたことについて、後に出した書物 *Inside the Space Ships* (空飛ぶ円盤同乗記) に述べてあるように、彼は次のように説明したのである。

(1) 地球をとり巻く放射能帯がある。
(数年後にこれは発見されてパンアレン帯と名づけられた)

(2) (後にグレン中佐が見た) 宇宙空間の「ホタル火」。

(3) 成層圏の上に奇妙な現象があった。UFOが輝く光の帯の中に突入したとアダムスキーは言った。これが何なのかは彼にはわからない。キャビンの窓から観察したと言うだけで、

と認めた。……

(ここに一部を抜粋した「ユング博士との会話」は、『フライング・ソーサー・レビュー』誌第9巻4号に掲載されたもの。聞き手はスイスの有名なUFO研究者ルー・チンシュターク女史である。なお、ユング博士は彼女の母親のいとこにあたる。)

何なのだろうといぶかっていた。

この不思議な「暗黒中の輝き」現象は後に数度の機会にアメリカの宇宙飛行士たちによって報告されている。ジエミニ6号の飛行中にシラーは「宇宙飛行中の最大の驚きだ」と言っている。クーバーもマキユリー9号の飛行中に同じような光る帯を観察している。最近では宇宙飛行士カニガムもクーバーの目撃を確かめようとして、この奇妙な光帯を見ている。コンドン報告でフランクリン・ローチがこれらの目撃について概要を説明している。

(4) 1969年の終わりまでは、アステロイド帯、すなわち太陽と木星・火星のあいだを回る小物体の輪は、爆発した惑星の残骸だと信じられていた。ところが1954年にアダムスキーは「連う」と主張した。彼の「訪問者たち」が彼に話したところ

によると、爆発した残骸どころか、

これは実際には発達中の一惑星であって、いつかは合体して一天体となり、最後は未来の生命体の住家になるのだという。わずか数週間前に宇宙飛行士たちはこれと同じ結論に達している。かなりの力を伴って惑星が爆発し、粉々に砕け散ったとすれば

片は遠方で飛び散るはを中心とする薄い輪の形だろうかというのだ。アダムスキーはもっと詳しく説明し、

海王星と冥王星とのあいだにも第2のアステロイド帯があることを予言した。彼の「訪問者たち」は冥王星のはるか外側に3個の惑星があつて、全部で12個になるのだと話した(これら3個は未発見である)。しかもこの外側にも更に第3のアステロイド帯が存在して、これが我々の太陽系内の空間と隣接する他の太陽系群の空間と混合させるといふ二重の役目を果たすというのである。

その他の言及

かつてハーバード大学の天文台長を勤めたこともある天文・天体物理学者のドナルド・H・メンゼル教授は、UFOというのは正体が判明している物体や現象を見あやまったものか、もしくは誰かが何らかの理由でたくらんだ全くの悪ふざけだということを実証す

最初の否定的言明は確認された。

たぶん1970年後半に計画されているファンタスティックな10年間の玉つきボール式惑星をめぐり宇宙飛行が再度彼の説の正しさを証明するだろうか?

そこで疑問が起こってくる。パロマー1山に住む、世をのがれた一カリフォルニア人が、自分の眼で実際に見たこともなく、または宇宙飛行士から進んだ情報を与えられなかったとすれば、一体彼は1953年にどうしてこのような事柄を知ったのか、ということだ。当時の宇宙飛行士といえはおおやけには存在しなかったUFOのパイロットだけである。運のよい推測だったのか? アダムスキーは気晴らしに多数の「運のよい推測」をやった、というのか。

(デスモンド・レスリー「アダムスキーに関するコメント」、『JGA P ニューズレター』No.56に掲載)

るために非常に骨を折り、300ページもある書物を著している。彼はその本の204ページで、アダムスキーはヒヨコの保育器を一定の条件の下で撮影して彼の写真を作り上げたに違いないうとして、それをどういう風におこなったかを示そうと試みている。しかし

これには、どうにも克服できない非常に大きな弱点がある。MGM映画スタジオの特撮研究所でアダムスキーの写真を研究したところ、次の事実が判明したのである。たしかに模型を製作して、適当な位置に置くことはできる。

また、照明効果も同じようにまねることが可能である。だが、距離効果だけは正確に再現できなかった。模型をスクリーン上に映したのでは、現実の場合のように遠方が灰色がかかる効果を十分に得られなかったのである。

(ウェンデル・ステイブンス「ベル型UFO」・『エンシユント・アストロノーツ』1978年1月号掲載)

＊

●全米科学向上協会および全米原子力協会のメンバー、ジェームズ・マツキャンベル氏は、その著書『ユーフォロジ』(1976)の中で、2カ所にわたって次のように述べている。なお、同氏はビッグ・プロジェクト

クトのプランニングおよび運営の専門家で、外国の経済開発計画、NASAの実験施設、原子力発電所などのプロジェクトに携わっている。

1951年にデンマークで起きた事件を除けば、……大型ヒューマノイド

とのすべての遭遇のうち、まっ先にくるのがカリフォルニアの砂漠での出来事である。1952年11月20日の真昼間に、目撃者は異星の人と差し向かいで会っている。……つまり、1952年から1968年までに少なくとも83件は目撃されている普通サイズのUFO搭乗員の描写を合成すると、この分類に該当する生物のイメージは、先的事件の目撃者ジョージ・アダムスキーが述べたことを確認しているのである。

目撃者としてのジョージ・アダムスキーは、過去20年間に世界中で起きた相互に無関係な無数の事件に先んじて

いるので、彼が自分の観察を正確に述べているか、あるいは現代の最高の予言者かのいずれかである。彼の記述の他の部分についても、UFOの情報として詳細に調べるに値するであろう。

＊

以下はオメ教授が私に持てた手紙からいくつかの要点を抜き出したものである。『私は、古代世界に関する現在の理論のほとんどを論破することになるでしょうが、アダムスキーが偽りだという事実はまったく見つかりませんでした。古代の地球人が金星をはじめ宇宙のどこでも好きなところへ行けたと、私は確信しています。現在、地球の人々が行っていることから判断すれば、どうして金星人や他の惑星の人々が来訪しなかったといえるでしょう。私は自分の著書を出版する前にアダムスキーの本を読み、同一の象形文字が違った順序で並んでいるのを見つけてびっくりしました。完全に同一なのは

楕円形だけです。他の象形文字は私が探査中に発見したのですが、あちこちに散在していました。これと同じ象形文字をアマゾン地域で見つけたことを示すため、楕円の周囲に配列したのです。岩に深く刻まれた文字が他と同様に風化しているので、1万年は経過しているでしょう。もっと古く、2万年から3万年経っているかもしれない。私は空飛ぶ円盤に関心はありません。……しかし、もしそれが存在するならば、かつて飛行の知識を持つ文明があり、原爆も知っていて、その結果、完全に滅亡してしまっただけということを実証できます。オメ教授はこう言っている。……金星人は、地球最古の文明が私たちより知識があったことを示そうとしただけかもしれない。

(ヒューベルト・マルサナー「オメ教授とアダムスキーの象形文字」・『フライング・ソーサー・レビュー』誌第8巻6号に掲載)

組立簡単、三点セット(座禅用、横臥用、実験用) ¥四、九〇〇

驚異のピラミッドハウス

四角錐の中に謎の力がある

発売一年 全国より大反響



各種ピラミッドハウス 鉄製、メッキ、組立簡単

- 大(座禅用) 長サ 160cm
- 中(横臥用) 長サ 80cm
- 小(実験用) 長サ 25cm

付属品 コンパス、グランドシート

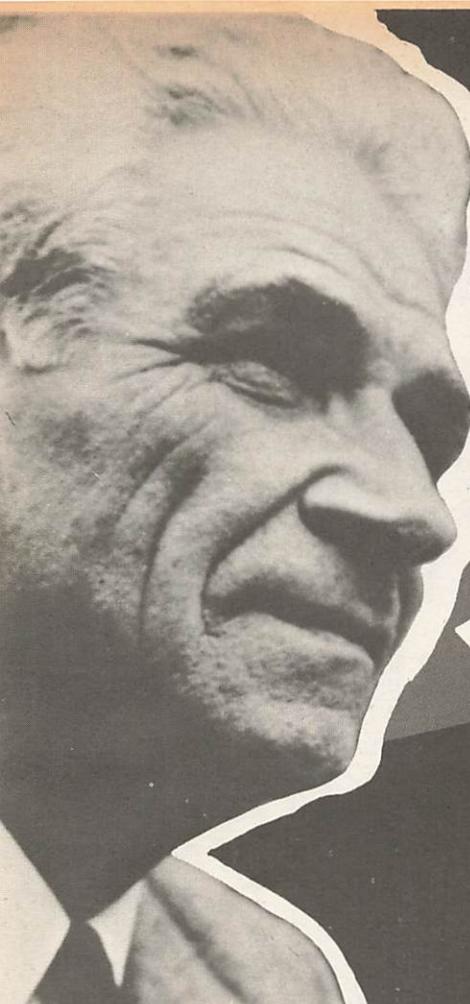
	鉄製	アルミ製	送料
3点セット(大・中・小)	¥4,900	¥6,900	¥600
2点セット(大・中)	¥4,400	¥6,400	¥600
実験用のみ(小)	¥2,000	¥3,000	¥500

住所、氏名、品名をハッキリ書いて現金書留でご注文下さい。

〒144 東京都大田区西糀谷4-29-3-5

東京メールサービス

☎03(744)7624(カタログ、切手200円)



本邦初公開
特集 よみがえったアダムスキー

アダムスキー インタビュー

シュピーゲル誌

1959年、ジョージ・アダムスキーは世界講演旅行に出かけ、途中5月29日、ドイツの有力週刊誌シュピーゲルのインタビューに応じた。これはその邦訳である。

金星人と遭遇

——アダムスキーさん、あなたは金星人と会見したということですが。

アダムスキー 私は金星人と会いました。

——金星人以外の惑星人ともですか。

アダムスキー ええ、一度だけですが。彼らは同じ宇宙船にいました。

——さまざまな惑星人が同一の宇宙船に同乗していたことをどのように考えればいいのでしょうか。

アダムスキー 連邦制の合衆国と同じような組織をもっていて、その下で活動しているようです。地球を除き、この太陽系のすべての惑星は連合体として統一されていると思います。

——あなたは惑星人に会った唯一の人ですか。

アダムスキー とんでもない。他にもいます。

——われわれは金星人と会ったといっている人物をあなた以外には知りませんが。

アダムスキー いいえ、多くの人たちが金星人と会ったと主張しています。——あなたのように真実を体験している人はそのように主張している人の中にはいないと思いますが、ただそのように語っているだけではないでしょう

か。

アダムスキー そうです。そのように主張しているだけです。私の体験報告も一つの主張なのです。

——あなたが最初に宇宙人とコンタクトしたときの模様を詳しく話していただけませんか。

アダムスキー 最初のコンタクトは1952年11月20日に発生しました。カリフォルニア砂漠で飛行物体(UFO)を撮影しようとしたときですが、同行者は友人のウィリアムスン夫妻、それに私の秘書と女流芸術家のウェルズ夫人でした。全員で7名でした。事件は午後1時に起こったのです。

——まっ昼間に発生したのですか。

アダムスキー そうです、白昼にです。望遠鏡と写真機を設置しようとしたのです。空は美しく快晴でした。その時、一機の双発機が飛んで来るのが確認されました。やがてそれが地平線へ隠れようとしたとき、われわれは上空に翼のない巨大な葉巻型宇宙船を見ました。それは銀色に輝いていて音もなくこちらの方へ近づいて来ました。そしてわれわれも、その宇宙船が頭上へやって来るまで少し砂漠の方へ足を踏み入れてみました。私は自分の写真器具の包みを開き、ほかの人たちには遠くで様子を観察するように命じました。

その大きな宇宙船は消え去りましたが、5分後にすばらしい小型乗物が現

金星人は 我々と 変わらない

れて、私のところからおよそ800メートルの砂漠に着陸したのです。

——それでどうしましたか。

アダムスキー——できるだけすばやく写真を撮りました。しかし円盤はすぐさまぶしい光を残して飛び去りました。と同時に、2、3機の飛行機がこちらへ向かって来ました。円盤はあきらかにそれらの飛行機をさけて母船へ戻ったのです。

私に目くばせしたので、私は用心深くなりしました。

——その人の様子はどうでしたか。

アダムスキー——そうですね。われわれと殆んど変わりありません。皆さんも彼と同様に見えるでしょう。

——われわれはそうではなかった。

アダムスキー——まったくわれわれと変わりありませんよ。

——彼は中央ヨーロッパ人のようでしたか。黒人とかインド人とかエスキモー人のようではなかったのですか。

アダムスキー——まあ、頬骨はいくぶん高かったようです。少しばかり背が低かったように思います。

——ストラプタイプでしょうか。

アダムスキー——それは何ですか。

——ほら、ポーランド人やロシア人のたぐいです。

アダムスキー——頬骨は普通より少々高かったようです。それに彼は額も高かったですよ。

——髪はどんな色でしたか。髪型は？
アダムスキー——砂色で幾分赤味がかっていました。長髪で肩の下まで垂れ下がっていました。

——肩の下まで？

アダムスキー——ええ、でもそれは別に目新しいことではありません。カリ

フォルニア砂漠ではそういう髪型をした人がたくさんいます。というのは、調

髪してくれる理髪店がその辺には少ないからです。

——服装について

アダムスキー——着ていたものは、最初はそれが上下1枚の服だと思いましたが、

実際には上下それぞれ別の部分から成っていました。幅広いベルトをしめていましたが、服はチョコレートのような茶色でした。上の方はピシッとひきしまつて、高く折っている立ちエリのついたかなり幅の広い上着で、そでは広く長くて手の部分がせまくなっています。ズボンはかなり幅広くくるぶしのあたりをベルトでしばっていました。全体がパイロット用のコンビネーション・スーツのようでしたが唯一の相違点といえば、靴ひもがかかるところについていたことでしょうか。

——それは面白いですね。その理由を彼はあなたに語りましたか。

アダムスキー——いいえ。私はその足跡を持っていきます。とにかく私は彼が金

星人だとわかったのです。

——それはどうしてですか。

アダムスキー——まず私は太陽を中心に円を描きました。それから円軌道1番目に水星を描きました。2番目に金星です。それから3番目、このときわれわれの地球を指しました。彼はといえば、無言のように笑って太陽を指し、一つの円軌道を描きました。2番目の円軌道を描いたとき、彼は自分とその円軌道を示したのです。

——ああ、それでただちに彼が金星からやって来たことがわかったわけですね。

アダムスキー——私は「あなたは金星人ですか？」とたずねました。2度くり返したら、彼ははつきりした英語で、「金星人」と答えました。——彼が英語を知っていたのはすばらしい。



アダムスキーがコンタクトした現場付近



金星人の足跡のそばに立つアダムスキー

アダムスキー― 私もそう思いました。2度目に会ったときに、彼が上手に英語を話しているのが確認できました。彼が最初英語を話さなかった理由は、後でわかったのですが、彼とわれわれの惑星間での意志伝達方法をわれわれが身につけていなかったという簡単なことでした。

―うーん。

アダムスキー― 彼がいうには、唯一の意志伝達方法はテレパシーであり、私が彼の使命を正しく感じたかどうか確証をつかみなかった、ということでした。それで故意に英語を話さなかったのです。

―ところで、金星人が中部ヨーロッパ人と大差ないことを知ってあなたはショックを受けませんでしたか。

一般的に宇宙人は、緑色の血液と20個の目玉と12本の腕を持った、幾分巨大なカタツムリのように見えると宇宙文学の空想科学小説は描いていますからねえ。

アダムスキー― それは病理的空想から生まれただものであることを私は知っています。

われわれでさえ、ハエと象を組み合わせて怪物を作り出すことができませぬ。だが、自然界においてはそんなことは起こらない。それで、私が1人の男に気づき、彼が宇宙からの訪問者であるを知っても、私はまったく悩みませんでした。

謎の金属と 宇宙文字

いつもきまわって何かを話せば証拠を出せというんです。

アダムスキー― 彼から金属を1個もらいました。彼はそれを投げてよこしました。宇宙船の修理が終わったのでその金属を土の上に投げたのです。それを捨ったら彼は笑って「あなたはそれを持っていくのか」といいました。そこで私は「君たちの惑星からのものだからこの地球の物質とは多分ちがっているだろう」と答えました。すると彼は「いや、そうではない」といいました。しかし私は「ひょっとしたら君たちの合金はもっと良質のものかも知れない」と話しました。すると彼は笑ったのです。

―あなたはその金属を分析しましたか。

アダムスキー― 私はそれを政府関係の仕事をしている人たちに渡しました。しかし、まだその結果を通知してきてい

―あなた
は彼から何かブレゼントをされましたか。科学者がどう
いう人種かよくご存知
でしょう。

―あなた
は彼から何
かブレゼン
トをされま
したか。科
学者がどう
いう人種か
よくご存知
でしょう。

―あなたはそれが何であるか
まだ知らないわけですね。

アダムスキー― ええ、誰も知らないはずですよ。というのは、まだこの地球上で探し出されていない2つの元素がその中でみつかったからです。

―それからどうしましたか。

アダムスキー― 金星人は「写真版の1枚が欲しい」といいました。

―彼は贈りものが欲しかったわけですか。

アダムスキー― 12月13日に彼は私の家

へその写真版を投げ落としました。私は望遠鏡をのぞいて写真を撮ったのです。すると彼はその版を私の家へ投げ落としましたのです。

―どのくらいの高さからですか。

アダムスキー― 約300メートルからでした。その版を写真屋に現像させたら象形文字が写っていたのです。

―それは読めましたか。

アダムスキー― いいえ。しかし、じきに解読されました。

―その意味は？

アダムスキー― すべて技術的なことです。どのようにすれば宇宙船が作れるかというものです。

―円盤の人々が写真版をあなたのところに投げてからあととはどうなりましたか。その後、さらに接触が行なわれませんか。

アダムスキー― ええ。私は彼らと月の周りを回りました。

―それは面白い。

アダムスキー― そのとき、月から約5万キロ離れていました。

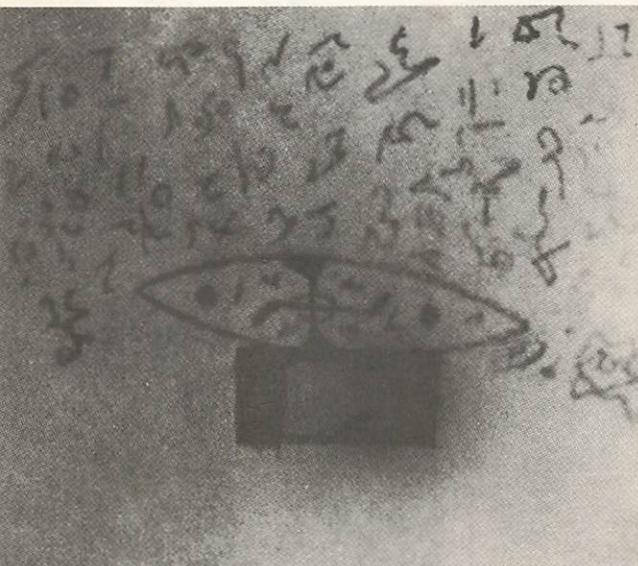
―金星人がこの種の旅行にとくにあなたを選んだのはなぜでしょうか。

アダムスキー― 私だけではありませぬ。ほかの人々もすでに招かれていました。

金星人のメッセージ

金星人がこの種の旅行にとくにあなたを選んだのはなぜでしょうか。

アダムスキー― 私だけではありませぬ。ほかの人々もすでに招かれていました。



たとえば、あとでアメリカのタイム誌に自分の体験を報告したブラジルのカトリックの大学教授などです。

——その月旅行はどのようなものでしたか。

アダムスキー おわかりでしょうが、これはまったく驚くべきことでした。彼らは「旅行したいと思いませんか」といいました。そこで私は「それはうれいことですよ」と答えました。

——あなたは荷物を持っていませんでした。歯ブラシさえも——

アダムスキー ええ、持っていませんでした。突然彼が「月のまわりを一周しますよ」と話しました。

——あなたはいつも英語をしゃべったのですか。

アダムスキー そうです。またあるときには私は彼らとポーランド語で話しましたが、私自身はほんの12、13語くらいしか知りませんでした。

——金星人のポーランド語はわかりましたか。

アダムスキー はい。彼らは私よりうまくポーランド語を話すので、私ははずかしい思いをしました。とにかく我々は月のまわりを半周していました。

——宇宙船の中はどのような感じでしたか。

アダムスキー あらゆる種類の機械装置がありました。もちろんそれは小さな宇宙船でしたからそんなに多くの機械装置はありませんでした。

——円盤はどのように操作されていたか。

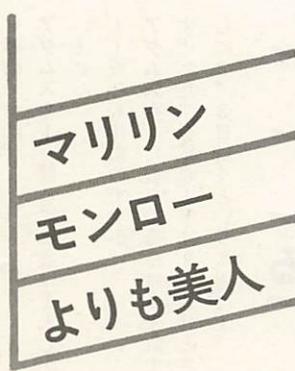
アダムスキー すべて電磁式です。

——何人乗っていましたか。

アダムスキー 私を乗せた小さな方は2人、あとで小型円盤が入っていった大きな母船には少なくとも30人はいました。

——男だけですか、それとも——

アダムスキー 男と女です。



——女性はどうな感じでしたか。とくに興味があります。

アダムスキー とてもすばらしい方たちです。

——手がかりとしてこの地球上の美の象徴と比較できるものがあるでしょうか。マリリン・モンローやブリジット・バルドーやロミー・シュナイダーのように見えたとか。

アダムスキー ロミー・シュナイダーとは誰のことですか。

——それはけっこうです。マリリン・モンローならご存知でしょう。

アダムスキー ああ、モンローは彼女たちと較べたら氷のかたまりですよ。彼女たちはもつとくたたくがなく、また華美で顔にしろもありませんでした。なめらかな皮膚をしており、化粧品をまったく使っておりません。

——どんな服装をしていましたか。

アダムスキー 宇宙船内で働いているときは普通の飛行制服を着ています。そのほかの場合にはわれわれの服装と同じようにさまざまなスタイルの服を着ています。

——あなたは彼女たちと話しました？

アダムスキー ええ。2、3人は操縦士で、ほかの人たちは別の機械装置を操作していました。彼女たちは大きい操縦席に座ってその辺のボタンを押していました。

——アダムスキーさん、あなたは宇宙飛行服を身につけてみましたか。

アダムスキー いいえ、宇宙船には圧力服がありましたが……。

——外を見ることはできましたか。

アダムスキー はい。

——何か見えましたか。

アダムスキー 小窓から外を見ると宇宙が見え、いたるところ星ばかりでした。

——宇宙はどんな風でしたか。

アダムスキー まっ暗闇でした。

——きたないということですか。

アダムスキー いいえ、それは美しくすばらしいものでした。そうですね、光を放しながら夜空をとぼはたるをこ

らんになったことがあるでしょう。

——ええ。

アダムスキー ちょうど、あんなふうに見えました。

——月は見ましたか。

アダムスキー 肉眼では見ませんでしたが、望遠鏡のような働きをする装置が宇宙船上にあり、そこで月の向こう側を見たとき……

——それで？

アダムスキー そこでは月は我々がふだん見ている側とはまったく異なっています。こちら側は不毛でしょう。ところが向こう側には緑があります。

——それは初めて聞きますね。

アダムスキー そこには緑があり、また家もあります。

——そうすると、我々はいつもの偽りの側面しか見ていないのですね。

アダムスキー そうです。

——では、月には空気もありますね。

アダムスキー もちろんです。また別の惑星についても同じです。

——あなたの乗った円盤にはどの惑星から来た人々がいましたか。

アダムスキー 私が個人的に知っているのは土星、金星と火星からやって来た人です。

——海王星、冥王星、天王星、それに水星からの人はいなかったのですね。

アダムスキー 他の筋からの報告にもありますように、別の人々は海王星、木星、天王星の人々と接触したはずで

す。しかし、私は水星と冥王星については報告を聞いていません。

——金星の生活条件を話して下さい。

アダムスキー——雲がたえまなく作られるので熱帯風です。

——温室の中にいるようですか。

アダムスキー——いやそんなに熱くはありません。

——そこには都市がありますか。

アダムスキー——美しい都市があります。——金星人は自分たちの生活をどのように支えていますか。

アダムスキー——すべて自動化しているので毎日2時間働きます。

——それはうらやましい限りだ。金星の人口は——

アダムスキー——15億人です。

——火星人の身長は金星人と同じくらいですか。

アダムスキー——火星の方が小さいです。金星人は1・65メートルでもっとも大きい方です。土星人は1・8メートル以上あります。

——何を食べていますか。

アダムスキー——彼らは食料となるものを知っています。私が宇宙船内で食べた果物でリンゴのようなものがありました。いくぶんリンゴとは違った味のする果物ですが。

——金星ではバターは知られていますか。

アダムスキー——ええ、ミルクなどもあります。

——じゃあ牛も？

アダムスキー——もちろん。つまり我々との差はドイツとアメリカ以上には何もありません。

——たしかに大きな差があります。

アダムスキー——大差はありません。

——金星人は結婚生活というものを知っていますか。

アダムスキー——我々のような形式では知りません。彼らは我々より高度に発達しているので一度結婚生活を決めるともう離婚しません。

——地球でもイタリヤなどではそうです。彼らは一夫一婦制ですか、それとも雑婚ですか。

アダムスキー——彼らには妻は1人しかいません。

——彼らも死ぬのですか。

アダムスキー——彼らの寿命は1千歳です。ただ、金星の1年は260日とさらに2、3日続くという事です。

著名な 科学者を 円盤に乗せる

——あなたは他の人々のために、たとえば我々のためにこのような旅行を手配していただくわけにはいきませんか。

か。

アダムスキー——それはできません。手配は金星人のみが行ないます。ところで、彼らが私にこのような旅行のひとつに科学者を2人、それも著名な科学者で政府に影響力のある人を連れて来るように命じたときには非常に驚きました。

——それであなたは彼らを連れて行ったのですか。

アダムスキー——そうです、連れて行きました。

——その科学者はその後何かいいましたか。

アダムスキー——もちろん、自分たちの見たもの、すなわちすべての機械装置に大変驚いていました。

——宇宙からの訪問者は何か意図をもっているのですか。なぜ地球を訪れたのですか。

アダムスキー——我々の地球は今変化を体験しつつあります。したがって地球物理学上の年齢があります。太陽系のある惑星の変化が科学的な観点から彼らの興味をそそり、それを調べるために地球へ来たのです。

——彼らはマンハッタンにでも着陸して自分たちが誰であるかを示せたのではありませんか。

アダムスキー——いやだめです。必ずパニックが発生します。今日、人々は何のことがわからないのでそれを恐れています。

——地球はどのくらい前から彼らに観察されていたのですか。

アダムスキー——聖書以前の時代からです。地球に宇宙からの訪問者たちが住んでいたという根拠さえあります。

——地球人も宇宙船乗組員の先祖から成っているのですか。

アダムスキー——まったくその通りです。創世記では神の子が天から来たといっています。

——金星人がアメリカ合衆国にのみ着陸しているのは不思議です。ヨーロッパ人に対してなにか考えを持っているのですか。

アダムスキー——とんでもない。着陸はいたるところで要請されました。たいの政府は金星人に直接通知したと思いません。

——金星人とは、実際はアメリカ人を混乱におとし入れようとしているロシア人ではないのでしょうか。

アダムスキー——いいえ、そうではありません。5年前に宇宙船の一群がウラジオストック上空に現れたとき、ロシア人自身も死ぬほど驚きました。

——しかし、これまであなたがこれらの人々のことを語ってきたところから判断すると、突出した頬骨、茶色の上つぱり、ポーランド語の知識等々、やつぱりロシア人ではないかと思われるふしが多分にあるようです。

アダムスキー——ぜったいに違います。さもなければ、彼らは我々とシユネー

オランダ女王 との会見

プでトランプ遊びをしないでしょ。ロシア人ではありませんよ。

——そう簡

単には信じ

られません

よ。

アダムスキ

——いいで

すか。私は

ユリアナ女

王、夫君、

4人の男、空軍将校と話をし、私は今みなさんに話したと同じことを彼らにも話したのです。月の向こう側に緑があり、月は火山ではないととにかく彼らにいいました。そうすると次の日にはBBC放送が月は火山ではないだろ

うとの声明を発表しました。——それでユリアナ女王は何といわれましたか。あなたの説明に大変驚かれましたでしょうか。

アダムスキー はい、でも、空軍中尉は疑っていました。みんないつもそうなのです。

——さまよえるオランダ人というわけですか。

アダムスキー 私の今までいってきたことは彼らの気に入らなかった。彼らはそのことでは何もいわなかった。しかし、女王、ベルンハルト殿下、それに殿下と私の間に座っていた男——名前を忘れましたが——はこの問題に興味を示したなんてものじゃなかった。

彼らは強い関心、ほとんど興奮状態の関心を示したのです。

——はあ。

アダムスキー ——そして我々が謁見のあとで別れの握手を交したとき、誰が私の報告を受け入れ誰が受け入れなかったか、また誰が正直で誰が正直でないか簡単に分かりました。さらに申し上げるならば、私は女王には空飛ぶ円盤についてはほとんど話さなかったのです。あれは新聞のいつわりの報道です。我々はおもに、宇宙と宇宙に生きている人類にとって、将来が何を提供してくれるかについて語り合いました。

——その際、あなたは自分の体験を主張できたのですか。

アダムスキー その通りです。しかし大部分の時間は、宇宙に向かおうとしている人類の将来は何をもたらすかという方向に傾けられました。その件で何を決定するかを知るの是一国の元首にとつて論理的な事柄であると信じています。

——当然ですね。必要なことです。

アダムスキー いいですか。女王は金星人自体には興味を持ちませんでしたが、彼女がその件で何か考えがあったかどうか私にはいえませんが、少なくとも私はそれを女王に伝える状態にありました。我々が宇宙へ第一歩を踏み出したときに何を期待すべきかについて、女王は大変興味を持ったのです。

——では我々が何を期待すべきか、話

してくれませんか。

アダムスキー 非常

に見込みがありま

す。というのは、人

類がもう宇宙の概念

を考えているのな

ら、この地球上の争

いごとを忘れるだろ

うからです。我々が

自分たちの太陽系を

研究し、惑星から惑

星へ旅立って行け

ば、我々もつと平

和になるだろうから

です。いいかえれば、

次の千年間に我々に

福祉と経済的安定を

提供する将来を予期しているわけ

です。すべての戦争が経済的理由で発生

しているのです、そうならばもはや戦争

はなくなるでしょう。宇宙人は我々を

援助してくれるでしょう。

——金星の友人たちは我々が直面して

いる政治的困難を知っていますか。

アダムスキー 彼らは正確に決定すべ

きことを知っています。核兵器を我々

が空中で爆発させないようあらゆる予

防手段をとるよう彼らは望んでいま

す。というのは、地球が破壊されれば

太陽系自体のバランスがくずれること

もあるからです。

——将来の見込みについて、ユリアナ

女王とあなたは何か話されましたか。



ユリアナ女王(提供〓共同)

アダムスキー はい。

——アダムスキーさん、あなたの友人があなたをもう一度金星へ連れて行くのを期待していますか。

アダムスキー このことを私は彼らにたずねましたが、ただほえんで「たぶんいつかね」といいました。

——この会談ができたことをあなたに感謝します。

翻訳に当たっては中央大学図書館・森光宏明氏およびその友人の協力をいただき、また佐藤公儀氏からは経済的援助を受けた。誌上を借りて感謝の意を表したい。——訳者・森脇十九男

シンセサイザーが奏でる浪漫のサウンド・トリップ

1969年7月21日午前11時56分20秒、
人類は初めて異星への一歩をのしした。
アポロ11号との交信記録から始まるこのレコードは
シンセサイザーの美しさ及び多面性を
あますところなく鮮明なサウンドで伝えている。



月面着陸～アポロ11号との交信記録より
銀河系の彼方
恒星間飛行
ソラリスの陽のもとに
異星の風景第一部
異星の風景第二部
宇宙人とのコンタクト
謎の白鳥座61番星
原子惑星雲
時空の果てに
地球への帰還
人類への呼びかけ
●UXP-756-EB ¥2,300

宇宙讃歌

★好評発売中★スペース・サウンド・シリーズ★

シンセサイザー・ミュージックの極限を
とらえた感動のスペース・シンフォニー！

宇宙組曲

惑星ロケットの出発 (a) 秒読み～噴射音 (b) 成層圏離脱 / UFOとの遭遇 / 太陽のかなたに (a) 軌道修正 (b) タイム・トラベル / 遙かなる宇宙空間 / 他全12曲 ●UXP-750-EB ¥2,300

宇宙空間に織りなされる壮大なスペースファンタジーの世界！シンセサイザーの魔術師、SFFが放つ快心作！！

太陽幻想曲 / SFF

夢のUFO / 蒼ざめた太陽 / 未知への出発 / 空間遊泳 / 銀河八景 / 1580 / 大爆発 ●UXP-752-EB ¥2,300

常軌を逸した余りにも驚異的なプログレッシブ・ロックの結実が今ここに炸裂する！

電子空間 / ハイ

宇宙の使者 / 夢想のかなた / 別れ / 英雄 / イ短調作品2番 / アクター・エイト ●UXP-702-EB ¥2,300

宇宙空間にくりひろげられる壮大な
スペース・シンフォニー！

銀河交響曲 / SFF

銀河交響曲 / 月世界 / 遊星飛行 / 太陽のしずく / 幻想交響曲～宇宙のはてに ●UXP-748-EB ¥2,300

余り美しく幻想的な宇宙絵画！
夢とファンタジーの世界への旅先案内人
ノヴァリスが放つ快心の第二弾！！

銀河飛行 / ノヴァリスII

太陽のかなたに / 夢幻飛行 / 惑星誕生 / 銀河讃歌 / 宇宙絵画 ●UXP-730-EB ¥2,300

宇宙空間に飛び散る余りにも衝撃的な
シンセサイザーの火花！これぞスペース・ミュージックの真髄！！

幻星 / クラスタ

衝撃波 / 幻星 / 宇宙粒子 / UFO / 銀河 / 夢幻のかなたへ ●UXP-749-EB ¥2,300

NEU!

BRAN metronome

ライノコード

発売元・テイテック株式会社

UFO界情報

日本空飛ぶ円盤研究会

代表・荒井欣一

UFOの世界的権威アレン・ハイネック博士の来日決定！ 主な日程は次のとおり。

7月15日 来日
7月16日 宇宙博出席
7月17日 記者、UFO研究者などを集めて講演。宇宙博主催。
7月18日 UFO研究者のための講演。日本空飛ぶ円盤研究会主催。
7月22日ごろ 京都で講演。
入場希望者は、往復はがきで当会までお問い合わせ下さい。

「UFO年鑑」完成。B5版、204頁。限定1000部。UFO年表、世界の目撃記録、研究論文、ブックガイドなど貴重な資料満載。お申し込みは、送料共2200円を添えて当会まで。振替（東京6-173226）。なお、東京神田・東京堂でのみ直接販売しています。
〒114 東京都品川区東五反田2-19-18

近代宇宙旅行協会

代表・高梨純一



昨年春の「週刊朝日」の取材を皮切りに、「週刊現代」「サンデー毎日」「週刊大衆」などの週刊誌や新聞雑誌などの取材や資料(写真ほか)提供依頼が相次ぎ、その上、今年は早くから沖縄を始め、各地の銀行・スーパーマーケット、レコード店などでのUFO写真展などの企画が沢山持ちこまれ、テネコ舞いの忙しさで、又々会誌の発行や研究会の開催などがおこなわれています。

高梨純一会長は、3月14日午後2時からの読売テレビ・ワイドショー「今」に出演の後、4月27日の「イレブンPM」(藤本義一司会分)にもメイン・ゲストとして出演しました。

●会誌「空飛ぶ円盤研究」81号発行
〒560 大阪府豊中市夕日丘2-7-12

日本宇宙現象研究会

代表・並木伸一郎

UFO目撃情報の整理のためマイクログコンピュータを設置。データを入れ始める。また、5年計画でUFO写真のコンピュータ分析用



テレビカメラを購入予定。

●会誌「UFOインフォメーション」10号発行。

〒150 東京都渋谷区神山町5-1-2 日本GAP

代表・久保田八郎

毎月、会員のみを集めて例会を開いている。

●会誌「GAPニューズレター」63号発行。
〒133 東京都江戸川区本一色町3-65-818

重力研究所

所長・清家新一

研究所の敷地の山に接する部分に塀がなく、ゴミを捨てられて困っていた。最近、塀を作り、これを防止した。

前号にて報告した、負周波数発振器にフィードバックをかけ、無電源で発振させる試みが成功しつつある。これにて、RFO(=UFO)のエネルギー取得の方法である「重力空間からエネルギーを得る」技術が完成しそうである。〈影山模型〉にて、朝顔のつるの巻く方向に、電子的な回転を起こすのに成功した。

●会誌「宇宙縦」40号発行
〒193 愛媛県宇和島局私書箱33号 日本UFO研究会

代表・平田留三

7月20〜8月27日まで、長崎県雲仙の「九州ホテル」でUFO展が開かれる。これは当会が企画立案した

UFOのうた「オオ！ UFO」

(17cm LP ¥1000) 発売中。希望者は現金書留で当会まで。

〒673-003 神戸市垂水区神出町五百蔵1-42-161

代表・平野泰敏

「第一回・全日本コンタクトデー大会(実行推進協議会議長・丹羽豊)」を8月13〜16日の4日間にかけて、長野県清内路村にて開催。大会の目的は、日本各地に点在しているコンタクトマンの交流・親睦及び、宇宙維新運動前進のため。

参加資格は、①自称及び他称コンタクトマン

UFO教室

代表・安斎純夫

UFO教育センター4名の来日講演成功する(詳細は本誌14頁、特集よみがえったアダムスキー参照)。なお、来日記念全国講演の報告会を次のとおりに行います。

日時 7月1日(土) 1時30分〜5時
場所 代々木区民会館・会議室/渋谷区代々木3-51、電3700-7741。定員100名。会費¥300。

内容 8ミリ記録映画上映。
●会誌「UFO教室」5号7月発行予定
〒350-12 埼玉県入間郡日高町高萩2648-38

代表・志水一夫

第3期会員募集中。希望者は往復はがきで当会まで。
●会誌「世界の超自然現象」休刊。
「フロンティア・サイエンス・モニター」間もなく刊行
〒167 東京都杉並区南荻窪1-43-17

タクトマン②コンタクト・ストーリーに深く関心を持つ者(ただし、アダスキー派は除く)。交通費、宿泊費、食費、その他諸経費は各自負担。

参加費として1名につき1000円必要。先着200名で切。詳細は当会まで。

●会誌「ユーロロジスト」37号発行
〒431-33 静岡県天竜市二俣町南鹿島58-18

代表・志水一夫

日本超自然現象研究会

本誌のインタビュウを受ける左から、シャロット・ブロップ、Drデイズ、トーマス・ハイマン、古山晴久、蕪沢潤一郎氏。



——UFOが地球以外の天体から飛来しているとは考えられない。なぜなら、その目撃数から考えても、宇宙空間のぼう大な距離をのり越えてかくもたびたび地球に飛来する必然性がないからである——。これはUFO否定論の有力な根拠のひとつだ。

だが、筆者は最近、この有力な根拠をくつがえす事実をキャッチした。連邦政府の一高官とのインタビューで、UFO搭乗者たちが一部の地球人を選び出し、この地球上でUFOの建造を指揮している、という情報を入手したのである。

この情報を提供した政府高官は国会議員もほとんどその存在を知らない秘密機関の一員、という以外に詳細を公表するわけにはいかない。したがってここでは彼の名を仮りに「ミスター・シュミット」と呼ぶことにしよう。シュミット氏は、建造中のUFOの部品なども筆者に提供してくれている。彼は長年、UFOに関する情報を抑えつけ、信用させまいとする側に立っていたが、今回初めて筆者を通じてこの情報を公開することにしたのである。

シュミット氏はインタビューに答えて次のように語った。

「私がこんなふうに情報を明らかにするのは、宇宙人たちが今や彼らの秘密を普通の地球人に明らかにしはじめているからです。宇宙人が情報を誰に、どのような目的で教え、それが結局どう

使われているのか、われわれにもわかりません。彼らの意図が友好的なものか、敵対的なものかさえわからないのです。しかし、一般人が宇宙人から空飛ぶ円盤の建造法を教えられているという事実を、われわれはひた隠しにしてきました。わ

ついに発見！ UFO製造 秘密工場

By
ブレット・
グロペッティ

宇宙人の指揮下で地球人がUFO製造に当たっていた！
政府高官がもらしたUFO製造工場の内幕——

れわれは、メイン州北部でUFOの秘密工場を発見していたのです」

シュミット氏は、政府機関がまだ調査中であることを理由に、「工場」の正確な位置をこれ以上は明らかにしてくれなかった。「読者が出かけて行って、その場所を探したりしないようにしてください。周辺は、不審者を見つけたら射殺するように命令された武装兵が警備しているのです」と、シュミット氏は警告している。

「われわれの機関は
目撃者の自宅を
搜索する」

シュミット氏の知る限りでは、政府は、依然としてUFOに関する情報をひた隠しにしようとしているが、UFO工場の発見でかなり混乱しているという。「空軍および『プロジェクト・ブルーブック』は故意にUFO関係のニュースを隠していると、多くのUFOファンから非難されていますが、空軍はわれわれの命令に従っているだけなのです」

「われわれの機関では、UFOが本当に地球の外から来た宇宙船であること十分に承知しています。ただ、国家の安全を守るために、この情報を市民には知らせないようにしてきたのです。1938年にオーソン・ウェルズのラジオ番組『宇宙戦争』がひき起こ

したパニックをご存じでしょう。宇宙人に関するわれわれの子測がもれてしまつたら、とてもあの程度のことでは納まりません。私がこの件に関して何か話すと思っているのなら、とんでもない間違いです。私がこのインタビュアーにあえて出てきたのは、宇宙人から情報を得て自分たちで円盤を作っている人々に接触したいと考えているためなのです。彼らには、宇宙人と接触することがどういうことを意味するのか、わかつているとは思えないのです」

シュミット氏の機関は、UFOの観測が盛んになった1947年以来、UFOに関する報告をいねいに調べ続けている。軍隊、地方警察、州警察が集めたレポートは、研究と分析のためにすべてこの機関に送られている。しかも、UFOに関連する分野ですぐれたアメリカ人科学者を多数動員してきたのである。

「そうです。UFOを一笑に付している多くの科学者や大学教授に、われわれは秘密事項の一端を明らかにして協力をとりつけ、UFO研究を進めてもらっているのです」と、シュミット氏は語っている。

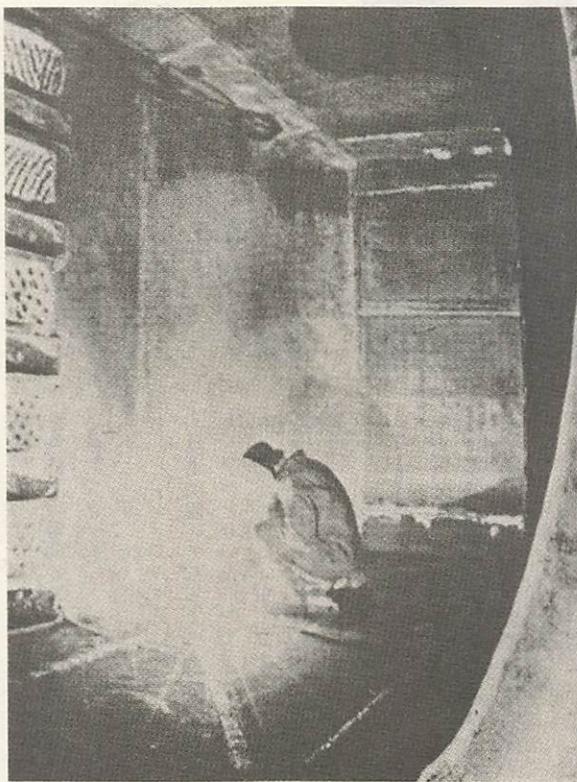
「しかし、『プロジェクト・ブルーブック』に関わっている者は、誰ひとりこの研究には関与していません。『プロジェクト・ブルーブック』はPR活動をしているだけで、それ以上のものではないわけです。」

もうひとつの情報源は、たぶん一次情報源となる民間のUFO観測者や作家であるが、彼らは情報源となつてい

ることを知らされていない。

「民間人からのUFO情報は、『ダーティ・トリック』(汚ない策謀)部門と言われかねないところで収集しています。われわれは大衆に対して責任

ほどです。通常は、ファイルのなかの資料を写真に撮るだけです。民間人に持たせておくにはあまりに「なまなましい」もの場合は、持ち帰りません。もちろん電話は盗聴し、UFO目撃者を沈黙させる必要があれば、ダークスーツに身を固めた秘密機関員を派遣します。それでもうまくいかない場



を負う必要はないし、議会にも裁判所にも拘束されません」と、シュミット氏は話を続けた。「われわれの機関が、民間のUFO研究グループの事務所、UFO観測者の自宅、それにあなたのような情報関係者やUFO雑誌の出版社への侵入をどれほど計画し、実行してきたか、いちいち数えきれない

合は、精神病院に送りこむことになるわけです。信じられないかもしれませんが、かなり荒っぽくやっているのは事実です。この記事を見たら連中は激怒するでしょう。インタビュアーに答えたのが私だとわかったら、もちろんただではすまず、相当長い間、刑務所暮らしでしょうね」

「にもかかわらず、私が思いきって話すことにしたのは、これが、UFO搭乗員とある種の協力者になつた人々と接触する唯一の方法だからです。彼らは、何らかの目的のために——よい目的か悪い目的か、私にはわかりませんが——宇宙人に利用されており、彼らのためにも、人類のためにも、われわれは彼らを探し当てなければならぬのです」

現場を 急襲したが とり逃がした

シュミット氏の属している秘密機関は、数年前に、UFOに人間が乗っていると思われる報告が急増して困惑したようである。シュミット氏は当時のことをふり返って、「われわれには、どう考えたらよいか、さっぱりわかりませんでした」と、率直に語ってくれた。

「当初考えたのは、宇宙人が人間を装っているのではないか、ということでした。また、宇宙人が人間を誘拐して、強制的にUFOで働かせている、という説もありました。われわれは、どちらの説が正しいか判定するに足る十分な証拠を収集していなかったのです。が、事態はつきりしない場合は、常に最悪の事態を想定するのが賢明な方法です」

「われわれは、UFO目撃者やコンタクティーの電話を盗聴して、あらゆる種類の奇妙な情報を集めはじめました。彼らは「乗りに行く」話や、アシユターとかヴェナリアとかいう名前の人々から指示を受ける話をしているのです。メイン州へ行くという話もよく聞くようになりました。こんなに離れたところの話は、それまではなかったのです。われわれは盗聴を続けましたが、何ひとつはつきりしませんでした。結局、何が起きているのかを明らかにするために、彼らのうちの何人かを尾行することに決定しました。」

ニューイングランドのUFO目撃者およびコンタクティーの動きを注意深く監視した結果、彼らの多くが週末やバカンスに北部のメイン州に旅行していることが判明した。しかも、彼らを尾行した機関員によれば、全員がバンゴール北方でハイウェイ95号線から側道に入っているのである。しかしながら、当初は、そこで尾行を中止するよう決められていたという。

「われわれは、何か重大なことが隠されていることを予感していて、とり逃したくなかったのです」と、シュミット氏は説明している。「その間に、われわれは、高々度航空機や偵察衛星を使って、彼らがどこへ行くのか正確に突きとめようとした。全部で、およそ15人が関係していたようです。」

コンタクティーたちが集合する地点を航空機で正確に突きとめることは不可能であったが、これはメイン州北部のうっそうとした森林地帯を知っている人なら驚くには当たらないはずだった。結局のところ、あるUFOコンタクティーが、いつものように北の方へ旅行する前日の土曜日の早朝、車に無線発信装置を取りつけておくことになった。シュミット氏の機関は、高性能の電波探知機を使って、秘密の集結地点を正確に「確定」できたのである。場所がはつきりしたら、ただちに現場を急襲し、尋問のために全員を勾留する手筈であった。

「現場に着いてみると、あたり一帯は人っ子ひとりいないのです。しかも、不思議なことに、車で立ち去ったところを見た者もおりません。われわれは普通の車を追いかけていたのに、本当に、1台も逃げるところを目撃してさえないのです。しかも、人間ばかりではなく、車も見つかりませんでした。まるで地のなかに呑み込まれたか、それとも空飛ぶ円盤に連れ去られたもしたかのようでした。」

シュミット氏が、消えてしまった人々のことをひとまずあきらめたとき、森林のなかに隠されている奇妙な建造物に気付いたという。

「その建物は、専門家でなければできないような巧妙なカムフラージュがなされています。地上から見ればわかるのですが、上空から見てもわからないような迷彩がほどこされていたので

す。高空からの探査で何も発見できなかったのも当然だったのです。」

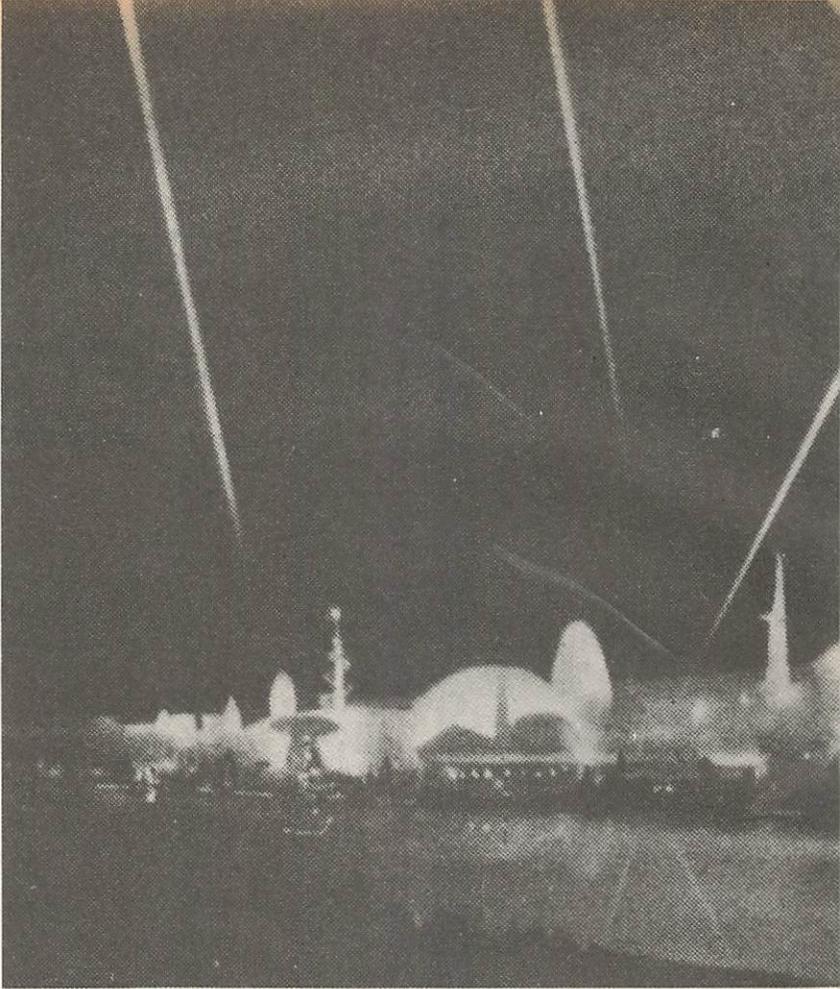
UFOの船体には ダイヤのドリルも 歯が立たなかつた

建物は完全な長方形で屋根は球状であった。まるで巨大な建造物のように継ぎ目がまったくなく、大きな建造物の一部のようにもあつた。材質は、プラスチックかグラスファイバーのように見えるが、地球上ではこれまでまったく知られていない物質である。「われわれは、研究室で分析するために、一部をサンプルとして持ち帰ってきました。その結果、その物質は、地球上にあるどの物質とも違うことがわかったのです。「成分を分析してみると、どの化学書にも載っていない物質だったので。私は、あの建物が宇宙人によって地球にもたらされたものである、と確信しました。」

シュミット氏によれば、建物はそのままに建っているが、いつの日かUFOコンタクティーないしは宇宙人が戻ってくるかもしれないと考えて、きわめて厳重に警備されているという。

建物の入口はひとつだけで、北側に面してスライディング・ドアがある。そこから内部に入ってみた調査官たちは、死ぬほどショックを受けたという。「この写真を見てもらえばわかり





ますが、私が想像もしないものでした。建物のなかにはUFOの工場で、そこは、宇宙人の指導の下に人間が宇宙船を製造するところだったのです。」

驚くべきことに、建物のなかには、UFOの部品や建造中のUFOでいっぱいだったのである。付近一帯を探索した結果、今しがたまで人間と宇宙人がいたことを裏付ける証拠が発見された。シュミット氏の証言を続けよう。

「空になった食品の包装紙やソフトド

リンクの空カン、タバコの吸いがらなど普通の人間がいたことを示すものが見つかりました。そればかりでなく、工場の他の場所からは見たこともない液体や固型物も出てきました。固型物

には、噛まれた跡のようなものがありました。人間の歯型ではないのです。この液体と固型物は、分析してみると、良質のたんばく質が豊富に含まれていました。そのため、当初はやはり人間が食べていたのだらうと考えた

わけですが、さらに詳しく分析してみると、ヒ素や鉛、水銀など人体には猛毒の成分が多く含まれていたのです。最終的に、われわれは、宇宙人が人間と同じところで働き、人間と同じように「食事をしていた」と結論を下さざるを得ませんでした。しかし、宇宙人が摂取し、活力源になると思われる物質は、普通の人間を殺すことになりました。」

しかし、この「宇宙食」など、UFOの部品や製作途上のUFOに比べれば、大した問題ではない。軍の輸送トラック数台がメーン州に急派され、ワシントン郊外の秘密機関本部に部品その他を全部運び、ただちに厳重な警戒体制がとられた。そして、この押収された宇宙船の謎を解明するために、全国から第一級の科学者が召集されたのである。

「科学者たちもまったく驚嘆していました」とシュミット氏は述べた。

「宇宙人の技術は、学者の理解力をはるかに越えていたのです。建造技術や回路設計が想像を絶するものであったばかりでなく、現時点でまったく未知の元素や物質を使っていたのです。たとえば、UFO内の配線には、銅や銀、アルミニウムのような地球で一般に用いられている金属はまったく使われていません。配線材料は、伝導性がすばらしく、しかも非常に硬い未知の金属でできているのです。分析のため

に溶かそうと何度もやってみましたが、いくら熱を加えても全然溶けませんでした。しかし、普通の配線よりは力がいりますが、曲げることも、ねじれることも、カットすることもできるのです。」

「UFOの船体も未知の物質でできています。この物質は、溶かせないだけでなく、曲げることも、くぼませることも、穴を開けたり傷つけたりすることもできないのです。工業用ダイヤモンドを先端につけたドリルを使って穴を開けようとして、ドリルを1ダース駄目にしてしまったほどです。簡単にいうと、UFOの船体は、宇宙でもいちばん丈夫な物質でできているに違いありません。われわれの機関の本部では、UFOに原子力ロケット燃料を含む軍用ジェット燃料を点火して噴射した結果の報告が整理されています。どの場合も、UFOはびくともしませんでした。」

宇宙人は コンタクトを 連れ去った

「私は、長い間、UFOの物的証拠をたくさん手に入れば、たちまち疑問は解消すると考えていました」と、シュミット氏は言葉を継いだ。「それがとんでもない誤りだったのです。UFO工場の発見は、事態をいっそう混乱

たま出版最新刊

宇宙人とのテレパシー対話第二弾

目覚めよ地球人

高橋田一著

950円(送料160円)

第一作に続く宇宙人からのメッセージと、宇宙テレパシー受信の方法。それによって教えられた宇宙異変の危機等、興味ある宇宙の未来像。

靈性開眼著作集第四弾
わが心霊の旅路

福田倉子著

九十歳になった一女性霊能者の心霊実話など全生涯求道の記録
定価一〇〇〇円 送料一六〇円

新時代の宇宙人類的自覚

日本の目覚め

後藤美彦著

変動期を生き通した八十年の歳月の中から生まれた総合宇宙観
定価一八〇〇円 送料二〇〇円

させていただいたのです。UFOの謎を解き明かすには、宇宙人がわれわれの前に姿を現して、自ら語ってくれなければならないだろう、ということがわれわれにもようやくわかってきたのです。

しかし、宇宙人は、任意に選んだと

思われる人間たちに彼らの秘密を公開している。問題は、このコンタクトイたちが宇宙人から対等に受け入れられているのか、それとも隷属させられているのか、ということである。「われわれがコンタクトイどうしの電話を聞いている限りでは、彼らが自

絶賛UFOシリーズ

宇宙哲学

ジョージ・アダムスキー 著 久保田八郎 訳
空飛ぶ円盤の惑星文明とは何か。進化した宇宙人達の普遍的真理体系 定価750円送料160円

宇宙の友人たち

古山晴久著 地球に来ている宇宙人とのコンタクト体験記と生まれ変わりの原理。アダムスキーを継ぐ最近の啓蒙活動 定価850円送料160円

宇宙文明の夜明け

高橋田一著 他惑星人とのテレパシー対話による地球人類滅亡の警告 定価950円送料160円

UFOは第2の黒船だ

坂本ツトム著 宇宙人文明との交流と逆産業革命による人類滅亡の回避 定価680円送料160円

(株)たま出版 162 東京都新宿区納戸町33番地
☎260-4367 振替東京3-94804

分の自由意志でやっているわけではないことは明白です。UFOに乗った宇宙人がどうやって彼らとコンタクトをとるか分からないのですが、全員に同時に同じ指示を与え、週末を選んでメソ州に行かせていたようです。われわれは、彼らの何人かについては相当厳重に監視していましたが、手紙や電話あるいは面談で連絡された事実はなく、とすると、宇宙人からの連絡はテレパシーないし超自然なものと考えざるを得ないこととなります。ウイックエンドにそのうちのひとりがメソ州に向かっている場合は、必ず全員が向かっていたのです」

「ここで、大きな謎は、このコンタクトイたちがどこへ行ってしまったのか、ということですが、さきほどもお話ししたように、われわれが現場に到着したときには、そこに来ていたコンタクトイの足跡もなく、車も消えていたのです。その後、いつも送られてくるUFOレポートのなかに、われわれがUFO秘密工場の急襲に向かったのとほぼ同じ時刻、空軍戦略部隊のリーダーシステムにメソ州から北極へ向かうUFO群が映ったことが報告されていることがわかりました。われわれが到達した結論は、宇宙人はわれわれの急襲を察知して、コンタクトイを連れて、逃げた、ということですが、シュミット氏の機関は、コンタクトイがどこにいるか、突きとめようとして必死に努力したが、何の手掛りも



秘密工場は ほかにもある

得られなかったという。「彼らの家や職場には、もちろん、注意を怠りませんでした」という。

る限り、まったく普通の人間で、UFOに関する秘密は誰にも明かさなかつたわけです」

メイン州の出来事はメイン州だけのことではない、とシュミット氏は言う。「われわれは、同じような工場がニューヨーク州西部、フロリダ州南部、カリフォルニア州北部でも作業を開始していると考えてよい証拠を握っています。すでにこれらの周辺に住んでいるコンタクティーには、同じような動きが見られ、互いに電話で連絡しあつて、週末に人里離れたところに向かつて旅行しているのです。もっともメイン州と同じように急襲しようとは思っていません。人間が姿を消し、宇宙人もいないという、あの時と同じ結果を招いては困りますから」

「UFOの乗員が人間のように見えた」という情報は連日多数舞い込んでお

「ところが、何ひとつ明らかにならないのです。家族に聞いてみると、毎週末メイン州に狩猟か何かで行っていると思ふな思つていたというのです。では、何が起つたかといつても、家族にはまったく見当がつかないわけ、われわれも本当のことは黙っていることにしました。家族には、ポートか狩猟で何か不幸なことに巻きこまれたのだ、とだけいうことにしたのです。職場で聞いてみると、彼らの大半は模範的な従業員で、よく働き、忠実で、有能で、転職歴や私行上の問題もなかったということ。彼らは、外から見

「彼らは、全員UFOを目撃し、例外なく空軍に報告していました。また、全員がUFO搭乗員に遭遇しているのです。とにかく、宇宙人は彼らを意のままにすることに成功しています。それが、説得によるものか、強制によるものかは、われわれにはわかりません。宇宙人が彼らに宇宙船の秘密を教えるのは、友好的な目的があるのか敵意に基づくのかもわからないのです。ただ、はっきりしていることは、地球上で何人かの人間が宇宙人の指導の下に自分たちのUFOを建造し、操縦しているということ」

り、われわれは、ほとんどの場合、宇宙人と秘密裡に関係をもつた人間が実際に乗り組んでいると考えています。しかし、彼らがやっていることがどういう意味を持つのか、また、彼らが今後どういう運命をたどるのか、彼ら自身わかっているとは思えないのです。宇宙人が友好的な考えなら、われわれは、政府と宇宙人が公然と接触することを歓迎します。宇宙人が平和的に友好的に迎えられることを、私は保証できます。しかし、宇宙人が敵対的な意図を持っているとすれば、コンタクティーたちは知らぬ間に地球の征服に手を貸していることになるのです。それに、メイン州からコンタクティーが突然消えたということは、他にも宇宙船で奴隷的に働かされたり、地球上のどこかで宇宙人のためにUFO建造に従事させられている人々がいるのではないかと、という疑念につながるのです」

千石幽一郎記

驚異の性格改造法

トーチエ氏の心の法則

★あなたの知らないあなた

C・トーチエ夫妻著

長岡俊治訳

暗示から自律療法まで 石田行仁著 970円

アメリカ航空宇宙局の要請によって開発された応用心理学。本書に示される深層心理の活用によって、驚くべき成果が挙つてゐる。失敗から成功へ、争いから調和へ、病氣から健康へ、貧しさから豊かさへ……あらゆる問題を瞬時に解決させるベストセラリーの邦訳!

650円

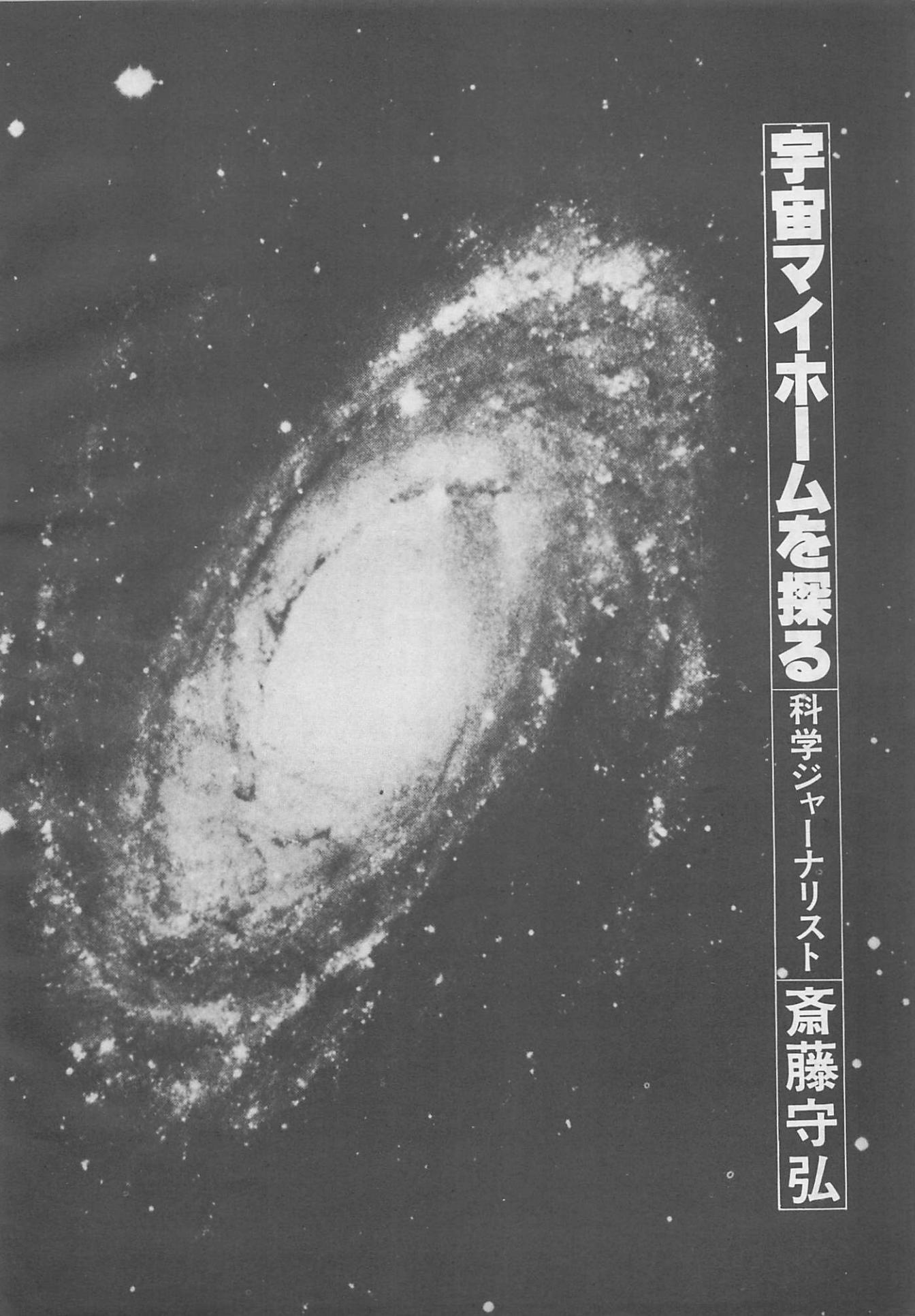
ナ・ダーム あなたのの中の不思議な力

今、アメリカで大流行の超越的瞑想法を具体的に詳しく紹介! 「夢を見る」方法と夢メッセーシの解説による問題の解決法をはじめ、失われつつあるセックスの意味とその方法等! 臨床的な研究から完成した心身健康のためのユニークな瞑想法と夢のテクニックを教えます。

リ・チエーズ C・キング著 川口正吉訳 800円

日本教文社

東京都港区赤坂九 振替東京四一五五五九



宇宙マイホームを探る

科学ジャーナリスト

斎藤守弘

銀

河

大

渦

巻

の

謎

わが住む地球もその一員である太陽系については、進む宇宙開発とともにかなりなじみ深くなったが、もうひとつスケールの大きいわが銀河系となると、どうだろうか。

それはいわば宇宙のなかでのわが

住むマイホーム、私たち人類にとって

の宇宙における自然の生活圏ともいえるのだが、だれでも天文解説書をもとけば分かるように、この宇宙のマイホームはひじょうに特異な形をしている。途方もなく巨大な渦を巻いている。

天頂高く、美しい星々のたなびく密集ゾーン。その素晴らしい星の集中域の眺めの中に、わが住む太陽系すらほんのゴミ粒以下にしてしまう壮大な「銀河渦状星雲」の秘密が隠されていることにやっと気づいたのは、ここ50〜60

年のことだ。
なぜなのか。
そこにわが銀河系の構造と、その複雑な成り立ちの謎を解くカギが隠されていることは、まず間違いない。星の母なるわが銀河系はなぜ渦を巻いているのか。天文学的にまだ定説のないこの大ミステリーに挑むまえに、あまりなじみのないわが銀河系の現知識のアウトラインについてざっと見渡しておこう。

古くから七夕の行事で知られる天の川のこととはどなたもご存じだろう。
この星の大渦巻の中心は地球から見て射手座の方向にあり、わが太陽系はその中心核部から3万光年ほどはなれた周縁部、つまり、それだけ銀河大レンズ形の中のかなり端の方に位置している。したがって、この銀河系の水平方向すなわち銀河面に沿った方向に見れば星が密集しているが、それに垂直な方向に目を向ければ星はまばらになる。
というわけで、天の川こそ銀河大レンズ形のふちの方、ほかならぬ銀河系の厚みそのものをじかに眺めているの

わが銀河系は、なぜ途方もなく巨大な渦を巻いているのか。新たな銀河像を求めて、この大いなる謎にいどむ。

である。

そうした星が密集し群がる中心核部にくらべると、わが太陽系は淋しい辺境の星である。

ちなみにコンピュータを駆使した計算では、この銀河大レンズ形に含まれる生物の住む星はざっと5億個。かなり厳密にしぼっても、そのうちの少なくとも百万個の星に地球以上の高度の文明が栄えていなければならない。

ミステリーの根源は中心核

大きざっぱに分類して、大宇宙の星雲には渦巻型、楕円形、不規則形の3種類があり、電波天文学の観測からわが銀河系は鳴門の渦潮とよく似た構造であり、専門的にはSb型とよばれる。その渦は巻き込むのか、ほどけるのか。多くの観測からはまさしく巻き込む方向に渦動し、外から眺めれば大熊座のM81渦状星雲によく似ているだろうという。

星をちりばめた渦の腕が大きく2本、めだつて張り出し、その内側では中心核のまばゆく輝く大星団へ向かってグルグル巻き込むように高密化する。

しかし、こうした渦動部分だけが銀河星雲のすべてではない。この渦の本体をすっぽり包み囲んで、大きく広がるガスや星々そして球状星団の群れがある。

われわれは出遅れているのであり、

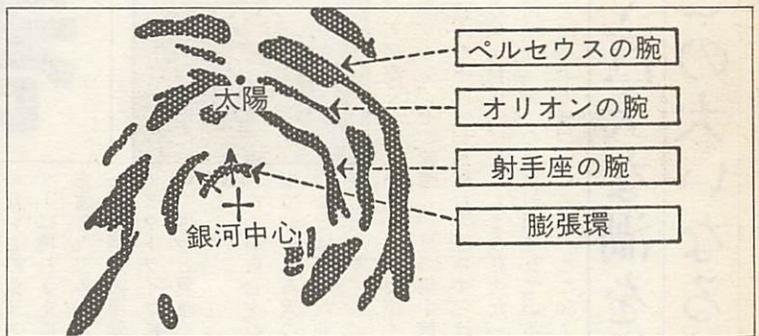
いち早く「銀河クラブ」なり「銀河大帝国」がその星間貿易ルートを張りめぐらしているかも知れず、そこからの呼びかけ電波をキャッチしようとする年、アメリカの宇宙科学者を中心にサイクロプス計画やらセチ計画などが提案されているが、まだ実現していない。

ある。いわゆる銀河のハローとよばれるものだ。

球状星団というのは平均10万個くらいの星の球状にかたまつたやや小規模の星団で、およそ100個以上。銀河の渦状部よりもずっと早期に形成された先輩格。いわば銀河の大渦巻はちょうど月がカサをかぶるように、たくさん球状星団やガスのハローの中に埋まって回転している。

その渦の回転速度はといえば、太陽系の付近では秒速260キロメートル、すなわち時速にして100万キロメートルもの速さになるが、それでもまだ過小評価だった。

昨年、宇宙のマイクロウェーブ背景放射を測定した結果、なんと約2倍の秒速600キロに達していることが判明。どうやら銀河の渦巻の回転を速め



辺境の太陽近くにある銀河の渦の3つの腕

ている謎の重力アンバランスが大宇宙にはあるらしいという問題にまで発展している。

辺境の太陽の近くにも、そうした渦の線状部分が3本ある。外側からペルセウス座の腕、オリオン座の腕、射手座の腕とよばれ、そのあたりには光りだしてまだ数百万年にしかならない若い星や、まだ星になる前段階の明るいガスやダストなどが集中している。わが太陽系は、そうしたオリオン座

の腕の内側に位置している。

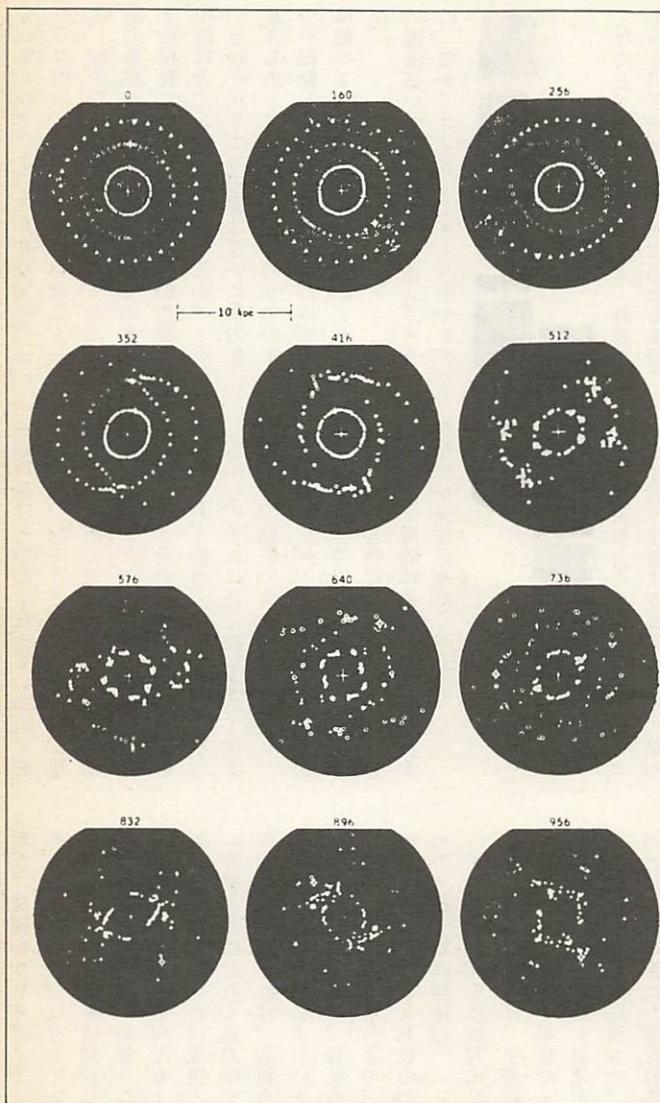
とにかく、その詳しいメカニズムはまだよく判らないにしても、銀河の渦は風車のようにクルクル回転しながら、それぞれの腕の部分でぞくぞく新しい星を誕生させているのである。では、それらの若い星を作りだすのに必要な物質、エネルギーはどこから供給されるのだろうか。

どうやら銀河の中心核部に、それらのミステリーのすべての根源があるらしい。そう、目ぼしがつたのは、ごく最近になってだ。核の部分ですさまじい超大爆発が周期的に起こり、そのたびに太陽の何十万個分という大質量星が吹き飛ばされ、ちょうどタバコの煙の輪のように中心部をとりまきリング状になって広がる。

そうした膨張するガス・リングが銀河の中心域にいくつも発見されているが、中心から約1万光年のところにある輪は約1000万年前の超大爆発で出来たものだという。

銀河中心核では太陽付近の星の密度の百万倍も大きく、わずかに3光年立方の狭い空間に100万個の星がぎっしり詰まっている。謎の星ブラック・ホールなども、そのあたりに群がっているともいう。

星のまばらな辺境の私たちからはなんと異常なこの中心核の世界から、分裂し飛び出したかもしれないのが大マジュラン雲と小マジュラン雲だ。



コンピューターによる人工銀河の進化(リンドブラード)
まず、銀河系の星を116個の点で代表させ、3重の同心円上に配考。次に第2円に波数2の振動を起こさせ、10億年にわたる銀河面の振動変形とその発達を跡づけた。

コンピューターの 中の銀河

これは銀河系の約10分の1の不規則星団であり、銀河大渦巻の外側について、なおかつ銀河系の腕を大きく外側へ引き延ばすほどの潮汐力をはたらかせ、はるばる10億年かけて高速度星の「雨」を銀河面に降らせたりする。近年のロケット観測によると、地球をとりまく電離層は太陽の磁場と関係

があり、太陽の磁場は銀河系そのものの磁場とつながっていることが分かってきた。つまり、なぜか古来の占星術でいわれたように、地球は銀河系の全星々とそういう形につながり、そういう形で運命をともにしていることが再認識された。

ところで、大熊座のM81星雲を見て

はまさしく一かたまりの円板状になって回転している。むしろ、レコード盤

のように一続きの板なら、そんなことは当たり前だが、どっこい、星雲の場合はそうでない。どの星々もバラバラで、それぞれ広大な空間を中へはさんで浮いている。たとえていえば太平洋の中にスイカがいくつ浮かぶか浮いているようなもので、中心核の密集部を除けば、銀河系の大部分の星がそんな孤立状態にある。

それは何なのか。いちばん強力なのは銀河を形成している物質の重力であり、それにくらべればはるかに弱い。重力もまた大きな役割を演じている。まず重力の働きから見てみよう。いちばん簡単なのは二物体間にはたらくのだが、物体が3つになり、4つになり、5つになれば、それだけますます計算は複雑になり面倒になる。ましてや銀河系の場合、そうした計算にかかる物体(星)は2千億個もあるのだ。現在の最高速・最大容量のコンピューターをもってしても、まだ到底、追いつけない。

そこで、もっと単純化したかたちで、この計算に挑んだのがスエーデンの著名な天文学者リンドブラードの息子パー・オルフである。その一生を銀河系力学の問題にささげた父親の跡を受け継ぎ、最新のコンピューターを駆使して父親の理論を証明しようとした。むしろ2千億個の星を全部公平に扱うのは今のところ不可能だから、彼は銀河系の星をとりあえず116個の点で代表させ、それを渦巻構造に似せて三重の同心円上に配置した。それぞれ銀河中心から6500光年、1万3000光年、2万光年のところの円に当たり、その上に乗った代表の点1つは太陽の6400万個分に等しい。そのようにして銀河面上の各部の星の質量分布をあらわしたのだ。

だが、このままでは力学的に安定し

てしまふので、1万30000光年のところの円に、波数2の振動を起こさせた。おそらく現実の銀河面でもなんらかの単純な振動が起こるはずである。その振動によって、内側と外側の星の配置にどんなゆがみが生ずるか。それぞれ3つの円環は互いに重力を及ぼしあっているから、そのうちの1つが振動し形を変えれば、そのゆがみは他の2つの円環にも及んでいくわけだ。

魔法使いのビンの中の宇宙のように、刻々、コンピューターの中でモデ

なんと、このコンピューター計算によって、ざっと10億年間にわたる銀河

渦の腕に関する 衝撃波理論

ル銀河系はその姿を変えていった。約4億年後、なるほど2本の渦の腕が現れた。第2円と第3円とが接触し、部分的に融合したのだ。が、現実の銀河系と違って、その回転方向は糸巻き糸のほぐれる向き、つまり逆の回転だ。しかし、それは長く続かず約1億5千万年後、回転の向きは反対になり、現実の銀河と同じ方向のみごとな渦の腕を2本発達させながら約2億年間、渦しだいに中心核の周りに巻き込み、渦が乱れて一時的に消えたあと、再び大きな腕を発達させた。



リンドブラードの渦巻き

面の振動変形とその発達を、映画のコマを早送りするように目に見えて跡づけられたのだから素晴らしい。画期的な実験(1960年)で、コンピューターによる人工銀河のこの手法は現在、ますます広く活用されるようになってくる。だが、この優れた実験にも批判の目は厳しかった。「そんなことは当

然だ。父親のリンドブラードの理論に都合のいい条件仮定をしているのだから、はじめから結果は知れている」 「銀河回転の向きが糸巻きに糸を巻く方向でも、ほどく方向でもよく、どちらかに決まらないのは現実と反する」 「各質点にはたらく重力はそれほど大きくない。現実には、各質点の列状の整列は太陽系の惑星すらいまなお一斉整列してないように、各星の重力ないし潮汐力だけのほたらきで、たとえは銀河系の腕のような列状のつらなりをつくりだすのは無理だ」

そこで、これらの批判にこたえるべくリンドブラードは、手術後の急変でにわかに逝去する1年前の1964年、かれの最後の論文を発表。これまでの理論をさらに発展させ、渦の腕がつねに一定の形にたもたれるようなメカニズムを考案した。

すでに説明したように、銀河面の星全体の振動現象として見れば、渦の腕は右回りになったり左回りになったり、また、ほぼ周期的に消えたり現れたり、その形を定常状態に保ち難い。そこでリンドブラードは、この腕を安定させるために銀河星雲外からのガス物質の流入を思いついた。渦の腕の部分には、他よりもずっと星が集中し、それだけ腕自身の重力が強くなり、周りの物質を引きつける。実際、渦巻星雲の写真を見てもわかるように、腕の部分にはかならず隣りあ

って暗いベルト状のガスやダストが広がっている。銀河の渦はグルグル回転しながら、この暗黒ベルト部分の物質を腕の部分に引き込み取り込み、それによってつぎつぎに新しい星を誕生させるから、ひとたび出来あがった渦の腕はその形を崩すことなく、コンピューターのはじきだす寿命よりも実際にはずっと長続きするだろうというわけ。

とにかく渦の腕はそんなに昔からそこにあったとは考えられない。なぜなら、腕の部分にある星はかなり若いのだ。他の銀河面の星にくらべてひとときわ明るく輝くガス星雲などもあり、それだけ腕の部分がいちだんと目だたせる。腕の凹みの側にすらりと並んでいるのが誕生してまだ数百万年くらいにしかならない原始星の群れなのだ。

ところで、これらの原始星をつくりだすのは星間物質の雲、すなわちガスやダスト(宇宙塵)など宇宙空間に漂う微小な物質である。渦の腕と腕との間にはさまれた暗黒ベルト部分。ここにそれらの物質は集中して、渦の回転とともに、隣接する光る腕の部分に衝突し、その衝突地帯にそって大きく圧縮される。それはちょうど超音速機の翼端に生ずる衝撃波と同じ圧縮作用であり、おかげでガスやダストが圧縮されて星になるのである「銀河ショック」ともよばれる。

銀河の渦の腕についてのこの衝撃波理論はリンドブラードの亡きあと、中国系米国人の学者に引き継がれ、さらに続いて日本の学者がそれを大きく発展させた。しかし、それとともにリンドブラードの最初の着想も大きく修正され、星間物質の取り込み方について腕の凸の側から凹の側へと全く正反対になったのは気づいておくべきだろう。

当時からくれば、現在のコンピュータの計算速度は格段に向上した。そこで改めてコンピュータによる人工銀河の実験がおこなわれた。こんどはわずか116個といわず、一挙に10万個の星を銀河面にばらまいた。しかし、これでもまだ足りない。実際の銀河面には、1千億個単位の星があるから、それを補うために人工銀河の星1つにたいして実際の星100万個分の質量が与えられた。

さて、この人工銀河はうまく渦を巻いてくれるかどうか。結果は否であった。

銀河の1回転ほどの時間でどうやら渦状の腕らしいものが現われるが、たちまち短期間で崩れ、最終的に銀河の星々は棒状にかたまってしまう、どうしても渦巻構造にならないのだ(ソレンセン、1972年)

「では、ガス物質を加えたらどうか。現実の銀河は星ばかりでなく、大量のガスやダストを含んでいるのだから」

ただちにコンピュータは解答をだした。腕はできる。

ただし、星の集合による腕でなく、濃密なガス物質を本体とし、そのかぎりでは実際の銀河の暗黒ベルト部分の存在とまさしく一致した。

現実の条件とは、何が欠けているのか。その条件を補ってやれば、ガス物質の腕と同時にそれに隣接する星の腕も作りだせるのではないか。その見落していた条件とは銀河面を大きくすっぽりと包みこんでいるハローであり、その隠れた膨大な質量による重力のはたらきではないか。

ハローの部分にも星があるが、それは私たちの太陽とはちょっと違っている。太陽は種族Iの星とよばれるのに対して、ハローの星は種族IIの星であり、太陽より金属分の乏しい光の弱い天体である。他に銀河の回転軸方向に群がる球状星団などにしても、やはり老齢の種族IIの星であり、したがってハローの大部分はガス物質からなるらしく、その光はまったく目だたない。

それでも大熊座のM81星雲などを長時間露出の写真に撮ると、その見事な大渦巻をとりまくほのかなガス状物質の広がりをとらえることができる。おそらく、それが大熊座のハローの存在を暗示しているのかもしれない。とすれば、同じタイプのが銀河系にもそれがあろう、宇宙のかなたから眺めれば、その淡い光を目にすることができ

るのだろう。

では、ハローの総質量はどのくらいあるのか。本体の銀河円盤にくらべて、この光はずっと弱いのだが、仮に両者ともほぼ同じか、むしろハローの方が重くしてコンピュータ実験させてみると、予想どおり、みごとな渦状の腕が出現した。

で、次に、その腕がいかにしたら長続きするか、勝手にハローの質量をいろいろ変えてコンピュータ計算させるところ、だいたい銀河円盤の10倍とすれば、ひとたび現れた渦の腕が崩壊することなく安定することが判った。

それにしても本体の10倍の質量が銀河円盤をおし包んでいるというのである。ほとんど目につかない淡い光のどこに、そんな膨大な量を隠しているのか。専門の学者でもまだ信じられないくらいなのだ。

しかし、いかに信じ難くとも近年、ぞくぞくそれを裏づけるような証拠が

写真などで見る渦巻構造は、その巨大な質量のほんの一部、すなわち中心のあたりを見ているにすぎず、それをコロナのようにおおい包んでいるものは、残念ながら私たちの肉眼でとらえられないのだろう。まるで透明なガラス製のよう、中心部のすけて見える

得られたしている。たとえばアイナスト(1974年)はたがいに接近した二重銀河系の運動をたくさん調べ、そこから大宇宙における渦状星雲の平均質量をわらだした。

それによると、これまで信じられていたよりも銀河系の直径ははるかに大きく、直径10万年どころか、なんとその5倍の距離にまで広がっていて、その質量は銀河円盤の約10倍。まさしくコンピュータ計算の結論とびつたり一致したのだ。

ちなみに、これまでハローの領域と考えられていたのは、直径約20万年、厚さ約12万年のややつぶれた球形内である。それに対してアイナストの推定はさらに2・5倍に達するのだから、およそその途方もない広がりを探せられるだろう。

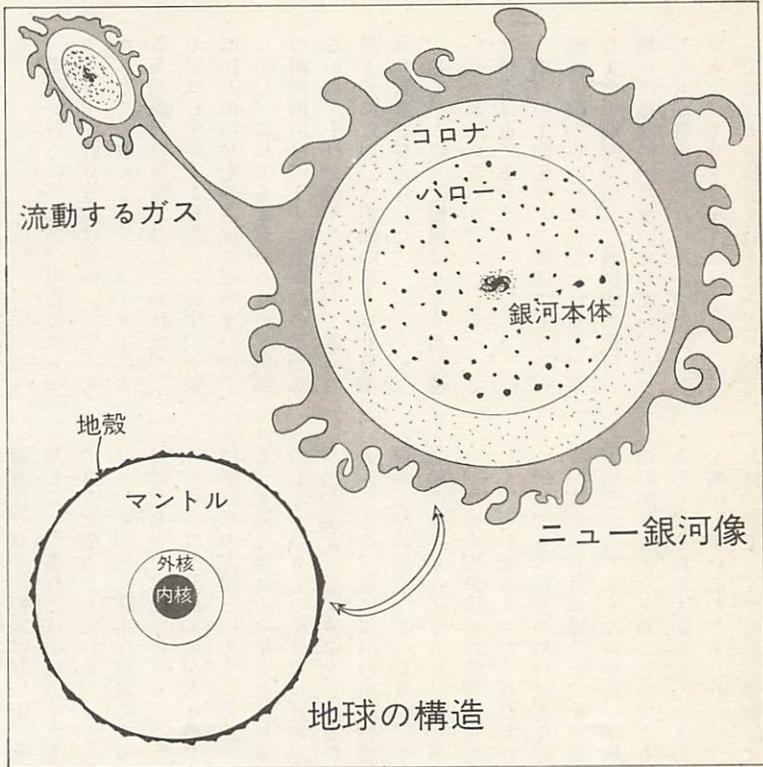
こうなると、これまでの銀河の概念を大きく修正しなければならなくなる。

大きく変わる 銀河系の概念

超巨大構造なのである。

が、そのスケールの点を除けば、その構造はどうやらこの地球とアナログス(類似)であるようだ。

地球のいちばん表層には山や川や海のひろがる地殻があり、その下にはやや高熱のマントル層、そして、いちば



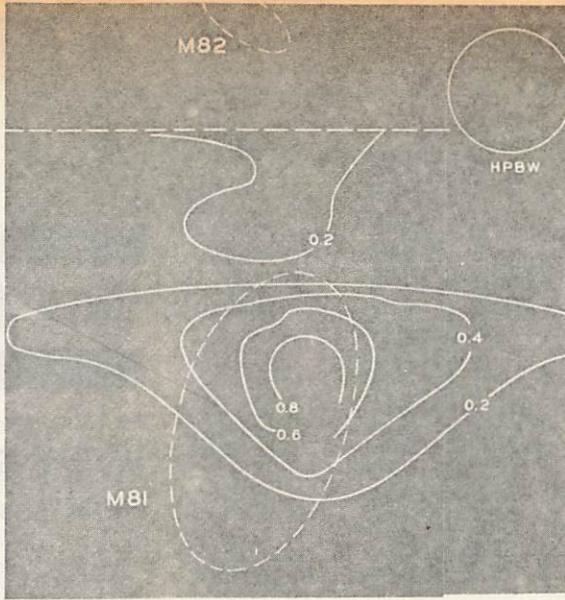
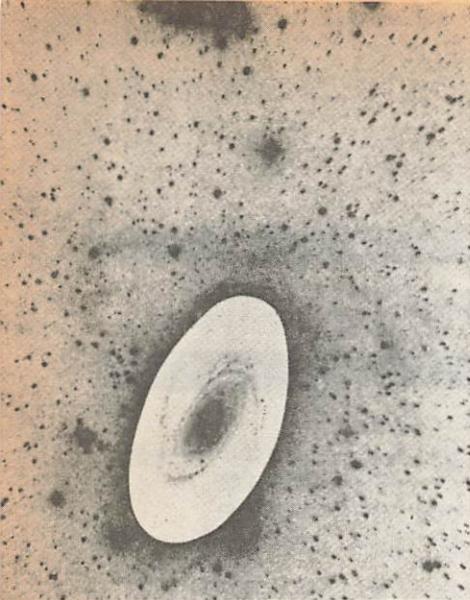
新しい概念によるニュー銀河像は、この地球の構造ときわめて類似している。

ん内部の中心核は内核と外核の二層に分化している。
 たぶん今やまれつつある新しい銀河の概念からすると、これまで銀河の本体の渦巻部分と置いていたのは、じつは地球の構造からすれば内部中心核のなかの外の部分であり、その内核にあたるのがいわゆる銀河中心核とよばれる領域なのだろう。

地球のマントルにあたるのは、これまでハローとよばれていた領域と、さらにその外側へずつとびるコロナとよばれる領域と、この二つの殻がそれぞれにあたるのだから。
 では、表層の山や川、地殻にあたる部分もあるのだろうか。

やはり、肉眼には見えないかたちで、それはあると思われる。新しい概念によるニュー銀河では、その表面といても巨大な水素ガス雲の面であり、その表側の自由運動によってかなり凸凹しているだろう。山のように突出した部分では近隣の他の星雲とつながっているかも知れず、川のように凹んだ部分では逆に他の星雲からのガス物質が雨のように降りそそいできているかもしれない。
 よく天体写真集などでおなじみの銀河は、たがいに遠く孤立していて、その中間には漠々とした何も無い空間のみが広がっているようだが、近年、電波天文学などの観測から必ずしもそうでないことが判ってきた。
 一例として、宇宙空間の水素ガスからなる波長21センチの電波を手がかりに、大熊座M81星雲のあたりを調べたのはアメリカの国立電波天文台の研究者たち。そこに肉眼で見える渦巻形とはまったく違った構造を発見しておどろいた。電波強度の等高線図を描いてみると、その中心部はややずれたかたちで渦巻構造とかさなるが、その左右ははるかにみだり、上方は平らで、下方に突出している。
 上方が平らなのは、隣接するM82星雲のせいらしい。その方向から別の星間ガスが舌のように伸びてきて、M81星雲からのガスを強くおさえつけているようなのだ。

光学的にはなにも写っていない無空間だが、じつはニュー銀河的に見た場合、そこはM81とM82の両星雲の外殻の接する地帯であり、両星雲から噴出したガス流の押しつ押しされつ角逐場、いわば銀河同士の間張り争いといえなくもない。
 人間同士の闘いにもいえることだが、こうした銀河星雲間での角逐においても、敗者はつらい破目になるようだ。相手の星雲からのガス流の運動エネルギーに対抗できなければ、ついには天然の防壁ともいえる厚いコロナハロー殻を突き破られ、心臓を一突きする七首のように、相手のガス流は渦巻の中心核部に流れこむ。その結果はどうか。中心核部の質量は急激に増大し、途方もない超大爆発をひき起こす。つまり自爆する。人間でいえばドバーと血を噴く断末魔の苦悶にあたるか。
 現代天文学の大きなミステリーの一つとなっている例の爆発する銀河NGC3034の原因も、存外、こうした銀河同士の見えない角逐である可能性が強い。新しい銀河概念からの再検討が必要のようだ。
 いや、そんなすさまじい大爆発を起こしているのは、なにも遠い銀河だけにかぎらない。私たちの住むこの銀河系の中心核でも、NGC3034ほどのスケールでないにしろ、同じような超大爆発が起こっていることに気づいて



大熊座M81星雲の天体写真と電波像。電波強度の等高線図は、肉眼で見ると渦巻形とまったく異なる。

たのはごく最近のことである。

少なくとも、銀河渦状星雲においては、原始の巨大ガス雲から誕生し進化していくその過程で、大いなる活気のあらわれとして何度も超大爆発を起すものらしい。

そして、その大爆発が銀河の大構造を決定している渦巻形と、なんの関係もないということは到底考えられない。かならず何らかのかたちでつながっているはずなのだ。

たとえば、すでにかなりの成功をおさめたコンピュータによる人工銀河の計算にしても、ほとんど星同士の重力的結びつきだけで、繰り返し中心核から噴き出す大質量分子雲の重力作用を考えていない。ちなみに中心から約

銀河中心核に反物質の可能性

過去3百万年間に、中心核から噴き出した総質量を計算すると、1年間に約太陽3個分となる。この質量はどこから湧いてくるのか。いくら中心核が過密だといっても、星とガスを一緒にひっくるめて、せいぜい太陽200〜400万個分くらい。ところが、そこから今までに放出されたと考えられる分子雲の質量は太陽1000万個分に達している。どうしても計算が合わない。

「銀河の中心のどこかに物質粒子その

1000光年のところにある中性水素膨張環の総質量は太陽にして約10万個分にあたり、今から100万年前の大爆発で中心核から放出されたらしい。現在、秒速50キロメートルの速さで回転しながら、外側へ向かって秒速約100キロメートルの速度で膨張している。

いちばん最近の爆発は40万年から4万年前にかけて起こったもので、中心核から150光年のあたりに達している。

おもしろいのは、この一番内側の膨張環とその外側、150光年ほど離れたそれとの間に、直線状のブリッジが架かっていることで、ガスの膨張環同士の間はどうやら交流があるらしい。

ものがコンコンと湧きだす泉、すなわちホワイト・ホールがあるのではないか」といわれるゆえんだが、まだなんの確証もない。むしろ、反対に天文学者たちは物質を片っぱしから吸いこんでしまうブラック・ホールの存在を想定している。

昨年アメリカ国立電波天文台のケイランマンたちは、ついに中心核のブラック・ホールをつきとめたと発表した。なんと太陽の1億倍の質量。それがごく狭い範囲の空間にぎゅうぎゅう詰め

になっていると思えばよい。中心核の全電波の4分の1が、そこから出ていて、全天で最強力の電波源の一つ、カニ・バルサーとくらべてもざっと100倍というからすさまじい。それが直径わずか16億キロ以下、ほぼ木星軌道の広がりくらいの領域から放射されている。もし、高温のガスによるとすれば、ざっと50億度に達してなければならず到底不可能。

そんなに高温でないことは、半年間にわたってこの領域を観測したがなんの変化もなかったことから判る。おそらく膨張しているとしても毎秒数十キロ以下でしかない。見かけ上、低温で、しかもすさまじいエネルギーを放射するものといえば、これはもうブラック・ホールのほかにない。そう、ケイランマンらは考えたのだ。

ところが、ここにもう一つ、別の可能性がさる4月になって突如として開けた。米ベル研究所のレビンソールとサンディア研究所のマカラム両博士の発見になるもので「銀河系の中心部に驚くほど多量の反物質の存在する重要な手がかりが得られた」という。反物質というのはいわばマイナスの物質であり、私たちの周りにはあるふつうのプラスの物質と出会うと、たちまち両者大爆発してエネルギーに変わってしまう。物質そのものがエネルギーに変換するから、核エネルギーの反応にくらべても数等まさる。

天文図書の

地人書館 〒112 東京都文京区後楽1-1-10
☎03(815)4422 振替東京6-1532

新刊

●3年間の沈黙を破った筆の牙え

太陽系発見の証明「おはなし天文学」第4巻

齊田博著 B6判 292頁 定価1200円 160円

好評のシリーズ第4巻。今回は趣きを変え、太陽系の探究に天文学者がどんな態度で取り組んできたかを、200人を超える人たちの成功と失敗、喜びと悩み、激しい論争の状況などを通して、太陽系の真の姿がどのような経過で明らかになったかを明かす。

●実用性豊かな入門解説書

天体観測ガイド 天文観測年表の使い方

下保茂著 B5変型 160頁 定価980円 160円

年表を自由に使うため、年表に出てくる言葉の意味や、種々の数値が表わす天文現象、数値のない日の計算法などを解説した。

●1年間の総ての天文現象がひと目でパッチリ

'78天文観測年表

天文観測年表編集委員会編 B5判 200頁 定価1000円 160円

好評発売中

●サマルカンド開都2500年記念復刻版

へべリウス星座図絵

—付 ウルグ・ベグ星表—

藪内清訳・解説 A3判 150頁 箱入 定価4500円 690円

●天文学習に役立つ天文ファン待望の書

天文観測辞典

古畑正秋監修 A5判 380頁 定価2900円 200円

●Nature誌がアマチュア必読の書と激賞

宇宙の発見 望遠鏡による天文学入門

アシモフ著 齊田博訳 A5判 330頁 定価2500円 200円

●ヘール天文台校閲による天体写真の決定版

パロマ天体写真集 (永久保存版)

大沢清輝解説 B4判 定価1700円 240円

●この1冊で天体写真がパッチリ!

天体写真入門 初心者のための徹底ガイド

太田健太郎著 B5判 144頁 定価800円 160円

●星座早見整つきの「天文ポケット年鑑」好評、残部僅少

'78天文手帳

「天文と気象」編集部編 A6判 192頁 定価480円 200円

いちはん単純な反物質の一つは陽電子であり、ふつうの陰電子と衝突すると、崩壊し、そのさい強力なガンマ線を出す。レビンソール博士らは、昨年11月、オーストラリアの上空3万9000メートルの高さに気球を揚げ、新考案の超高感度ゲルマニウム感知器をはるか銀河系の中心部に向けて見事、正・反物質の激突崩壊によると思われる特徴的なガンマ線を検出したのだ。

陰陽の電子対ならポジトロニウム、陽子・反陽子対ならプロトリウム、崩壊・消滅によるガンマ線が得られたはずだが、これまで遠い宇宙のかなたか、あるいは宇宙誕生の起源にさかのぼる頃にしか存在しないと思われた反物質が、わが銀河系の中心核におびた

だしく発見されたのだから衝撃的でもある。

だが、ソ連の天体物理学者ヴラソフらはすでに1966年、銀河中心核における反物質存在の可能性についていち早く論じていた。「物質と反物質は銀河系内で渦巻の腕と、渦巻の反腕にそって分布しているとすれば、そうすぐには衝突崩壊せず、腕の中を銀河の中心方向に拡散しながら、両腕の交

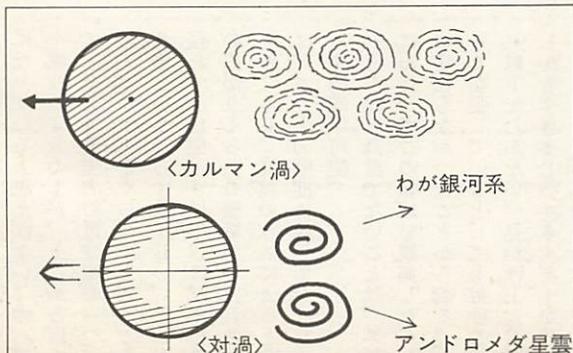
差する中心核の内部でまさしく対消滅を連続的に起こすだろう」

ほかならぬアメリカ国立電波天文台のケイラマンらの発見した謎の強力電波域こそ、このつとに予言されていた謎の正反物質衝突地点だったのか。それとも、銀河系の中心部には今なお始源宇宙のころの謎の高密度物質が息長く存在していて、ゆっくり崩壊を続けているのか。

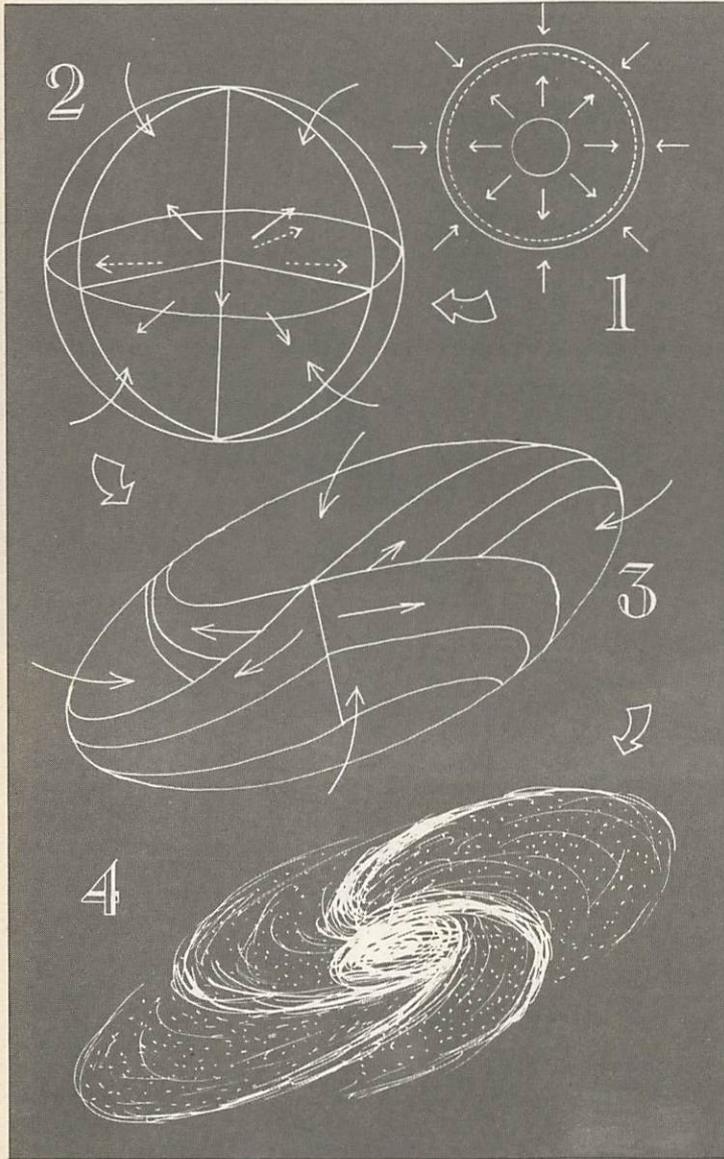
銀河系は孤立していない

これまでの見方によると、宇宙の最初はほぼ均質に水素ガスがゆきわたり、密度一様、ノッペラボウな状態で

あったとされているが、果たしてそうだったのか。おそらく宇宙始源の高密度物質の崩



宇宙始源物質が崩壊する過程で生じたと思われるカルマン渦と対渦



銀河系の渦の腕がどのように発達したかを示す4本腕モデル

塊はいっぺんに起こったのではなく、部分的に遅速があったとしよう。いち早く希薄拡散化した部分の中を、まだ高密度のままの始源物質が動きまわれば、ちょうど風呂の水面で指を動かすように、その背後にいくつもの渦の列、すなわちカルマン渦ができる。事実、そうしたカルマン渦そっくりのつらなる列状の渦状星雲が見つかっている。

こうした始源物質の希薄な部分と濃密な部分とは、そこから形成される小宇宙も違ってきて、おそらく濃密な部分からは巨大な球形、または楕円形の星雲が、そして希薄な部分からはわが銀河系もその一つである、渦巻星雲が生まれたのではないだろうか。

そうなると、銀河系星雲の渦巻構造はあとから次第に形をなしてきたのではなく、その誕生の最初からすでに明瞭にでき上がっていたのだろう。おそらく2000万年の光年かあなたにあるアンドロメダ星雲はわが銀河系と対をなしてできあがった対渦の一種かもしれない、この両者をその中を含むより広い局部

星雲団そのものが、大宇宙の中のほぼ同一の乱流域であったのだろうか。銀河系の渦の腕の発達はこの局部星雲団全体の進化の中でとらえ直さねばならない。

おそらく誕生初期の頃、わが銀河系は2つの力に支配されていた。中心部の超大爆発による膨張力と、まったく反対に星雲全体の重力に吸引されるガスやダストの流入だ。この2つの力のせめぎ合いから、渦巻構造は安定な形を保ちつつけてきたのではないか。銀

河の渦の腕は膨張力の卓越する領域に発達したのだろう。

こうした大宇宙空間からのガスやダストの流入は現在もなお弱いながらもひき続いていて、集中的に中心核の領域に蓄積し、ときどき大爆発を起こして、ドーナツ状に飛散。それによって銀河面に物質とエネルギーを補給し、大渦巻の回転を持続させているのか。

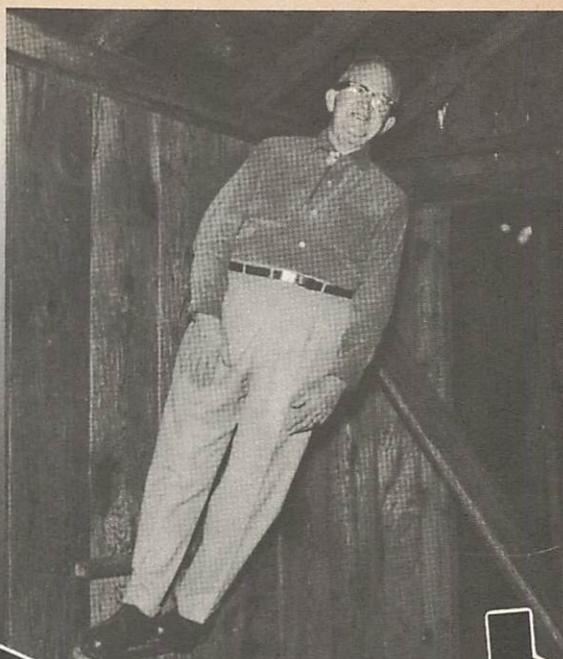
とすれば、星雲全体の膨張力と吸引力をバランスさせるために、誕生当初の星雲は上下それぞれ対称の4区画にならなければならない。その部分から渦の腕が発達するのだから、当然、銀河系の腕は2本でなく、4本なければならない。その裏づけはすでに得られた。

アメリカ国立電波天文台のヘンダーソン博士の研究で、すでに述べた太陽付近の3つの腕を含む6つの腕の巻き方を調べた結果、どうしても2本腕では説明できず、4本腕モデルにすればしっくりいくことが判ったのだ。

ほかの多くの渦状星雲が2本腕に見えるのは、その近傍の他の星雲の潮汐力をうけて、4本のうちの2本だけが大きく発達したのか。

これまでのように銀河系を孤立した系とみる考え方はもう限界のようだ。広く大宇宙を流れる目に見えない環境構造の中で、それとたがいに交流し、はたらきかけあう新しい銀河のとらえ方が必要とされるのではなからうか。

生ある動物は一匹として近寄らないという重力異常地点。ここは少しの移動で背が伸びたり縮んだり、すべてが斜めにかたむいたり、車がひとりでに動き出してしまう不可思議な世界なのだ？



リー・スポット

最近、人工衛星の地球探査によって、地球上の磁気異常や重力異常地帯があちこちにあることがわかってきた。

これらの異常地帯は、あるいは異次元世界への入口ではないかといわれ、かの有名な「魔のバミューダ三角海域」などもその一つだといわれている。

私の訪れたアメリカ各地にも、このような重力異常地帯はあちこちに見られたが、中でも有名なのは、カリフォルニア州のサンタクルスにある「ミステリー・スポット」と、オレゴン州のグランド峠近くにある「オレゴン・ヴォーテックス」、それに、ユタ州のソルトレーク市にある「グラビティ・ヒル」だろう。

「ミステリー・スポット」は、サンフランシスコ市から南へ国道を下ること、車で2時間ちよつと、サンタクルスというちよつぽけな町の郊外にある。

私は、もうここを3度も訪れているが、やはり何とんでも驚かされたのは第1回目、「11PM」の取材で大橋巨泉氏とはじめてここを訪れた時だ。

30センチの差で背が伸び縮み!?

サンフランシスコで借りたレンタカーを運転して、サンタクルスの町へ着いた我々は、さっそく面喰らってしまった。これほど珍しいところなのだから、すぐにわかるだろうとタカをくくっていたのだが、何処で聞いても「ミ

ステリー・スポット」を知っている人が意外に少ないのだ。

あちらで聞き、こちらでたずねして、わかりにくい道を曲りくねり、ようやく、森の中のそれらしい道に出た。

昼なお暗い感じの森は、見上げるような高さの樹々がうっそうと茂り、ミステリーじみた雰囲気満点である。

狭い一車線の道を、あちこち迷いながら行くと、バツと視界が開けた。

見ると、ちよつとした空地の左側に、簡単な柵がしてあり、上には、「ミステリー・スポットへの入口」と大きく書かれた看板が見える。ようやくたどりついたので。

脇の小さな駐車場には先客があるらしく、2〜3台の車が止まっていた。

さっそく入場料を払って入ると、もうそこは、重力異常地帯の真ただ中なのには驚いた。

入口を入って数メートルの所に、2つの長方形の石が、30センチくらいの間隔をおいて平行におかれている。

案内のおじさんの解説で、デモンストレーションが始まっていた。

我々の前に来ていた、見るからに西部の男らしいごつい身体つきのお父さんと、15〜16歳の娘さんが、互いに向かい合ってこの石の上に立ってみる。

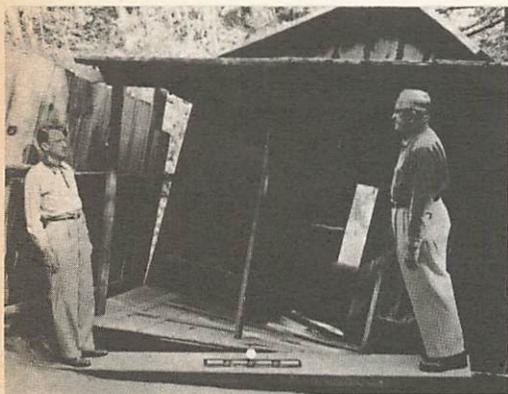
右側のお父さんの方が、左の娘さんよりも背が高い。だが、案内人の合図で2人が位置を入れ替わったとたん、何と、右側になった娘さんの方がお父さ

連載/この眼で見た現代の怪奇 8

重力異常地点

日本テレビディレクター
矢追純一

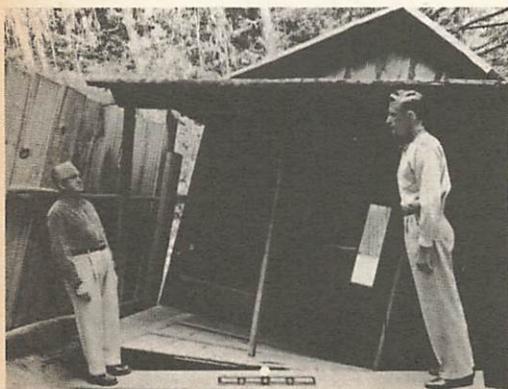
ミステ



んより背が高くなってしまったのだ。わずかに、一步踏み出しただけの空間の移動で、背が伸び縮みするものだろうか？ この2つの石の間隔は前述したように30センチである。この30センチの空間に、目には見えない重力の異常があるのだろうか？

案内のおじさんが、この2つの石の間に、平行儀をあて、見せてくれた。たしかに、2つの石は完全に水平なのだ。

私は巨泉氏と一緒に実際にこれらの石の台に乗ってみて、まったく驚いてしまった。私は身長163センチくらい、巨泉氏は180以上はあるだろうか……。最初、それぞれの石に乗った時、巨泉氏は私から見ると雲突くような大男に見えた。ところが、お互いに一歩ずつ足を踏み出して位置を入れ替わったとたん、巨泉氏は私よりもはる



かに小さい小男に見えるのだ。この現象は、はたから見てそう見えるだけでなく、そこに実際に立つ人にも、互いに相手が伸びたり縮んだりしているように見えるのである。

私は巨泉氏の脇に立って、巨泉氏が一つの石の上に立っている時の身長を測り、もう一つの石に位置を変えた時の身長とをくらべてみたが、身長そのものは同じである。とすると単に眼の錯覚か……と思ったとたん、私はあることに気づいて吹き出してしまった。「なんだ、もし、一つの石から別の石に移る時に、それぞれの空間に異常があって背が伸び縮みするんだとしたら、この巻尺も同じように伸び縮みするわけだから、身長を測っても意味ないんだよね」

とんだところで恥をかいてしまったが、この入口の脇に貼ってある、アメ

背丈の違いはこの通り！

リカの有名な雑誌「ライフ」誌のコピーにも、アインシュタインがこの現象について仮説をたててはいるが、未だに本当の原因はわからないといっているくらいだから、ド素人の我々が初歩的なミスを犯すのも無理はないのかもしれない。ここでのこの不思議な現象については、いろいろな学者がやってきていろいろな実験をしているのだが、まだ誰も真相を解明した人はいないのだ。ある有名な学者は、この地域の背景である森の木の並び方などが錯覚を生むのだろうと考え、巨大なまんな幕を持ってきて、この石のある場所の周囲に張りめぐらし、実験してみたが、やはり背が伸び縮みして見える現象は変わりなく起こったという。

また、ある学者はこの地域の中心に巨大な質量のいん石が埋まっていた、そのために重力異常が起きているのだろうと考え、あらゆる所を掘ってみたら、地下100メートル掘っても何も発見出来なかったのである。

この2つの石がある地点からミステリー・スポットの中心へは、かなり急な山道を登らなくてはならない。

あたりの樹々は、奇妙なことに皆、異常地帯の中心に向かってねじくれるように曲がって生えている。中心近くの木などは、幹がラセン状にねじれながら天に向かってそびえ立つという異常さである。

ふと足許を見た巨泉氏が叫んだ。

「おい、ヤオイ、俺の足が見えないよ」なるほど、私自身も下を向いて見ると、自分の足のつま先が見えないのだ。ふと横の巨泉氏を見ると、異様に前かがみになって斜めに立っている。それだけ、中心地帯に引きつける重力が強いのだ。極端に傾いて立っているため、つま先すら見えなくなっているにちがいない。

下り坂をはい上る 不思議なボール

やがて、中心地点にある木造の粗末な小屋に着いた。小屋のまわりをとりまく汚ない木の扉の中へ一歩足を踏み入れたとたん、私は笑い出してしまった。そこにいる人々が全員、信じられないほどの角度で斜めに立っているのだ。そういう私も同じように立っているのちにがいない。

見ると小屋自体も、極端に一方にかしいで、一本の太い木の幹に寄りかかり、辛うじて倒れずに建っているといった具合である。

この持主は、何も知らずにこの土地を小屋ごと買ったのだが、何度建てなおしても小屋は傾いてしまい、人間は斜めに立たなくては安定を保ってられないのに気づき、いろいろと調査した結果、不思議な現象を沢山発見したのだという。第一に、この地点には生きた動物は全く近寄りたがらない。猫などを連れてきても、アッとい

う間に逃げてしまうのだ。鳥も、この地点の上空に迷いこむとバタバタと落ちてしまうという。そしてここで死んだ動物は、みな、いつの間にか中心地点へひきよせられ、集まってきてしまうのだ。それほどこの中心点での重力は異常に強いということだろうか。

案内人がデモンストレーションをは



下がっている樋をはい上るボール

じめた。

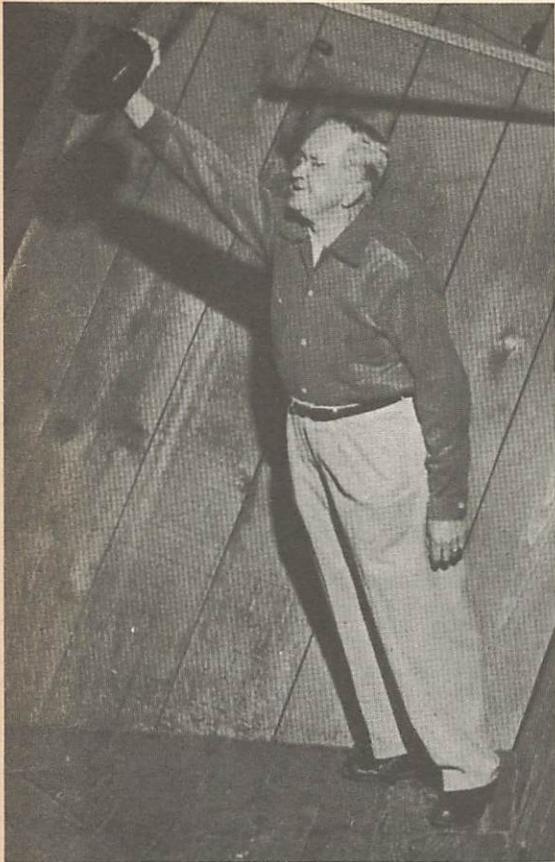
驚いたことに、明らかに下り坂にしらえられた木の樋にボールを転がすと、反対に上がってきてしまうのだ。何回やっても坂の下から上へと、ひとりでにボールは上がってきてしまう。その上、ボールが樋の端から地面に向かって落下する時、垂直に落ちないのだ。

手をボールが落ちてくると思われるところに差し出して待っていても、そこには来ないで、やや遠くへ落ちてきてしまっ、受け取ることができない。これは、案内人がやってみせたコップの中の水の実験でも同じで、一つのコップの水をもう一つのコップに移そうとすると、どうしても予期したところが水が落ちず、こぼれてしまうのだ。何か目に見えない強力な力が中心点から働きかけて、あらゆる物をそちらに向かってひきつけているらしい。

小屋の中に入ってみると、思わずまいがする。小屋は中心点に向かってひきつけられたため、異常に傾いていて、床などは45度に近いほど斜めに傾いている上、身体も強力にひっぱられるので、手スリにしっかりとつかまっていけないと、ズリ落ちてしまう。歩くのさえ非常に困難なのだ。

そして不思議なことは、両手を離れたまま壁をスタスタと歩いて登り、壁の途中に斜めに立つことが出来るのだ。まるで忍者にでもなったみたいなど、奇妙な感じである。

だが何といても驚いたのは、この小屋の中に吊り下げられている直径20センチ、厚さ5センチほどの重い鉄のおもりだ。この天井から鎖で吊り下げられているおもりを一方に押す時は大変な重さなのだが、それと正反対の方向に押すと小指一本でも動かせるほど軽いのだ。もっと奇怪なのは、この



鉄のおもりを使った重力実験

おもりをふり動かした時に、おもりの描く軌道の異常さである。

通常、何かのおもりを上から吊るし、これをふり動かすと、それは左右に往復する振り運動をしながら目に見えないほど少しずつ位置をズラしていき、1日かかって1つの円を描くはずなのだ。

ところがここのおもりは、はじめに左右に振らしてやると、その動きを続けるのは6〜7秒くらいの間で、すぐに左まわり(時計と反対まわり)の円運動にかわって、ぐるぐるとまわりはじめる。この動きが6〜7秒で、今度は手前から前方へ往復するタテの振り運動にかわり、再び6〜7秒たつと右まわりの円運動をはじめ。

(1) 左右(横)の振り運動。

(2) 左まわりの円運動。

(3) 前後(縦)の振り運動。

(4) 右まわりの円運動。

(5) 再び(1)の運動に戻って同じパターンをくり返しはじめる。

を順次、それぞれ6〜7秒足らずの短時間でくり返すのだ。これはいったいどういふことなのだろう？ 我々の教えられた科学ではどうも説明がつかないように思われる。

ここで他の現象は、仮に眼の錯覚だとか、人間の平衡感覚の錯覚を利用したものすぎないとかいふことが出来たとしても、こればかりはどうにも理屈のつけようがないのだ。

自然の状態で、天井から鎖(これもよく調べたが、何の変哲もない鎖で、鉄製の小さな輪でつながれた曲がりやすいもの)で吊り下がった鉄のおもり

が、このような動きをするということがこの地球上で考えられるだろうか？

天井裏にある種の機械をとりつけて、おもりを鎖の根元からふり動かすのか？ とも思ったが、ボロ小屋で天井裏などはなく、屋根の板がそのままムキ出しになっているのだし、外へまわっても、屋根の上には何も無い。

鎖はこれまた何の変哲もない鉄の小さなクサビで、じかに天井の梁に打ちつけられているだけなのだ。

床下に強力な磁石を回転させたり、左右、タテ横の運動をさせる特殊な機械を隠しているのだろうか？……いや、床上3メートルもの位置にあるおもりをひきつけて動かせるほどの強力な磁石があるとは思えないし、トリックを使うなら、もっと簡単に説得力のある方法がいくらでもあるはずだ。この

ような一見、子供や素人にはわかりにくい、しかも大がかりな装置を必要とするものを考えなくてもすむはずである。第一床下にそのような装置をしかける空間などありはしないのだ。

この現象ばかりは、何とも不思議というほかはない。誰かこのうまい説明を考えつく人がいるだろうか？ もしいたらぜひ教えてほしい。そして、この重力異常地帯の中心点にある小屋の中にしばらくいると、眼まいや吐き気がして、ちょうど船酔いと同じ状態になるのだ。

動物たちがここに近寄りたがらない

好評発売中!

アルファトーン

バイオフィード
バック装置

これを使って精神統一をすると速やかに効果が上がり超能力が発現します。

超科学七、八号(各三〇〇円・送料共)参照

二九、五〇〇円
二五〇〇円



ESPカード…………… 五〇〇円

キリアン写真機用テスラコイル 一四〇〇円

美颜器…………… 一三、〇〇〇円

超科学四号 一五〇〇円

特集 超科学実験装置 参照 五〇〇円 一、二〇〇円

橋本電子研究所 二四八鎌倉市小町一(一五)一七

☎ 0467(25) 3035

あなたの中に眠る超能力を引き出しすばらしい人生を送るための会

日本超科学会

会員は右記の品一割引、会報進呈、切手六〇円送れ。

五井昌久著

人類の未来

手をこまねいて未来を憂う愚はゆるされない。現象界の不調和を超えた領域から、人類の未来に一条の光明を投げかける黎明の書。

B6判/価680円/千160円

聖なる世界へ

煩惱を昇華し、人間の内にも外にもある聖なる世界へと魂を導き、そこを常住の世界としうる道を説いた、強力な人格蘇生の書。

B6判/価800円/千160円

平和を呼ぶ声

人類をして、旧来の物質人間親国家親から、縦には神とつながり、横には宇宙的視野にたった真実の人間親国家親に新生させる書。

B6判/価700円/千160円

村田正雄著

空飛ぶ円盤と超科学

日本人による円盤同乗記!

UFOに乗った著者自身の見聞記で、円盤の飛行原理、宇宙人の飛来する理由、機長や司令との会見、超科学基地の見学等、数々のスケッチ、UFOや母船の断面図等を示しつつ、驚くべき事実の全貌を語る。 新書判/価600円/千160円

白光出版

千101 東京都千代田区内神田1-15-7
振替東京2-151348・03(295)0456
図書目録・月刊誌贈呈

のがよくわかる。

この上空を飛ぶ飛行機は、コンパスや飛行計器が狂ってしまうので、ここは飛行経路から外されていて、どんな民間機も飛ばないという。

重力が渦を巻く 異常地帯

森林地帯で有名なオレゴン州のグラウンド峠という、小高い丘の中腹にある「オレゴン・ヴォーテックス」は、その規模も、汚い小屋や平行した2つの石がおいてある点など、カリフォルニア州のミステリー・スポットによく似ている。ヴォーテックスとは、渦動という意味で、ここでは重力が渦を巻いているために異常が起こっていると考えられているらしい。

このオレゴン・ヴォーテックスも、一歩中へ足を踏み入れると、たちまち周囲の景色が変わり、不気味な異常さ

を感じさせられる。あらゆる樹々はね

じくれ、一方に向かって不自然に傾斜している。異常地帯の中心点にある粗末な木小屋に入ると、その奇怪さはますます激しくなり、頭痛やめまいがするばかりでなく、煙草の煙が長いこと空間にとどまり、やがて少しずつ渦巻きながら拡散していくという奇妙な現象が見られる。

ボールを地面におくと、ひとりでは異常中心点に向かって転がっていつてしまうし、ホウキは、床におかしいくらいに傾いたまま立つてしまうのだ。

ここでは垂直とか水平とかは全て狂ってしまったって、役をなさないううに見える。

糸で鉛を吊るしても垂直に下りないのである。

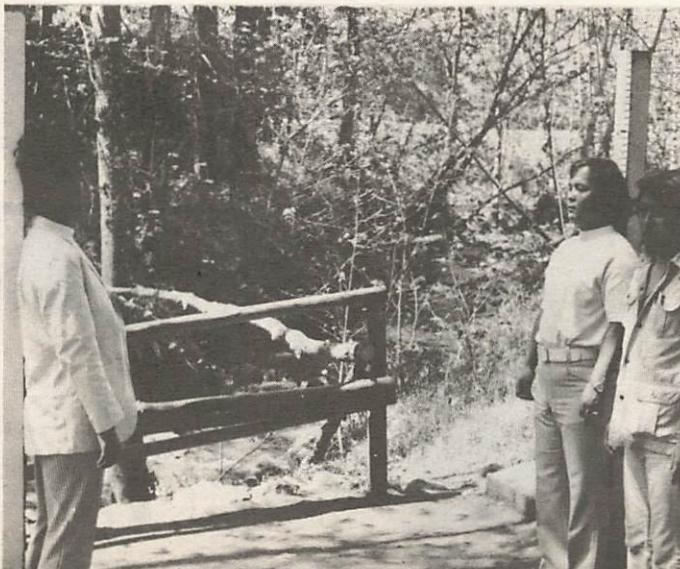
ここで最も不思議なのは、2人の人間が抱き合ったままぐるりと回転して

位置を入れ替わるだけ

で、2人の背の高さが変わってしまうことである。それはわずか数センチの差といえるだろう。

そのようなわずかな空間の位置変化でも、片方にいた人の身長がぐるりとまわった瞬間、急に伸びて、もう一方の人間は縮んでしまうのだ。これは実際に、そこに立つ人間の身長が伸び縮みするの、単にそう見えるだけなのかはわからない。

この入口に貼ってある説明文による



「オレゴン・ヴォーテックス」重力異常地帯



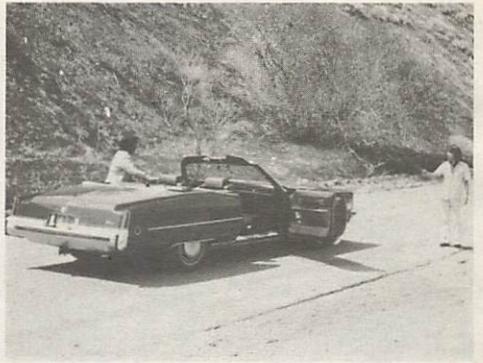
ヴォーテックス内の一行

と、ここは地球磁気の2つの対極場が交差する地点であるために異常現象が起こるのではないか……。それはアインシュタインの統一場理論を実証するものである云々……と難しいことが書いてあるが、要するに本当のことはわかっていないのだ。

このオレゴン・ヴォーテックスは、はるか昔からインディアンたちによって、謎の魔神の住処として恐れられていた所で、その意味では発見の歴史がミステリー・スポットよりも古いかもしれない。

重力異常地帯は 他にもあった!!

ユタ州の州都ソルトレーク市、その市のご真ん中、州議事堂のすぐ裏の坂



無人の車が動き出すグラビティ・ヒル

道には「グラビティ・ヒル」と呼ばれるもう一つの重力異常地帯がある。

堂々とした外観の州議事堂の正面に通じる大通りを進み、ちょうど議事堂を回りこむ形で、その裏側に続く舗装道路を下りはじめると、もうそこがグラビティ・ヒルなのだ。

かなり急な下りの坂道なのだが、途中で車を止め、ギアをニュートラルにしてブレーキを外すと、車はぐんぐんとうしろへ引っぱられるように坂を登りはじめる。その力はかなりなもので、徐々にスピードが上がっていつてしまい、車の交通が激しいこの道では危なくてしょうがないほどだ。通り過ぎる車は、我々が実験していると「ア、またやってるな」といった表情でニコニコと手を振りながら去っていく。

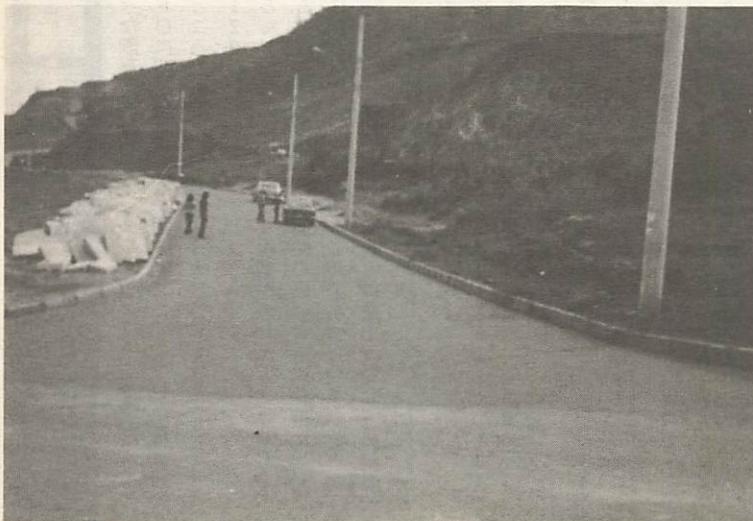
この異常はよく知られているのだが、地元の人にとってはもうなれっこになっていて、さして珍しいことではなくなっているようなのだ。

このグラビティ・ヒルでは、ボールや乳母車など、いろいろなもので試してみたが、このように小さなものではうまくいかず、やはり重い、自家用車のようなものの方が現象が顕著に現れるようである。これもグラビティ……つまり重力の働きのせいなので、質量と関係してくるのだろうか？

このように、車が坂道をひとり登っていつてしまうという地点は、ほかにもまだまだ沢山あって、カリフォルニア州のサンフランシスコ郊外の牧場内にある坂道などは、アツと驚くほどの急坂にもかかわらず、この怪現象が起きてしまう。

ブラジルのセーハ市でも、この重力異常の坂を発見して実験してみたが、ここでは、ボールのような小さなものまで坂を転がり登るのにびっくりしてしまつた。

これら「ミステリー・



ブラジル・セーハ市にある重力坂

スポット」や「オレゴン・ヴォーテックス」、それに「グラビティ・ヒル」といった所では、何故このような怪現象が起きるのだろうか？ それらは本当に重力の異常によるのだろうか？ それとも何か別の未知のエネルギーによるのだろうか？ これらの謎が解かれた時、魔のバミューダ三角海域の蒸発事件やその他数々のミステリーも明らかになり、異次元との接点が見出されることになるのかもしれない。

ける

事件の全貌 (完)

優れた数々のデータ処理と、鋭い考察に基づいて書かれた、日本のUFO事件の実態を分析する意欲作、いよいよ佳境に!! 今回完結編として、UFOの編隊・レーダー目撃・飛行経路・我が国の調査研究などについて考察する。

編隊に関する考察

UFOが時として様々な隊形をとって飛行することは、UFOに関心をもっている人なら周知のところである。我が国では今までに、120件ぐらい

報告があるが、そのほとんどは鳥の群れの誤認であるといえる。それについては、並木伸一郎編『UFO発見法』の中で具体例をあげて説明をしておいたが、ここでその要点を述べてみよう。

まず第1点は、編隊を構成している物体の多くが非常に薄暗く、たとえば光害の激しい都会地で見られた積雲ぐらいの明るさであるということである。具体的に言えば、2〜3等星ぐらいである。

第2点は発光色に白色が多いことである。夜間、鳥の群れは地上光を受けて光って見えることが多いが、鳥から反射された光はきわめて弱いために色づいて見えずに白色に見える。

第3点は編隊の一部に進み遅れがあり、全体にフラフラした動きをしている場合が多い。また、連続して目撃された場合、進行方向が同一であること。

第4点は飛行中に翼が空気を切る音や、あるいは鳴き声が聞こえる場合がある。

第5点は輪郭がぼんやりしている場合が多く、反射光の関係か地平線の高

いところでスッと消えてしまうことが多い。また、その目撃継続時間も10秒以下というのが大半を占める。

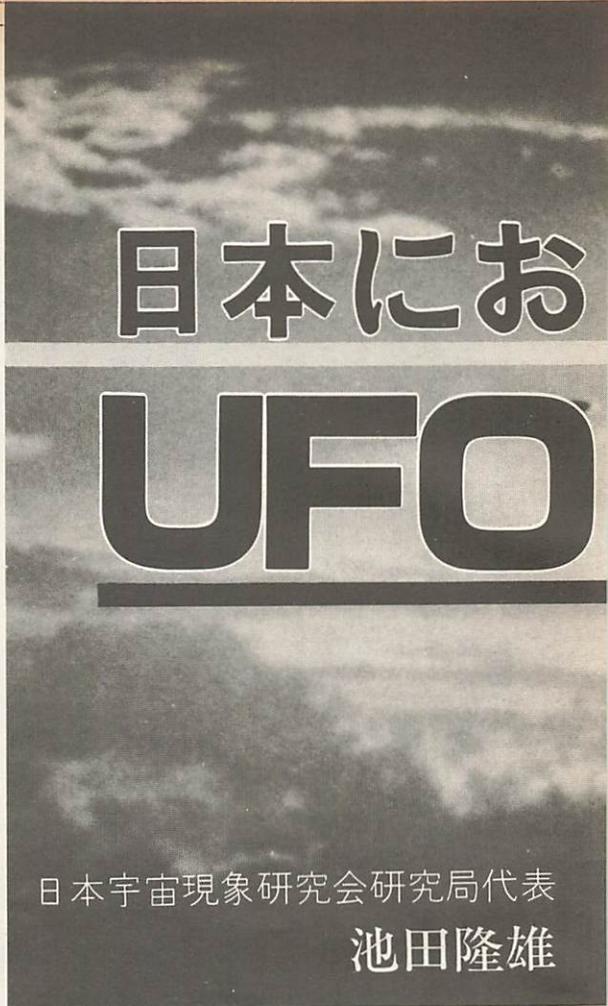
以上であるが、それでは一体どのような観察があれば、よりUFOである可能性の高い目撃になるかといえは、明るさが金星ぐらいであるとか、また赤や橙色に見える場合、目撃継続時間が20〜30秒以上といった長い場合、などが考えられると思う。

それで、私がUFOとして選び出した事例は表14で、全部で35件になる。一番多いのは2〜3個で、これだけで半数以上を占める。隊形は逆V字型、縦列型、横列型などとなっている。なお参考までに、この隊形を戦闘機の隊形用語でいうと、順にフィンガーチップ、トレール、エンロンとなる。

表14 編隊(F)に関する分類

(総数35件, 12.0%)

(1) 2個	10件	(2) 3個	9件
(3) 4個	2件	(4) 5個	6件
(5) 6〜10個	4件	(6) 11個以上	4件



日本にお UFO

日本宇宙現象研究会研究局代表
池田隆雄

追跡・大接近・着陸に 関する考察

最近に至るまでUFOが車やバイク等の乗物を追跡するという事件はほとんどなかったが、'73-'74年集中目撃"を契機として、がぜん目立つようになった。表15には乗物を追跡または、それに接近する事例を乗物ごとに分類して載せてある。いよいよ我が国も海外並の事件が多発するようになってきたといえる。

追跡と共に増加したのが、地上10メートル以下まで大接近するUFOが増加したことで、これは表16の(5)に載せてある。また前にも述べたよう

に、追跡や大接近は、都会地では全く起こらず、人里離れた路上や、あまり人家のないところで発生する傾向にある。

地上に着陸したり、あるいは海面に着水または海中から空中へと飛び去るのが目撃された事例は今のところ6件発生している。また、地上に痕跡を残す事例も3件報告されている。70年の館林事件では草地に4カ所、円状になった部分の草が押しつけられたり茶色に焦げているのが観察されている。

'73-'74年集中目撃"の渦中に起

表15 追跡・接近(T)に関する分類

(総数15件, 5.1%)

(1)航空機(ヘリも含む)…8件, (2)自動車・電車…3件, (3)バイク・オートバイ・自転車…4

表16 その他

- (1)写真撮影事例(P)……46件(調査目撃事件292件を基にすると、15.8%)
- (2)8、16ミリフィルム及びビデオカメラに依る撮影事例……3件
- (3)懐中電灯点滅信号に物体が反応した事例……2件
- (4)水を吸い上げる事例……1件
- (5)地上10メートル以下まで大接近した事例(C)……10件
- (6)着陸(L)、着水(M)した事例……6件
- (7)痕跡事例……3件(焦痕、植物がなぎ倒される)
- (8)異常放射能検出事例……1件
- (9)生理的効果事例……1件(角膜炎に類似した症状)
- (10)エンジン停止事例(E)……1件(航空機エンジン)
- (11)空電効果(N)事例(レーダー機器やラジオ、テレビ等に雑音が入ること)……2件(レーダー、ラジオ)
- (12)物体搭乗者(ヒューマノイド)目撃事例(H)……1件
- (13)物体捕獲事例……1件
- (14)機上目撃事例(A)……10件
- (15)レーダー探知事例(R)……8件
- (16)同一地点に於ける多発目撃事例(J)……6件(佐藤、小野町、富士市、東大阪市、岡山、築紫野田)
- (17)滞空物体(複数)の個数……7件
 - (a)2個……1件、(b)4個……1件、(c)7個……1件、(d)9個……1件
 - (e)10個……1件、(f)多数……2件
- (18)2個の物体が互いに円運動をする事例……2件
- (19)2個が互いに追いつ追われつの飛び方をする事例……2件

こつた岡山市旭町の事件では、物体が降下した付近に、直径2メートル程の円形の輪に沿って草が押し倒されている部分、その内側には幾つか凹んでいる部分が観察されている。77年夏、沖繩

で発見されたのは、砂糖キビ畑の広い部分にわたって、原因不明のなぎ倒され方をしてい

る。UFOによる地上の土壌や草木に対する痕跡事例を専門に収集しているC

UFO (UFO研究本部) の一員であるテッド・ウィリップス氏によると、1977年4月現在、その件数が1033件に達すると報告されており、年々増加の傾向にあるという。また、同氏による1964年から1976年までの痕跡調査統計によると、木々の損傷33%、脚痕18%、液体状残留物20%、エンゼル・ヘア18%、破片9%、(熱的) 輻射2%となっている。

た、物体から放射されたマイクロ波によって生じたと思われる白燐も発見されている。

現在のところ、我が国ではデルファスのような環状痕例はないが、UFOの輻射電磁波の推定に非常に役に立つので、今後ぜひとも起こって欲しい事件の一つである。

1975年7月、同氏が編集した「UFO目撃に関連する物理的痕跡」という資料集がC UFO Sより発行されたが、それでは現場状況として、焼焦げている場合51%、圧迫されている場合38%、乾燥している場合11%、また、それらの形状は円形77%、楕円形14%、不規則な形状9%、さらにそれらの個数は、3個の場合38%、4個の場合15%、5ないし6個の場合47%と報告されている。なお、上記の資料集には草がなぎ倒されている場合について統計が載っていないが、同氏が『1972年中西部UFO会議録』(MUFON発行) に発表したところによると367件の内の67件(18.3%)に達している。

1975年2月、甲府市で起きた着陸事件では、現場付近から採取された土壌に異常な放射能が検出されているが、このような例は海外では、フィリップス氏の調査によると今までに8例ほど見られるという。

UFOによる生理的効果と思われる事件が1974年5月に京都の大原で発生している。夜中「ゴーツ」という音がするので驚いて飛び起き、近くの山へ様子を見にいったところ、暗闇の中にぼんやりとした光るものを発見、それを見た途端、涙がとめどもなく流れ両眼に痛みを感じ、あわてて山を降りようとしていると、何か奇妙な音がしたので、その方を向くと円錐形状の物体が飛び去ろうとしているのを目撃した、という事件であるが、紫外線が眼の角膜に作用して炎症を起こさせる電気性眼炎と呼ばれる症状によく似ている点で、興味のあるところである。なお、京都での事件ではその後2〜3日間というものも羞明(まぶしさ)や眼痛が続いた、と伝えられている(本誌34号参照)。

UFOの着陸痕が異常に乾燥している場合があるが、有名な1971年11月に米国のデルファスで起こったケースでは、それは環状になっており、環部の土壌分析によると、その周りの土壌に比べ5倍から10倍ものカルシウムが含まれていたと伝えられている。ま

低々周波音は物体が空気を切る音に似ていたり、また何か気体を吹き出す音にも似ているが、周波数がきわめて低いと思われるので、集音記録するためには大きな集音用パラボラが必要と思われる。

次の低周波音についてはごく一般的に世界各地(もちろん我が国も) しかりであるが、報じられる音で、物体のエンジン音と考えられている。そして、そのエンジンが活発な状態に発する音が高周波音と考えられ、事実、低周波音から高周波音への推移が観察されている。

UFOの発する雑音電波によってテレビや無線機器、あるいはリーダー機器が妨害される現象は「空電現象」と呼ばれているが、我が国では2例ほど

音・空電・エンジン停止に関する考察

UFOが「ブーンブーン」というような音を発している例は、一般によく知られているところであるが、最近に至るまで、我が国においては、そのような例はきわめてわずかしかなかった。しかし、73〜74年集中目撃から急に増えてきた。表17に示すように現在のところ19件報告されており、なおその周波数別に3段階に分類でき

見出せる。まず、ラジオに雑音か、ある種の信号が入ったと思われるのは、1963年8月、箱根で起こった事件があるが、ラジオが「ピーピー」という音を発した時、薄霧の中を平べったい銀白色の物体が飛んで行くのが見られたという。

リーダー機器が謎の電波によって混信したという事例としては、1956

表17 音(S)に関する分類

(総数19件、調査事例全体に対する割合6.5%)

- (1)低々周波音…「ヒュー」、「フウ」、「シューシュー」(3件)
- (2)高周波音…「ゴーツ、キーン」、「ウーン→キーン」、「ゴーツ」、「キューン」、「キーン」(3例)、「金属的な音」(2例) (10件)
- (3)低周波音…「ヴィーンヴィーン」、「ウンブルブル」、「ジーンジーン」、「プレイヤーの回転不規則音」、「ヂンチン」(5件)
- (4)不明……1件

年12月、迎撃訓練を行っていたF86Dセ이버1全天候戦闘機がレーダーにとらえた謎の物体の場合がある。この物体に接近したところ、強力な混信によって妨害されたが、周波数を変えることによって、これが幾分か軽減したので、さらに接近したところ、底部が黄褐色の円形の物体が見えた。が、まもなく怪物は左旋回して突如、マッハ2以上の速度を出して遠去かった、という。

UFOが接近した際、自動車のエンジンが突然停止し、車の灯火類が消滅するという話は全世界から報告されているが、我が国ではわずか1件しかない。それは1945年8月、硫黄島付近を飛行していた米軍機のパイロットが、飛行中、突然エンジンが止まったので、なぜ止まったのだろうかと思つて、ふと機外を見たところ、奇妙な物体が3個飛行しているのを目撃した、という事件である。

レーダー目撃に関する考察

権威ある流星研究者から、流星を観測する時に行う同時多点観測をなぜUFO観測に応用しないのか、またUFO目撃の際にUFOの大きさ、速度、距離などが何の根拠もなく、ポンポン出るのは好ましくない、という話をよく

一般的に空電現象やエンジン停止現象は「E-M効果」と総称されている。しかし、ある周波数の電磁波が、通信機器に障害を及ぼすことは事実であるが、電磁波あるいは磁気によってエンジンが停止するというようなことは確認されていないので、これらは2つに分けるべきだと、私は思っている。

NICAPが1964年に『UFOの証拠』という分厚い報告書を出版したが、それによると、その時までUFO目撃と関連するE-M効果事例が106件あった、と述べている。

空電現象はともかく、エンジン停止現象（火花点火式エンジンのみ生じるらしい）や謎の停電現象は、どうしてそのような事が起きるのか、世界中の多くの研究者が研究しているけれども未だ分かっていない。この謎が解けたなら、UFO現象の解明に一步も二歩も近づくことができるかと私は確信している。

気圏外まで幅広く分布しており、また、その速度も0から秒速何キロと広く分布しているわけで、この変幻自在の複雑な現象の観測は、一直線に進み消滅する流星現象の観測と単純に比較することはできない。しかし、肉眼観測を行う場合は流星観測に用いられる様々な方法は大きい参考になるであろう。

目測による物体の大きさや速度、それまでの距離などといったものは物体が遠方の場合、よほど訓練を積んだ人でないと信用あるデータは得にくい。それよりも物体の見かけの大きさ（角度表示）と移動速度を毎分当たり何度であった、とかいうように表現した方が、より正確である。もちろん物体がすぐ目の前を通過した時などは例外で、周囲の家並や木々との比較によって比較的正確な値が得られる。

UFOの飛行速度や飛行高度が最も正確に観察できるのは、レーダー電波でとらえた場合で、肉眼観測よりも数段優れた正確な情報を得ることができ

我が国には現在24時間稼働しているレーダーとしては航空自衛隊のものがあり、全国に沖繩を含め28カ所ある。そして、それらの大多数はバジ・システムにより自動処理が行われており、レーダー基地と迎撃戦闘機基地、それに地対空ミサイルなどが連係して我が国の領空に侵入してくる未確認機

を迎撃する体制ができています。

現在までに我が国上空で地上レーダーあるいは機搭載レーダーによってとらえられたUFO事件は8件に達するが、その多くは同時に肉眼によっても目撃されている。しかし、これらの事件のほとんどは在日米空軍によって確認されたもので、1958年から1960年にかけて在日米空軍から航空自衛隊へレーダー基地が移管されたが、残念ながら、それ以降現在に至るまで、これらのレーダーによってUFOを発見し、それを迎撃あるいは確認するために戦闘機が緊急発進し、UFOを追跡したというような事件は伝えられていない。また、航自航空幕僚監部も、そのようなものを確認した事例は全くない、と述べている。しかし、私には不思議に思えてならない。というのは、目撃が比較的少なかった1952年のころでさえ、3件もレーダー目撃があるのに、「73-74年集中目撃」で78件ものUFO目撃があった時でさえ、レーダーでとらえられ、しかも正体確認のために迎撃戦闘機が発進し、UFOの周囲を飛び回るなどといった事件は1件も伝えられていないのである。それでは、なぜ、肉眼ではとらえられても、レーダー・スコープにその位置を示す輝点が映じないのであるのか。その原因はいくつか考えられる。

まず第1点はUFOの飛行高度が低いために、周囲の山が邪魔をして、レ

1ダー電波がUFOまで届かない場合で、確かに山陰とか、地上数百メートルのところまではとらえることができないのが現状のようである。海上低く飛行する物体も、先般のミグ機の亡命事件に見られる通り、警戒管制レーダーにとらえることができない。航自では、これを期に低空から侵入してくる敵機を発見するために、レドーム(レーダーを収めておくドーム状の器)を機上に取りつけた空中早期警戒機の導入を考えているくらいである。

第2点は実際にレーダー・スコープ上に未確認物体が飛行していることを示す輝点をとらえても、たびたび遠方の方から我が国の方へ接近してくるツ連の偵察機とは違い、全く何の前触れもなく突然出現するので、何かの鳥の群れではなからうか、また何かの反射物による偽像ではなからうか、あるいは気温の逆転層、ラジオ・ダクトと呼ばれる異常伝播によるものではないだろうか、さらには飛行計画書を出していない航空機ではあるまいか、と思っ

第3点は空中に滞空するUFOの場合で、この時もまたとらえ難いと思われる。というのは、物標に反射されて帰って来たレーダー電波を、そのままスコープ上に現すと、陸地部分などは輝点で真っ白になって、その部分にある機を識別することができないので、MTI方式といって、移動するものだけスコープ上に映るシステムになっており、滞空しているUFOなどはとらえることができないわけである。

滞空するUFOで大きな事件だったのは1975年3月31日夜、三重県で起きた事件であるが、1人のアマチュア無線に凝っている高専生が航自笠取山レーダー基地付近の上空に滞空する円錐状の物体を双眼鏡で発見、無線機を通じて付近に住む多くのハム仲間達に、この物体の観察を依頼したところ、県内の20局以上で同時に観察され、その中には笠取山から50キロも離れた局もあった。それらの観察によると、物体は最後に11個の赤い小物体を放出して忽然と消滅するまで、1時間20分も目撃され、また目撃された方角を地図上に記してみると、笠取山付近に収斂することが分かった。翌日、地元の一新聞社が笠取山レーダー基地に、「昨夜不審な物体がレーダーに映らなかつたか」と照会してみたところ、「そんなことはなかつた」という返事を受けたそうである。

これらも前述の理由によって捕らえられなかつたのかもしれないし、またあまりにもレドーム(レーダーを収めておくドーム状の建物)に近かつたため

不思議な消滅現象と飛行経路に関する考察

UFOの多くの謎の中で、瞬間的にパッと空中に出現したり、反対に忽然と空中に消え去る出現・消滅現象は、その最たるものだと思われる。何もない空間にパッと、あたかも電球のスイッチを入れるかのごとく現れて、またパッとスイッチを切るかのごとく消滅する現象については、表17に種類別に列記してみた。忽然と出現する例は目撃の性格上、途中で一時消滅再出現等にしか見られず、後はほとんど消滅現象である。

この消滅現象はUFO研究の最大の難関となっているといえる。というのは、もし、UFOが空中にパッと現れたり消えたりしなければ、世界中の陸上部を広くカバーしている軍用(人工衛星追跡用も含む)レーダーによって、地球にやってくる途中や、反対に地球から飛び去るのが確実に追跡されるからである。ところが、実際には、そのような例は皆無に近いと言える。そのほとんどが相手国の了承なしに無断で領空に侵入し、山陰に身をかくし、秘かに活動を行った後、空中で消滅した

に、レーダー電波が届かず、映らなかつたのかもしれない(レドームの上方付近は死角となっている)。

表18 消滅現象に関する分類

(総数45件、15.4%)

- (1)移動中に消滅……………22件 (夜間の場合は、光度が忽然となくなる場合)
- (2)滞空中に消滅……………5件 (上記と同一)
- (3)途中で一時消滅再出現……………5件
- (4)小物体収納(または発射)後に消滅…3件
- (5)分裂後に消滅……………2件
- (6)徐々に消滅……………4件 (夜間の場合は物体が大きく見えた場合)
- (7)一瞬目を離れたすきに消滅……………3件
- (8)捕獲後、密封した袋の中から消滅…1件

り、あるいはロケット顔負けの急上昇で大空の彼方に消え去る。UFOの飛行経路について図4に示すようなものを考えてみた。

我が国ではUFOの飛行経路に沿って、各地で目撃されるというようなことは未だかつてない。その多くが単独地点での目撃である。その原因は飛行経路が流星や人工衛星の落下現象、さらには航空機といったものと較べてきわめて短いことで、この町で見られたのなら、その移動方向にある隣町でも見られてよさそうなものだが、実際には目撃されることがきわめて少ない。UFOの行動範囲が狭いのである。

多分、多くの場合、その経路を地上に投影した長さが10キロ以下であろう。火球（大流星）が目撃されるのは、その飛行する高さ（速度によって発火点、消滅点が変わるが、多くは50〜100キロ前後）が高いために、非常に広範囲（たとえば関東地方全域）で目撃される。また、人工衛星落下時には、その飛行高度（数十キロが多い）及び、その速度が小さいために、その飛行経路に沿った細長い区域で目撃される。さらに低い10キロぐらいの高さを飛ぶジェット機の飛行雲が目撃される地域はさらに小さくなる。

ところがUFOの場合は、その飛行高度が非常に低い（多くは地上数百メートル以下）ことが多く、それだけ目撃できる区域が狭まり、前述の飛行経

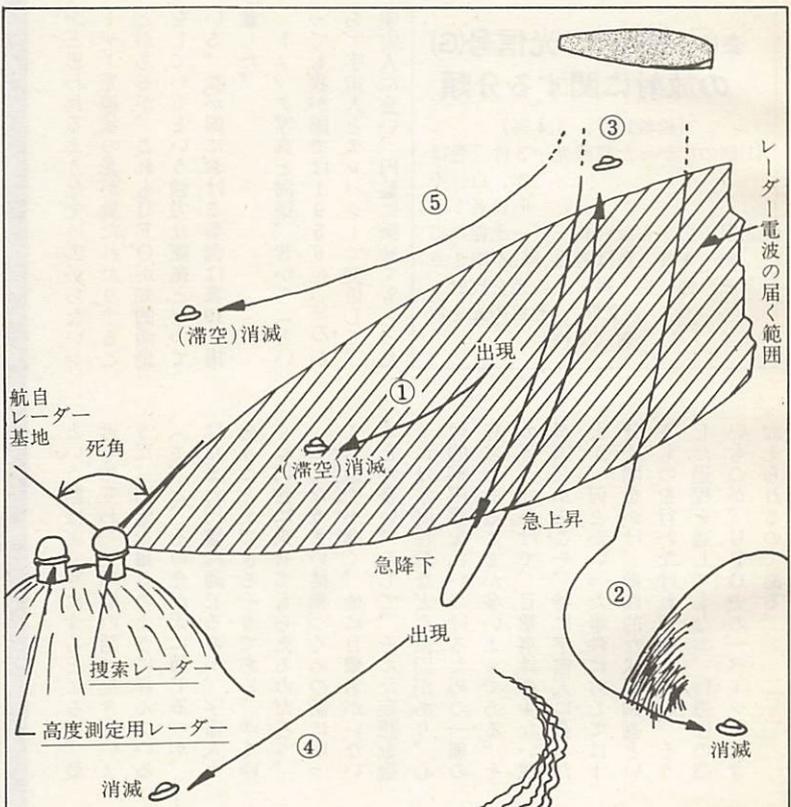


図4 UFOの各種の飛行経路とレーダー

レーダー電波ビームを横切る経路①、②、③
 レーダー電波ビームの届かない所を通る経路④(山陰)、⑤(ビームの上方)
 (注1) [レーダーの動作説明] 捜索レーダーで未確認機を捉え、そこまでの距離と方向をスコープ上に表示する。図の斜線で示したペンシル・ビームがパラボラ・アンテナから放射されており、アンテナは常時全周を回っている。捜索レーダーでは高度が分からないので、目標の方角に高度測定用レーダーを向けてビームを上下に振って、三角法で測定する。現在、距離、方位、高度を一つのスコープ上に標示する三次元レーダーの導入が考えられている。
 (注2) [死角について] 箱根の達沢山にある東京航空交通管制部の管制レーダーの場合、最大探知距離約200マイル、高度約8万フィートで、死角は120度となっている。

写真・探照光・搭乗者に関する考察

路の短さも相まって、多くの目撃者が

いない原因となっている。

表16に示すように、我が国で今まで

にUFOを肉眼で目撃し、それから写真に撮った事例は私の調べたところでは、46件、すなわち、UFO目撃事件

全体の約16%に達している。このような高率は国民にカメラが普及し、また小型軽量化により常に携帯する人が増えたためだと思われる。

昔からUFO写真にはトリックが多い。以前は糸で円盤状のものを吊るして撮る例が多かったが、近ごろはガラス窓に円盤状に切り抜いた紙を貼って撮る例が増えている。また、時々、レンズのゴーストによるニセUFO写真が見られるが、これなどは、ちょっと写真の知識があれば識別できることであるが、素人にはUFOに見えるらしい。

新発売!!

UFO ステッカー

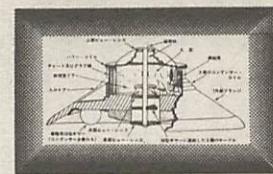
UFO STICKER 1



UFO X

A

UFO STICKER 2



B

故意に撮らなくても、偶然、写真に写っていたりすることがあるが、その中にはジェット機のひく短い飛行機雲や鳥が飛んでいる姿が多い。また、夜間撮影のおり、特に天体写真撮影時に、ちょっと油断して付近にある水銀灯の明かりが入る時があり、こんな時謎の脈動する光跡が一緒に写し込まれることもある。

1957年8月20日、神奈川県藤沢市で武田信一氏が撮影した棒状の物体はNICAP発行の『UFOの証拠』で紹介されているほど、よく知られているが、私は飛行機が光線の加減で、棒状に見えたのではないかと、思っている。おりしも、夏のサンサンと輝く太陽の近くに、この物体が見えているので、余計その感を強くさせる。

UFOから時々、探照光のような光が地上に向けて放たれたり、時には、何処かに信号を送っているのではない

表19 探照光、光信号(G)の放射に関する分類

(総数10件、3.4%)

- (1) 裾の広がった探照光…3件 (色は赤、白、明) (点)
- (2) 裾の広がらないレーザー光…4件 (色は青、白、緑、不) (点)
- (3) その他…白・緑・赤の光を放射 (2件)、七色光を放射 (1件)

かと思われるような先の広がらないレーザー光線状の光が放たれたりすることがあるが、これもUFOが知的活動をしているという強力な証拠となっている。我が国における事例は表19に掲載した。

トリック写真と同様、昔から(といっても我が国では1958年ごろから)宇宙人とテレパシーで交信して、宇宙人に会い、円盤に乗せてもらった

という話はよく耳にするところで、最近も相変わらず同類の話は尽きないようだ。円盤を毎日のように拝んでいる(?)と、その念が天に通じるのか、はたまた円盤に通じるのか、宇宙人と会うことができるそうである。ゆくゆくは円盤に乗せてもらえるのだろう。こんなうまい結構つくめの話に限って信憑性が薄く、他に目撃者がいないことが多い。そして、そんな妄想を抱くには家庭環境などに原因があり、心理的抑圧感を払いのけるための一種の狂言であることが多いようである。そのようなわけで、目撃事件の少ない我が国だからこそ、特に宇宙人に会ったとか、何とかいった事件に対しては十分時間をかけ、徹底的な状況調査というものを行わなければならない。そうした過程を通してもお、信憑性の高いものが、UFO史の一ページに書き加えられるのである。

317件の目撃一覧表の中には入れなかったが、1975年の甲府事件と同様にUFOとその搭乗者も目撃したという話は、1958年にもあった。栃木県宇都宮市市役所に勤める一公務員が同年9月中旬、14時から15時ごろに、山林の草むらの中に細長いタンク状の銀白色の物体と、そのそばにいた2人の搭乗者を目撃したという事件である。

不思議に思っ物体に近づいてゆくと、突然外人のような風貌をした背の高い男が現れて、何か意味のわからない言葉を喋り出したが、通じないと分かる。手真似で、これ以上近寄っては駄目だと示し、もう1人の男と一緒に物体の方へ引き返した。物体のそばまで行くと、それに手を触れるや扉が開き、その中へ2人は頭をかかめて入り、扉が閉まるのが目撃された。何か故障して不到着したのであろうと思

新発売!!

UFO ステッカー

UFO STICKER 3



C

ステッカーの大きさ

18×9.5cm

シール面は、当社で新しく開発したメタリックな玉虫模様。色はシルバーで美しく光っています。今すぐ君のワンポイントアクセサリーとして活用しよう。

2枚1セット1,000円(千共)

購入方法

3種類のステッカーの内、好きな記号を2枚選び1,000円を現金書留又は、郵便振替にてユニバース出版社・商事部迄お申し込み下さい。折り返し品物をお送りします。

ユニバース出版社 商事部
〒110 東京都台東区上野5-1-6
ヤマトビル
振替 東京1-119478

我が国で本格的なUFO研究が始まって、今年で19年目を迎えるが、目撃事件の少なさ故に、十分な成果が上がっていないのが現状のようである。そして、また過去相当回数行われたUFO観測会で、テレビシーでUFOを呼ぶといったあまり信憑性のない方法

も試みられた事があったが、ほとんど成果はなかったようである。UFO愛好家の中には一度でよいから本物のUFOを見てみたい、と願望する人は多いと思うし、中には毎夜、屋根の上に登って、望遠鏡やカメラ、さらには磁気変化を検出するUFO探

式の中の α は「目撃指数」、Mは件数、Sは区域の面積(Km²)、そしてTは日数である。この式を使って1944年から1977年までの目撃事件293件をもと

に、我が国全体の目撃指数を計算してみると、約6・4となった。また、1973年7月から1975年3月までの目撃を基に東経139°14'0度、北緯35°36度で囲まれた地域(東京・神奈川と埼玉や千葉県の一部)における目撃指数を計算したところ、約180という高い値が得られ、これは平年値6・4の約28倍に達しており、それだけ、この地域は目撃できる確率が高かったことを示している。同様に大阪付近は75、千葉県付近は60となっている。

これからの我が国における調査研究について

いながら、引き返そうとしている、物体の周囲から橙色を帯びたものが放たれて、微かな震動音を聞くや、物体はちょっと飛び上っていったん5〜10秒間滞空した後、急速に大空の彼方に消え去った。物体は最初細長く見えたが、飛び上ってからは楕円形に見え、また大きさは5メートルほどであったという。

1975年2月の甲府事件は、まだ読者の方には記憶が新しいと思われるし、本誌にも発表されている(本誌No.12、31)ので、詳細は割愛するが、筆者の所属するJSPS(日本空中現象研究会)の数度にわたる調査によると、2人の小学生が嘘をついているとは思えず、別に同様の物体を目撃した人もいて、信憑性は高いように思われる。

知機を置いて、観測に精を出しておられる方もあると思う。そんな努力家にも水をさすつもりは毛頭ないが、私が調べたところによると、UFOは確かに1年間で、多い時は50数件も目撃されるが、その飛行高度がきわめて低いために、流星現象のように広い地域では見えず、きわめて限られた地域で見えない。そのために目撃できる確率はきわめて小さいことである。私はある限られた地域内で、ある期間中に起こったUFO事件を他の地域と比較するために、次のような式を考えてみた。

$$\alpha = \frac{M}{ST} \times 10^4 \text{ [Km}^2 \cdot \text{day}^{-1}]$$

目撃指数が1というのは、例えばSが100キロ四方すなわち10⁴(Km²)として、1件目撃できるまでにTは10日すなわち27・4年かかるということを示している。先の6・4という値を考えると、高い山の上で見渡せる範囲が仮に10⁴Km²とすると、1年間に目撃できる件数は0・23件、すな

わち1件目撃するまでに24時間体制で観測しても、5年近く要するということになる(まさに毎夜観測して新彗星を発見するまでの時間並である)。

これが平年値だからUFOをまだ見ることがない人が多くいたとしても不思議ではないわけである。ちなみに我が国の人口を1億人として、また目撃者の数を1944年以降の目撃事件の2倍だとして、目撃した人の割合を出すと、約17万人に1人ということになり、いかに目撃者が少ないかが分かると思う。

そういったわけで、目撃できる確率の少ないUFO現象を科学的成果が向上するように調査研究するためには、どうしたらよいかということが今後の我が国並びに他の国々においても大きな問題になると考えられる。

目撃確率を向上させる一方法は、できるだけ広範囲な地域を24時間体制で観測することで、たとえば人工衛星に強力なレーダーを搭載し、地上付近を飛行するものをすべて検出して、それを電子計算機にかけ、航空機や渡り鳥といったものをふるい分けて、UFOだけを選択すれば非常に効果のある成果が期待できると思う。また、その人工衛星に分光計やレーザー光線発射器といったようなものを装備していればスペクトル写真が得られるし、レーザー光線を放射することによって相手の反応も調べることができる。UFO観

測衛星は今のところ夢のまた夢だが、将来ぜひ打ち上げて欲しいものだ。

ところで、本題の件であるが、UFO観測の方はほとんど期待がもてないので、万が一、UFOを目撃した際には、どうしたらより価値のある観察ができるか、といった受け身の体制で行くより良策はないと思われる。そして、これらの資料をできるだけ多く集め、誤認の可能性の高いものは除き、残ったものは電子計算機に入れて集中処理する方式がよいと思われる。そうすることによってUFO現象を総合的に研究することができ、その成果は大きいものがあると思われる。

また、近年続発している着陸事件に対しては痕跡部の土壌分析、付近の木々草類の熱的影響の調査等はかならず行って欲しいもの一つである。

とかく、UFO現象は現在の科学を超越しているからといって、科学的見方をしない人が一部に見られるが、それは誤りである。UFO研究者はUFOと関連しそうな分野の知識人の話をよく聞いて、参考にすべき点は大いに利用して、UFOの謎に取り組んでもらいたい。私もそのつもりである。

我が国で本格的な研究が始まって来年で20年目を迎えることになるが、これを期に新たな決意のもとに、斬新な研究が行われることを望むものである。読者諸君の御健闘を祈り、ペンを置く次第である。

参考資料

A 会誌・雑誌

- 1 『宇宙機』第1号〜30号、日本空飛ぶ円盤研究会(JFSA)
- 2 『空飛ぶ円盤情報』(後に『空飛ぶ円盤研究』と改称)第1号〜80号、近代宇宙旅行協会(MSFA)
- 3 『空飛ぶ円盤ニュース』1巻1号〜10巻4号、(国際)宇宙友好協会(CBA)
- 4 『空飛ぶ円盤ダイジェスト』1巻1号〜5巻12号、CBA
- 5 『ニューフォー・ニュース・ジュニア版』第3号、CBA
- 6 『コスミック・ニューズレター』43号、日本GAP
- 7 『JUFORA』第1号〜18・19号、日本UFO研究会
- 8 『テックタイト』第1号、奇現象研究同好会(現在JRPS)
- 9 『ウィマナ・ニュース』第1号〜5号、8号同一
- 10 『アルゴ』(後に『天文とUFO』と改称)第1号〜10号、日本宇宙現象研究会(JSPS)
- 11 『未確認飛行物体』第1号〜7号、号外第1および2号、JSPS
- 12 『UFOインスリー』第1号〜7号、JSPS
- 13 『UFO INFORMATION』第1号〜4・5号、JSPS
- 14 『国内UFO事件レポート』(後に『世界UFO事件レポート』と改称)第1号〜5号、ユーロジスト・クラブ
- 15 『UFO NEWS SERVICE』第5号、中央空中現象研究会(現在、日本空中現象研究会・JAPPROと改称)
- 16 『UFO RESEARCH』第2号〜4号、日本大学UFO研究会
- 17 『THE UFO RESEARCH』第1〜17・18号、JSPS名古屋支部
- 18 『THE UFO RESEARCH』別冊第2号、JSPS名古屋支部
- 19 『UFO』1巻2号、日本宇宙UFO研究会
- 20 『UFO INFORMATION』、京都大学UFO研究会

B 単行本

- 1 松田三男著『宮崎におけるUFO現象』1974、宇宙UFO研究会
- 2 並木伸一郎著『UFO入門』1974、大陸書房
- 3 並木伸一郎編『UFO発見法』1975、大陸書房
- 4 池田隆雄著『日本のUFO』1974、大陸書房
- 5 南山宏著『UFO事典』1975、徳間書店
- 6 Richard H. Hall, THE UFO EVIDENCE. 1964, NICAP
- 7 Jacques and Janine Vallee, CHALLENGE TO SCIENCE, p. 150, 1967, N EVILLE SPEARMAN
- 8 Ted Phillips "Landing Traces-Physical Evidence for the UFO", MUFON '72 CONFERENCE PROCEEDINGS, MUFON
- 9 Walter H. Andrus, "MUFON-A Dynamic Scientific Organization", MUFON SYMPOSIUM 1973, MUFON
- 10 Ted Phillips, PHYSICAL TRACES ASSOCIATED WITH UFO SIGHTINGS. 1975, CUFOS
- 11 吉村・藤森共著『レーダー工学の基礎』1971、啓学出版
- 12 鈴木博満著『航空路通信組織』1971、鳳文書林

21 『コスモ』(後に『UFOと宇宙』と改称)第1号〜31号、ユニバース出版社

- 22 『少年マガジン』、『GORO』その他各種雑誌、新聞
- 23 『天文回報』第41〜426号、日本流星研究会
- 24 『天文回報』240号他、横浜天文研究會
- 25 THE MUFON UFO JOURNAL, p. No. 118, SEP. 1977, MUFON
- 26 『航空情報』1972年4月号、酣燈社
- 27 『航空ジャーナル』1974年8月号、航空ジャーナル社

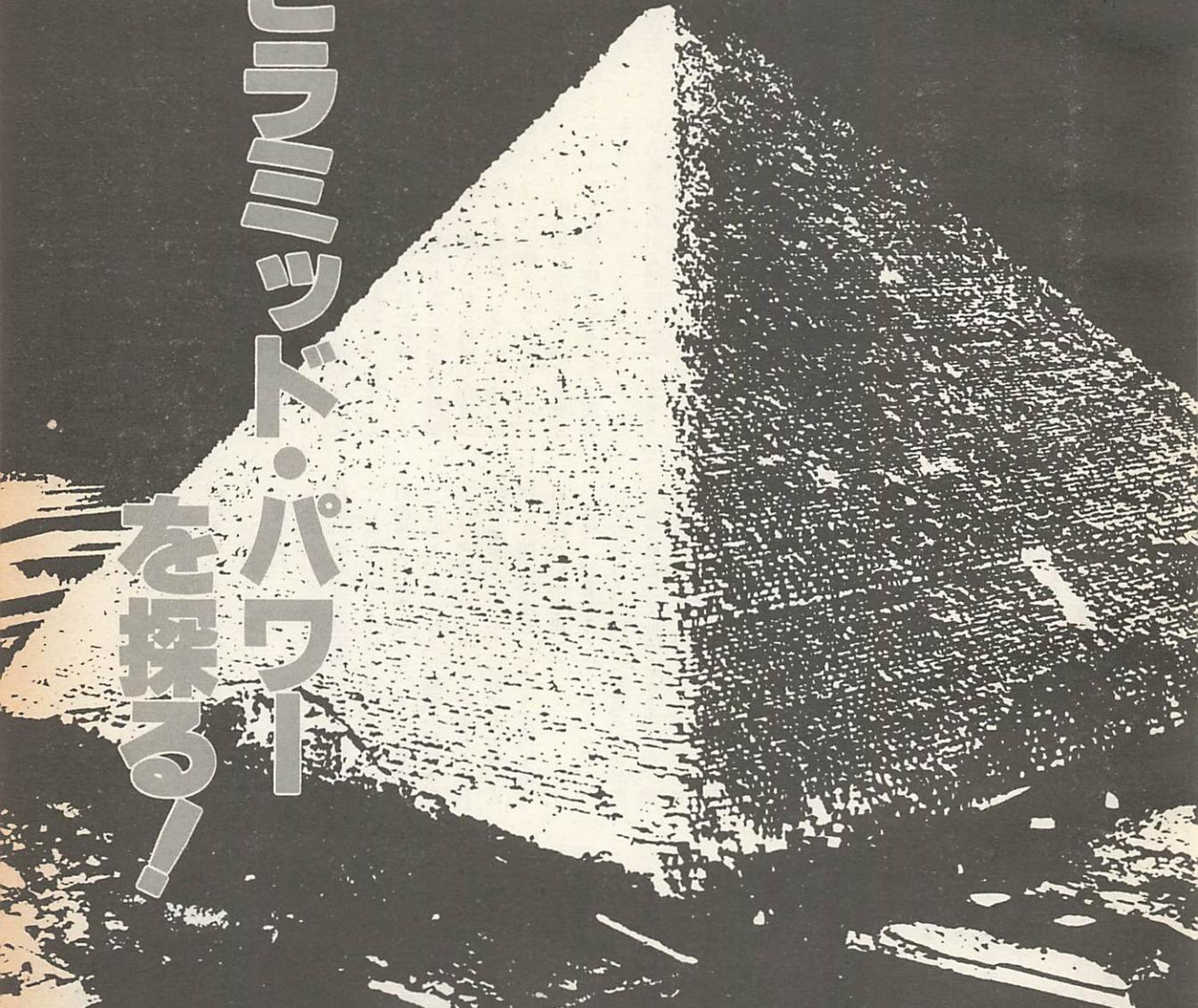
以上



謎のピラミッド・パワー

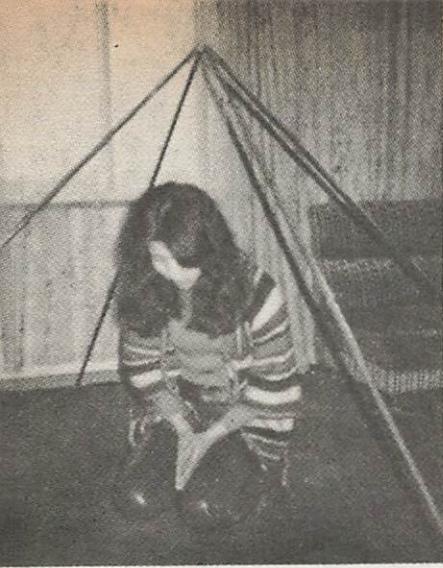
を探る!

最近にわかには注目されはじめたピラミッドのもつ不思議な力。食物の腐敗を防ぎ、切れ味の鈍ったカミソリの刃を再生し、ESP能力を増強するというが、果して実験の結果は？ 斯界の権威が生体エネルギーとの関連でピラミッド・パワーの謎に本格的に挑戦する!!



超常現象研究家
中岡俊哉

PYRAMID POWER



▲瞑想用の大型ピラミッド

1971年秋、私はイギリスに出かけ、ある心霊学者の家を訪ねたとき、彼の書齋にあったオレンジ色の小型のピラミッド模型を見た。

私はまだその小型のピラミッドが何を意味するものかよく知らなかった。

彼は「これがピラミッド・パワーの実験器だ。これを使うことでピラミッドと宇宙エネルギーの作用によるとしか考えられないような現象が起きる。私もまだ始めたばかりなので、たくさんデータはないが、知人の科学者たちも実験を始めている」と話してくれた。

その翌年、私はアメリカ、ドイツ、ポーランドなどをまわったが、アメリカに行つて驚いたことは、ニューヨークでもロスアンゼルスでも、私の会った科学者や研究家のほとんどの自宅、あるいは研究室に小型のピラミッドがおかれていたことである。

ポーランドの世界的に有名な物理学者マンジャルスキー博士の研究室にも

小型のピラミッドがおかれており、手製のものだった。

私は同博士に物理学者の立場からピラミッド・パワーは研究する価値があるものかどうかをたずねてみた。それに対して博士はつぎのように答えてくれた。

「ピラミッド・パワーというものはおおいに研究する価値がある。私は一人の物理学者としてこれを研究しているのではなく、もっと広い意味の科学者、学者の立場でこれを研究しなければならぬと思つている。それは、いまわかつているかぎりでもピラミッド・パワーは人間の生存にとって必要なエネルギー問題を研究するうえで価値を持つており、さらにピラミッド・パワーそのものが人間にもたらすプラス面は非常に大きい」

アメリカの物理学者ガーランド博士もまた、ピラミッド・パワーそのものに注目しており、彼はピラミッド・パワーの研究がタキオンという宇宙エネルギーとの関係において「宇宙の新しいイメージを作りあげる1つのエネルギー・システムがそのなかに包含されているのではないか」と語っていた。

また、アメリカ・フロリダ医学センターのマクセイ博士は、「人間の起こす念力現象はピラミッド・パワー、宇宙エネルギー・パワーとの相関関係によつてのみはじめて究明されるのではないだろうか」と指摘しており、医学者

の立場からエネルギー・パワーの実験研究を進めている。

私は、アメリカ、ヨーロッパの科学者の多くがまじめにピラミッド・パワーの研究にとり組んでいるのを見て内心驚いた。

それはいくらピラミッド・パワーが、科学が求める反復実験の可能性を持つているとしてもやはり謎の力であり、白眼視されがちなものであるからだ。

しかし、彼らは公の機関の支持までうけて研究しており、このあたりに科学の進歩というものに対する一般の人のびとの関心の度合がちがう原因もあるのではないかと思つた。

さて、読者の多くはピラミッド・パワーがどのようなにして発見されたかについては知つていふことと思うが、知らない人のためと、ピラミッド・パワーそのものを究明していくうえで必要不可欠なので、つぎにそのことを紹介しよう。

ポビーという1人のフランス人がエジプトのピラミッドを見物に行つた。ほとんどのピラミッドはその中央部の高さ3分の1のところの王の石室があった。ポビーは暑さに疲れてその石室に入った。

そのとき彼は、内部の空気が異常に湿っぽいのに気づいた。と同時に彼は、ピラミッドのなかに迷いこんだ猫やそのほかの小動物の死骸があるのに気づいた。そしてポビーはさらに、その猫



▶砂漠のなかのピラミッド

や小動物の死骸から腐った臭いが少しもでないのに気づいた。

動物たちは、石室内の湿気にもかかわらず脱水され、ミイラ化されていたのである。

彼は、エジプト古代諸王ファラオの遺体の微妙な防腐処置が失敗しても、ピラミッドのなかにおかれていふことによつて遺体の永久保存ができたのではないかと推理した。

ポビーは、ピラミッドの型自体がこのミイラ化の原因であるのではないかと考えた。すなわち、寸法の比率や基底部の方位づけが南北と東西の軸に対して0・5度以下にまで正確に作られていることに気づいたのだ。

彼はさつそく底辺の一边が約0・9メートルのケオプス王ピラミッドの模型を作りあげ、それを正確に真北に向けて設置した。そしてそのなかの約3分の1の高さのところに死んだばかりの猫の死骸をおいた。すると、数日後、その死骸はミイラ化していた。

そこでポビーはほかの有機質の物体をピラミッドのなかに入れた。とくに腐敗しやすい物を選んで入れたわけだが、それらの物は腐敗していなかった。こうした実験からポビーはピラミッドの型がなんらかの理由で腐敗をとめて急速な脱水をひき起こす何かを持っているという結論に達したのである。

このポビーの研究報告書は、チェコスロバキアのラジオとテレビで紹介され、大反響をよんだ。そして、チェコの無線技師カレル・ドラバルの注意を引くところとなったわけである。なぜ、ピラミッドが有機体をミイラ

化する効果をもっているのだろうかと考えたドラバルは、自分でもケオプス王のピラミッドの小型模型をいくつか作り、さまざまな実験を行った。そして、つぎのような結論に達した。「ピラミッド内部の空間の『型』と、その空間内での物理的、化学的または生物学的過程との間に深い関係がある」

ドラバルは、この型が電子磁氣的波長、もしくは宇宙的光線、またはなんらかのまだ知られていないエネルギーを集める力を持っているのではないかと考えたのであった。そして、このピラミッド内部に集積されていくエネルギーこそが物理的、化学的、生物学的作用に影響をひき起こしているのかもしれないと考えた。

彼は、真新しいカミソリの刃を5回だけ使ってから、ピラミッドのなかにおく実験をした。このカミソリの刃をさらに3回使ってみたが、切れ味は落

ちていなかった。カミソリの刃を使わないときは、それをピラミッドのなかに入れておくことを続けた。同じカミソリの刃が50回以上使えることを知って驚いた。こうして、さまざまなカミソリの刃とピラミッドを使って長期にわたるいろいろな実験をつづけ、あるものについては200回以上も使うことが可能であることを発見した。

以上のようにして発見された謎のピラミッド・パワーは、科学者の間での研究が進められると同時に、アメリカでは5、6年前から、とくに若者の間でブームとなり、大学などでも「謎のエネルギー」として、その研究が始められている。

映画スターのジェームズ・コバーンが語ったところによれば、彼はヨガの

ドラバルは、ピラミッド内部の環境条件がカミソリの刃の結晶構造をその初期の状態にもどすことをうながし、それによって刃がふたたび鋭くなるのだと結論した。

彼は、まもなくカミソリの刃を鋭くする道具として厚紙製ピラミッドを製品化し、特許申請を行った。1959年、チェコ特許庁は特許を彼に与えたのである。

姿勢でピラミッドの中に座るが、その効き目は絶対的なものであり、独特のフィーリングを感じるし、特別な雰囲気がある雑念が消えるようだ。彼は毎日15分から1時間、ピラミッドの中で瞑想をしているということだ。有名なオランダ人の透視能力者で、現在アメリカに住んでいるピーター・フルコスもまた、大型のピラミッドを

大ベストセラー!!

謎の宇宙エネルギー

ピラミッドパワー

中岡俊哉

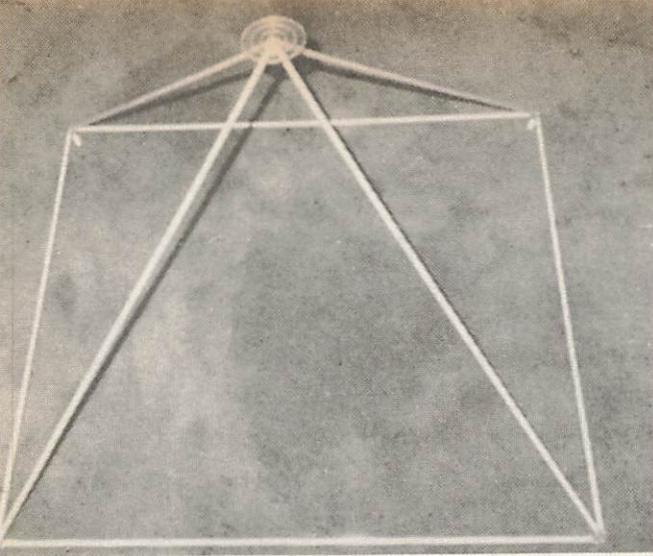
¥580千160

▼あなたも、さつそく挑戦してみよう!
▲カミソリの刃の再生実験 ▲スタマゴの脱水実験 ▲コーヒの味をよくする実験……ほか

★特別付録★
★実物ピラミッド模型★
★特別付録★
★底辺30センチ大型ピラミッド型紙★

サラ・ブックス
中岡俊哉シリーズ
世界のUFO ¥600
恐怖の心霊写真集 ¥600
恐怖の心霊写真集 ¥500
新恐怖の心霊写真集 ¥600
幽霊を見た! 日本編 ¥600
恐怖の四次元館 ¥500
死霊を見た! ¥650

二見書房
〒101東京都千代田区三崎町2-18-2/振東2639



▲パイプ・ピラミッドは被験物が見えるので便利だ

使って瞑想の実験を行っているが、自分の能力を使ううえでリラククスでき、わりした使い方をしないでずむと語っている。

日本の有名なイラストレーターである横尾忠則氏がピラミッド・パワーのよき理解者であり探求者であって、仕事場に大型ピラミッドを持ちこんで瞑想実験をしていることは有名である。

横尾氏は、ピラミッドのなかに入ると、精神集中とリラククスが同時にでき、目に見えない1つの流れを感じるという。

同時につきのようにも語っている。

■実験で証明されたピラミッド・パワー

「ぼくがピラミッド・テントのなかで座禅あるいは瞑想するようになってから実際の効果という点、まだよくわからない。しかし、このなかに座ると、自分が完全に外界から遮断されているという意識だけは強く起こってくる。

それと同時に、非常に特殊な空間によって保護されているという安定感が得られるのも特徴の1つだろう。

また、ふだんとちがって、ある種の聖なる意識を伴った上昇感がある。こうした心身に及ぼす影響はピラミッド内のエネルギーと、人体のエネルギーの共鳴によるものかもしれない」

私は『ピラミッド・パワー』（二見書房刊）の執筆にあたって、いくつかの実験を試み、その記録をまとめた。その一部を紹介しよう。

この実験に、私は瞑想用として銅パイプ製の大型ピラミッド1つ、アルミパイプ製の50センチ大の小型ピラミッド1つ、プラスチック製の15センチ大のピラミッド1つ、それから強力複合ピラミッド1つ、ピラミッド・ジェネレーター2つを使った。

今回私が実験対象に使ったのは、つぎの8種類であった。新鮮なタマゴ、ピリッと辛みを感じるウイスキー、食パン、牛のひれ肉、牛乳、ミカン、レモンのエキス、タバコ（変化がわかるようにしんせいとピースを使う）。

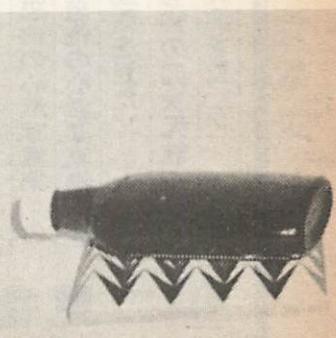
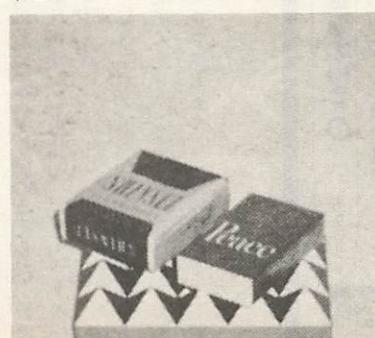
この実験にあたって、つぎの点を忠実に守った。これはとても大切なことだった。

すなわち、ピラミッドはその型さえ正確ならば、大きさはまったく無関係であること。そしてその大きさは、実験の目的に合わせて決めなければならないこと。ピラミッドの底（ベース）はつけなければならないこと。ラジオ、テレビ、電気製品、金属などはできるだけ避けなければならないこと。ピラミッドの底の四辺は磁石を使って正確に東西南北に向けなければならないこと。瞑想の場合は北向きに座るか、あるいは北枕にして寝るほうが効果的であることなどであった。

ジェネレーターを使って、タバコの実験をした。しんせいとピースを箱ごとジェネレーターの上にのせた。きっちり1時間後、封を切って、まじしんせいから吸ってみた。軽い！ まろやかである！ その軽さといったら、とても両切りタバコとは思えない、フィルターつきの軽い味のタバコのようになっていた。

パワーをかけてないしんせいと吸いくらべるとその変化がいつもよりよくわかった。ピースもまた同じであった。私は自分だけの確認ではなく、宿泊中のホテルの人たち10人にもくらべさせたが、9人までその変化を認めた。つぎの実験は、酒であった。ジェネレーターの上にポケットびん

▼ピラミッド・ジェネレーターにのせたタバコと酒



のウイスキーを8時間のせておいた。8時間というのは外国における実験データに発表されていたものである。「変わっている！ まるでジョニ黒カブランドーのレミのようなまろやかさだ。レッド独特の喉に突き刺さるような味ではなくなっている……」

酒の味にうれしい知人にくらべても変わったが、たしかに味に変化がでていた。厚いガラスびんに入っている酒の味が変化するとは、ジェネレーターから放射されるエネルギーは相当に強いものと考えられる。

タバコの場合にしろ、酒の場合にしろ、どうしてそのような変化がもたら

されるのか、もちろんわからない。しかし、実験してみてもその結果が現れたことだけはたしかである。

アルミ・パイプを組み立てた小型ピラミッドを使っての実験である。このピラミッドは、周囲が覆われていないので、そのなかに入れてある実験物の変化がつぶさに観察できた。

このピラミッドのなかに、コップに入れたタマゴと牛乳、それから半分に分けたミカンを入れた。

まず、タマゴの変化から報告しよう。コップのなかには割った生タマゴを入れ、それをピラミッドの中心部、高さ3分の1の位置においた。

変化が現れはじめたのは8時間後のことであった。表面に薄い皮ができ、黄味が浮き出るような感じになってきた。ピラミッドの外においてあるタマゴにはなんの変化も見られなかった。

30分毎に変化の記録をつけていったが、はっきりとちがいが現れたのは、15時間後であった。ピラミッドのなかのタマゴは、黄味が浮きでた部分はゆでたときのような赤味をおび、ちょうど黄色い玉のまんなか大きな赤い斑点があるような形になった。

外のタマゴの黄味も浮き出て、浮き出た部分がうす赤くなつたが、黄味全体の色も赤味をおびたようになった。

その後の変化はとくにいちじるしいものはなく、ピラミッドのなかの黄味の色が72時間たつてもさほど大きく変

わってはいなかった。しかし、外のタマゴは、一見して腐つた感じであった。75時間後、私はそのタマゴの黄味をナイフで突いてみた。その結果は、表面の固さはピラミッド内のものも、外のものもほとんど同じぐらいであった。だが、黄味をつぶしてみてもわかつたことは、ピラミッドのなかに入れたものは、ちょうど半熟タマゴのようになっており、外のもはやや固みはあるもののドロツとしていた。

つぎの実験は、牛乳である。使つた牛乳は三角パックのもので、それを2つのコップに均等に入れた。そして、1つをピラミッドのなかに、もう1つを外においた。

かなり冷えた新鮮な牛乳であった。この実験も一定の時間を決めて調べていった。はじめの10時間はほとんど変化は見られなかった。15時間目、ピラミッドのなかに入れた牛乳に脱水現象が起り、まず表面に膜をはりはじめた。

外の牛乳は、まったく水っぽい状態のままであった。30時間後に初めて歴然たる効果が見えた。ピラミッドのなかのものは、ヨーグルトのような状態になりはじめた。外のものはいままでであった。

35時間目、ピラミッドのなかの牛乳は、濃度を増し、ヨーグルト状になっていた。外の牛乳もそのころから乾燥状態になりはじめ、ねばりを出していた。75時間目、ピラミッドのなかの牛乳

はついにチーズのように固まった。外の牛乳は水分が蒸発し、ドロドロのヨーグルト状のものに変わった。

両方をかき分けてみて驚いたことは外のものには吐き気を催すような腐敗の臭いがしているのに対し、ピラミッド内のものはほとんど臭いがなく、強いというならば牛乳そのものの臭いがやや残っていたことである。

私が行つた8種類の実験は、それぞれの結果をもたらした。大きく変化のめられたもの、あまり大きな変化のなかったものとさまざまではあったが、実験としては成果があつたと考えている。今回の実験は、ほんとうにピラミッド・パワーによって物質に変化が起きるかどうかを調べる初歩的なものであつたわけである。

次回はもっと科学的な実験を科学者と共同で行い、ピラミッド・パワーの謎を少しでも探りたいと考えている。

私は、ピラミッド・パワーを単独のパワーとしてではなく、宇宙エネルギー・パワー、生体エネルギー・パワーとの相関関係で調べてこそ、その謎が究明されるものと考えている。

まず、ピラミッド・パワーと生体エネルギー・パワーとの相関関係を調べるものとして、大型ピラミッドを使つての実験を行った。

生体エネルギー・パワーの強い人、普通の人の2人に実験してもらつた。その一例を紹介しよう。



798 重力研究所
宇和島市中央局私書箱33号

空飛ぶ円盤の科学研究誌 宇宙艇 隔月刊 (増頁) B5判

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を頒布します (カタログは、宇宙艇巻末にあり)

誌代 4,000円 (6号分)

入会金 500円 (誌代にプラスのこと)

振替 徳島 28986 (又は、現金書留にて・切手は不可)

☆ 超相対性理論 (原著) 定価 3,000円

発売中

〒 200円 (同じく切手は不可)



▶パイプ・ピラミッドのなかにおかれた生タマゴ、牛乳、そして半分に割ったミカンは、はたしてピラミッドの外におかれたものと、どのような違いを見せるか？

ピラミッドの正確な位置を定め、Aさんにその中心部に北向きに座ってもらった。Aさんは特に生体エネルギー・パワーが強い人ではなかった。

彼女がまず感じたものは、頭のてっぺんに何か熱いものを感じたということだった。頭に熱いものを感じ、そして気分が落ちついてくるような心理になったといっていた。

時間がたつにつれて、何か上から全体的な圧迫をうけるような感じになったと彼女はいつている。

中心部に座った以上、ピラミッド・パワーが作用を始めれば、まったく彼女がうけたような現象が起きるわけ

ある。すなわち、頭上に熱いようなものを感じ、全体的に何か圧迫されたような、しかもそれがただたんなる圧迫ではなく、たいへん心地よいもので、

外界と遮断されたような状態でそういう心理になっていくわけである。身体全体に1つのエネルギーがみなぎってくると、自分の痛い部分に感応を始めてくる。

Aさんがまず感じたのは喉の部分であった。喉がしめられるような痛みとチクチクとするような感じがした。つぎに鼻の部分にも同じような感じがした。身体の部分でとくにはつきり反応が現れたのは喉と鼻であった。

つぎに、Bさんに同じピラミッドのなかに入ってもらった。彼女はたいへんに強い生体エネルギー・パワーをもつ能力者であった。私はBさんに、Aさんに向けて両手から出る生体エネルギー・パワーを送るようにたのんだ。Bさんは、Aさんのくびから肩、背中に向けてパワーを送った。

Aさんのうけるパワーは強くなり、身体全体がくすぐったくなり、汗すらかくような状態になっていった。Aさんのうけるパワー量は2倍、3倍となったのだ。そればかりか、Bさんが興味あることをいった。それは、普通の状態ではパワーをかけるよりもずっと楽で、しかも効果が大きいということであった。

2人を使つてのさまざまな実験はそれなりの効果をあげた。この実験を通していえることは、ピラミッド・パワーと生体エネルギー・パワーが強い相関関係にあり、そして相互に力を貸し合い、相互に力を強め合うという作用をなしているということである。それはつぎのような現象からもいえるのではなからうか。すなわち、ピラミッドが取りはずされたあとにも、そのパワーは残るといふことである。これは、ただだんにピラミッド・エネルギー・パワーが残っているというだけではなくて、そこに入った人間の生体エネルギー・パワーが大きく作用した

結果ではないかと思う。

ピラミッド・パワーが人間の精神安定にいかに関与するかということは、多くの事例がそれを証明している。

昨年6月末、東京で開かれた第3回サイコトロンクス国際会議で発表された論文にも、このピラミッド・パワーと瞑想についてのものがあつた。アメリカの心理学者はその試みをつぎのように紹介している。

① 内面的な怒りを秘めた子供、これはその怒りを行動に現す。

② さらに高い内面的怒りを持った子供は自己嫌悪におちいる。こうした子供は集団のなかで自由なふるまいが必要である。

③ 音楽を伴う活発な行動によって怒りのエネルギーを散らさせる。

④ 瞑想にふけらせることで精神を集中させる。かなりの効果がある。

⑤ 心の瞑想と怒りは相反するものであり、瞑想は怒りを鎮め、それをなくさせる。

彼らは、対象となる子供たちを以上のように分析したうえ、つぎのような方法をもって子供たちの持つ怒りのエネルギーを鎮めている。

(A) 音楽に合わせ、子供たちに自由に行動させる。そのとき、子供たちが怒り、喜び、悲しみを端的に表現するようにさせる。

(B) 子供たちに、部屋に備えつけた枕を持たせ、枕に対して自分のすべて

ジョージ・アダムスキー があなたにおくるメッセージ

テレパシー

訳・久保田八郎 ¥550 送料140

テレパシーすなわち宇宙語／人間の四つの感覚器官／触覚／細胞から細胞へ伝わる印象／肉体細胞から来る印象／感情が肉体細胞におよぼす影響／他の遊星から来る印象と地球の習慣的な想念／自我の抑制／弛緩／関心・感受性／透視・透聴・予知／思考と推理

生命の科学

訳・久保田八郎 ¥650 送料140

生命の分析／心とその成分／宇宙の法則の応用／万物の相互関係／意識英知及び生命力／“新鮮さ”は人間の若返り薬／宇宙的記憶／宇宙の一体性／宇宙的細胞と肉体の細胞の活動／意識による旅行／宇宙空間の探險／絶え間なき進歩の報い

|||||

フレッド・ステックリング著

なぜ空飛ぶ円盤は来るのか

訳・久保田八郎 ¥750 送料140

好評発売中

当社の出版物が書店にない場合は振替・現金書留・小為替・低額切手などで直接ご注文ください。

文久書林・〒113 東京都文京区白山1-29-12

電話(03)813-2495 振替 東京4-2521番

の怒りをぶつけさせる。この枕は、ときとして怒りをぶつける人物になり、ときとしては仲よしの人物となる。

(C) 瞑想活動の1つとして、子供たちには1つのこと、たとえば色とか、音とか、身体の一部とか、あるいは何かのアイデアを考えさせる。

(D) 子供たちに、身体を前後左右にゆすぶらせながら、1つのことへの意識の集中を行わせる。

(E) 子供たちに瞑想をさせながら絵を描かせる。テーマを決めずに子供たちの思いのまま自由に描かせる。

以上の方法によって、彼らは子供の持つ怒りのエネルギーを消滅させ、内面的な自己嫌悪のエネルギーを除去して、明るく活発な、それでいておだやかな子供に変えていく。

彼らは、怒りっぽい子供には低いレベルのエネルギーしかないの、それを高いレベルのエネルギーに変えていくことが効果をあげうる最大唯一のものであると指摘している。

ピラミッド・パワーの謎

アメリカの心理学者は、その瞑想法のなかで、ピラミッドを使うやり方と、そうでないやり方の両方を併用しているが、効果の早いのはピラミッドを使ったやり方であり、そのやり方をすすめている。

ピラミッド・パワーはピラミッドそのものの構造から発するものであり、あるドイツの科学者は「ピラミッドはエネルギー場を焦点に集める幾何学的形をしている。それほど奇抜なアイデアでなく、ちょうどテレビアンテナと同じようなものだ」と語っている。

たしかにこの科学者が指摘するよう、奇抜なアイデアでないかもしれない。

こうしながら、このピラミッドが5千年前に建てられたという事実を考えると、やはり大きな謎にぶつかるざるをえない。

サイコロニクス研究会会長レイダク博士はつぎのように語っている。

ピラミッド・パワー、これは数学と磁場の組み合わせによってピラミッド

という物体のなかでパラノーマルな現象を起こし、人びとを驚かせている。しかし、ピラミッド・パワーそのものはただたんなるパラノーマルなものではなく、人間の生命力にとって有意義な諸現象をも起こすことができる。

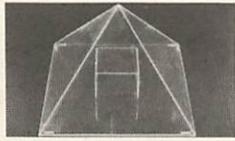
このピラミッド・パワーを考えると、宇宙エネルギー・パワー、生体エネルギー・パワーとの相関関係にあることを忘れては、その謎は究明できないだろう。

いえることは、3つのパワーとも、人間の生命力を強めるうえで不可欠なパワーであるということである。

ピラミッド・パワーの研究もその立場から進めなければ無意味なものになってしまうであろう。

驚異のピラミッド・パワー!!

ピラミッドパワーの研究は 現在先進各国で積極的に 進められています、我々の身の廻りでも色々な実験が出来ます。正確に縮尺されたピラミッド模型を好条件の下に置くと、あなた自身も驚く様な実験を楽しむ事が出来ます。あなたも何か新しい発見に挑戦してみましょう。



ピラミッドーA

透明高級プラスチック製、大変美しくそのまゝインテリアとしても最高です。もちろん中の状態を外から観察できるので、実験にも最適です。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 6,000円



ピラミッドーB

実験を楽しんで頂く透明プラスチック製、折た、み式、ピラミッドです。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 1,000円

ピラミッド・ペンダント (アメリカ製)



G,S



T

ピラミッド・エネルギーをあなたのものしましょう。一晩ピラミッドの中に入れてから身に着けるとさらに効果が高いと言われます。(Gは金色・Sは銀色・Tは金色の美しいペンダントです。Tは中央の部分が磁化され、中に小さな物が入られます)

G 3,000円 S 3,000円 T 4,500円



ピラミッドーMP

瞑想、実験用組立式ピラミッドです。底辺 約180cm、高さ 約115cmで、中にゆったり坐れます。アルミ合金の止金で正確な角度が得られます。13,000円

ピラミッドーM

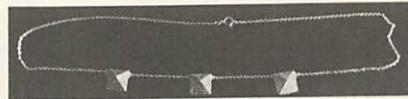
瞑想、実験用ピラミッドの止金です。パイプは各自、好きな長さの物を使って頂きます。パイプの太さや長さの計算は説明書に書いてあります。お徳用です 9,000円

ピラミッドーS

ピラミッド・パワーが金属中では最も高い真ちゅうにニッケルをメッキした高級折た、み式、瞑想用ピラミッドです。(底辺 約180cm 高さ 約115cm) 25,000円



ピラミッド・ネックレス (アメリカ製)

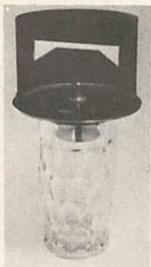


ペンダントと同じように使えます。アクセサリとしても最高です。ピラミッドの中央は夫々磁化されています。5,000円

あなたにも念力がある!!

人は誰でも念力(超能力)を持っていると言われます。ただ永い間、念力を使う必要がなかった為、潜在能力となってしまいました。しかし練習を積み重ね、あなたも自分の能力に気がつき、それを強化する事が出来ます。これらの器具は潜在能力開発の基本となるものです。

念力開発器 (ロジックルッシュン・ダイヤモンド)



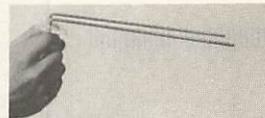
ダイヤモンドであなたは自分に念力があることをすぐ確認できますし、訓練によって、それが強化されて行くのが分ります。バラ十字団はダイヤモンドを使い自己の念力を強化して、実生活にも役立てていました。7,000円

プランセット (西洋式こっくりさん)



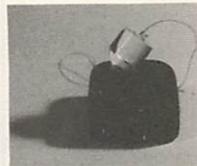
プランセットはそれを行う人の意志とは関係なく、自然に動いて文章や図形が記されるもので自動書記とも呼ばれます。プランセットの実験は精神統一にも有益で、家族や友人と楽しめます。5,000円

ダウジング・ロッド (宝探しロッド)



このロッドで不思議な力を発揮できる様になります。少しの練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できる様になります。又ピラミッド・パワーによる効果の実験も出来ます。3,000円

魔法の振子 (シュブロール振子)



魔法の振子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。同時にピラミッド・パワーによる振子のゆれ実験も出来ますし、占いや・集中力の強化も出来ます。2,000円

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法等の解説書がついてます。

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元 **ポラックス株式会社U係**

TEL (03) 666-0511代

技術指導 **潜在能力開発研究所**

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。
ご注文は紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社 U係にお送り下さい。
〔送料はサービス〕

空飛ぶ円盤とオカルトイイズム完

● 平野威馬雄

UFOの「ありのままのすがた」をキャッチするには、どうつきつめて考えても、オカルトの世界、第四次元の世界を想定するほかないのである。

北欧のゴースト・ロケット

幽霊まがいのロケットの出現も、UFOのオカルト的性質の有力なあかしのひとつと考えられる。

理論的にも物理的にも、絶対に考えられない謎のロケットの性状なのである。

ことはやや旧聞に属するが、1946年にスカンジナビア一帯の上空をわがもの顔に飛びまわったいわゆる「ゴースト・ロケット」について、フランスの有力新聞『フィガロ』は次のように報じている。

「ここ数カ月間にスエーデンの上空を2千機以上のゴースト・ロケットが飛びまわったという情報が入ってきた：はじめは寄席だのミュージック・ホールのステージでジョークのタネにつか

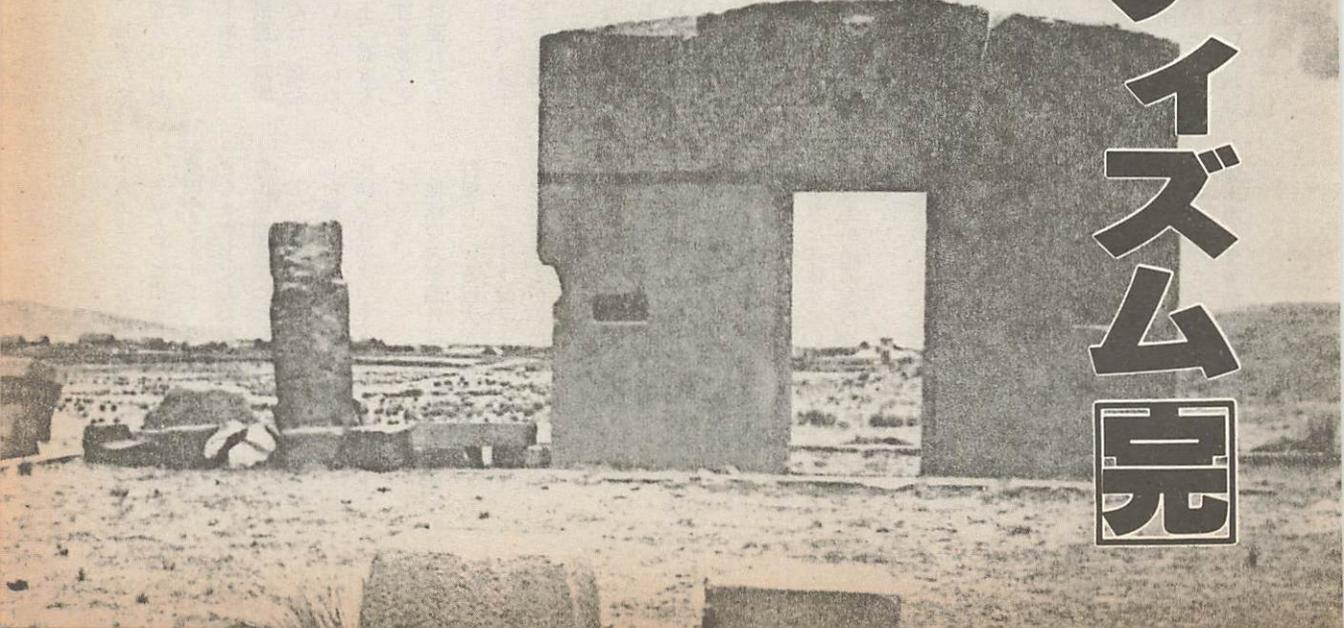
われたにすぎなかったが、スエーデンとデンマークの軍部は、これと真剣に取り組み、重大な事件として調査を開始した」

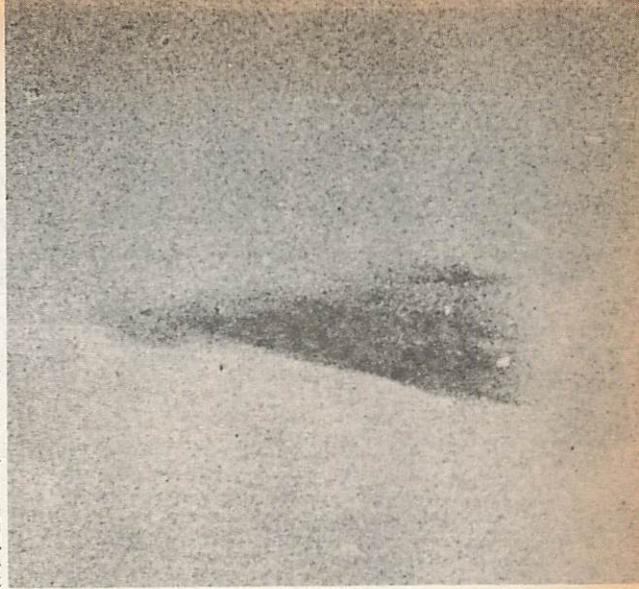
スカンジナビアの諸新聞も、それらを目撃した人々の談話をのせ、はじめのうちはソ連の秘密兵器かもしれないとされていたが、次第にそのような根拠は薄くなり、今では、まさに謎のゴースト・ロケットとして取り上げるようになった。

『フライング・ソーサー・レビュー』のノルウェー通信員ビヨルン・オーベルヴィ氏も、同誌15巻2号に「スエーデンのゴースト爆弾について」という記事をかけた。

「だが、あんな秘密兵器をスエーデン

ティアワナコの太陽の門





▶最近スエーデンに出現した三角翼のUFO

上空に飛ばすのに興味をもつ国が一体あるのだろうか。そんなものの飛行テストをするなら、もっと人里はなれた大砂漠地帯でも選ばよかつたのではないか。しかも、当時あのような兵器をつくる能力のある国が一つだけあつたらうか。

そうした兵器、ロケット製作のエキスパートたちは、いずれもドイツからUSAに亡命しているし、ソ連に囚われた少数のエキスパートは、そうした兵器製作の能力をもちあわせていなかった……という事実を、スエーデン軍部は承知していたのである」

さらに、1946年の7月17日には『アフテンポステン』誌が次のように

述べている。

「ここ数日来、じつに多くのロケットが上空を飛びまわり、多数の目撃者がいた。それはスカンジナビア半島上空全域にわたって見られた。さらに、フィンランドでも、物すごいスピードで飛行する怪ロケットが諸所で見られたという。そして、いろいろと調査や討議の末、あれは地球上で未だ開発されていない、全く新しい原理によって操作されているのだ……という結論に達したのである」

ところが、9月5日の記事の中で、『フィガロ』紙は、「ゴースト・ロケットは必ずしもいつもあのような突拍子もないスピードで飛行するとはかぎらない」と前置きして、次のように記している。

- 一、あの謎のロケットは、その形状が葉巻のようであった。
- 二、その尾部からは、おびただしい火焰が噴出していた。その色はオレンジがかっており、時には「あれは緑色にみえた」といつている目撃者も少なくはなかった。
- 三、飛行の高度は、海拔3000〜1000mであった。
- 四、飛行速度は、地球上の普通のジェット飛行機のそれと大同小異であった。ある者は「やや、それよりもスピードがおちていた」と言っている……。
- 五、音らしいものは一切なく、全く

静けさそのもので、ただ、わずかに低いホイッスルのような音らしいものが聞こえる時もあった」

さらに、次のような事例もある。

「7月——ノアランド。銀色の魚雷とおぼしきものが空中を飛んだ。見た者は少なくない。気味が悪いくらいのろろと走っていた。その上、高度もごく低かった。しばらく上空をあてどもなくさまよった後、雲間に隠れてしまった」

ビョルン・オーベルビイ氏は、若干のリポートのあとで、次のように記している。

「7月中、軍部は半公式的な調査をして、8月にはある程度、具体的に納得のいくようなリポートが出せるはずだと言及した。

だが、そのようなリポートはついに実現しなかった。というより、例によって軍部内の機密にふれるという理由でもあるが、とにかく、ナショナル・セキュリティ(国家保安)というたてまえから、うやむやにされてしまった。あるいは、調査がすすむにつれて、恐慌や集団ヒステリーの発生する心配がでてきたのかも知れない。結果の報告を公けにする様子がなくなったのである。

あれが彗星か小惑星ではないかという説は、科学者たちからしりぞけられ、かえりみられなくなった」

だが、多くの飛行物体はいか

ずスカンジナビア半島全土の上空にひっきりなしに出現し、それはUSAや英国やニュージーランドでひところ騒ぎをまきおこしたUFOフラップ以上の出現頻度でつづいた。

じつさい、それらをはっきりと目撃した無数の人々は、口をそろえて「あれは全長10フィート内外だった」と言っている。

地球の大気圏外はるか彼方の上空で待機している巨大な母船から発射される宇宙機にちがいない、というのが一般の解釈であった。

もちろん、それは純粹に「推測」の域を出ない見解だが……。

「8月19日、ラクサ発・午後8時。屋上を飛び過ぎる1機の怪物体を、6人の者が目撃した。それは9フィートの長大なシガー状で、その先にいくつもの小さな球体がついていた。青味がかつた光が尾部から放たれていた。何の音もなし」

最後のリポートは8月末にもたらされた。それからは、もう「ゴースト・ロケット」は見られなくなった。たまさか現れても、瞬間に消え失せるといふぐあいだった。

だが、すでにその頃から、USA上空に現代の(今日みられる新型の)UFOが現れはじめたのである。

そして、さらに、それは葉巻型の物体出現の世界的な前触れだったとも考

えられる。

1946年8月1日、午後6時頃、キャプテン・ジャック・E・バックケットが、バージニアのラングレイ空港からC47機で飛び立ち、フロリダ州のマックデイル空港へむけて航行した。

この航空機がタンパから30マイル北東、高度4000フィートのところを飛んでいた時、キャプテン・バックケットと搭乗員は、同じ高度で水平に猛進して近よってくるシガー形の物体を見て驚愕した。

この葉巻型物体は、1000ヤードほどのところに近よってくると、くると逸れて衝突をさけるらしい形勢となった。クルーたちには、その内部がかなりはっきりと見え、その大きさもどうやら正確に目測できた。そして、

コンタクトの秘められた目的

いわゆる公認のコンタクト・ケースとはすこしおもむきの異なった、ややオカルト気味のあるコンタクト・ケースについて、プリンズリー・ルポア・トレンチが、「インターナショナル・チェアマン」というタイトルで次のように羅列している。参考までにご紹介しておく。

「異星人および地球人のいずれかがコンタクトを指向する場合、それには必ずある秘められた目的がある。

B29爆撃機の2倍ぐらいの大きさだとわかった。多数の光った窓もみえた。

キャプテン・バックケットとその部下ヘンリー少尉とエンジニアたちも、はっきりと見て、あとから確証を示してくれた。

山ほど集まったリポート用資料をかかえて着陸するや、直ちにマックデイル航空基地の調査班にこのことを逐一報告した。キャプテン・バックケットの正式に署名したリポートは、NICAPの重要なUFO関係の資料として保存されることとなった。

ここで特に書き加えておかねばならぬことは、特別の理由から、この重大な事件があのかくくくく『コンドン白書』にさえも加えられずにしまったことである。

それは、まず第一に、今まで上空はるか彼方に星のように小さく光って飛んでいるところとか、昼間でも豆つぶか、おぼろな形態でしか見ることでしかなかったUFOとその乗員を、はっきりと、公々然と、われわれの空を舞台に見聞きさせてくれること、見聞きすること……が、唯一の目的だったのである。

そして、見せてくれる対象は、あらゆる人種、あらゆる皮膚の色、あらゆる

トレンチ伯爵



る宗教の人、無宗教の人……という風に、資格の制限はなかったのである。我々地球人が、科学的知識とか科学上の技術を多少ともわがものとするようになったのは、せいぜい200年このかたである。

ところが、異星人たち、銀河系の星々に住む人々が科学的技術を取得してから（推定だが）おそらく数千年、いや数十万年たつと思われる。だから、かなり超常的なことも容易に操作できるものと考えられるのである。

このような推定に関心を持っていただけたら、「コンタクト」という、これまで超常的な行為に興味を示す気になつていただけることと思う。

今日の我々は、重大でしかも偉大な事柄への敷衍（たゞし）の上に立っているのである。

来たるべき数年、ないし十数年の間に、人類史上もつともエキサイティングなリポートに接することは、いささかの疑いも容れぬところである。

インターナショナル委員会の委員および会員諸氏よ、もし貴下達がこれから記す地域およびアドレスの所に居住しておられるなら、見聞きされたすべての事柄を、そこに報告していただきたい（次ページの表1を参照）

プリンズリー・ルポア・トレンチ
インターナショナル・チェアマン

表 1

アルゼンチン Argentine: Profesor Richard A. Frondizi, Hipolito Yrigoyen, 3560, 8° 24, Buenos Aires.	ニュージーランド New Zealand: P. R. Austin, P. O. Box 10-1051, Balmoral, Auckland 4.
オーストラリア Australia: Ken McGuffin, 2 Iredale St. Newton, New South Wales.	ナイジェリア Nigeria: Dr. O. E. Hagen, Box 19, Nuaniba via Uyo, Soacti Eastern State.
バングラデシュ Bangladesh: M. Habibullah, Sathira, Khulna.	ノルウェー Norway: Nils Jacob Jacobsen, Disenveiv 15-111, Oslo, 5.
ベルギー Belgium: Contesse R. d'Oultremont, 'Val des Pins' 26 Drève du Château, Linkebeek.	フィリピン Philippine: N. A. Villarruz, 104, Roxas Avenue, Roxas City.
カナダ Canada: Mrs. Carol Halford-Watkins, 95, Center Street, Aylymer East, Quebec.	プエルトリコ Puerto Rico: Noel E. Rigau 855 Las Marias Avenue, Rio Pedras, Puerto Rico 00927
セイロン Ceylon: Upali Amarasenn, 'Amarani' Goloda, Indurawa.	ローデシア Rhodesia: Peter Turner, St. Stephens College, Balla Balla.
海峡群島 Channel Islands: Allan Palmer, 24 Maison St. Louis, St. Sairour Jersey.	スロベニア (ユーゴスラビア) Slovenia (Yugoslavia): Vincent Strmenik, Smartno 146 62380, Slovegladie.
コロンビア Colombia: Albert Ron, Apartado Aero 1320, Cali, Valle.	南アフリカ South Africa: F. Van Vloten, P. O. Box 743, Durban, Natal.
キプロス Cyprus: E. A. L. Coudouraris, P. O. Box 2405, Nicosia.	スペイン Spain: Miss Ruth Rees, Hotel Melia Tarremolinos, Avenue Montemar, Tarremolinos, Malagar.
フランス France: Monsieur J. C. Salemi, 26 Rue Louis-Blanc, St. Leu-La-Foret, 95, Val d'oise.	スウェーデン Sweden: Mrs. Edith C. M. Nicolaisen, Parthenon, Hallsingborg, 6.
インド India: T. K. Ghosh, z, Sreekanto Chowdhury Lane, Barrangar, Calcutta 36.	イギリス United Kingdom: F. W. Passey, 59 D. Windmill Road, Headington Oxford.
イスラエル Israel: Amnon Yaish, Rehov Hapalmaeh 38, Jerusalem.	アメリカ United States of America: Mrs. Madeline Teagle, 548 Steeles Corners Road, Cuyahoga Falls, Ohio 44223.
イタリア Italy: Paolo di Girolamo, 00189, Roma, Via Capeua 25.	ベネズエラ Venezuela: Andres Boulton, Apartado Postal 2633, Caracas 101.
マレーシア Malaysia: Stephen T. S. Wong, Yulek Heights, T3. Lot 343 5 Mile, Falan Cheras, Kuala Lumpur, West Malaysia.	ザンビア Zambia: J. A. Richardson, P. O. Box 1608, Ndola.
メキシコ Mexico: Ing. Jan C. M. Narrie Benito Perez Galdos 218-201, Col. Palanco, Mexico 10, D. F.	

あなたには《新知識》かもしれません

…しかし、古代エジプト人はすでに知っていました！

幸福と心の安らぎをもたらす知識！ 諸問題を解決する方策、病気を克服する力！ 今日においてもいまだに模倣されている文明を創造したその英知と手腕——これらは古代エジプト人の生きる智慧の一部でした。



■申込先=〒165 東京都中野区若宮2-49-16 バラ十字会 日本本部AMORC事務局U-8係

▶バラ十字会は、長い歴史をもち、宗教・政治団体とはまったく無関係の立場で、哲学的探究を目的としている同人組織です。本会は、幾世紀も保存し続けてきた未公開の英知を、希望者に対して通信教育方式により一般公開する活動を現在、世界63カ国で行っております。

▶古代の奇蹟とカ神秘として伝承されていることの裏面には、古代人が探究した自然の法則、人間の精神の働きの意外さ、人生の諸問題の対処のしかたなど、ユニークな視点、英知の数々が内包されています。

●詳細を説明した小冊子《人生を支配する》(日本語版)を無料でお送りします。下記にハガキでお申込みください。勿論、付帯義務や責任はいっさいございません。なお、教材はすべて日本語になっております。

UFOは地震多発地帯に出現

いつ果てるとも知れぬ論戦が、今もなお、世界の各所でくりかえされている。

「UFOは地球以外の、つまり外界を故星としてやってくるもので、銀河系内の、地球以外の異星からやってくるものなのか。それとも、我々の意識外の不可見の宇宙からやってくるものなのか」

というやりとりだが、それに対する答は、この二つの原理の混合ではないのだろうか……という種類のものなのである。

過去25年このかた、UFOはもっぱら原子力研究所、軍部、空港、海洋、河川湖沼、都市、病院、学校、農園、辺境などでしばしば観測されたり目撃されてきた。UFOは宇宙のあらゆるものを仔細に観察している。UFOは我々の航空機を子供あつかいする。モーターカーを追いかけてみたり、いきなり海中深くもぐったりする。

最初のころは、珍しいので、天文学者や星辰観測家たちは争うようにしてその飛行跡をたどってみたり、望遠写真でスナップしたりしたものである。

ところが、ただ一つのが、なかなか解けない謎として、長年の間もてあまされてきたのである。

それはどんなことかというところ、UFOがマグネティック偏差の中心に集中しているかに思われてきたのである。

つまり、地球表面にマグネティック断層のあるところに集まるのである。

まず第一に、地震のおこり易い地域を、それがつねにねらっているというぐあいなのである。

これは、UFOがしばしば、そうした地震のあった地域の上空周辺を旋回していることによっても、裏づけられているわけである。

たとえば、1957年2月の11日と12日にイギリスのミッドランド上空をUFOがしきりに飛びまわっていた事実にてらしても、うなずかれる。5機のおたまジャクソン型の物体が、そのあたりに激震のあった前後、ひんびんとして出現していたのである。

こうした事実をふまえて、また、新しい推定ないし判断が生まれてくる。そうしたマグネティック偏差のひどい地域というものは、多くの場合、UFOがその姿を現す一つの「窓」の役目をしているということだ。

こうして考えてみると、このような推定ないし判断は、漫然とUFOに興味を持っていて程度の人々にとって理解はむづかしいと思われる。

一般大衆にとって、地球ではなく異星でつくられたスペース・クラフト(宇宙船)——つまり、どこか大変なところから飛んでくるのにちがいない——を、何の抵抗もなしに是認したり、受けいれたりすることからしてむづかしいのだから、こうした問題は、ほとんどの人々にとって知力や理解力の域外に属していると考えていい——だからこそ、そこには言われない夢があり、魅力があるわけだ。

だが、ひとたび真実がキャッチできたら、この真実はフィクションや夢想よりも非現実的なだけに、力強いショックと、科学以上に科学的な「真実そのものの架空談」といべきアトラクティブなものとなるのである。

我々としては、H・G・ウェルズだ

のジュール・ヴェルヌといった昔のSF作家が描いた「科学」によって表現された多くの構想から眼をそむけることはない。あの人々が抱いた未来の科学にはそれだけの根拠があり、それに近い事実が今までは次から次へとあらわれているのだから……。

そうだ、あの人々の夢は、今日の我々の対面している「新しい現実」でもあるのだから……。

「不可解なもの、この世にはない」と喝破した先人の言葉が今さらのように胸をしめつけるのである。

「不可解」ということは、決して長つづきするものではない。不可解が、そのまま不可解として価値づけられていく期間は、ほんの短い間なのだ。



世界の「窓」地帯とUFO

なんとといっても、現在、無数の人々によってはっきりと確認されているUFOの正体は、どんな疑問も口ばしをはさめないところまできている。つまり地球上の多くの「窓」地域を通して、鮮明に見とることができるといわれている。あの有名な「バミューダトライアングル（メキシコ湾内）」が、その好例である。

いかに多くのアメリカの飛行機が、そこで姿を消したことが。また、それらの救助に赴いたいかに多くの船舶が呑まれてしまったことか。それも、何一つ痕跡をのこすことなく、姿を消してしまっただ。

さらにもう一つの「窓」として、日本に近い、太平洋の「デビルス・トラ

イアングル（悪魔の三角地帯）」が有名である。

ジョン・A・キールが、特にUSAで、次のような記録をのこしている。

「ネブラスカ州カーネー、ニュージャージー州ワナークエそしてオハイオ州ラベンナなど、さらにアメリカ各州にそれぞれ2つの『窓』が所在している」
北米の西海岸の全地域には、有名な断層ラインが走っている。そしてそれは南米にまで及んでいる。

これが、カリフォルニア州一帯に及ぶサン・アンドレアス断層で、現に1906年には、サンフランシスコで猛烈な大地震があったぐらいである。

その断層はさらに遠くペルーのアンデス山脈にまで及び、1970年には

7万人の死傷者を出し、少なくとも100万人が家を失うという大災害まで引き起こしている。

さらに、ペルーとボリビアの国境にあるチチカカ湖から、ペネズエラの首都カラカスにまで及んだ地震図がのこっているのである。

そこからそう遠くないところ、アンデス山中、12000フィートという高地に、ティアワナコの太陽の門というのがある。

これは現代のいかなる重力学や機械をもつてしても、もち上げたり、運搬することなど不可能な200トンの岩石を無数に積み上げてつくられた、まことに奇怪な仕組みのもので、しかもけわしい断崖の上になたてられているのである。

そこへもってきて、この太陽の門の表面には驚くべきカレンダールが刻まれている、ロシアの科学者カザンツェフによれば、ここに描かれた文字は、地球上のいかなる時代、いかなる国の文字でもなく、まさしく金星人の文字だといっているのである。

さらに、UFOの窓——地震や磁気偏差の「窓」を他に求めるならば——これもまたペルー国内のクスコからペネズエラのカラカスに向かう線上にある。以上列記した地域こそ、過去数十年、数百年このかた、最もひんぱんに円盤が着陸したところである。

だから今なお、数えきれない着陸痕

跡が歴然と残っていて、そのあたりの溪谷こそ、最も魅力に富んだ宇宙人の安息地なのだ。

さらに方面を変えて、ヨーロッパ大陸の方へ注意を向けると、イングランド——この小さな国内の随所にそれはあるが——のウルトシャー州ウォーミンスターなど、UFO目撃のメッカである。

着陸だけではなく、それこそ、オカルトの世界からやってきたとしか思われないポルターガイスト（騒ぐ幽霊）の事件が頻発。しかも、この数年来、ひきもきらずくりかえされているのである。

ことに、ウォーミンスターのロングリートにあるバース卿の荘園内での奇怪な出来事は、「ヘブンス・ゲート」（天の門）として知られている地域と相まって、オカルト的事件が絶えずくりかえされているのである。

「窓」はまだまだたくさんある。
ゴビの砂漠や、ヒマラヤや、フランスのドルドーニュなどがそれである。
そこで、こういうことが考えられる。

これらの「窓」地帯をとりまく磁場に引かれて、UFOが地球外の時空連続界から姿をあらわし、さまざまな飛翔をしてみせる……という事実である。

これらの「窓」に関して最も慎重な研究にとり組んでいるのがアイバン・T・サンダーソン（自然科学者としても有名）である。



この人の代表的な著作「Invisible Residents」(不可見の住民)は、他の類書をぬきんでた名著である。

サンダーソンは、バミューダ・トライアングルとデビルス・トライアングルはいずれも誤った名称だという。なぜなら、そのいずれもが、決してトライアングル(三角形)などではなく、細長いのであり、第一、いわゆるバミューダ・トライアングルは、決してバミューダ島のまん中に位置しているのではないからだという。

サンダーソンと彼の同僚たちは、いずれもそれらは菱形であり、特殊な数学的精確さで地球をとりまいている一種のマグネット的なものが作用しているとする。こうした地帯が全部で10ある。その中の3つは北緯30〜40度にまたがっていて、他の3つは南緯30〜40度にまたがっている。地球をとりま



ウォーミンスターに出現したUFO

て、互いに地球の反対側で向き合っている点が、あわせて10あるのである。

だが、サンダーソンのこうしたファンタスティックな発見は、それなりの興味はあるが、何の物理学的根拠も、今のところ得られていない。

だから、今のところ、すべてのそうした神秘的な地域内で、船舶や航空機が謎の失踪をつづけているという事実の指摘だけにとどめておこう。

UFOが、科学をしりめに、あざわらうかのごとき状態で出没するという千古の事実の前で、我々は次のことを軽々しく見過ごしてはならないと思う。つまり、UFOは、どうつきつめて考えても、オカルトの世界、第四次元の世界を想定することによってしか、キャッチできないのである。

我々のなし得ることといえば、地球

の表面にこれらの不可解な存在があると指摘できる日が来るだろうというこ

とだけ。

それやこれやの難解千万な些事(ささいな事)は別にして、UFOが我々の属する銀河系の異星から、飽きもせず、しょっちゅう来訪してくることだけは事実なのである。サイエンス・フィクションの作家たちが「ハイパー・スペース」と呼んでいる超空間を、UFOが旅行してきているにちがいないということも、当然、考えられることである。

つまり、現在、我々がその正体キャッチに当惑しながらも、懐疑の煙霧をかきわけながら、UFOの「ありのままのすがた」と「機能」と「搭乗員」

に接するためには、いやがおうでも四次元的な考え(オカルトの容認を経て)に達するほかはないのである。

UFOが、インビジブル・ユニバース(目にみえぬ宇宙)から放射されて来るのだということだけは、疑い切れぬ事実である。

終わりにのぞんで一言。諸君が今まであまり関心をもたずにきたであろう「未踏」の思考という面倒な修業を、辛抱つよくつづけてほしい。そうでない、と、単なる上空でのUFO目撃と、コンタクト・ストーリーに眉つばの思いでぶつかって、いつまでも進歩することなしのUFOファンにとどまっているほかはないのである。(完)

★この眼で見よう! 謎と神秘は満ちた雄大壮麗な
エジプト・ギリシア・ローマの
遺跡群と、奇跡のワールドの聖泉を!

企画 第2回 エジプト宇宙考古学遺跡の旅
行こう! 古代の神々の国へ!

大成功を収めた第1回の中米宇宙考古学遺跡の旅に引き続き、今度はエジプトを主体にまたもすばらしいツアーを企画しました。参加者多数が予想されますので、早目にお申し込み下さい。(定員50名)

●期間 昭和53年8月12日→26日(2週間)
●費用 50万円弱(航空運賃・朝食付ホテル代・その他の費用を含む)。12ヵ月、24ヵ月分割払い可。

●申込先 〒110 東京都台東区上野5-1-6、ヤマトビル
ユニバース出版社ツアー係(140円切手同封お申し込みの方に詳細説明書をお送りします)

●主要見学地
〈フランス〉パリ市内、ルーブル美術館、ノートルダム寺院、モンマルトルの丘、サクレクール寺院、凱旋門、その他。
〈パリより列車でワールド行き〉洞窟・聖泉・大聖堂、〈列車でヌベール行き〉サンジルダール修道院のベルナデットの遺体。〈イタリア〉ローマ市内、バンテオン神殿、サンピエトロ寺院、バチカン宮殿、その他。ナポリ市内、ポンペイ遺跡。〈ギリシア〉アテネ市内、アクロポリスのアテナ、ニケ、パルテノン各神殿、ゼウス神殿、コリント遺跡、ミケーネ遺跡。〈エジプト〉カイロ市内、エジプト博物館、ギゼーの3大ピラミッド、スフィンクス、サッカー遺跡、ルクソール神殿(これのみオプション・ツアー)。その他。久保田八郎(ユニバース出版社社長・UFOとミステリー研究者)
●同行者 企画力
●共催 ユニバース出版社 株式会社トラベル日本
●協力 国際アカデミック・センター ユニバース出版社
ギリシア政府観光局

日本の 科学者に 問う(4)

UFOは日本史の中にも登場して
る。

竹取物語の主人公「かぐや姫」は宇宙人の生まれ変わりであったとか、浦島太郎に恩返しをした亀は、実は空飛ぶ円盤で、太郎はそれに同乗させてもらって異星のおとぎの世界で暖かいもてなしを受けたのである、といったような、いわば「未知との遭遇」話が、UFO問題そのものがクローズアップされ始めた昭和20年以來、その研究グループによって新しく唱えられ始めた。

「未知との遭遇」話は、たとえばわが国一国を例に挙げただけでも随所に発見できる。

日本の場合、宇宙人との最初の接触

ペリー提督は浦賀でUFOを目撃した



係にあったかも知れないと推定することもできる。

また、いつも忍びの者（異星人？）を側近にともない、7名の話を開き分けることができたといふ伝えられている聖徳太子も、古代に天から遣わされた1人だったのかも知れない。十七条憲法其の一に曰く、「和を以て貴しとなせ……」とは、誠に新時代にうってつけの基本理念ではないか。

平安期の未知との遭遇話は、説話物語集や縁起絵巻などの神社由来の話の中にくみ入れられてくる。

戦乱の武家社会に入ってくると、親鸞や日蓮などのいわゆる鎌倉新仏教の開祖たちが疲弊し切った庶民の心に向かいを与えた。

いかに高度天体人の支援であらうとも、その影響や効果の現れ方は、結局、その対象社会の生活環境に応じた理解の限度内でしか同化しえない。

平安末から武家台頭の鎌倉期へ推移してゆく過程において、「未知との遭遇」話が宗教的色彩の強い側面を持たざるをえなかったのはやむをえぬことだったかも知れない。

狂人としての時の幕閣に捕らえられ、その陰謀の刃に散らんとしたとき、情念の人日蓮を救出したのは天の雲間のUFOだったのだろう。

封建体制も末期、徳川幕末に近づくと「未知との遭遇」話は、インフレと袖の下のワイロで暴利をむさぼる要職

は、かつて太平洋上にあったといわれているレムリア帝国文明が天変地異によって海底に没した時、着の身着のまま平野から山岳地帯へのがれていった人々を救うために、天、すなわち宇宙から高度文明人がかの地へ遣わされた時だ、という説を唱える人もいる。レムリア人は宇宙人によって助けられ、日本列島に移住したというのだ。そして、旧石器社会へ逆戻りしつつあるとき、天から友人が降りて来た。

「天孫降臨」で象徴されているように天皇家とその一族および日本民族が、天地開びやく以来異星人と血縁関

国史に見るUFO

連載・UFO問題レポート 地球開星運動主宰者 森脇十九男

らの身边に現れてくる。

そして彼らの首元をしめつけたり胸を押えつけて苦しめたりなどする一方、新しい時代の夜明けを暗示してゆくような、幕末と維新の錯綜した政治的色彩の濃厚な振る舞いを見せるようになる。

まあこゝまでは推理で、あくまで推

菅原道真の死の床に

現れた「光明」と「瑞雲」

「東風吹かば匂ひおこせよ梅の花ある
じなしとて春な忘れそ」という歌で有名な菅公菅原道真は、栄華を極めた藤原一族の摂関政治が始まる前に宇多天皇に重く用いられ、のち、藤原氏の反撃をうけて九州の太宰府へ左遷させられた。

その菅公一代の伝記と、その死後のあたりと思われる異変の突発によって祭神としてまつられるまでの過程が、四大縁起の一つ、京都北野天神の『根本縁起』に描かれている。

重要文化財に指定されて太宰府天満宮に伝わる『松崎天神縁起』は、更に

測の域を出ないのであるけれども、この解釈も、今日の科学時代のそれであるからして、一石の価値が投げられていてもよかるうとも思う。

いずれにしても、近々惑星間の知識交流がスタートすれば、わが国史の全貌もおのずと明らかにされてくるであらう。

二つの新しい縁起と、松崎社の創立の由来を加えて完成された。未知との遭遇は、その由来の中に出てくる。

道真が太宰府の地で没する時、生前に京都から太宰府へ流される旅路に立ち寄って道真が美しい風光に心ひかれたという勝間浦に『光明』が現れ、『瑞雲』が酒垂山にたなびいた、というのがあるのであるが、『松崎天神縁起』には、そのことが次のように記されている。

「菅公、延喜元年正月二十五日、姦臣の讒によって、太宰権帥に左遷さるるの宣旨を蒙り、二月一日、遂に、都を

出でて、筑紫に赴く道すがら、都に残したる近親眷属や、身近く召使われし人々の上に、如何に思慕の情を馳せられたことであろうか。

さて、当国勝間の浦に着きて、一夜の旅寝、あやしの蜃の苦屋、目になれたまはぬわびしき状態にも、つきせぬ涙にかきくられた。

せめて、この地は未だ帝土を離れておらぬから、願わくは、ここに居をしめんと、密に、心中に誓われたのであるらうか。

公筑紫に赴かれて、延喜三年薨去の節、神光勝間の浦に現れ、瑞雲酒垂山の峯にたなびいて、奇異の瑞相があらわれたから、時の国司、渴仰の心を肝に銘じ、随喜の思いに涙すら催して、海浜に臨みてこれを拝見したのであった。

その時、国司忽ち宝殿を建立して松崎の社と号した

今日私たちの生活の中にも菅公さんの学徳に啓導されている面が多々ある。受験シーズンともなると、毎春多数の学生たちが太宰府の天満宮に参詣

し、『学問の神様』に合格祈願をする。

ちょっと汚ないように聞こえるかも知れないが、早稲田大学の図書館のトイレット次のような落書が目に入った。

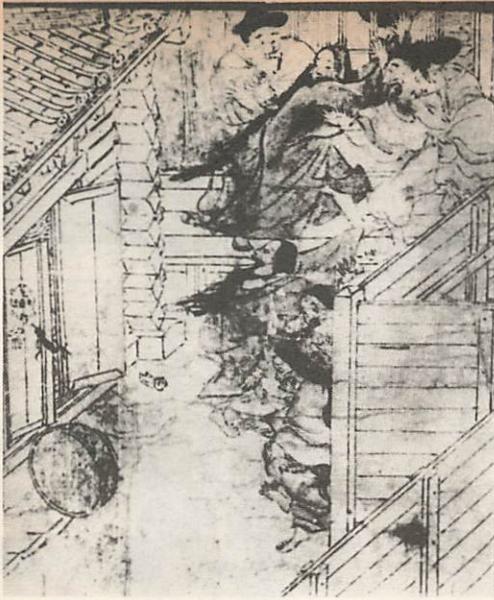
ミッチャン道々ウンコして
紙がないので手でふいて
もったいないのでなめちゃった

（評釈）平安時代は紙は貴重品だった。ゆえに、菅原道真や藤原道長ほどのやんごとなきお方も、かくのごとくであったのだ。

資源エネルギー節約の折、この学生はわれわれの生活と歴史とのかかわりを最も身近な場所と感じとったのであらうか。

「この分裂の結果、多くの異なる様式の礼拝の仕方が起こりましたが、当方でさえも私たちは地球の兄弟を救うために他の人々を送り続けました。彼らの使命は地球の兄弟を助けてその本来の理解に返らせることにありました。

どの場合でも少数の信奉者がこの賢者の周囲に集まりましたが、いつも賢者たちは救おうとした相手によって殺さ



『信貴山縁起絵巻』

れました」(アダムスキー著・久保田八郎訳『宇宙からの訪問者』)

時の大人たちはいつもこうである。だが歴史は聖人の行為を後世に伝承してゆく。今日私たちの日常生活に、『天満商店街』とか『天神様』とかいって、ごく親しい慣習や縁日などの民間信仰の形で菅公さんの遺影は生きて

美しい伝承文学

「金色の飛鉢」

山川出版社刊行の教科書『詳説日本史』の7ページ目に『信貴山縁起絵巻』の挿絵が載せられている。

この縁起絵巻は先の北野天神とともに日本四大縁起の一つとして有名である

かようにして道真公は再生し、日本民族はますます天神を祭祀する神国の色彩を強めていった。

天神すなわち天満神はUFOを意味するものであって、菅原道真はインドのシャカがそうでありナザレのイエスがそうであった如く、わが神国へ遣わされた一友訪者であったにちがいないのだ。

る。しかもその中の代表作で、製作は平安末期、一説には鳥羽僧正の作ではなからうかともいわれている。

教科書中の挿絵は全三巻中の、象徴的な第一巻で、金色に輝く空飛ぶ鉢を見て人々が驚きあわてふためいている風情がよくうかがわれる。

物語は、校倉造の米倉から1個の輝ける鉢が飛び出し、倉・米俵共々従えて、はるかなる空間を信貴山の山あいのもみじを越えつつ主人公の聖力の元へ飛んでゆくというところから始まっている。

それを、倉主とその従者たちがおどろいた様子であとを追ってゆくのである。

その描写は劇的で、その色彩は実に生き生きしている。その描写法は鎌倉時代以降には決して見られぬものだと

いわれている。

たはらのせてとばするにかりなどのつづきたるやうにのこりのこめどもつづきたりたり。

またむらすずめなどのやうにつづきて、たしかにぬしのいゑにみなをちのにけり。

第一巻は『飛倉の巻』。

第二巻は、件の空飛ぶ鉢のふしぎを行つた聖が、法輪にのつた童子をつかわして帝の病を治す『延喜加持の巻』。

第三巻は、聖の姉が、遠路はるばる艱難をのり越えて、弟の修行している信貴山を訪ねてゆく『尼公の巻』。

杉田玄白「後見草」中の

UFOとは

星、東北の方に現れ、根は細ふして、

こえて時代は江戸後期に入る。杉田玄白は当時江戸に起こった異変を中心に、疫病、大千ばつ、空での凶兆、海の異変、大名屋敷の化猫騒動などの話題を『後見草』に記録した。

白柳先生の『維新革命前夜物語』を参考にしながら、その状況を見てみよう。

感冒が大流行し、かつて江戸に聞かぬつむじ風が吹き起こつた明和4年の夏、怪しい星が出現した。

「又、同じ年の夏の末、秋の初めに至り、ほうきぼしとやらんいへる怪しき

そして最後に、もう一度飛倉の屋根をえがいて第一巻と関係をもたせ、雁の飛びかう中で静かな余韻を残しながら絵巻は閉じられる。

ぶんぶく茶釜といい、浦島太郎の亀といいそしてこの空飛ぶ鉢といい、電気がさを撮つたんじゃないかと嘲笑されたアダムスキーさんのUFOと奇妙に一致している。

申すまでもなくアダムスキーさんのUFOは異星人の宇宙機である。ということは、国史中にうかがわれる「未知との遭遇」話実は本物のUFOで、真実の話だったのでということにならざるをえない。そしてそれらのいずれもが私たちの先祖が残してくれた美しい伝承文学を構成しているのだ。

誰見しといふ事を聞かず。此時何者か狂歌しけん。『天中に怪しき物あり、其形絵がける尻のごとし』と云ふ前書にて、

君が代は 草木もなびくほうきぼし 天下泰平 武運長久

とぞ読みける。」

こえて明和7、8年に及ぶと海に異変が起こつて、およそその海に有るべきものがいなくなり、又、その海に有るべからざるものが生ずるなど、怪異のうわさは絶えず、天には古人の『字』ととなえた星が現れて、四辺はものすごく、大ききおよそ一尺ばかりもあらうかと思われるほどに隈どつて、見るものに何等かの凶変の近づきつつあることを思わせずにはおかなかつた。果たして大千ばつが襲つてきた。後で人々はこの星が火星で、地上の水分をこごとく吸いとつたものであらうなどといひはやした。

「其夏より秋に至り、次第にひでりし雨絶えて降りざりしにより、四民是がために苦しみ、農業のいとなみならず、京にては、加茂の川原に井戸を掘り、江戸にては、日ごとに水を争ひぬ。中にも小田原にては、余りに水に絶えたるにより、人一人に水一升、馬一匹に水四升と定められるよし。げにかの星こそ、火星にてや有りけん。是より後、三年が程、年毎にひでりして、あくまで人の難儀とは成りたりける。

又、此秋の事なりき。日は忘れたり。戌の刻ばかりに、天にわかにか赤氣立ち、終宵見へたりしが、京地にては北方の火事なりといひ、江戸にては、下総、常陸のあたり大火事にや有りけん、申し人も多かりき。何のゆへ

という事を知らず、惣じて日本国内、見えぬ国はなかりよしし」

桜田にある上州安中の城主、時の老職にあつた板倉侯の屋敷に夜な夜な化生のものが現われて家人を悩ますとのうわさがばつと江戸中にひろがった。それが後世講釈師によつて化猫騒動の種本にされたといふことらしい。

「同じ年夏の事にて侍りき。時の老職、上州安中の太守、板倉殿のおはしける桜田の御屋敷に、あやしきことの沙汰しけるは、下部の多く集り住みける所へ、如何成る化生とも知らず、其寝所に忍入り彼者共のよく寝たる者の喉元を、一度に強くしむると覚え啞と

公文書「ペリー提督日本

遠征記」中のUFO

1853(嘉永6)年6月、合衆国東インド艦隊司令長官ペリーは4隻の黒船をひきいて浦賀に来航し、アメリカ大統領の調書を携えて日本の開国を要求した。そのときの航海紀行が『ペリー提督日本遠征記』で公文書として保存されている。

UFOが登場する注目すべき箇所は第12章である。

そこではUFOを氣象学的諸現象としてとらえ、日米交流の夜明け前にふさわしい出来事と解釈している。

「方針を決定するに当たつて、彼の判断が賢明であつたといふことについての最善の証拠は、その成果のうちに見

いふ声して、互に目覚めけるとや、夜毎にかくの如きに凡そ半月計りもやまず、其声近隣の大小名の御屋敷へも聞え、皆人不審と申し侍りたり。人遠き山里などには、かかる化生も稀にはあるよしなれど、繁花第一の所といひ、殊にものふの御家にては、いまだかかる例しを聞かず」

ほうき星も『字』も化猫も大小異型のUFOの仕業ではなかつたのか？まさに、この「未知との遭遇」話がUFOであつたならうとする推測の根拠は次の重要な2大文献とアダムスキーさんの「生きた証言」とのかかわりからも導くことができるのである。

艦隊はその全滞留期間を通じて、日本の役人からの一切のいやがらせ又は干渉をうけることがなかつた。これは二世紀以上にわたる外国の諸船と日本との交渉の際に前例を見ない事であつた。

その夜当直司令デューア大尉は或る興味ある氣象学的現象を観察した。彼はそれについて、深夜から翌朝4時迄見た注目すべき流星であるとして記している。それは南方および西方に現れて、天空一面を照した。艦隊の帆や船体は、あたかも各艦から一斉に青色光を燃やしたやうにはつきりとその光に照らされた。その閃光は南方と西方か

会員募集

日本GAP

UFOと宇宙哲学
研究グループ

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究家としても著名であるが、1961年よりアダムスキー主宰の世界GAP(知らせる運動)組織の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーの特異な体験と宇宙的哲学の促進活動を展開してきた。機関紙「GAPニュースレター」はすでに63号まで発行。毎月東京文化会館の月例会で宇宙哲学を指導し、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。大阪・高知・熊本・新潟・岐阜・福知山・仙台・山形・札幌各支部設立。個人的奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期刊機関誌
「GAPニュースレター」
第63号発行中

●本格的活版印刷・B5版・極上アート紙40頁●UFOに關連し他惑星における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌
主要記事■世界の變動 G7アダムスキー 若さの泉-老化の時計 アリス・ウェルズ 昭和52年度日本GAP総会開催 フレッド・ステック リング氏夫妻の講演 /その他有益な記事写真満載

入会希望者は50円切手付宛名明記返信用封筒を同封の上「UFOと宇宙」7月号で見たと書きそえてまず案内書をお申し込み下さい。入会は高校生以上に限りません。非会員に機関誌の一冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP(主宰)久保田八郎

ARTICLES

13 The Scientist and the UFO FRANK E. SALSBURY

Sightings of unidentified flying objects (UFO's) have a number of important consequences for the scientist. They are discussed in terms of five hypotheses: extraterrestrial machines, conventional phenomena misinterpreted, psychological phenomena, hoaxes, and secret weapons. The data for scientific study are found in the reports, and seven of these are reviewed.

15 Biology and the Smithsonian Institution PHILIP C. BITTERBUSH

The Smithsonian Institution at Washington, D.C., has pursued broad objectives in biological research since its establishment in 1846. These include systematic biology, photobiology, physical anthropology, conservation, education, and environmental biology.

DIRECTOR OF THE AIBS OFFICE OF BIOLOGICAL EDUCATION

At its August 1966 Meeting the AIBS Governing Board appointed Dr. J. David Lockard, Associate Professor of Botany and Science Education of the University of Maryland, to help establish and direct the new AIBS Office of Biological Education announced in the October 1966 issue of *BioScience*. Dr. Lockard will be on partial leave from the University until September 1967.

Dr. Lockard's professional activities include Directorship of the AAAS International Clearinghouse on Science and Mathematics Curriculum Development, the Science Teaching Center at the University of Maryland, and the University NSF-sponsored Summer Science Institute for Biology Teachers. At Maryland he teaches Plant Physiology, Plant Microtechnique, Botany Teaching Methods, Science Teaching Methods, and supervises science student teachers. For the past several years he has been Chairman of the Science Teaching Materials Review Committee of the National Science Teachers Association and is presently on their 1964 Annual Convention Committee. He has served as an elected member of the Board of Directors of the National Association of Biology Teachers and is their Program Chairman for 1967. He is presently Secretary of the Inset Board of Science Education of the Washington Academy of Sciences and directs their NSF Projects in the areas of science education.

His Ph.D. degree is in Botany (Plant Physiology with a minor in Biochemistry) from the Pennsylvania State University where he also received his Master's degree in Science Education. His B.S. degree from the Pennsylvania State University was awarded in 1951. In 1959 he was an AEC-NSF Fellow in Nuclear Physics and Radiation Biology at Harvard University.

Assisting Dr. Lockard will be Mr. Richard J. Burk, Jr., who has been appointed to the position of Assistant to the Director of the Office of Biological Education. Mr. Burk has been on the AIBS staff for the past 6 years.



BioScience January 1967 13

米学術誌にも科学者のUFO論文が登場するようになった。

「そう言えば正月のはじめから不思議なこともありましたよ。正月三日の晩です。この山の東の方から光ったものが出て、それが西南の方向へ飛んだと言います。見たものは皆驚いたそうですよ。馬籠ばかりじゃない、妻籠でも、山口でも、中津川でも見たものがある」

藤村の『夜明け前』第一部序章の五の節である。木曾馬籠宿年寄役小竹金兵衛が、本陣の主人青山吉左衛門に話した言葉だが、これ、まさしくUFOじゃないですかなあ？

藤村は、この話をただでたために書いたものではなく、馬籠に残る何かの資料によって書いたものと思われるが、とにかく山峡ゆえに空を見ることが多かったであろう当時の木曾の人々（右の文章がそれを証明している）ただの流星を見まぢがえるはずはなからう。

ところで、私自身はUFOについて、特別の知識もなければ興味もない。で、話はただこれだけである。ところが、このことをあるところで見ちゃべったら、これはUFO界の「新発見」なのだそう。そのほうの研究書にこのことを指摘したものがないそうだ……（中略）……。

これがほんとうに新発見だとしたら、その事実のほうが面白いと思う。つまりこのことは、『夜明け前』の説

者はUFOなんかに興味がなく、UFOのファンは『夜明け前』なんか読んだことがない——ということを物語るからである……（中略）……。

木曾の馬籠は、若い人で一杯である。私の行ったときに関する限り、藤村記念館の前はいつも大行列であった。土産物店の品には、何を見ても、「木曾路はすべて山の中である」という『夜明け前』冒頭の一節が書かれてある。あの大行列の若い人は、みんな『夜明け前』の読者で、かつ年頃からしてUFOのファンも少なくないだろうと思われるのに、実はそうでもないらしい。

ひょっとしたら彼らの大半は、『夜明け前』の一節を教科書か何かで読んだだけであるか、もしくは土産物屋の細工物の「木曾路は……」の文句だけで、全部読んだ気になっているのではあるまいか。

と、笑いかけて、私はしかし笑えなかった。よほどの藤村ファンでもないかぎり、『夜明け前』は読みづらい作品に相違ないからである。

とにかく、右の木曾谷を飛んだのは嘉永6年1月3日の夜のことだ。

西暦に直せば、1853年2月10日木曜のことで、同じころ、ペリーの乗ったミンシッピー以下4隻の黒船は、日本へ向って海のUFOのごとく印度洋を東航中であつた。

……ま、そういう次第で、若い人が

ら、そして水平線上約十五度のあたりを北東に向って長い間を一直線に走り、それから次第に海面に降りてつひに消え去った。その形は赤い楔形くわがたの尾をもった大きな青色の球であつて、その尾は容易に目に見えたのであるが、爆発と同時にパッと散るあの火花の火花に似た灼熱した微粒物なのであつた。『古代人ならばこの天空の異変

明治の文豪、藤村の

「夜明け前」に見るUFO

筆者はこの『夜明け前』の中でUFOを発見した2番目の者かも知れない。この頃も含めてかねがね国史中のUFOを少しまとめてみたいと思つていたのであるが、よく調べたら、『文

をば、計画している事業への吉兆と解したであらう』と提督は語り、更に付け加えて曰く『吾々にあつては、特異にして孤立した人民を文明国民と親しませようとする吾々の企画が、流血の惨事なしに成功するやうにと神に祈つたがためであると解されるだらう』と」以上が『ペリー提督日本遠征記』からの抜粋である。

若春秋』51年6月号の中で作家の山田風太郎氏が『夜明け前』でUFOを目撃したと記してある。

で、それを引用させて頂くことによろ。

「そう言えば正月のはじめから不思議なこともありましたよ。正月三日の晩です。この山の東の方から光ったものが出て、それが西南の方向へ飛んだと言います。見たものは皆驚いたそうですよ。馬籠ばかりじゃない、妻籠でも、山口でも、中津川でも見たものがある」

藤村の『夜明け前』第一部序章の五の節である。木曾馬籠宿年寄役小竹金兵衛が、本陣の主人青山吉左衛門に話した言葉だが、これ、まさしくUFOじゃないですかなあ？

藤村は、この話をただでたために書いたものではなく、馬籠に残る何かの資料によって書いたものと思われるが、とにかく山峡ゆえに空を見ることが多かったであろう当時の木曾の人々（右の文章がそれを証明している）ただの流星を見まぢがえるはずはなからう。

ところで、私自身はUFOについて、特別の知識もなければ興味もない。で、話はただこれだけである。ところが、このことをあるところで見ちゃべったら、これはUFO界の「新発見」なのだそう。そのほうの研究書にこのことを指摘したものがないそうだ……（中略）……。

これがほんとうに新発見だとしたら、その事実のほうが面白いと思う。つまりこのことは、『夜明け前』の説

者はUFOなんかに興味がなく、UFOのファンは『夜明け前』なんか読んだことがない——ということを物語るからである……（中略）……。

木曾の馬籠は、若い人で一杯である。私の行ったときに関する限り、藤村記念館の前はいつも大行列であった。土産物店の品には、何を見ても、「木曾路はすべて山の中である」という『夜明け前』冒頭の一節が書かれてある。あの大行列の若い人は、みんな『夜明け前』の読者で、かつ年頃からしてUFOのファンも少なくないだろうと思われるのに、実はそうでもないらしい。

ひょっとしたら彼らの大半は、『夜明け前』の一節を教科書か何かで読んだだけであるか、もしくは土産物屋の細工物の「木曾路は……」の文句だけで、全部読んだ気になっているのではあるまいか。

と、笑いかけて、私はしかし笑えなかった。よほどの藤村ファンでもないかぎり、『夜明け前』は読みづらい作品に相違ないからである。

とにかく、右の木曾谷を飛んだのは嘉永6年1月3日の夜のことだ。

西暦に直せば、1853年2月10日木曜のことで、同じころ、ペリーの乗ったミンシッピー以下4隻の黒船は、日本へ向って海のUFOのごとく印度洋を東航中であつた。

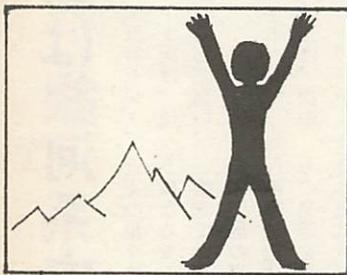
……ま、そういう次第で、若い人が

心と体の統一強化

超道

◆超道師範資格取得講座

- カール・ヘニングガーの指導によりアメリカでブームを呼ぶ画期的運命転換システム「ボード原理」、大脳生理学、深層心理学による独創的中枢能力開発によって、心と体の統一強化をはかる。



- **通信講座部** (基礎科3ヵ月)
1日10分 of 行法練習を自宅で行うだけで充分効果のあがるシステム指導。
受講料:9,000円(スクーリング付)
- **通学部** (基礎科3ヵ月)
銀座会場で毎月1回直接個人指導を徹底的に行なう。
受講料:15,000円

申込方法 ハガキに通信、通学の別を明記の上、**超道受講**と書いて申込み下さい。受講料は教材到着後振替又は現金書留でお近くの郵便局からご送付下さい。

唯超学会 (UFO係)

〒104 東京都中央区銀座 2の8の17 (中川ビル1号室)
TEL 03 (567) 6718
資料呈:超道資料(通信・通学の別)と書いて、切手50円同封下さい。

過去にみる「未知との遭遇」話は現代で終わる。それらのほとんどは異星人の製作した宇宙機であった。ファッションから、UFOは現実のもの「IFO」として確認されたのである。時は進み、更に次の航路に向けて今や日本の学識層はオープンになりつつある。新しい潮流が生まれ、面航一杯その渦潮をのり越えて、彼らの意識は目覚めてゆく。

「ナゾの飛行物体の研究は、アマチュアの手で進められてきたが、近年、科学者もとり組み始めている。藤松君が撮影した写真は、作意なく写したのと思われ、何かが現実存在したのだらう。私はいちがいに否定しない。少年たちが純粋にナゾを追求する態度

「宇宙人はいいますか?」
「います。わたしやあなたがその一つです。宇宙には同じような条件の場所がたくさんあるので、そのような場所です。あなたが生まれないと考えるのは非常に無理があります。わたしやあなたの地球人以外にも存在すると考

「偉大なる研究こそ、はじめに非難、嘲笑の的となりやすいもの。信用はしてないが頑張れ」
「現代の若者に似ず夢があつて大変喜ばしいことだと思ふ」
「ワセダ祭アンケート(昭41、一部分)「シェー、がんばれよ」
「現代の若者に似ず夢があつて大変喜ばしいことだと思ふ」

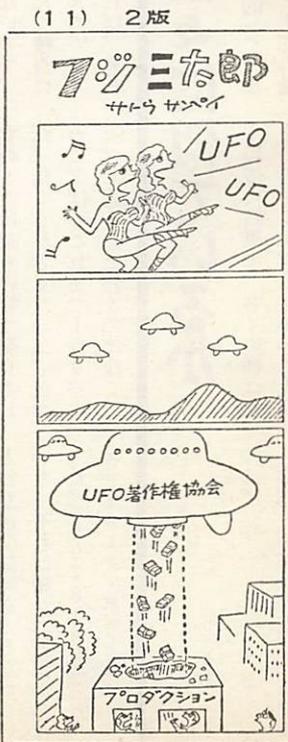
そして科学の現代

「夜明け前」を敬遠するおかげで、小生が嘉永6年のUFOの発見者? となった次第。
以上、山田風太郎氏のエッセイを引用させていただいたが、『宇宙からの訪問者』の中にある次の言葉は『夜明け前』にびったりだ。
「おわかりでしょうが、私たちは地球

UFOの終着駅

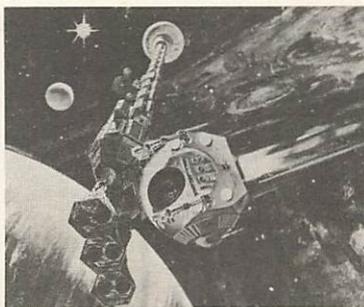
地球外文明論への旅立ちが始まった。
「歴史をよく知っているのです。『私たちは兄弟の守護者なのだ』という考え方は、いかなる場所の人類にもあてはまりません。
私たちが地球へ来て次のように言うのはこの役割を果さんがためなのです。——地球人の苦悩を光の前の暗黒のように消すために『宇宙の創造主』を地球の道しるべにしよう」

新聞マンガ(朝日新聞)に登場したUFO



を持つことは大切で、データを積み重ねていく実証的な態度を、周囲の人が指導してくれればと思う」(村上忠敬教授、中国新聞)

「えた方が自然でしょう。どの星にいるか? どんな姿をしているか? それはおわかりません」(NHK大学講座「自然科学」)



〔A〕

〔A〕地球は銀河系内の動物園なのか

NASAゴダード飛行センターのマイケル・ハート氏は、恒星間旅行の可能性は極めて高いと語っている。

メリランド大学のベンジャミン・ズーカマン博士は、次のように指摘する。

「私たちはここ千年以内に巨大な宇宙植民地の建造に着手し、

近くの星々に人々を送り込むようになるでしょう」

地球ではまだ機が熟していないが、他の高度文明がすでに銀河の植民地化を開始し、「私たちの発達を見守っている」ということは大いにありうると彼は考えている。

「もしあなたがUFOやエーリ

ック・フォン・デニケンの『未来の記憶』を信じているのなら、彼らが既に地球を訪れていることも信じるでしょう。おそらく彼らは私たちから姿を隠しているのです。ここ数年間に起こったこと（戦争、原爆など）を考えたら、彼ら責めることはできません。

ヒョットすると、彼らは私たちをある種の奇妙な生物として保護しているのかもしれない。あるいは、私たちが放置しているのかもしれない。これが『動物園仮説』といわれるものです」（5月9日付、ニューズ・アメリカン紙）

〔B〕心霊術による殺人捜査

ドロシー・アリソンは一日中長靴と作業着姿で沼地や森のゴミ捨て場などを歩き回った。彼女によれば「死体はこの辺にあるはず」であった。

アリソン夫人はニュージャーシーに住む心霊術師で、全国各地の警察からしばしば迷宮入り直前の事件の依頼を受け、これを一般人の理解できない方法で解決してきたという。

2年前行方不明になったジェ

に警察への協力を思い切ったのは1966年1月3日に子供が溺れる夢を見てからである。彼女は警察に行き子供を着ているものと靴を左右さかさまにはいていることなどを詳しく話した。そしてマイケル・クルーシス（当時5歳）が2月7日に彼女のことは通りの姿で発見された。靴もさかさまだった。彼女のことばもこれまで100パーセント適中したわけではなく、

夫人自身も「すべて当てられるわけではありません。私は神ではなく心霊術師で、ただの人間です」といっている。このインタビューの最後に夫人が突然立ち上がり電話の方に向かった。彼女が近づくと同時に電話が鳴り出し「警察からです」と彼女が受話器をとりながらいった。それは確かに警察からだった。（1978年3月28日付、ニューヨーク・ポスト紙）



〔B〕

〔C〕宇宙人は本当に我々に似ているか

何百というUFOの目撃談で非常に奇妙なことは、全員が地球人に近い宇宙人を報告している

点だ。これは科学的ではない。進化論によれば、現在の動物の姿は40億年にわたる遺伝

や環境の結果で、各々の種は独自の形をもち、したがって人間は地球にのみ存在するものであ

るはずだ。宇宙人がどの程度我々に似ているかは、その星がどの程度地

情報バック

海外



〔D〕

球に似ているかによるだろうがそれほどそっくりな星があるとは思えない。映画や小説で人間に似た宇宙人ばかりがでてくるので、UFOを目撃する人は一種の条件反射を起こすかも知れない。

もうひとつ、宇宙人は頭がよくて人前には出ないかも知れない。彼らの姿が我々と全然違った場合を想像してみよう。象ぐらいの大きさの昆虫などだとし

たら、いくらか知的であっても、好奇心より恐怖的になるだろう。科学者や政治家より軍隊の歓迎を受けることになる。こういう反応を予測したうえで使者をよこすとすれば、この使者は当然人間に近い姿をとることに

なる。タイム・トラベル説というのもある。UFOの乗組員は我々の子孫であって——たぶん未来社会の歴史家か人類学者——数

百万年前の先祖の政治や文化を研究しに来たのかも知れないというものである。

この説は、UFOの報告例が多数あるにもかかわらず何の物的証拠もなく、地球人との交流もない点でいけばびびったりする。というのは、SFファンならよく知っているように、タイム・トラベラーは現在の世界に変化を起こさないよう、過去とは現実的な接触をもたないもの

なのである。

物的証拠が全然ないということとはまた、UFOがタイム・トラベラーほどの実体をもたないためとも考えられる。最近のSFはほとんどUFOに素材を求めている。しかし、両方とも同時期にはやり始めたことを考えると、逆にUFOもSF小説の産物なのかも知れない。(1978年3月22日付、マンチェスター・イブニングニューズ紙)

〔D〕とびはねる宇宙人現る

ブラッドフォードに住むトラック運転手とその息子が不思議な生物を目撃した、という報告がイルクレイの読者から入っている。

その運転手に読者が会いに行つたところ、運転手は当時の状況を次のように語った。

朝4時頃、その日は仕事を早く始めるつもりで息子を連れてトラックをとりに行った。不思議な生物を見たのはその帰りで大きさは3〜4フィート。それ

ほど大きくはなかったが、潜水服のようなつなぎの黒い服を着て、胸のところに穴のいくつかがいた丸い金属盤が付いている。

頭部が大きくて首はほとんどなく、手足も見当たらない。そしてとびはねるような動作を繰り返しながら移動した。トラックのヘッドライトで照らされると動かなくなり、それから裏道の方へ逃げていった。運転手は知らなかったのだが

イルクレイの読者によれば、その生物は以前にも目撃されているようで、フランスの空軍パイロットの妻からの報告があるという。

「頭からつま先まで潜水服のようなもので包まれ、身長は3フィート6インチくらいでした。腕は胴体にくっついていて、奇妙な、とびはねるような動作をしました」と彼女は語っています。

たというこの読者は第2の符合点を上げている。

トラック運転手が恐ろしい体験をしたその夜、羊毛の卸売り商人がクロム板におおわれたブラッドフォードのボーリング場の空地に立っているのを見ているというのである。その人は笑いものにされることを恐れ他には誰にも話さなかったという。(1978年4月3日付、ブラッドフォード・テレグラフ・アンド・アーガス紙)

〔E〕宇宙の隣人を探す科学者たち

UFO現象や『未来の記憶』に述べられているような宇宙人

地球来訪説を、頭から否定しない科学者や天文学者もいる。

メリーランド大学のベンジャミン・ブーカマン博士は、ジョ

ンズ・ホブキンス大学応用物理学研究所での講演でこのように



[F]



[F]

〔F〕フランスの一流科学者がモデル円盤完成

語った。
ズーカマン博士とパトリック・パーマー博士は、これまで5年間にわたって、太陽系内および我々の銀河系内の知的生命を探究してきた。
ズーカマンはウェストバージニアの国立電波天文台の巨大な

300フィート送受信機を用いて、680ほどの恒星と惑星系を研究してきた。
「私たちは不断に恒星を走査しています。ほんの偶然から、緑の小人などにぶつからないともかぎらないからです」
ズーカマンは冗談半分にこう

言っている。
彼が最も興味をひかれているのは、地球から80光年の空域である。
ズーカマンは1センチ波の使用を好んでいるが、それは生命の基礎となる水の出す波長だからである。

「私たちが研究しているこの空域は太陽系の近くで、私たちは隣人を探しているのです。彼らが私たちの住む地球に向けてな送信していると考えられるものもあがち不合理ではありませぬ」(5月9日付、ニューズ・アメリカン紙)

実験中

イギリスのリムに住むロングホーン氏は、実業家をやめ、現在35カ国にメンバーを持つ組織の委員長をつとめている。ロングホーン氏の組織はここ数年の間、ずっとUFOの研究を行ってきた。

我々の文明は今から5千年前に、地球が宇宙人の植民地だったところにはじまった。彼ら宇宙人はスペース・マシンに乗って地球へやって来た。そして地球に住む女と恋におちた。この奇妙な結びつきの結末が人類のはじまりなのである。

証拠は他にいくらかもある。1400年ほど後の紀元前1000年にも、ローマ人たちが「空飛ぶ楯」という不思議な飛行物体の記述を残している。その楯は平べったくて円型をしており、昨今の新聞や雑誌をさわがせている「空飛ぶ円盤」と驚くほど酷似している。

現在、多くの著名な科学者たちは、他の惑星に生物が存在している、彼らが地球人との交際を望んでいると信じている。
フランスでは、ある実験がひそかに進められている。この実験はジャン・ピエール・ペティト、クロード・ポエル博士、モリス・ピトンという斯界のそうそうたる科学者によって指導されている。

彼はUFO問題のエキスパートとして、彼の組織に所属する各国の人々に対し、自分の研究を講演することに莫大なエネルギーを投入している。

私がそう信じるに至った証拠は、バイブルの中にある。旧約聖書の「創世記」には、火の玉に乗った人間がどのようにして地球にやって来たかと、美しい地球の女性に恋をしたくだりとが記されている。その子供が、ギリシャ神話などによく登場してくる巨人なのだ。

これらは、2千年以上前にすでに宇宙の乗り物が我々地球人を観察していたという説を裏付ける証拠となるはずである。

彼らはなんと、それに乗って銀河系を飛び回るようなUFOを自分たちの手で作りあげてしまおうと考えているのだ。
ちなみに紹介すると、ペティト博士はプラズマ物理学者でフランス国立科学調査研究所の長老。ポエル教授はフランス宇宙

宇宙と時間の中で我々こそが唯一の優れた生物だと考えるのは、大したうぬぼれであろう。他の星に我々よりも進んだテクノロジーを持った文明が存在している。ロングホーン氏はこう確信している。彼の話の内容を要約して紹介しよう。

その文明に対して我々があまりに攻撃的であったが故に、その文明は我々と交わることなく現在に至ってしまったのだと私は確信している。

①宇宙人は5千年前に来訪した

②フランスでひそかにUFOを

学センター・ロケット部門の指

情報バック

海外



[G]

導者。彼はまた、コンコルドの設計者としても有名である。ヒトン博士はフランスの代表的な天文学者で、マルセイユ宇

宙研究所の責任者である。彼らは、すでにUFOのエネルギーを発見し、7年間のテストの末にミニチュアUFOとエ

ンジンのモデルを完成したと主張している。注目すべきことに、フランスのモデル円盤は風洞の中で音速

状態で模擬実験が行われ、衝撃波が生じたという。(5月10日付、ウォーリングトン・ガーディアン・シリーズ紙)

[G] レイモンド・ドレーク氏は語る

UFOの権威レイモンド・ドレーク氏は、これまで世界中で目撃されたUFOは何千件にも

のぼり、ジミー・カーターも大統領になる以前にUFOを目撃している」と語る。彼の数々の著作は、全世界で60万部も売れている。

ドレーク氏は、宇宙からの生物と現実には遭遇するといういわゆる第三種接近遭遇について、世界中から情報が集まっていると語る。

ドレーク氏は、一般的な見解としては太陽系外のかなたの銀河系から「宇宙人」が訪れていると長らく考えられてきたが、物理的な意味で我々の目に見えない「他の次元」から物質化するという説も有力になってきていると語っている。(5月29日付、ジャーナル・ニューキヤッツスル・アポン・タイム紙)

「歴史を通してずっと宇宙人は地球に着陸しており、地球文明は宇宙人の靈感に多くを負っています。私たちが月面に着陸したし、また核兵器で世界を破壊

させる危険も高まっているので、彼らの関心は一層高まっています」と彼は語る。彼の唯一の接近遭遇(第一種)は、何年も前にティーズサイド上空でのもので、彼はそれが空飛ぶ円盤だったと信じている。「私の最初の著書が出版された1964年以来、なにも見ていません。だからといって、たいして問題ではありません。私の見ているものがいくらかでも存在しているのですから」

最近の事件としては、イギリスのウェアサイドで起きたものがあつた。これは年配の女性と姪が体験したもので、専門誌にしか報じられておらず、ほとんど知られていない。

昨年の9月3日、フェンスハウジーズに銀色の物体が着陸、

[H] 爆発音と雪上の足跡の関係

空中から得体の知れない爆発音が聞こえてくる——これがスカイクエークである。このスカイクエークについてニューヨーク州に住むジョー・ギステという32歳の男が語っている。

彼によると、12月中旬のある日の夜中3時半頃、彼は奇妙な音で眼を覚ました。懐中電灯をつかんで外に出たが、急に電灯

が消えてしまい、ふり返ると6フィート位離れて何もものが2匹?立っていた。暗くて正体は分からなかったが1匹は10フィートほどあつたので彼は恐ろしきで思わず懐中電灯を投げつけて家に駆け込んだ。そのとき、ふり返ると、電気のような青い光が見えたという。おもてには1分と出ていなかった。

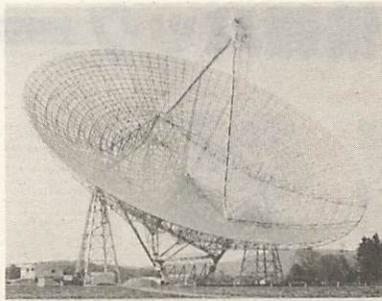
この出来事に納得のいかないギステは自分で問題点を整理してみた。その結果、その晩、記憶の失われている30分ほどの間に、自分がこの生物となんらかの接触をもつたに違いないとの確信をもった。

「それは、私が12月2日と15日という日の重要性に気づいてからです。事件当時、私は気がつ

つたのに、帰って寝室の時計を見ると4時20分になっていた。次の朝、外を見ると、雪の上に奇妙な足跡が残っていて、それは空になっているプールまで続いてそこで消えていた。ひとつは直径12インチ位の丸い形、もうひとつは卵形のもの3つ集まっています、大きさは2フィートもあつた。

「それは、私が12月2日と15日という日の重要性に気づいてからです。事件当時、私は気がつ

つたのに、帰って寝室の時計を見ると4時20分になっていた。次の朝、外を見ると、雪の上に奇妙な足跡が残っていて、それは空になっているプールまで続いてそこで消えていた。ひとつは直径12インチ位の丸い形、もうひとつは卵形のもの3つ集まっています、大きさは2フィートもあつた。



(1)

かななかったけれど、後から妻が、この両日に不思議な出来事がよく起きると言うことを聞いて来たのです」

ギステの話では、その生物は彼に、海の方からやって来たといったという。
「今はどう考えていいかわから

ない。おそらく誰も信じないだろうから、最初は自分でも気が狂うのではないかと思った」
この話については現在、ハイネ

ック博士のUFO研究センターが調査中である。
(1978年6月号、UFOレポート誌)

(1) バーナード星からの謎の信号

宇宙の他の知的存在からのメッセージを探求している科学者グループが銀河系の12の星からの信号にとまどっている。

あるという可能性もくはないので、最初から決めつけるべきではないだろう」
パーマー教授らは、グリーン

るものの、信号はいずれもたいへん短いので、科学的解説には不十分。しかも繰り返して送られてきたものは一つしかないの

繰り返して送ってきた唯一の信号は7光年先のバーナード星からのもので、各国で電波望遠鏡による観測が開始されたが、信号の正体は依然解明されていない。この謎の解明には長期的な

シカゴ大学のパーマー教授もこれはいへん興味深い。が今のところ何を意味するか分からない、と述べている。

パーマー教授は、宇宙人はたぶんできるだけ広い範囲に信号を送るために方向を変えている

のかもしれない、とパーマー教授は語っている。
(1978年6月号、UFOレポート誌)

「人為的な信号と考える要素が、よく、たぶん数値上の誤差か電波妨害で説明できると思う。しかし、他の惑星からの信号で

探知しようというものである。教授たちは一応有望としてい

青、さらに白から緑へと変化し、たというのが一致した証言。
この他、フアインボロでも、

使用した可能性を認めた。しかし照明弾は白色で、目撃されたように多様に変化することは

(2) UFOが火災の犯人？

去る4月5日の夜10時半頃、

イーカークの原野が焼けた。

この夜、夫人以外にも多くの人が謎の光球を目撃している。

モーリン・スレーター夫人と息子の子のアンドリュウ(11)が午後

スタンディング地区に住むM・R・ノッティング夫人は、不思議な光球が低い角度で空から降

オールドンショット近くのアッシュにある駐在所巡査と用務員の

9時30分頃、怪光体を目撃して

照明弾ではないかと説明している。

下するのを目撃した。光球は地面に激突して2つに割れ、すぐ

ビーター・インウッドと2人の娘は物体を25秒間目撃した。光

照明弾ではないかと説明している。

の弁。(1978年5月29日付、エセックス・ニューズマン

さま2個所から火の手があがった。夫人の急報で駆けつけた消

上下動をくりかえすと、空を横切ってキングスタンディング方

野営訓練中の兵士たちが照明弾

付、エセックス・ニューズマン・ヘラルド紙)

防士が消しとめるまで、合計4

切った。夫人の急報で駆けつけた消

野営訓練中の兵士たちが照明弾

付、エセックス・ニューズマン・ヘラルド紙)

情報バック

国内



〔L〕

〔K〕自衛隊基地へ飛ぶナゾの発光体

〔石川〕1978年3月6日午後5時半ごろ、快晴の石川県加南地方の上空を、光るナゾの物体が飛遊していった。

「目撃者」の1人、小松市泉町に住む小松高校2年生佐本高志君（17歳）は午後6時少し前に

部屋の窓から上空に光る物体を

発見。「5分ぐらい見えた。自衛隊小松基地の方へ飛んで行った。けい光灯を縦にしたような形で白く光っていた。僕だけでなく近所の人たちも4、5人見ている」と航空自衛隊小松基地

へ電話した。

同基地によると「未確認物体がレーダーでキャッチされればスクランブル体制に入るが、そういう連絡は受けていない。晴天の日には飛行機雲もできやすいし……」と宇宙物体説には否

定的。「同時刻ごろ、訓練飛行していた6機と同隊ジェット機ではないか」とも言っているが断定できず、正体はなおナゾに包まれている。

（1978年3月7日付、北国新聞）

〔L〕宇宙人は100パーセント存在する

〔群馬〕「宇宙人の存在は間違いない。100パーセント信じている」という人がいる。君沢貞俊さん（27歳）がその人。群馬県前橋市のレストラン「蘭」に勤務するかたわら、各地に現れるUFOを追跡研究するグループ「前橋UFO研究所」を主宰している。「実際この目でUFOを目撃したのも5、6回じゃ、きかんくらい。去年の11月だったかないな、仕事が終わわり、UFOでも観察しようかいなど外に出たところ近くのマンション

の上をスーッと」白色の軌跡を描いていったそうなの。ぼくにはテレバシーがあるから、接近がわかるんです。UFOがそばにくると、キーン、キーンと耳鳴りがして」

そんな便利なものを持ちあわせていない人は、夜6時から10時ごろまで星空をにらんでいれば、いつかは「遭遇」するかも。君沢さんが第一種接近遭遇（目撃）を初めて体験したのは中学生のとき、

「こういう事例が、全国各地からくるね。UFOを目撃したことがないから、その存在を信じない、という態度は間違っていると思うけど」

「空にパトカーのランプみたい

なのが点滅させながら浮いていて。ヘリコプターが、そんなに遅く活動するわけないしね」

以来、未知の光のとりこ。こ

としては「パッチリUFOの姿を撮ってやる」と、20万円をはたいて8ミリ撮影機を購入した。

前橋UFO研究所には、全国から目撃レポートが寄せられてくる。例えば、神奈川県中郡の大磯・国府の人からの報告書は、時刻・目撃時間・方向・角度に始まって詳しい状況説明まで添付されていた。

「人間に闘争心がなくなれば宇宙人は姿を現す」というのがUFO研究者たちの言葉だが、そうなるとう当分の間は第三種接近遭遇（UFO乗員との接触）は望めそうにない。

（1978年3月9日付、上毛新聞）

〔M〕2本の白線をひきながら飛行する銀色の物体

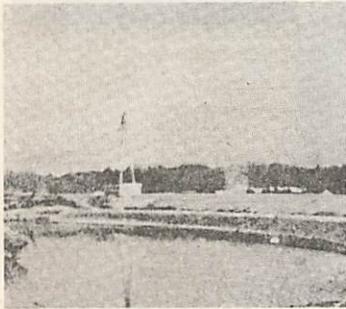
〔金沢〕「金沢市北町・西本与三作（62歳）」

をひいて飛ぶ怪光体が目撃された。新聞にも写真入りで報道さ

る3月2日、全国各地で尾

れ世人の関心をかきたてている。

私の見たのは、金沢市保古町伏見川のほとりで、東北東の上空に幅1・5cm、長さ30cmほど



(N)

〔N〕マッハ100以上の超スピード

〔千葉〕千葉県流山市の職員がUFO（未確認飛行物体）らしい物体を撮影し、話題を呼んでいる。江戸川の上空を鮮かなピンク色の飛行物体が長い尾を引きながら水平に飛んでいるもので、試算してみたところなんと音速の1100倍以上の超スピード。「とても地球上の常識では考えられない」と、関係者はナゾの飛行物体に驚きの色を深めるばかりだ。

UFOを撮影したのは同市郷土資料館開設準備室長の世古大龍さん（39歳）、世古さんは、

〔島根〕夜空をすい星とまがら白く光る物体が流れ、数秒のうちに消滅する。UFO（未確認飛行物体）を目撃したという人はかなりの数にのぼる。最近、テ

かなり径15cmほどの白塊となり後方に分離した。

最初は丸みがあり次第に先がヒン形状となり逆方向に移動、細く長く先も丸くなり薄れて消滅した。写真はその時点のものである。この白塊が消えたとき

2月27日午前11時10分ごろ、同市広小路地先の江戸川土手で6月開館の郷土資料館に展示する写真をジープの屋根に乗って同僚と2人で撮影した。これを現像に出し、カラスライドにしてみたところ、問題の怪飛行物体が写っていた。

UFOは撮影地点から野田方面をのぞむ江戸川上流上空に濃い青空をバックにひときわ鮮明なピンク色の光を発して輝き、右から左へやや薄い同色の尾を引いて水平に横切っている。最初、世古さんはネガにキズが

レビ局でうまく撮影に成功した人のフィルムを放映した。鮮明な映像ではなかったが、発光体の流れるこん跡は映っていた。もう「空飛ぶ円盤」とはいわな

の2本の白線は、地上20度のはるか空にあり、薄れて1本に見える「ナゾ」の物体ともいえる。ちょうど夕日は地上30cmの位置にあり、赤い夕焼けで見る位置によりうすいピンク色に見えると考えられる。

ついているのかと思って調べてみたが、とくに異常がなく、どう見ても実際に空中を通過中の飛行物体としか見えないものが、くっきりと写し出されていた。

写真からの推定では、「UFO」の位置は約10km先で、尾の長さは3kmぐらい。撮影のシャッター速度（250分の1）で、約3kmと計算してみると、「UFO」の速度は実に秒速375km、時速では135万km、音速だとマッハ1102の速さ。現在、世界中で最

い。いまやUFOは流行語だ。映画「未知との遭遇」のクライマックスは巨大なシャンドリア型のUFOが降下し、宇宙人と人間の出会い場面である。人

白塊が発生して消えるまで約50秒、白線を発見して消えるまで約4分であった。その時間は午後5時34分ごろであった。3月6日にも同じ空と時刻に2本の白線を見た。（1978年3月17日付、北国新聞）

も速い飛行機がマッハ6だから想像も及ばない速さで飛んでいたわけで、この超スピードだと当然、肉眼では識別できない。もちろん飛行機とは考えられない。やはりUFOとしか考えられない、というのが関係者の一致した見方。撮影日の前日からこの日にかけては東京、神奈川方面でもUFO騒ぎが起きており、これと同じ飛行物体ではないか、と見られている。

（1978年3月20日付、千葉日報）

類と地球以外の生物の接触をテーマにした作品は、半世紀以前からすくなくない。警告的なウエルズの「宇宙戦争」から大正期の少年を空想にかりたてた読

〔O〕もう「空飛ぶ円盤」とはいわない

情報パック

国内

物「火星襲来」まで、多少の科学性はあっても、火星人や太陽系、銀河系の生物たちを地球征服の侵略者として描いて来たのが特徴だ。

「未知との遭遇」をはじめスベクタクルの見世物映画として見ていた。ラストシーンのUFOで到来した宇宙人と、地上の科学者たちのメッセージ交歓を

見て驚嘆した。異形の生物は侵略者ではなく、異次元からの友好的な使者であった。

火星人を想像させるわけ物のような生物との出会いを、観客は見世物気分で見たい。人間だけが最高の生物ではない。「人間だけが最高の生物ではない。宇宙にはたくさん仲間がいる」という製作意図に衝撃をうけるからである。

関西地区大学セミナー「生命の起源および進化学会」で、地球上のウィルスの中に宇宙人から人類へのメッセージが潜んでいるという研究報告が行われ、出席者をびっくりさせた。天体物理学者と生体化学者の共同研究で、暗号を組みこんだウィルスを宇宙にばらまくと、生物の体内にすみつき増殖する。

英国のノーベル賞学者サンガー博士はウィルスの遺伝子の情報を解明し、日本の学者も解読法に挑戦中だ。「宇宙人から手紙：そんなアホな」と思う人は多いにちがいない。しかし「宇宙にいろいろはわれわれだけではない」という思考も存在する。(1978年3月26日付、山陰中央新聞「明窓」)

UFOファンクラブの高校生がミニコミ誌発行

〔下関〕UFOの存在を信じる

人集まれ——下関市内の高校生がSFのミニコミ誌「ファンダム」を発行、下関を拠点に北海道から鹿児島県の会員に送って話題になっている。

「ファンダム」を出しているのはYFC「SCCI・FI(サイファイ)」。YFCはヤマトファンクラブの略称で、宇宙戦艦ヤマトのファンクラブとして1977年9月に結成したのがそもそのスタートだった。SF関係の雑誌に呼びかけて仲間を集めたもの。

会の代表は下関市、田部高2年の池田智君。会員は北海道から九州鹿児島まで全国各地に70人いる。このうち下関市内の会員は13人。最年少13歳、最年長21

歳で、会員の80%は女性。

会費3000円でミニコミ誌「ファンダム」をつくり会員に送っているが、編集は会長の池田君と、会員の早稲高2年永野龍一郎君の2人が担当している。

3月末刊行分で第5号を迎えた。編集員が2人とも高校生のため、試験時期とぶつかれば、おのずから作業も遅れ、原則として月2回の発刊が、第5号など、1〜3月の「合併号」になるという次第。

さてその中身だが、会長の池田君のオリジナル劇画「宇宙座標Dシリーズ、惑星バナの物語」が20ページにわたって掲載されるなど、全64ページにUFOの話題がギッシリ詰まっている。コピー印刷したのをとじ合わせ

ただで、装いはまだまだだが、熱気だけは十分。

編集員の一人、永野君は中学時代から天体観測も続けており

大の宇宙ファン。もちろんUFOは信じていますとか。(1978年4月5日付、山口新聞)

奇蹟の時は今

J・E・アデイントン/谷口雅春訳
日本教文社刊 ¥13000

ふつうでは考えられない出来事を、すべて奇蹟と呼ぶにしても、それは大体3つに分けられるのではないだろうか。人間の外部に起こったもの、人間自体に起こったもの、その2つが複合したものの、本書ではその第2番目にぞくする

タイプの奇蹟——不治の病が突然回復した実例を多くかけ、その秘密をとく鍵は、だれもが自分のものとして入手可能であることを詳述する。

古くて新しい真理の泉「聖書」に記されたイエスの祈りこそは、その鍵なのである。イエスの祈りには愛と信念と、そして超心理学的な知性の裏づけがある。イエスと同じ心になり、同じ祈りをするとき、奇蹟はもはや起こらざるをえなくなるのである。

「豊かなる生活財団」を主宰しつつ、プラグマティックな宗教活動を展開する著者は、もと弁護士だけあって、みずから指導した。奇蹟的治療例「にも実証的態度をつらぬいている。



科学ニュース



SCENE OF SCIENCE

おとめ座に

巨大なブラックホール

太陽の50億倍もの質量を持つ巨大なブラックホールが、おとめ座のM87小宇宙の中央に存在することが最近、天文学者の国際チームによってつきとめられた。ロンドンの日曜紙「オブザーバー」が去る4月30日報じたところによると、これを発見したのは英国の「ヘイル（インングランド）、米国の「サデナ（カリフォルニア州）」両天文台の研究者たち。

ブラックホールは、エネルギーがなくなつて自壊した巨大な星の残骸が中心に向かって収縮し、極めて小さなかたまりに

なることによって生ずる。非常に重力を伴っており、光さえこの重力から脱出できないため、肉眼では直接見えないとされている。



メガネ不要の

視力矯正新技術

モスクワの眼科実験臨床研究所で、視力矯正の新技術が開発

された。これは角膜の外縁部の繊維組織をほんのわずかに切開して、角膜中心部の湾曲率を変えようというもの。

同研究所のフォドロフ所長によると、この新技術は1973年に、眼鏡の破片が目刺さった少年を治療したとき、偶然に発見したもの。ウサギを使って実験したあと、74年から人間の目の手術を始めた。

同所長は3年間に500件以上の手術を行い、ほとんどすべてに素晴らしい結果を収めている。この新技術は、近視だけでなく、遠視や乱視の治療にも有効で、手術は3分から7分で終わるといふ。

フォドロフ所長は、20年以内に眼鏡やコンタクトレンズはほとんど不要になるだろうと語っている。

レーザーで数年前の指紋でも採取

レーザーを利用して、数年前の指紋でも採取できる新しい方法がカナダで開発された。紙幣や小切手などの紙類、塗装した壁、プラスチック、木、金属、布などからも採取できる。

採取しようとする指紋にアルゴンイオンから出る青緑色のレ

TOPICS

UFOか人工衛星か？ アンデス山中に謎の物体墜落

5月6日夜、南米ボリビア南部のジャングルに謎の飛行物体が墜落し、付近のインディオたちをパニック状態に陥らせた。

事件の知らせを受けたラバスのファンミサエルガラチョ大学ではさつそく調査団を結成、12日に現地入りをした。今までにわかったところでは、アルゼンチン国境から150km離れたアンデスの山中に長さ約4mの細長い物体が大音響とともに墜落、そのときの震動が250km南のアルゼンチン領サルタ市でも感じられたというもの。

同大学は、4日間の調査で物体の破片などを発見したが、正体についてはアメリカかソ



連の人工衛星かロケットの可能性が強いとしている。また、現地には米航空宇宙局（NASA）も調査に来ることになっており、そのときに物体の破片の分析が行われるという。なお、現場付近は現在、ボリビア軍による厳重な警戒がしかれ、一般人の立入りが禁止されている。

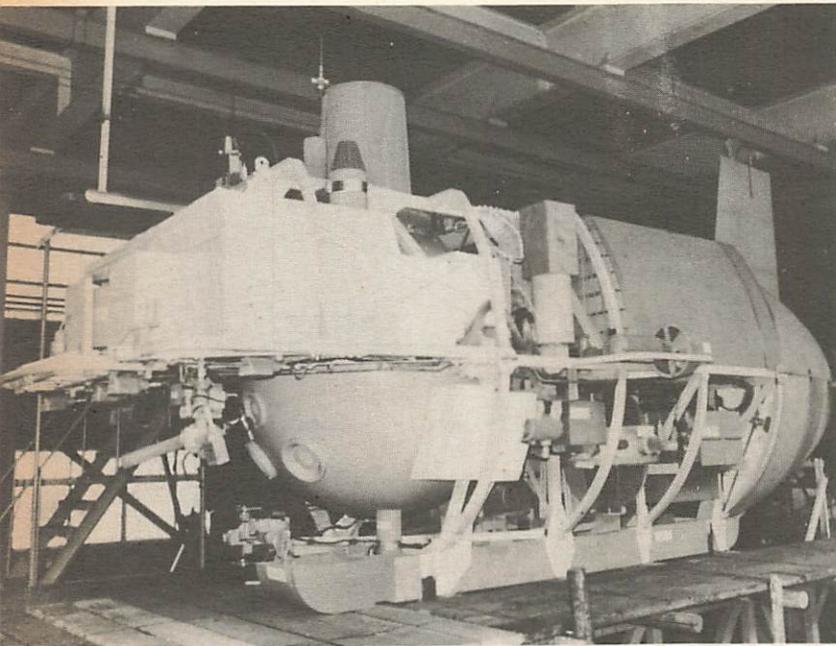
深海調査船の建造に着手

わが国初の2千m深海潜水調査船が、いよいよ6月から建造される。

この調査船は、現在2千m級の深海潜水調査船が11隻も活躍している世界の海洋開発競争に遅れまいと、科学技術庁と海洋科学技術センターが昭和52年から研究、開発していたもの。このほど基本設計と実物大模型（左の写真）が完成、建造されることになった。

主な目的は、石油、マンガ

ンなどの海底鉱物資源や、深海生物資源、地震予知に関する海底地球物理学的研究、などの調査、研究。この調査船は、わが国の潜水船として初めて専用母船（1300トン）が建造されることや、電波、音波を利用した最新の探知・通信装置が用いられるなどの特徴を備えており、将来6千m級の調査船実現への第一歩として各方面から期待されている。（写真／海洋科学技術センター）



ザーを当て、特殊なフィルター付きメガネで見ると、指紋が浮き出して見える。これを写真に撮って保存するというもの。

この原理を見つけたカナダ国立研究協会生物科学部の研究者によると、指紋から出るケイ光を利用してするという。ケイ光は汗からではなく、インクや油、塗料などに触ったときについた有機化合物から出る。

太陽熱で水素を作ろう 日米共同研究動き出す

南太平洋に兩ドイ型の焦熱鏡を装備した巨大なイカダを浮かべて強烈な太陽光を集め、タービン発電により海水の電気分解を行い、発生した水素と酸素を液化し将来のエネルギー源にしようという壮大な日米共同研究が動き出した。この計画は「ポルシェ計画」（PORSCHE II 水素経済のための海洋イカダ計画）と呼ばれ、横浜国大の太田時男教授と米マイアミ大学のベゼログル教授が中心になる予定。両教授の試算では、たてよこ1kmの大きさの焦熱イカダを100個浮かべれば、毎日液体水素が600トン生産でき、これを燃やすと100万キロワットの熱量が得られる。投資コスト

史上初、酸素なしで

エベレスト登頂

5月8日、オーストリア登山隊の2隊員、ピーター・ハーベラー（35歳）とラインホルト・メスナー（33歳）が世界で初めて酸素補給なしでエベレスト（8848m）の登頂に成功した。2人は8日朝、第4キャンプ（7980m）を出発、6時間で頂上に達した。エベレスト登頂はこれまで10カ国のパーティーが16回成功しているが、酸素なしの成功はオーストリア隊が初めて。2人は頂上に数分間いて下山した。

ニシキヘビにのまれて

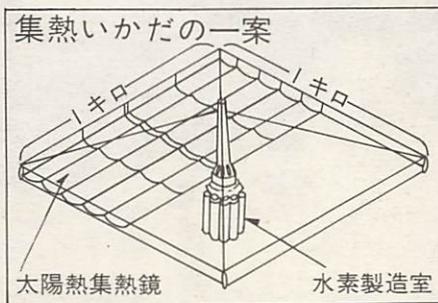
遺体で発見



インドネシアのセレベス島スラウエンで4月末、農夫が体長6mのニシキヘビに飲み込まれた。この農夫はスラウエンの奥深い村落オングカ・マリノ村のオジョブカさん。彼はニシキヘビに襲われ、「おっかささん、オレは死ぬ」と叫び声を残して飲み込まれた。叫び声を聞いた近所の女性が急を伝え、村人が捜索を開始、翌朝1キロ離れた地点で満腹で身動きのできないニシキヘビを発見した。殺して腹を裂いたところ、オジョブカさんの遺体がでてきた。

トピックス

は約44億円で、電力キロワット当たり約24万円。軽小型原子炉の出力当たり建設費とほぼ同額だという。



ただ、実現のためには①巨大イカダの製法と素材②安定よく浮かべる工夫③発電や液体水素貯蔵の技術④海域の環境や国際法上の問題などの難題が控えている。

銀河系の中心に

多量の反物質

米ベル研究所のレビンソール博士とサンディア研究所のマカラム博士は4月26日、銀河系の中心部に驚くほど多量の反物質が存在する可能性が得られたと発表、この発見によって宇宙の成り立ちについて重要な手掛か



りが得られるかもしれないと語った。

両博士によると、昨年11月オーストラリアのアリススプリングス上空3万9千mに揚げられた気球に取り付けた新式の感知器を銀河系の中心に向けたところ、反物質活動が増大する現象をとらえたという。

最もよく知られた反粒子は陽電子と呼ばれる正電荷の反電子である。電子と陽電子が衝突すると崩壊し、ガンマ線を出す。今回新しい超高感度ゲルマニウム感知器がこのようなガンマ線をとらえた。

小尾信弥東大教授は、「ひょっとすると銀河系の中心に反物質の吹き出し口があるのかもしれない」と語っている。

インカ征服者

ピサロの骨を鑑定

昨年6月、ペルーの首都リマ



市の中央大聖堂の復元作業中、地下安置室の壁の中からフランシスコ・ピサロと書いた箱に入った人骨が発見された。ピサロはインカ帝国の征服者、破壊者として悪名高いスペイン人。1535年リマ市を建設するが、同僚のデイエゴ・アルマグロの一派と対立、1538年暗殺された。

ペルー文化庁のウーブ・ルーデニア博士は、去る4月下旬、日本でのインカ展開催打合せのため来日した折、この新発見の人骨の一部を携え、東京大学人類学教室の埴原和郎教授に鑑定を依頼した。その結果、年齢は50歳代後半から60歳代後半、身長167.82〜173.9cmでその他傷の具合、頭丈な体格など、これまで記録などでわかっているピサロとかなり合致する

TOPICS

定刻5分前に

パラスチートで出勤

オーストラリア・クインズランド州の運送会社で働くポール・オズボーン氏は5月2日に高度900mの上空からパラスチートで飛び降りて定刻5分前に出勤した。

彼は前の週にブリスベーンのスカイダイビング大会に出場し、1日午後には軽飛行機で帰る予定だったが、悪天候のため動きがとれず、2日の午後になってようやく飛行機は飛び立った。だが着陸地点は会社から50キロも離れている。そこでオズボーン氏は会社の上空から飛び降りて、たった200m離れた地点に着陸した、というわけ。

サカダチで歩くネコ

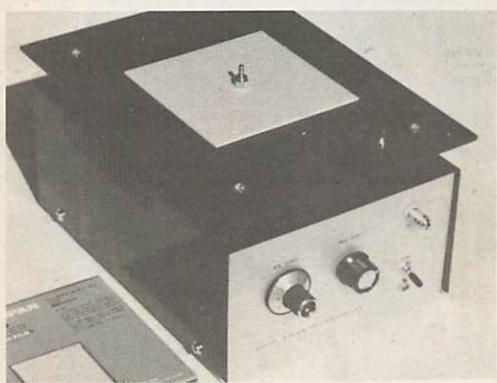
鹿児島島に出現

名前を呼ばれると逆立ちしてかけ寄ってくるという子ネコが話題になっている。

このネコは鹿児島県指宿郡開聞町の商業御園修一さん(56歳)の長女トモ子さん(21歳)が友人からもらった生後1カ月余りのメスの雑種で、通常歩くときや走るときは普通のネコと変わらないが、おいでおいでをされたりタマをとるときには逆立ちで4・5m歩く。名前はグアム。だれが仕込んだわけでもないという。

御園さん一家では「後ろ足のどこかに悪いところがあったかばっているのではないかと診断している。

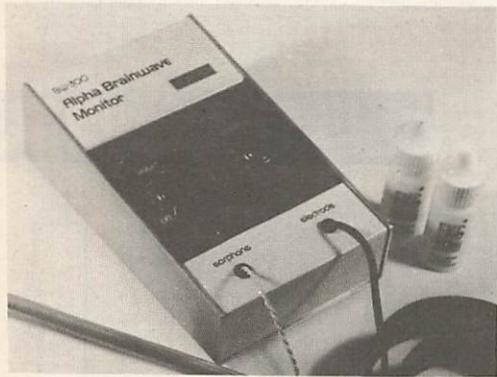
キルリアン写真 & バイオフィードバック



キルリアン写真セットTKP-101(写真)
素晴らしいキルリアン写真の世界をその目で確かめて下さい。カメラは必要ありません。
¥28,650(送料共)付属品、説明書付。

キルリアン写真キットTKP-102K
キルリアンセットTKP-101の高圧コントロール部及び付属品のキットです。あなたのセットを組み立てて下さい。

¥12,200(送料共)説明書付。
ESPテスター TES-03
エレクトロニクスを応用したESPテスターです。あなたの子知能力を測定できます。
¥3,500(送料共)説明書付。



バイオフィードバック・モニターBW-300(写真)
アルファ波を感じし、トレモロ音で知らせます。ストレスを取り除き、集中力を養えます。
¥21,600(送料共)説明書付。(輸入品)

カタログの御請求は下記まで

(株) テクノニクス

〒326 足利市鹿島町1156 ☎0284(62)8073

ことがわかった。右腕の上部の骨は肘の部分が下から上方へ向けてスッパリとそぎとられ、腕を曲げて相手の剣を防ごうとした最後の様子がまざまざとうかがえる。

なお、この新発見により、従来ピサロの骨としてリマ市の中央大聖堂に展示されていたものはニセ物の可能性が強くなった。

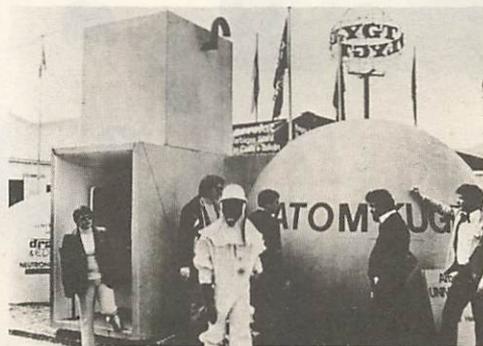
人間の言葉を聞きわけると話すコンピュータ

呼べば答えるコンピュータという懸案に長年とり組んできた電電公社武蔵野電気通信所は、このほど正解・正答率90%の「音声パターン情報認識装置」と操作方法を開発した。質問の用途を新幹線の座席予約とした。それでもコンピュータが記憶している文型は10の24乗通りという天文学的な数。



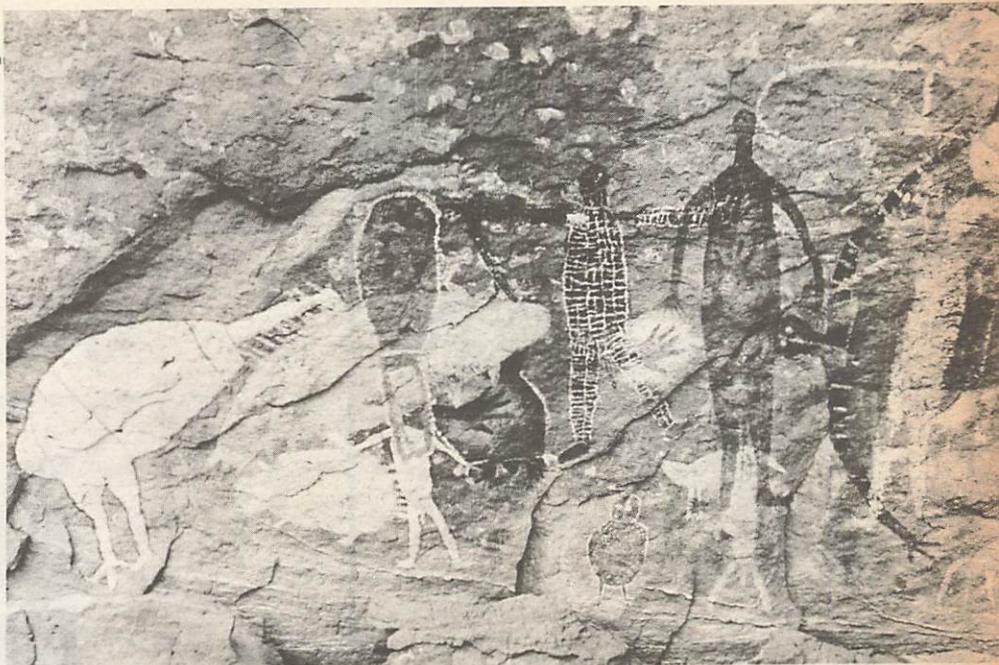
この装置の最大のポイントはコンピュータへの的確な言葉の覚えこませ方。アイウエオの5母音とンの音が、個人特性が大きいため間違えられやすいとわかったので、これらを分析した結果、今年9月までには正解・正答率が確実に90%を越す見通しになった。同研究所では、おそくとも2年後には95%にまで高めてみせるという。

マイクへ予約を申し込むと、コンピュータはときに疑問点を問い返しながらか、声と文字で応答する。実用化へのとびらが開かれたといえる。(写真/電電公社武蔵野電気通信所)



中性子爆弾用の 避難壕

西ドイツ・ハノーバーで開催された産業博覧会に自家用の原爆用避難壕が出品された。家の近くの地中にそっくり埋め込み、いざというときに逃げ込む仕掛けで、これでも10人は収容できるとか。部品をちよつと変えれば今話題の中性子爆弾に対しても使える。(写真/UPI)



先史時代の壁画発見（オーストラリア）

最近、オーストラリアで、先史時代の原住民の描いた巨大な壁画が洞窟から発見され、目下考古学者や歴史学者が調査・研究を行っている。

壁画が見つかった洞窟は、クインズランド州北東部のローラという辺鄙な場所の近く。長さ33m、高さ2・7mという巨大な壁面に、少なくとも3

97の画像が描かれている。

壁画に描かれているのは、大人や子供、カンガルーやエミュー（ダチョウに似た翼のない大鳥）などオーストラリア特有の動物、それにクインカンと呼ばれる原住民の精霊など。粘土を絵具にして、赤や白、黄、茶色といった色が用いられている。

多くの絵は、古い絵の上に重ねて描かれている。壁面からはエミューの足跡と卵の模様も刻まれているが、これは炭素14法で12000年以上も前と同定された彫刻と同種である。

この洞窟の発見者は、オーストラリア原住民研究所の現地調査員、バーシー・トレザイス氏で、1977年11月21日のことである。その場所には、彼が行くまで100年間人間が誰も足を踏み入れていないと、トレザイス氏は確信している。

同氏は、壁画を心ない観光客の損傷から守るため、研究所にしか所在を明かしていない。

壁画は崖の面に描かれていてその上に岩がせり出し保護する形になっているので、風化をほとんどどうもっていない。

「壁画を描くのに使った石のかけらや絵具の材料が壁画の下に散らばっており、まるでつい昨日まで使っていたようでした」

原住民研究所のピーター・ウツコ所長は、「まだ詳しく調査していないが、これまで見たかぎりでは、たしかに重要な発見といえる」と語っている。（写真／オーストラリア大使館）

トピックス

過保護パンダと

働きものパンダ

上野動物園のパンダはいささか過保護気味だが、中国のパンダは今やちゃんとした「労働」をしている。

今年6歳になるエイエイは、体重100キロの大物パンダだが、今や「上海人民サーカス」の大スター。大だるを回転させたり、調



教師の号令で床をごろごろ転がったり、木馬に乗ってみせたり、大きなラッパを吹きながら後ろ足で立って場内を一周する芸までこなす。

同サーカスがパンダに芸を仕込もうと決めたのは今から4年前のこと。調教師たちが生態研究のためパンダの故郷四川省に見学に行った。そこで彼らは大きなパンダが木の枝に寝そべるなど「バランス感覚」が非常にいいことを発見、上海に戻って個人レッスンを始めた。エイエイはその中の優等生。

★君もUFOとの遭遇なるか!?

高級メタル製変倍地上望遠鏡キット

20倍-25倍-30倍-40^{mm} (5群9枚レンズ構成)

LUNA SCOPE

新発売



特色

1. 望遠鏡の原理・構造を知ることができます。
2. 組み立て・分解が自由にできます。
3. 観測・観察（月面観測・野鳥観察・ハイキング・その他）など、多目的にご使用になれます。カメラ用三脚も使えます。（別売）。
4. メーカーから直接皆様のお手元に。お望みの機種がお求めになれます。

メーカー --- ~~問屋~~ --- ~~小売店~~ --- お客様

創業43年記念特別セール実施中!

- 期間 1カ月
- 記念特別セール券同封の方にかぎり定価¥13,500を¥7,500で(送料含む)

サテライト天体望遠鏡

- ヤマモトの天体望遠鏡は海外（アメリカ、フランス、イタリア、ベルギー etc.）で絶賛を博しております。
- この他多機種とりそろえています。詳しくは250円切手同封の上カタログをUFO係へご請求下さい。



ヤマモト

株式会社 **山本製作所**

〒174 東京都板橋区大原町5-3
☎(03)966-2408

記念特別セール券

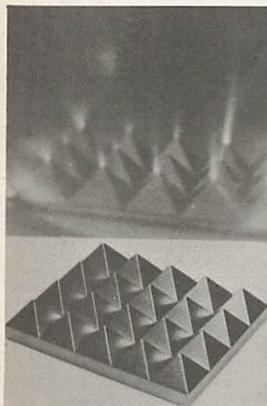
▲ ピラミッド製品発売中!! ▲

——— ピラミッド・エネルギーをあなたのものに! ———

ピラミッド・エネルギーの発見以来、この力を実用化しようと数々の研究が行なわれてきたが、ついにアメリカのパット・フラナガン博士を中心とするピラミッド・プロダクツ社の研究員達によって“ピラミッド・エネルギー発生器”の開発に成功した。そして次々に新製品が開発された。以下は当社が自信をもって皆様におすすめするピラミッド製品(アメリカ製)の数々である。

エネルギー発生器

(ピラミッド・エネルギー・ジェネレーター)



ジェネレーターとエネルギーの発生している瞬間。(キルリアン写真による)

多方向磁場内蔵の結果南北の磁軸に合わせる必要がありません。ピラミッド模型より数倍のエネルギーが発生します。この上に置くだけで、コーヒー、タバコは味がマイルドに、食物は新鮮さを長く保つようになります。

- ポケットサイズ (3×5インチ) ¥3,200(送料共)
- ミディアムサイズ (4×5インチ) ¥4,150(送料共)

エネルギー放射板

(ピラミッド・エネルギー・プレート)

ピラミッド・エネルギー(18ヵ月分)が注入してある特殊なアルミ板で、ジェネレーターと同じ働きをします。一週間に一度12時間、ジェネレーターの上に置くだけで100%エネルギーを放射します。枕の下に置けばこちよい睡眠ができます。

- ポケットサイズ (3×5インチ) ¥1,650(送料共)
- ミディアムサイズ (4×5インチ) ¥1,950(送料共)
- キングサイズ (8×10インチ) ¥3,500(送料共)

アクセサリ

(ピラミッド・メダル)



エネルギーをよく吸収し、放射しやすい特殊合金でできています。一晩ジェネレーターの上に置いて体に付けると、あなたに宇宙生体エネルギーを補給することができます。

- ピラミッド・メダル (男性用) ¥3,950(送料共)
- ピラミッド・ペンダント (女性用) ¥3,150(送料共)

ピラミッド・テント

(モジュール・ピラミッド一式)

(組立式)

¥22,600(送料共)



ギゼーの大ピラミッドを正確に縮小し、ピラミッド・エネルギーで処理した特殊アルミ管製。ワンタッチで開くと四角錐の表面にエネルギー・スクリーンができ、方位を合わせると中にエネルギー場が出現する。植物の発育や、深い瞑想、安眠に役立ち、あなたの宇宙生体エネルギーを強化させます。

ピラミッド振り子

(ペンデュラム)



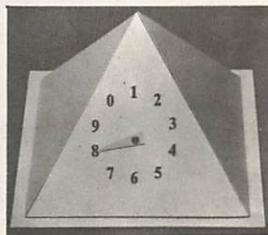
ピラミッド・エネルギー振り子を使うと潜在意識が呼びさまされ、振り子が四通りの動きをすることによって様々な問題の解答が得られます。

¥2,650(送料共)

パワーダイヤル

あなたの潜在能力を強化し肯定的な希望を実現に導く働きをします。1~10までのある一つの数があなたの自己数になりますが、その数をセットして目的実現のため、ピラミッドに向かって潜在意識に呼びかけるのです。

¥1,850(送料共)



ピラミッド・レプリカ

¥2,450(送料共)

底辺13インチ、高さ8インチのアルミ貼り厚紙製ピラミッド。

ピラミッド・エネルギー研究セット

パット・フラナガン著「ピラミッドと宇宙生体エネルギーとの関連」とコンパス、高さ4インチ、底辺6インチの厚紙丸窓付ピラミッド模型3個がセットになっています。実験に最適です。 ¥1,700(送料共)

上記の商品は全てアメリカのピラミッド・プロダクツ社の製品で、それぞれ詳しい日本語の説明書が付いています。上記の他にピラミッド新製品のカタログがありますのでご請求の場合は200円切手を同封して下さい。

(総輸入元)
マンカインド株式会社

(〒150) 東京都渋谷区宇田川町12-3 ニュー渋谷コーポラス1105
TEL. 03-464-8075

●ご注文は現金書留か郵便振替(東京4-21690)に商品名を明記して当社までお申し込み下さい。



OPINIONS

UFOの侵略から 美しい地球を守ろう

倉田弘美

(〒320 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町
116-114)

私は、個人でUFOの研究を続けてきました。特に、UFOが地球を訪れる目的について懸命に考えてきました。現在、これに関する多くの意見の中で、一番多いのが観測説ですが、私は侵略説を主張します。その理由は、数万年前からこの地球を訪れていたUFOが、今になっても姿を見せるだけで、全地球人に対して何も語りかけていないという点です。私の侵略説は、地球人の科学力がある一定まで発達したら、地球はやられてしまうのではないかとこのことです。UFOは決して馬鹿にはできません。

明日の地球を守るものを作らないと、とりかえしのつかないことになるのです。命ある人類と、美しい地球のため、そして全宇宙の平和のためにも。

異星人は待っている

永松栄一

(〒880 鹿児島県鹿児島市武岡1-
2-1 市営住宅4856号)

UFOが、我々地球人の目の前にはっきりとした形で現れないのはなぜか、私は次のように考えます。それは、我々地球人が彼ら異星人

の科学水準に達していない、また精神面においても彼らより数段劣っているからではないか。地球人は戦争好きです。もし異星人の科学を手に入れることが出来たら、地球征服も夢ではないのです。彼らはこのことを恐れているのではないのでしょうか。だからこそ、彼らはある一部の人間と接触して、彼らの考えなどを地球人に伝えていられるでしょう。つまりまずは接触の下手を作っているのです。

また、地球には異星人がいて、地球人とはほぼ変わらない生活をしているとも聞いたことがあります。彼らはこの人々からの情報によって、現在はまだ接触の時期ではないと考えているのでしょうか。

最後に、異星人との接触が世間の多くの人々に認められていないのは客観的事実の乏しさが大きな原因だ思うのです。

無心の境地で UFOを待とう

小村文子

(〒061-21 札幌市南区真駒内緑町
2丁目)

私は本誌創刊号から読んでおります。最近やっと、UFOを「見た」という段階から「何故飛ぶのか」へと発展してまいりましたので、嬉しい事だと思えます。ところが、読者やUFOの研究家の中で、見えない人が多いのに呆れます。しかも、何故見られないのか、少しも気付いてくれませんが、UFOを見たという人達を良く観察すれば、同じ

場所と同じ時間に、見える人と見えない人がある事など、その人の個性に問題がある事が良くわかります。そうなのです。宇宙の彼等は、私達一人一人の心の中迄知っています。物欲・恨み・憎しみ・悲しみを持つている人は見ることが出来ません。普段の生活態度が大切なのです。

私もUFOが見たくて、星や月の美しさに魅かれ、夜になると、空を見ないでは眠れなくなりました。6カ月程たったある満月の夜、南の方から東の方角へ双眼鏡を移したその時、地下鉄のシュルターの上を北へ向かって飛ぶ、オレンジ色の葉巻型の何かを見たのです。それは、音もなく、飛行機よりも早く、私はUFOだと信じています。他にもまだまだ沢山ありますが、そうした時の私の状態は、平和で全てのものを愛し、無心だったので。UFOを見たといとかそんな気持は全然ありませんでした。皆さんも、心のアンテナさえUFOを受像出来る状態に置けば、たやすく見ることが出来るのです。

UFO研究者や著者が見られないのは、人の見えないものを見て、書いて、お金を儲けようといった野心があるからなのです。UFOを子供がよく見るのは、無心で野心がないからです。皆さんが太陽の様な心になるよう努力して、UFOやそれ以上のものを見られるようになる事を祈ってやみません。そうすれば、地球を破壊から救う事も可能です。地球は今、悪い心に覆われています。このままだと、破壊は必至です。一人でも多く太陽のような心になって地球を、宇宙を、素晴らしい天体にしましょう。本誌の使命は、そのことにあるのではないのでしょうか。

「TM」超越瞑想」を 学びたい

大畑寿秀(15)

(〒421-01 静岡県静岡市向敷地6
34-4)

本誌4月号に、TMのことについて少し書かれていたが、僕もTMを習おうと思っている。僕は今高校一年だが、学校では何の変化もなく、ただ同じ様な勉強の繰り返しばかりで、早くもあきが来てしまった。平凡な社会人ばかり作り出す勉強をやって、自分も平凡な一般社会人になるだなんて、そんなことは絶対いやだ。難しいことを習っても、その大半は、社会生活にはあまり必要ない。その点TMは、生活の中でも多く使うことができ、またこの方が、今の人々に大変必要なものだろう。しかし、日本という国は、そういうことに関して大変遅れている。カナダでは、TMが必修科目になっているというのに、僕は、本誌を読むまでTMの存在すら知らなかった。だが、だれにでも出来るなんて、こんな素晴らしいことはない。

そういうことで、夏休み中にTMを習わせてくれと父に頼んだが、結果は予想通り駄目だった。父は、UFO・宇宙人・超能力といったものを全く知らず、知らないために全て

否定する。こんな古い考え方は人間は進歩しない。知らないものを知ろうとして、試したり実験したりする。これが、今一番大切なことだと思う。いつか必ず、TMを知るために習ってみたい。

準光速ロケットでの宇宙旅行は可能か？

大野恒夫
(東京都杉並区)

宇宙ロケットが、光速の0.999999998倍位で飛行し始めれば、相対的に考えて、宇宙の塵とか隕石とか、星間を漂っている水素原子などが、進行方向と逆に同じ速度、つまり準光速で、ロケットにぶつかってくるわけだと、水素原子は、光速の99%を越えると、厚さ1mの鉛の板でも平気でぶち抜いてしまいます。そして、パイロットにこの水素原子が当たったらひとたまりもありません。つまり、私たちの知ることのできるこの自然は、たとえ真空であろうと、マイナスのエネルギーを持った素粒子でびっしりと満たされているのです。このロケットが飛び続ける為には、この水素原子に対して、ロケットから反水素原子を噴射させ、対消滅させながら飛ばなければなりません。ロケットが対消滅で、マイナスも、プラスのエネルギーを持った素粒子もない、本当の真空を作り出せば、ロケットをすっぽり包んだこのフォースフィールドの真空は、宇宙の塵、隕石にぶつかっても、ロケットが無慣性となるので事故にはなりません。しかもこれだと、一回

のエネルギーの噴射で、どこまでも永久に止まることなく飛べるわけです。そして、ロケットが真空に包まれた場合、真空は熱を伝えないで遮蔽(シールド)できますから、内部も快適なことでしょう。では、マイナスのエネルギーを持った素粒子を出さないの本当の意味の真空を作り出せないのでしょうか。これは、プラスのエネルギーを持った反素粒子を、ロケットから噴射させながら飛んで、互いに対消滅させれば、本当の真空を飛べるわけです。そして、それは証明されたと思います。

異星人の警告に耳を傾けよう

小高直樹
(〒280 千葉県千葉市千草台2-18
1203)

みなさんこんにちは。だいぶ前テレビでやった「燃えよカンフー」見ましたか。僕は、あの内容は宇宙哲学にそっくりだと思っております。例えば「宇宙と融合して生きる」だとか「自分の内に宇宙がある」だとか。みなさんどうでしょう。それから、1977年11月29日の読売新聞「海外短波」見ましたか。「テレビに宇宙人の声」まいましたなあ。アステロンって誰か知ってますか？イングランド南部一帯で、テレビの定時ニュース番組が突然中断され、「地球人は全ての武器を破壊し、仲良く暮らさなければならぬ。いやならこの銀河系から立ち退け！」というメッセージが流れたそうなんです。たぶん声だけが聞こえたのでしょうが、「放

送電波より強力な電波を出すには、相当高価で高度な装置が必要な装置がよ。局側は放送局側は言っただけです。もしこれが事実なら大変です。なぜなら、アステロンという男の人は「私は、銀河系使節団の正式代表である」と語ったからです。銀

河系の正式代表が、この小さな地球にやって来たのです。なんと、そこまで広く、地球は異星人の人々に迷惑をかけていたのです。みなさんどう思いますか。この件について詳しく知っている人がいたら教えてください。
ノンフィクションとしての「未知との遭遇」へ
中島一浩
(〒381-23 長野市信更町原市場)

みなさんは、「未知との遭遇」を見ましたか。僕はとても感動しました。素晴らしき映画です。見ていて何か夢が実現したようで、とてもうれしくなりました。この映画はただ感動させるだけでなく、今の世の中の状態を示していると思うのです。そして改めて幾つかの事実を認識させられたのです。まず、主人公の電気技師が円盤を自撃し、その実在を信じるようになる。そして、異星人からあるイメージが地球に送られるが、彼はそれに気が付くか何かに表わそうとする。しかし、彼の前には、多くの問題や悩みを含んだ大きな壁が立ちちはだかる。妻が彼を信頼しなくなり、彼のもとを去る。回りの人々から気遣い扱われ非難され、つらい日々を送る。(彼は、現在円盤の実在を信じている人々と同じ立場にあると思う) けれど彼はそれにもくじけず、自分の考えを最後まで努力する。そしてその努力の実が結ぶのです。この映画から我々が参考にすべき

点、それは、我々も彼のように、円盤の実在を否定する人々を非難せず、自分の考えを信じて進まなければならないということだと思います。そしてこの映画のクライマックスの異星人との交流。これは、我々の達成せねばならない、大きな目標の一つです。そして僕は信じます。このクライマックスが、近いうちに、現実として我々の目に映り、地球が本当の意味での平和な星になることを当
地球人は
地軸のゆがみを
直さなければならぬ
登阪雅聡
(〒790 松山市朝日が丘町1丁目1
625-11 愛光学園トマス

まんががマンガへ

うれしいお知らせ

自宅でもグングン上達するマンガ技法を伝授します

さあ、キミも自分のかくれた才能を発見しよう!!



※じぶんの思っていることすべてがマンガやイラストに描けたらどんなに素晴らしいことでしょうか。ただ、じぶんでは気づかないだけ、キミもこのチャンスに自分の才能を発見してみませんか？

※今コミックスクールでは夢に叶った一流の先生方がキミのかくれた才能をスクスクのばし、どんなマンガでも自宅でもどんなに描けるよう指導してくれます。学びながら自宅でもバイトができる「誌上展」にも参加できます。この機会にキミのかくれた才能を存分に発揮し、おこづかいもバッチリかせいで下さい。

まんがの好きな方は、下記へハガキ下さい。今なら、自宅でもグングン上達するまんがの学び方や自分の才能がすぐわかるテストつき「説明書セットを無料で送ります」

申込先

現代コミックスクール UFO係

〒145 東京都大田区田園調布局第56号
(大田区上池台5-7-10)
TEL 東京(03)727-2216(指導部)

寮232号)

本誌32号の「金星人の足跡を解読」同号の「世界宇宙考古学会報告」、さらに、本誌29、31号で報告された「札幌市異星人コンタクト事件」等の記事によると、金星人とコンタクトし、地軸のゆがみなどについて話し合った人がいるそうです。「札幌市コンタクト」の「ラミューさん」や、アダムスキーと会見した「オーソンさん」ら友好的な金星人と共に、火星人と会見等も報告されていますが、アダムスキーの会った火星人も本誌33号60ページの写真の火星人はヒューノイドなのに、札幌市コンタクトの火星人「キムさん」はタコのような形です。このことから、彼らには変身技術のあることがわかります。そこまで進んだ科学力からして、既に数万年前に地球に来て、活動することもできたはずですが、パミューダの未知の三角地帯、その海底に眠る正体不明の建造物こそ、その時設置された物ではないでしょうか。その反対側の日本にも同じようなもの(たとえばストーンサークル)が設置されたのでしょうか。

読者からのイラスト

読者のイラスト

加藤裕司 (大宮市)

加藤裕司 (大宮市)

鎌倉正尚 (長野県)

鎌倉正尚 (長野県)

興味 味本位の方から真面目な方まで UFOその他に関心のある方、文通しましょう。男女・年齢問わず、返信率99%。

UFO・超能力の研究をエレクトロニクスによる実験を中心に行っています。しかし資料・技術不足で、思うように進みません。電気関係に知識があり「UFO・ESP・ピラミッドパワー・心電科学」などの研究をされている方、色々と教えて下さい。全国からの手紙を待っています。

太田 広 (17)
(〒221 横浜市神奈川区白幡西町41の1)

超能力 能力を有する方ご連絡下さい。超能力を得たい方でも結構です。透視能力者の私が指導します。なお6月中毎週土曜日の夜11時に、ある内容をテレビ番組で発信いたします。感受された方は、それを明記の上お便り下さい。

今井英次 (27)
(〒165 東京都中野区鷺宮3-37-17 秋元方)

去 年5月、日野市駅より約1キロ西の甲州街道沿いの崖上にて午後7時半頃、キリスト教的神秘体験とUFO現象をミックスしたような事件に遭遇(同時目撃者数名、住所氏名は不明)。この件につき追跡調査をしてくれる雑誌を発行しているグループを求めています。電話番号をお知らせ下さい。

西尾正夫
(〒189 東京都東村山市富士見町5の3の12 円山荘)

文通しましょう

文通しましょう

S Fに大変興味があつて多数の本を読んでいるのに、全々知識が身につかないのです。どうか色々教えて下さい。

岡野礼子 (16)
(〒228 神奈川県相模原市上鶴間3-120)

私 は、G・アダムスキー、B・スホールディング、M・ドール各氏の説く宇宙哲学に共鳴し研究している、インド哲学専攻の大学院生です。これらに関心のある方と意見の交換をしたいと思つています。ご連絡下さい。

桑村正純
(〒464 名古屋市中種区姫ヶ池通3-26 末盛荘)

ガイド無料贈呈中

活用OK (価値ある楽しさの世界がハム)
▶▶短期速習指導で合格率2倍の「普及会」通信講座で、あなたもハムに▶▶読んで楽しいガイド特集急送!!ハガキ、☎で下記へ
〒158東京玉川局私書箱19(☎03-704-4986)
●CQアマチュア無線普及会H7係
↑日本短波「CQ/ハム合格教室」放送!!

カー無線

▶▶CQ2メータ、こちらJE1DGL...ど〜ぞ〜と呼び交して、走るクルマの中から自在に無線交信が楽しめるのが、いま人気最高のカー無線「モービルハム」

●交信範囲VHF帯FM波で20~80km。初対面から気軽に話せる仲間が全国に65万人。

●道交情報交換や各種連絡に威力を発揮、ドライブ旅行では行く先々で地元ハムのロ

カルガイドも期待可!
●無線機器は4~10万円。
▶▶必要な「電話級ハム免許」は、○×式の簡単な試験で取れる国家資格。小中学生、YL(女性)ハムも続々誕生中!!
●同一資格で、DX海外交信、ローカル仲間とのスカイミーティング等々...ワイドに

ハム免許



ハム免許

される方のお手紙もお待ちします。
観名美智子
(〒165 東京都中野区鷺宮5-1-9)

3) (〒165 東京都中野区鷺宮5-1-9)

今 ブームだからとか、カッコいいからというだけで、UFOや宇宙に興味を持っているのではなく、本当にこの大宇宙の謎に挑戦してみたいと思っている方、天文学に詳しく、この地球以外にも生物は必ずいるかと思っている方、お手紙下さい。

UFOファン集まれ!



駒崎裕子(18)
(〒085 北海道釧路市川北町3-19 宮野方)

僕 はまだ宇宙人を見たことがない。是非、宇宙人と会って宇宙の世界へ連れて行って欲しいと思っています。本当に文通する気があって、末長く続く方と文通したい。どうぞよろしく。
池内 実(18)
(〒665 兵庫県宝塚市売布2-14-1)

(〒904-22 沖縄県具志川市喜屋武 394の1)

関 東UFO観測研究会では、観測会員を募集中。月一回自動車キャンプで観測しますので、希望者はがきで。電話番号を忘れず記入して申し込みを。中学生以下無料。
関東UFO観測研究会
(〒213 川崎市高津区二子625 榊宮国商事内 ☎044・811-1988)

超 自然現象研究会「レゲンデ」の会員募集中。主に物理的研究を行います。夏にはユースを利用しての活動もあり。男女、年齢不問。少しでも興味のある方、共に活動を。
中野真一(学生)
(〒546 大阪市東住吉区鷹合町3-205)

U FO・瞑想・禅・ピラミッド・超心理学・心霊科学等に興味をお持ちの方、研究会を作りませんか。沖縄県下の方、御連絡を待ちます。
具志賢民子

13) 心 霊科学・UFO・超自然現象などについて体験された方、また伝説に興味をお持ちの日本全国の方にお便り下さい。必ずご返事します。
宮地裕一郎(19)
(〒581 大阪府八尾市田井中309 AFM)

宇 宙の事、UFOの事に興味を持っていらっしゃる方、本誌の愛読者の方、

話は平日午後7時~10時、日曜祝日可。御連絡下さい。
谷川邦子(18)
(〒042 函館市深堀町30番7号 ☎0138-54-4626)

中 国拳法研究会を結成。詳細は、年令、武術経験の有無などの自己紹介を、なるべく返信可能な方法で連絡下さい。男女問いません。
丹羽利広
(〒454 愛知県名古屋市中川区愛知町29-10 ☎052-33516898)

U FO・アダムスキー著「生命の科学」「テレパシー」等を研究学習していらっしゃる方、同好会を結成して一緒に活動しませんか。年令・性別問わず。まじめな方を希望
藤田隆好(24)
(〒859-61 長崎県北松浦郡江迎町 東江迎127 丸子旅館内)

宇 宙・UFO・霊・次元・超能力などを科学的に、また空想的に研究してみませんか。会員募集中で

未知の世界にそこがれている私に是非お手紙下さい。
斎藤正枝(24)
(〒359 埼玉県川越市小仙波町2-52-11)

私 は、UFOはもちろんのこと、超能力、古代遺跡、SF、心霊などに興味を持っています。どなたか文通しませんか。同年代の方、お便り下さい。なるべく近県の方が。
村田裕子(15)

山口晃充(19)
(〒144 東京都大田区西蒲田4-5-16)

漫 画コレクターのキミ、漫画を讀むのが大好きなキミ、漫画エリート「エリート」へ50円切手同封の上よろしく。
野沢信平
(〒189 東村山市本町2-23-13)

竹 宮恵子のファンの方、まん研銀河系」ではただ今会員を募集中。入会希望の方は、50円切手同封の上お申し込み下さい。人数制限がありますのでお早めに。
杉本久仁子
(〒270-11 千葉県我孫子市市布佐 141の7)

A (アニメーション)・C(キャラクター)・F(ファン)・C(キャラクター)。私達と一緒にアニメを応援していきこう。待っています。詳しくは50円切手同封の上連絡を。
兜 麻子

(〒112 東京都文京区小石川2-22-3)
U FO・心霊・超能力・ネッシー・古代史・神話など、この世の不思議なこと興味・関心を持っています。近くの方で、一緒に研究・体験・実験などできる同年代の方、御連絡下さい。
佐々木 満(16)
(〒280-02 千葉県平山町1500-12)

(〒168 杉並区上高井戸1-20-16 依田方)

U FO・天文・超常現象研究者の声がここに結集。研究者の為の情報交換紙「月刊Etoile」では、加盟研究会、読者を全国的に大募集。50円切手同封の上ご連絡下さい。案内書を送ります。
山本圭子
(〒156 東京都世田谷区羽根木1丁目14-16)

S HFRONプロ(超自然現象調査最高司令機構)では、超自然現象に関する情報の提供者を募集しています。貴方の周りで起こった怪現象、他人に話しても信じてもらえないような体験、どんなに小さな事でも、どんな非常識の事件でも、SHFRONは真剣に受けつけます。そうしている方、体験を話したい方、是非御連絡を。家族・友人の体験も可。
磯部剛喜
(〒289-21 千葉県八日市場市 8-1736)

(〒289-21 千葉県八日市場市 8-1736)

Ray-Ban®

レンズ片方無料の

東京・新宿西口メガネが贈るBig News
 サングラスの傑作レイバン・ズバリ5割引!
 新宿西口メガネ RAY・BANご愛用者、
 ついに10,000人突破!

通信販売開始・もちろん店頭にも5割引販売
 店頭特別企画好評実施中
 メガネレンズ片方無料
 ヤング向けブランド・
 各種フレーム大量入荷
 好評発売中
 コンタクトレンズクリニック併設!

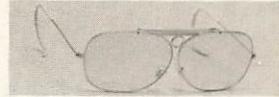
THE Roots of Ray Ban

ご存知ですか?
 目をガードするためのカラーレンズは、2,000年以上も前に使われていたことを。もちろん、科学的に正しいレンズの開発と研究が行なわれたのは、ずっとあとの1920年代から。当時アメリカ・ボッシュロム社は、軍の要請で、明るい視力と目の保護を目的としたパイロット用サングラスを開発していました。1930年、ボッシュロム社は、米政府の規格をはるかにしのぐサングラスを、軍、特に空軍パイロット用に完成させました。数年後、このサングラスがレイバンと名付けられ、今日まで広く一般に愛用されてきたのです。

学生割引も致しております

各種メガネフレーム
 ローアンストック・
 マルヴィッツ・
 メツァー・スポルディング・
 レイバン・ニコン・
 HOYAヤングナイロール・
 HOYAキャンパスナイン他
 各種メガネレンズ
 HOYA・ニコン・ツアイス他

DECOT<デコット>



	スモーク	グリーン	イエロー
金	¥21,000→10,500		¥23,000→11,500

METAL<メタル>



	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥16,000→8,000		¥20,000→10,000	
ブラック	¥17,000→8,500			

METAL II<メタル II>



	スモーク	グリーン	濃スモーク
金	¥18,000→9,000		
ブラック	¥19,000→9,500		

CARAVAN<キャラバン>



	スモーク	グリーン
金	¥16,000→8,000	¥16,000→8,000
ブラック	¥17,000→8,500	¥17,000→8,500

SHOOTER<シューター>



	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン
金	¥20,000→10,000	¥22,000→11,000		¥24,000→12,000
ブラック				¥25,000→12,500

アウトドアズ・マン II



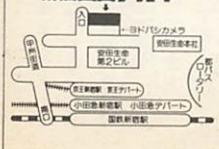
	スモーク	グリーン
金	¥19,000→9,500	

アウトドアズ・マン



	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥18,000→9,000	¥20,000→10,000		¥22,000→11,000	¥21,000→10,500
ブラック				¥23,000→11,500	

新宿西口メガネ



●申し込み方法
 ご希望のモデル名・レンズの色と住所・氏名を明記し現金書留又は代金引換にて申し込みください。送料はサービスいたします。

●申し込み先
 〒160東京都新宿区西新宿1-11-6協立ビル
 新宿西口メガネ U.F.Oレイバン係
 ※おことわり 品切れの際は、入荷予定日をお知らせ致します。又、御返金も致します。

信頼とは 安心とは 安さとは
新宿西口メガネ

東京・新宿西口・安田生命第2ビル裏・ヨドバシカメラ並び
 営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休

でんわ東京 03-348-3360

蚤の市

譲ってくださる



編集部からのお願い

読者のページをもっと楽しいものにしていきたいと思っています。みなさんの意見交換・情報交換、編集部宛のお便りを多くお待ちしています。なお、本誌に対するご意見、ご希望を自由に編集部までお知らせください。

ご投書の際、ご住所・ご氏名はわかりやすくお書きください。

- ▼本誌刊号No.8、「海のトリトン」の原画、セル、台本、ポスター等を適価で譲って下さい。
- 唐沢修二(〒920-03 石川県金沢市藤江南1丁目94)
- ▼本誌No.114を4000円程度で譲って下さい。はがき又は電話で連絡を。
- 氏家 功(〒049-31 北海道山越郡八雲町富士見町126 ☎01376-33459)
- ▼本誌No.23か、ジョージ・アダムスキーの著作もしくは「宇宙艇」を譲って下さい。連絡は往復はがきで。
- 遠田 茂(〒233 横浜市港南区上永谷町3361)
- ▼沈没大陸アトランティス(霞ヶ関書房)を適価で譲って下さい。
- 大野元己(〒745-06 山口県熊毛郡熊毛町遠見)
- ▼「OUT」No.117を適価で譲って下さい。または次のものとの交換を希望。「宇宙戦艦ヤマト」(テレビ)全放送のカセットテープ、オールナイトニッポンのラジオドラマ「宇宙戦艦ヤマト」のカセットテープ、「ランデヴー」No.113、「ルパン三世」のメカニズムのすべて、「UFO事

- 典。はがきで連絡して下さい。
- 若林弘子(〒611 京都府宇治市五ヶ庄一里塚1番地)
- ▼「宇宙艇」22号以前のもを定価の7割程度で譲って下さい。またアマチュア無線機トリオTS-311を5万円程度で譲ります。詳しくははがきで願います。
- 岡田和夫(〒591 大阪府茨木市大字清水1岡西電力学園 火力・原子力コース219号室)
- ▼「宇宙からの訪問者」「空飛ぶ円盤の真相」「宇宙哲学」「テレパシー」「生命の科学」「質疑応答集」(以上アダムスキー著)「宇宙の友人たち」(古山晴久著)「ヨロガ根本教典(正・続)」(佐保田鶴治著)を適価で。またビラミッドテントを1万円以下で譲って下さい。できれば京都近郊で手渡し可能な方。
- 余 彰(〒615 京都市右京区西院西今田町10番地)
- ▼本誌No.1130を出来るだけ安価で。図書館に寄付して多くの人に読んでもらいたいので。また「空飛ぶ円盤研究」「未確認飛行物体」「UFOインフォメーション」「宇宙艇」「GAPニューズレター」「JUFORA」「UFO教室」「ユーホロジスト」

- 各会の会報等を貸して下さい。お礼に「Etoile」最新号をさしあげます。
- 山本圭子(〒156 東京都世田谷区羽根木1丁目14-16)
- ▼宗教あるいは心霊治療に関する本を適価で譲って下さい。往復はがきで連絡を。
- 畑岡 栄(〒309-16 茨城県笠間市福田647)
- ▼「密教・超能力のカリキュラム」「チャネルをまわせ」「人間改造の原理と方法」(以上 桐山靖雄著)月刊「密教講座」No.1112 格安でお譲り下さい。または「ケエニエマレ(超宇宙人)」「アシユテ・ヴァルラ(悪霊の華咲く樹)」「L・K・マテシュ著 新品」との交換をお願いします。
- 鈴木麻仁(〒188 東京都保谷市富士町6-12-1 いずみ荘7号)
- ▼「科学忍者隊ガッチャマン」のファンクラブを教えてください。また「宇宙戦艦ヤマト」の資料を譲って下さい。
- 浅野真由(〒565 大阪府吹田市佐竹台1の3(8))
- ▼「ファンタジー」No.116のいずれかを安価で、「コンパトラV」「海のトリトン」「勇者ライディーン」のセル画等を安価で譲って下さい。「キャプテンハーロック」のファンクラブを作っています。入会希望の方は電話かお手紙下さい。

- 皆藤由美子(〒241 横浜市旭区鶴ヶ峰2-26-8 ☎045-371-1721)
- ▼昭和26年に発行の、ジェラルド・ハーダの「地球は狙われている」と昭和33年の、「空飛ぶ円盤なんでも号」を適価にて。コピーでも可、なるべく原本を。
- 渡辺 肇(〒230 横浜市鶴見区元宮1-9-38)
- ▼54年度の『漫画少年』57・52の『少女』58年度の『少女クラブ』62年度の『日の丸』『少年ブック』66年度の『冒険王』68年度の『少年ブック』『少年ジャンプ』いずれも5000円程度で、また『セクサロイド』『聖凡人伝』の単行本、1冊5000円で譲って下さい。(〒当方負担)
- 渋谷英樹(〒061-21 札幌市南区石山478の45)
- ▼テレビで放送した、キャンディーズ・ファイナルコンサートを録音された方、適価で譲って。
- 稲岡 修(〒675-22 兵庫県加西市三口町740)
- ▼ドラゴン・空手映画のチラシ・写真を譲って。また拳法着を安価でお願いします。
- 西藤頼義(〒824-05 福岡県田川郡大任町下今任)
- ▼アニメ主題歌のシングルレコードを1枚5000円前後で譲って下さい。(古い番組のものも1000円)下さい。
- 間瀬朋哉(〒472 愛知県知立市山屋敷町高

▼「世界のUFO」「UFO大接近」「UFO追跡」「私は円盤に乗った」「パプア島の円盤騒動」「宇宙連合の飛来」「ユリ・ケラー」「自己催眠術」「読心術」「ト・チエ氏の心の法則」「地底人王国」「地球遺跡・宇宙人の謎」「ピラミッドパワー」「幽霊を見た」「湖底怪獣」「世界の円盤」「謎だらけの四次元」「謎のタイムトンネル」。題名と希望価格を連絡して下さい。

伊藤正美(〒915 福井県武生市広瀬町161の5の2 馬塚住宅A1の3 ☎0778-241971)

▼「宇宙戦艦ヤマト」の小説全2400円を1800円で(干別)。石森章太郎作「ギルガメッシュ」全6巻を1500円で(干別)譲ります。

土橋弘之(〒328-03 栃木市密社町790-1)▼本誌No.1~13を干共6000円で譲る。小橋川 進(〒905-02 沖縄県国頭郡本部町伊豆味273)

▼本誌No.6を干共1000円。「OUT」No.9~12を干共700円。「宇宙戦艦ヤマト」ロマンアルバム」を干共1000円。「宇宙戦艦ヤマト」のカセットテープ(オ

譲ります

▼MGCモデルガンM16BLK、A-1かE-1どちらでも良いです。購入年と価格(干共)を御連絡下さい。2万円程度でお願い致します。

吉野卓志(〒850 長崎市出雲3-122)▼「海のトリトン」に関するものなら何でもいから譲って。たくさん譲ってくれた人にお礼として「サイボーグ009」「パピル二世」などのシールを差しあげるワ。

伊藤潤子(〒164 東京都中野区南台3-6-28)

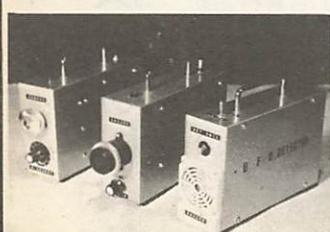
▼4月4日(暦日5日)深夜1時~5時にオールナイトニッポンで放送された、キャンディーズ・ファイナルカーニバルを、カセットで全部録音された方、テープを譲って下さるか貸して下さい。テープは責任を持ってお返しします。干当方負担。

中野一之(〒950-22 新潟市神山34番地甲)

UFO探知機

超高感度 国産唯一の本格的磁気探知機!

現在278台が全国で活躍中!!
既にUFO探知成功19件!!



左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型……¥9,000
T-3a型……¥18,000
T-3b型……¥19,000

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス(新製品)があります。

申込先: 〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606
折田 至
Tel. 044-866-8347
●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

一括5000円で。手渡し希望。

小林定康(〒802 北九州市小倉北区常盤町9番22号)

▼本誌No.5、7、8号を干共15000円で、UFO写真集①も干共15000円で。詳しくはがきて。

橋本元裕(〒241 横浜市旭区白根町1270本15 大倉荘)

▼本誌No.2、11、24と「謎のバミューダ海城」「謎の大陸アトランティス」なるべくまとめて。希望価格明記のうえ往復はがきにて連絡を。(定価合計5250円)

田辺 正(〒121 東京都足立区伊興本町3024 郵政宿舍)

▼「世界の戦間機」「モーターファン」「イメージの博物誌4」「魔術」「未知なるUFO」「火の国のヤマトタケル」「ノストラダムス大予言の秘密」「エニグマ」No.2、No.5などを適価で譲ります。

吉池雄一郎(〒165 東京都中野区野方6-31-4)

▼私がテレビから写した写真(宇宙戦艦ヤマト2000枚、あしたのジョー1等2000枚)を1枚60円程でお譲りします。50円切手2枚同封の上ご連絡下さい。見本を送りいたします。

平手英二(〒457 名古屋南区道徳本町4-13)

▼ブルワーカー2(ケース・カタログ付)を3000円、ピラミッドエネルギー1(キングサイズ)を20000円、宇宙開発専門誌「宇宙時代」創刊号、3号を10000円で譲りたし。連絡は往復はがきて。

吉田堅三(〒191 日野市旭が丘3の1の1 東芝第二平山寮)

▼マンカインド社製ピラミッドテント(定価2万2000円)を1万50000円で、なるべく近くの方。

中田悦弘(〒272 千葉県市川市宮久保5-3-2 ☎0473-17318609)

▼全国アニメ放送状況表(4、5月分)を干共2000円。

庭田 純(〒031 八戸郵便局私書箱89号)▼「UFO入門」並木伸一郎著、「宇宙人についてのマジメな話」「円盤についてのマジメな話」平野威馬雄著、「コズモ」No.

2、No.6、7、9、本誌No.10、11、19を適
価で譲りたいと思います。バラ売り可。往
復はがきで連絡。
篠原佐江子(〒121 東京都足立区舎人3-
8-65)

▼「密教念力入門」(テレビ入門)「中
岡式念力強化法」希望価格を往復はがきで
連絡下さい。3冊まとめて買って下さっ
た方には「トランプの遊び方(ゲームと占
い)」「トランプの花札・ダイス(付百人一
首)」を付録としてつけます。
吉田純子(〒922 石川県加賀市大聖寺法
坊3-5)

▼ルパン三世のLPレコード2200円を
1500円で。「未知との遭遇(特秘の秘
密)」800円を400円で。「タロット占
いの秘密」980円を500円で。
永岩秀清(〒501-61 岐阜県羽島郡笠松町
長池387-21107号室)
▲I.C.E.英会話テープ「初級第一部(一部
使用しました)」「初級第二部(未使用新
品)」各定価4万円程度のはがきで、各2万
円で譲ります。手渡し希望。はがきで連
絡下さい。

▼驚見 学(〒185 東京都国分寺市本町1-
2-39 清明寮) 東京都国分寺市本町1-
2-39 人間百科(1冊3400円)全195冊を
1万5000円で、リンガフォン・ジュニ
ア米語コース(中学生向英会話テープ)を
1万円ですれぞれ譲る。
中村純夫(〒039-31 青森県上北郡野辺地
町枇杷野51 県公舎E-139)
▼「天文ガイド」'7610月号、「7712月号を、
各1700円で(下別)。希望者ははがきで、
吉田 律(〒117 東京都練馬区上石神井1-
127 石神井公園団地3-1408)
▼テクニクス社生録用カセットデッキRS
1646Dを、同社マイクRPP-35440
E付で4万5000円、RPで1ヵ月使
用、説明書付、日立ラジカセTRK-112
80を2万5000円、3万円で(半年使用、
説明書付)。往復はがきで連絡を。
大川勝浩(〒020 岩手県盛岡市大通り3の
10の28 金子方)

▼テクニクス社シンセサイザー(新品)を
5万円、ナンソナルラジオベーパー101
5(新品 FM・AM用)を60000円で
ナンソナルラジオカー1115(新品同

様)を1万70000円で、ナンソナル白黒
テレビスポーツマン808(少々キズ有
8型、青色)を2万円ですれぞれ譲ります。
湯木正人(〒083 北海道中川郡池田町西1
の2)

▼キャンノンFTB用ズームレンズコムラー
「TL925」90mm、250mm F4.5ケース付、
UVフィルター付、FTBマウント付(新
品同様)を3万円、20倍双眼鏡20x50(新
品 ケース付)を1万20000円で。
田原和男(〒187 東京都杉並区西荻北5-
12-20)

▼「海のトリトン」(アニメ画集)「どろ
ろ」(アニメ選集)「ハローック」(アニ
メ特集号)各6000円、「ヤマト」(テレ
ビムック)「銀河鉄道999」(アニメ画
集)各5000円、「ロマン」(ヤマト
「009」(ロビン)「デビルマン」
「タイガーマスク」(ジエッター)「松本零士
幻想イラスト集」(松本零士、石森章太郎、
永井豪、ちばてつやの世界)「ルパン三世」
(アニメ)「ディイララスト4000円」、「キャン
ディキヤム」ディイララスト4000円、「2
マンガ少年TVアニメの世界」(ランドウ
No.1、3各3500円(各下別)又「ハロー
ック」(ダンガードA)他のTVアニメの
セル・台本・原画・絵コンテと交換して下
さい。往復はがきで連絡を。
関 美恵子(〒176 東京都練馬区氷川台4
1-23-3)

▼エルトン・ジョン来日記念盤2枚組LP
「グッバイ・イエロー・ブリックロード」
(1、2回聞いた程度)郷ひろみ自筆サイ
ン入りLP「ヒロミックカラー」(未使
用)郷ひろみ自筆サイン色紙、まとめて千
共45000円で。買った方には「テレビマ
ンガアクション・デラックス」(グレート
マジンガー・ヤマト・ポリマー・etc.全
12曲入りLP・美品)と、UFOレポレン
ダイザー、ダンガードAのカラーサイ
ン入り色紙、本誌No.15、16、ヤマトのポスタ
1等無料です。往復はがきで連絡を。
岩崎睦美(〒147-11 防府市富海浦開作)

▼モデルガンMGC44 マグナム8・3/8(黒
色)67000円、1度しか使っていない
を415000円位で。カトリッジ・火
薬付。田宮製電動カー「コンバットバギー」
(1万30000円、一度も走らせていない)

交換しましよ

90000~1万円位で。電池付。
荒川行一(〒323-03 栃木県栃木市惣社町)

1564 電話2822127-5299)

▼読み終わった、UFO・推理・SF本を
交換しましょう。当方にあるのは「UFO
大襲来」「天空人物語」「赤外音楽」「黒の放射
線」etc.:貴方のリストも知らせて
加藤礼子(〒021 岩手県一関市相去57の6)
▼当方 LPレコード「Don't stop
Believing(オリビア・ニュ
トン・ジョン)」「人間の証明」「E.P.レコー
ド」「禁じられた遊び」本「UFO日本侵
略」「超能力者の世界」以上6400円相
当の品々を、「UFO探知機T5型」と交
換したいのですが、往復はがきで連絡を。
西川政弘(〒520 大津市見世1丁目7の3)
▼本誌No.24、29、31をお持ちの方、私の、
「タロット占いの秘密」(オタロットカード78
枚1組付)¥980新品と「カスターウオー
ズ」(英語版原書)¥780を交換して下さい
。ハガキで連絡を。
石原純子(〒524-02 滋賀県野洲郡中主町
吉川)

▼高田みづえのLP「ファーストアルバム」
「ビービッド細工」と、プロセスに関する本
やパンフレットと、交換して下さい。そし
て、松本零士著「聖凡人伝1~10巻」15
000円。
尾形順安(〒065 札幌市東区丘珠町6の59)
▼エンigma創刊号と、昭和40年頃の「少年
マガジン」「少年サンデー」「少年キング」
か、「宇宙戦艦ヤマト」に関するものを交換
して下さい。安く譲って。
中谷杉久(〒673 兵庫県明石市日富美町
13-8)
▼鉄人28号に関する物(原画セルや、昔なつ
かしい鉄人28号のキャラメルのおまけ等)
を持っている方、「ボスターの大冒険」か「サ
イボーグ009」のポスターと交換しまし
せんか。6名まで、先着順。
中島康吉(〒804 北九州市戸畑区境川1丁
目6-21 電話093-188118563)

読者からのイフスト



▲小川正純(横浜市)

▲富岡邦明(高知県)

▲佐藤清貴(川崎市)

UFO? 三次元実像



ミラージュ
(アメリカ製)

(直径 約34cm、
高さ 9cm)
15,000円

二枚のパラボラ鏡による、3D Illusion

鏡の底に置いた物体が、まるでミラーージュの上に置いてある様に見えます。もちろん写真にも写りますが、手でつかもうとしてもだめです。皆を驚かせましょう。インテリアディスプレイ、教材に最高です。

化学の灯 サイリウム (アメリカ製)

電気ではありません…
化学的に発光するサイリウム。水の中でもOK、パーティーなどのムード照明にも最適です。キャンプや登山にもどうぞ。(長さ 15cm) 1,000円(切手で可)



スイス アーミーナイフ (スイス製)



スイス軍が正式に採用している万能折たみナイフ。その中でも最高のチャンピオンで大小ナイフの他・ドライバー・缶切り・はさみ・栓抜き、のこぎり等々24もの機能を持っています。(長さ 9.1cm 赤色) 11,000円

スポーツマン・ナイフ (折曲式輸出用)

ヤングにぴったり、持っているだけでカッコい、アメリカで、大流行のスタイルです。皮ケース付

TK17-70

TK 760



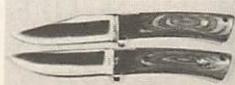
TK17-90

TK 710

	全長	刃渡	柄	
TK17-90	24cm	10cm	シタン	33,000円
TK17-70	17"	7"	シタン	22,000円
TK 710	23"	10"	コクタン	16,000円
TK 760	22"	9.5"	コクタン	15,000円

登山ナイフ

スマートな皮ケース付登山ナイフ。登山、キャンプ、フィッシングなどに最高。



S512

S513

	全長	刃渡	柄	
S512	26cm	12.5cm	バックラー	15,000円
S513	26"	12.5"	バックラー	15,000円

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元

ポラックス株式会社U係

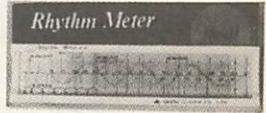
TEL (03) 666-0511代

カシオ・バイオレーター



あなたのバイオリズムがワンタッチで出ます。健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、旅行、スポーツに応用しましょう。相性判断もできます。6,000円

リズム・メーター



バイオレーター同様、簡単にあなたのバイオリズムが求められます。又、グラフに表されますので大変便利です。1,500円

ラブサインペン (西独製)



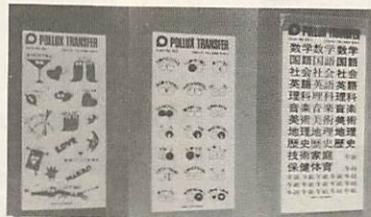
細い方で、字や絵を書くとき透明の液体が出て何も書いてない様に見えますが、反対の太いペンでなぞるとアプリ出しの様に書いたものが浮き出てきます。ラブライター、交換日記、試験勉強に使いましょ。300円(切手で可)

消える・ボールペン (西独製)



紙でも布でも手にも書いたなら反対側のインク消して、サッと消せます。あまりいたづらしない様に。300円(切手で可)

トランスファー (西独製)



文字や絵が上から、こすると印刷された様に下の紙やガラスプラスチックに写ります。ノートやラブライターに

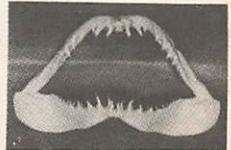
※御注文は必ず品番を書いて下さい。
1枚 300円(切手で可)

T001 T002 T003

ジョーズの口

(マコ・シャーク)

本物の青ザメのアゴです。インテリアに最高、南洋では魔よけにしています。飾り台付き。壁かけにもなります。



- A. 口巾 約35cm 9,000円 C. 口巾 約 25cm 5,000円
B. 口巾 約30cm 7,000円 D. 口巾 約 20cm 3,000円

タイガーシャークの口

マコ・シャークより平たく歯も小さめですが、次から次へ整然と新しい歯が並んでいます。



- A. 口巾 約30cm 3,000円 B. 口巾 約 10cm 500円(切手で可)

ご注文は

紙に商品名・商品番号、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京4-8703)でポラックス株式会社U係にお送り下さい。

[送料はサービス]

パ
ツ
ク
オ
ン
バ
ー

No.12 ¥360

(1975年5月発売)
甲府市にUFO着陸／古代の天空人／長野県に落下した小型円盤／オーストリアのカタツムリ状光物体／ソ連圏UFO現象 他



No.8 ¥330

(1974年9月発売)
マンテル大尉の悲劇／イタリアの不思議な小人出現事件／天体オーラと宇宙電界の謎／宇宙・引力・空飛ぶ円盤(3) 他



No.13 ¥360

(1975年7月発売)
千葉市にアダムスキー型円盤出現／円盤の宇宙人を見た／宇宙交信のためのテレパシー通信／原子・銀河系・理解(3) 他



No.9 ¥400

(1974年11月発売)
UFOによる米空軍機追尾事件／ジョージ・アダムスキーはまだ影を投げかけている／宇宙・引力・空飛ぶ円盤(4) 他



No.14 ¥390

(1975年9月発売)
1897年の謎の飛行船／私は金星文字を解読した／実在する超感覚と念力／原子・銀河系・理解(4)／ソ連圏UFO現象(3) 他



No.10 ¥360

(1975年11月発売)
銀色の服を着た宇宙人／科学を曲げる男ユリ・ゲラー／宮崎県のUFO現象分析／UFO推進法／月世界の謎の現象を探る 他



No.15 ¥390

(1975年11月発売)
ランシング夫人の不思議な写真／ワルストンの奇怪なロボット／聖書の予言とスペース・プログラム(1) 他



No.11 ¥360

(1975年3月発売)
月面は円盤の中継基地か／ニューヨーク州の着陸事件／アダムスキー型円盤、尾道市に出現／宇宙・引力・空飛ぶ円盤(完) 他



No.16 ¥390

(1976年1月発売)
三原市の驚異コンタクト事件／テレポーテーションとテレパシー／聖書の予言とスペース・プログラム(2) 他



No.17 ¥390

(1976年3月発売)
月面の謎：アポロ飛行士が撮ったUFO写真初公開／アポロ飛行士は月で地球外文明を見た／UFOは地球救済にくるか 他



■1〜7号は売切れ、8号は残部僅少
■送料：50円(1冊につき)
■振替：東京1・119478

■お申し込みはお近くの書店、または現金書留・振替・小為替・低額切手などで当社宛にご注文ください。

[本誌保存用]

特製バインダー

¥500

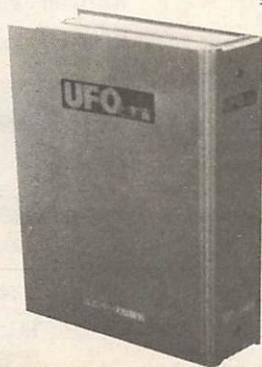
★『UFOと宇宙』を破損・紛失しないために、このバインダーをご利用ください。

★6冊をとじこむことができます。

荷造送料

1〜2個 ¥350

3〜4個 ¥700



No.30 ¥430

(1978年月刊1月号)
宇宙の美女とUFO
創刊30号記念
あの写真をもう
一度／各界著名人
特別寄稿／ハロー
異星人、こちら地球
他



No.24 ¥430

(1977年5月発売)
〈特集〉戦後UFO
30年史／謎のニュー
ヨーク大停電／
UFOに家族をさら
われた／驚くべき
コンタクトの全
貌 他



No.18 ¥390

(1976年5月発売)
私は宇宙人のクビ
をすげかえた／U
FOは地球救済に
来るか(完)／マヤ
と飛鳥を結ぶ宇宙
人の遺産／UFO
同乗事件 他



No.31 ¥430

(1978年月刊2月号)
5大予言者1978年
を診断／ライヒ
博士のUFO撃墜
装置／コンドン白
書大批判／フレッド
・ステックリン
グ氏に聞く 他



No.25 ¥430

(1977年月刊8月号)
〈特集〉謎の黒い影
／宇宙人の言葉の
解読に成功／私は
円盤の宇宙人に救
われた／聖書と宇
宙人(1)／UFO
と謎の生物(1) 他



No.19 ¥390

(1976年7月発売)
私はUFOを何度
も見た／ムーディ
軍曹、円盤に誘拐
される／世界の12
の魔の墓場／宇宙
人はなぜ人類と正
式交流しないか 他



No.32 ¥430

(1978年月刊3月号)
国連で採択された
UFO問題の真相
／横尾忠則対談・
札幌市の異星人
コンタクター／奇
説VS大学説—謎
の大宇宙モデル 他



No.26 ¥430

(1977年月刊9月号)
怪物ビッグフット
とUFO/UFO
と謎の生物(完)／
奇跡ノールードの
聖泉(1)／超能力
の謎は科学で解け
たか 他



No.20 ¥430

(1976年9月発売)
口絵：火星の大地
他／トラビス・ウ
ォルトン事件の真
相／月はUFO中
継基地か(2)／続
宇宙・引力・空飛
ぶ円盤(3) 他



No.33 ¥430

(1978年月刊4月号)
〈総力特集〉私は宇
宙人を見た／北
野大僧正、宇宙人
の声を録音／横
尾忠則対談・西丸
震哉／反重力エン
ジンの円盤製造 他



No.27 ¥430

(1977年月刊10月号)
宇宙人からテレバ
シー・メッセージ
を受ける科学者た
ち(1)／謎の第10
番惑星／ワシント
ンのUFOパニック
他



No.21 ¥430

(1976年11月発売)
日本のUFO研究
家3人の主張展開
／精密UFO大図
鑑／UFO事件完
全年譜／空飛ぶ円
盤の推進原理を探
る 他



No.34 ¥430

(1978年月刊5月号)
〈特集〉日本にもあ
った宇宙人遭遇事
件／日本のUFO
事件の全貌(1)／
横尾忠則対談・富
田勲／ファティマ
の奇跡(1) 他



No.28 ¥430

(1977年月刊11月号)
驚異の宇宙人撮影
事件／スパイに使
われる超能力者／
海溝に消えた太古
の首長竜／続宇宙
・引力・空飛ぶ円
盤(10) 他



No.22 ¥430

(1977年1月発売)
UFOは石を食べて
いた／チベット山
中の金星人基地
／着陸した円盤に
宇宙人の死体／女
性3人を身体検査
した巨大UFO 他



No.35 ¥430

(1978年月刊6月号)
〈特集〉UFO飛来
学説／横浜に宇宙
人／日本のUFO
事件の全貌(2)／
横尾忠則対談・
南山宏／ファティ
マの奇跡(完) 他



No.29 ¥430

(1977年月刊12月号)
札幌市で異星人と
の驚異コンタクト
発生／雲は未来の
出来事を語る／ア
フリカの超能力研
究／星のささやく
新宇宙 他



No.23 ¥430

(1977年3月発売)
〈特集〉ジョージ・
アダムスキー／U
FO写真コンピュ
ーター分析／女性
宇宙人セムジャー
ゼとの会話／闇夜
に牛が殺された 他



装いも新たに 宇宙の秘密に迫る ワンダーマガジン

(7月20日発売)

8月号予告

——極秘写真入手に成功!!

湖底に延々と続く
巨大石柱の列は
日本のアトランティス遺跡か?

UFO対談・横尾忠則vs秋山秀成

ポルターガイストのすみか、人の消える家、
奇妙な物音のする家等々を現地取材

日本四次元地帯めぐり 中岡俊哉

ブラジルの大超能力手術者、
ジョゼ・アリゴの奇跡!

神秘の錆びたナイフ 久保田八郎

スター・ウォーズ監督
ジョージ・ルーカスは
宇宙人と会見したのか?

都合により内容を変更することがあります

編集後記

★今月号はシャロット・ブロップさんをはじめとするUFO教育センター一行の来日にあわせ、アダムスキーの特集を組んでみました。アダムスキー問題の扱いについては、UFO研究者のあいだでもっとも賛否論議のげしく分かれるところですが、そこにまた面白さがあるといえましょう。
★次号からは活字の大きさや組み方、レイアウトなどに若干の手直

投稿歓迎

本誌はUFOおよび一般ミステリー問題に関する原稿・写真・研究発表等を広く募集しています。原稿はなるべく原稿用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿類はお返し致しません。

掲載分には規定の原稿料を差し上げます。
あて先

〒110東京都台東区上野五―一六ヤマトビル
ユニバース出版社「UFOと宇宙」編集部

UFOと宇宙

UFOと宇宙 1978年7月号 第36号
定価 四三〇円 送料五〇円
発行 昭和五十三年七月一日
(月刊)毎月二〇日発売

編集人 武田益尚
発行人 大木茂男
発行所 株式会社 ユニバース出版社
住所 〒110 東京都台東区上野五―一六ヤマトビル

電話 〇三(八三二)一三四一〜四四
振替 東京一―一九四七八

印刷所 三晃印刷株式会社
年ぎめ購読料 五一六〇円(送料サービス)
書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注文ください。

本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。
海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

しを加え、装いも新たにより読みやすい体裁で出発する予定です。もちろん、内容的にも一層の充実をめざして頑張りますので、二期待下さい。
★当社では読者の皆様との交流を深めるため、夏休み中に、UFOと宇宙 愛読者のつどいを計画中です。詳しい日時は来月号で発表します。スライド上映、執筆の先生方による講演、ゲーム大会などを予定しておりますので、楽しみにお待ちしております。

(T)

 日清製粉

イカハ メイクスヘキ サイン ショウホウ……
アタラシイ チョウシヨク アント スナック ハッケン。
スイスマレノ ミューズリー。
ショクンモ シキユウ コンタクトセヨ。



スイス生まれのミューズリーは、太陽の恵みをいっぱいにうけた小麦胚芽と乾燥果実入り。栄養バランス型の本格派フレークです。冷たいミルクをかけてサクサク、そのままつまんでポリポリ。おいしく食べて栄養をコントロールしましょう。

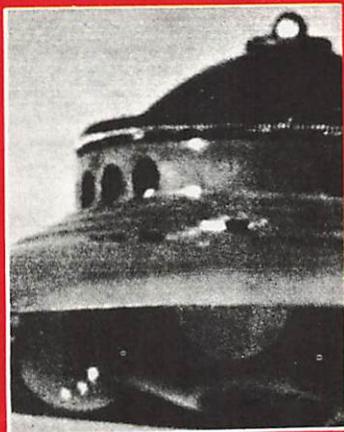
小麦胚芽・乾燥果実入り

muesli
ミューズリー

絶賛発売中!

定価 **1300円**
(千160)

●空飛ぶ円盤は実在する! 遠い惑星から、偉大な進化をとげた人類が、大宇宙船を駆つて地球の救援に飛来……壮大な宇宙空間の大スペクタクルと驚異的事実をつたえた本書は、まさに20世紀最大のドキュメントだ!



宇宙からの訪問者

■米ジョージ・アダムスキー財団より翻訳合本出版権獲得!

|| 偉大な惑星人との会見記 ||

ジョージ・アダムスキー / 著

久保田 八郎 / 訳

●「空飛ぶ円盤実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」として名高い二点の記録書をアダムスキー研究者として著名な久保田八郎が流麗平易な訳文により全面的に改訳、「実見記」のうちアダムスキーの手記と「同乗記」全文を合本として事件の理解を容易ならしめ、また未発表写真を含め50点以上の写真・図解を一挙掲載した決定版である!

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
☎832-1341~44 振替・東京1-119478

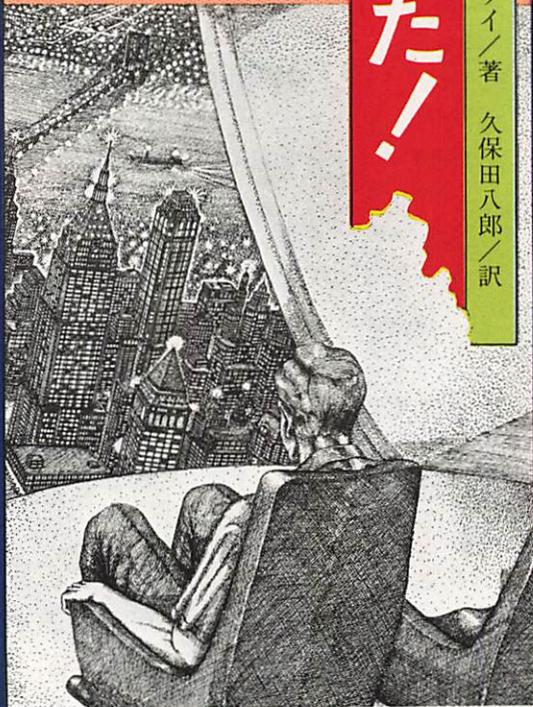
●書店にない場合は直接当社営業部までご注文ください。

B6判 272頁
定価750円
送料160円

私は円盤に乗った!

●驚異のホワイトサンズ事件 タニエル・フライ / 著 久保田八郎 / 訳

1950年7月4日夜、米ニューヨーク州ホワイトサンズのロケット実験場に突如一機の円盤が着陸し、内部から響く不思議な声に誘われて乗り込んだ科学者フライは、ニューヨーク上空までを30分間で往復する! その間、円盤の推進法や宇宙人の故郷と超絶した科学、哀れな地球の現状等を知らされるといふこの驚異の物語は「UFOと宇宙」第2号に掲載され当時の読者を熱狂せしめたが、いま新装なった単行本として同著者によるすばらしい関連記事三篇をあわせ収録しあらためて読者に贈る! UFO研究者必読の書。



付■宇宙人アランのメッセージ / 進歩の曲がり道 / 原子・銀河系・理解

ユニバース出版社

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
電話(832) 1341~1344 振替・東京1-119478

●書店にない場合は直接当社営業部までご注文ください。

文藝春秋デラックス 8月号 6月24日発売

UFOと宇宙船

カラー・イラスト

世界七大「未知との遭遇」事件

宇宙船のカタログ

UFOを語ろう

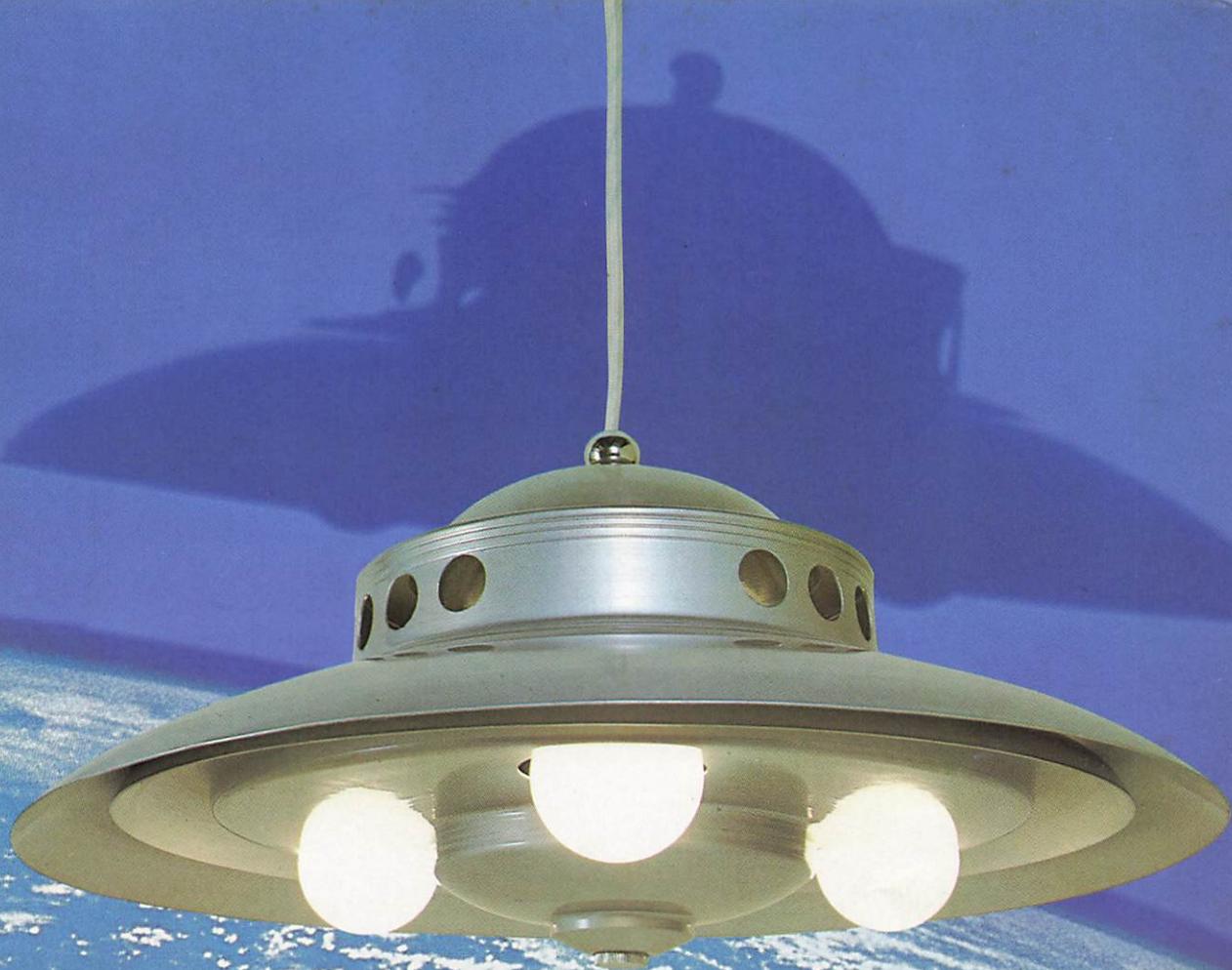
北杜夫VS.小松左京

UFO天然色写真総まくり

空飛ぶ円盤の社会学 山本 明
科学者の目撃例レポート 南山 宏

南フランスの集中着陸事件 J・ヴァリー

定価980円



↑
★ここにふれると明りがパツ!!
消す時も同様パツ!!のタッチスイッチ

「UFOとの遭遇」

**アダムスキー型
コードペンダントを
今日から君の部屋に!!**

ボールランプ(25W×3・但し40W使用可)
大きさ φ390mm×H200mm
タッチスイッチ付

購入方法

アダムスキー型コードペンダントは、ユニバーサ出版社独占販売のため、一般照明器具店ではお求めになれません。ご購入の場合は代金を現金書留または振替で直接当社商事部までお送り下さい。折り返し品物をお送りします。

特別価格 **¥13,800**(送料共)

株式会社ユニバーサ出版社商事部

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
振替 東京1-119478



35mm一眼レフ用スリコールライアンス交換レンズは1台3役

- ①カメラ用望遠レンズが (300mm・400mm・500mm)
 - アイビスアダプター ¥1,500
 - ズーム式地上アイビス ¥4,500
 - 300%の倍率: 17倍~50倍
 - 400%の倍率: 22倍~67倍
 - 500%の倍率: 28倍~83倍
- ②ズーム式望遠鏡に(別売部品)
 - アイビスアダプター ¥1,500
 - 天体用アイビス各倍率 ¥1,500
 - 300%の倍率: 24倍・50倍・60倍・75倍
 - 400%の倍率: 32倍・50倍・80倍・100倍
 - 500%の倍率: 40倍・62倍・100倍・125倍
- ③天体望遠鏡に(別売部品)
 - アイビスアダプター ¥1,500
 - 天体用アイビス各倍率 ¥1,500
 - 300%の倍率: 24倍・50倍・60倍・75倍
 - 400%の倍率: 32倍・50倍・80倍・100倍
 - 500%の倍率: 40倍・62倍・100倍・125倍

驚異的
低価格

■ライアンス交換レンズ仕様(プリセット絞り・収差測光・マウント交換式)

焦点距離	L P 135	L P 200	L P 300	L P 400	L P 500	W P 35
明 る さ	F : 2.8	F : 4.5	F : 5.6	F : 6.3	F : 8	F : 2.8
全長%	80・340	140・420	230・550	315・700	410・790	52・150
価 格	13,000	14,000	18,000	21,000	24,000	12,000

使用出来る一眼レフ

アサヒペンタックス(S・K・M・シリーズ)・ニコン・キャノン・ミノルタ・ニコマート・オリンパスOM・コニカ(新)・ベトリ・ミランダ・トプコンエキザクタ・(フジカ・マミヤ・リコー・ヤシカはネジ込み式)

■2倍テレコンバーター ■3倍テレコンバーター

- 標準レンズ50%に付けば100%に、200%なら400%の望遠レンズに成ります
- 焦点倍率2倍・露出倍率4倍
- 構成3群3枚・重量110g
- 寸法 長さ25%(ネジ込み部除く)
- 最大径63%
- マルチコートレンズ(ケース付)
- T.L.メーター連動開放測光
- 絞優先電子シャッターのみA.E可

●価格は付属品を含んだ価格です 35mm一眼レフ専用

カメラの有力部門は 日本カメラ51年6月号 特集 常用交換レンズ総点検より(原文のまま)スリコール L P 135・135% F2.8 中心部はコントラストもほぼ良好でシャープさも申し分ないで有る。(周辺部はさすがに画質が低下するが目立つほどではない。全般的に見て各取差がバラバラよく補正され画質のよいレンズである。しかも13,000円という普及価格が魅力がある。

常識を超えたすごいやつズームスコープTZ820

ズーム望遠鏡として8倍~20倍、地上観測や月面観測に。35mm一眼レフカメラに付けると400%~1,000%のズーム式超望遠カメラレンズに使えるスーパーズコープです。

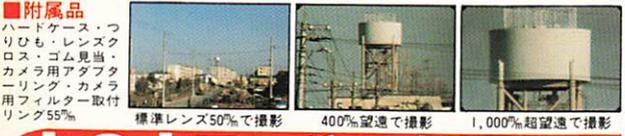


夜でもくっきり見える! マゼンタコーティング処理

レンズ構成7群9枚
ペンタプリズム方式

特価 ¥21,800

- お申込みの際、お持ちのカメラのフルサイズを必ずお知らせ下さい
- 35mm一眼レフに取付ける時は標準レンズのフィルターネジに、ネジ込み接続式に成ります。アダプターリング(フィルター後)49%・52%・55%・58%の4種用意してあります。ご注文時ご指定下さい。
- レンズ、プリズムを全面コーティングにより明るい映像が得られます
- 8倍~20倍までワンタッチで自由変倍できます
- 焦点調節は対物リング回転式
- 堅牢な軽合金タイキヤストボディ
- 400%~1,000%カメラレンズとして使用の場合四隅が若干干渉します



標準レンズ50%で撮影 400%望遠で撮影 1,000%超望遠で撮影

ものすごいやつが現れた

この性能
この機能
この低価格

標準レンズ内 ワンタッチ
望遠レンズ 蔵切 換式

ストロボフラッシュ内蔵の
ポケットカメラ ¥12,000



★今ご注文の方へノ
ストロボ用乾電池連星ノ
ソフトケース・ストラップ付

- もっと大きく写したい時... ワンタッチで望遠レンズに切換えわずか0.5秒。同時にファインダーも切換ります。ぐんぐんと引きつける望遠レンズの迫力!
- 暗い室内や夜間でもかんたんです。めんどうなフラッシュ球の交換の必要のないストロボ内蔵です。(単3乾電池2本使用)
- ピント調節の必要がありません。レンズの焦点深度が深い為1mから無限大までピントが合います。
- カラー写真も白黒写真も鮮明に写せます...
- 軽く動作し、シャッタープレの無いメカニカル定速シャッターです。
- 軽卓コンパクト・わずか250g...
- ポケットに入れて、抜き打ち速写OK、チャンスを逃がしません。
- フィルム装てんはかんたん... フィルムカートリッジを入れてノブを押すだけ、フィルムは市販のポケットカメラ用フィルム使用。

高級ズーム望遠鏡Z50

驚異の高性能・天体地上兼用
大迫力 高倍率



40m先の小さな新聞の活字が読める! 1km先の人の顔がわかる! 月面が手に取る様に目前に! 土星の環が見えます 木星の縞が見えます

倍率ズーム変倍 27倍~80倍

ズームにより倍率が 変っても内蔵絞りが 環が運動移動するメカニカル方式により、見かけ視界が変わらない見やすい方式です

¥15,800

35mmフィルム現像とカラー白黒がかんたんにできる 7x10cm判への引伸しがカラーフォトセット

★わずか¥8,800で楽しめるカラー現像セットです
★フィルム現像、引伸し現像の両方ができるので秘密の写真もOK!
★わずかしいフィルム現像も明るい所でかんたんに出来ます
★カラー写真も白黒写真もお好み次第に、7x10cmに引伸し出来ます
★現像液・印画紙等、消耗品は後日追加購入ができます。



カラー・白黒が かんたんにできる

■カラーフォトセット (全12点セット) ¥8,800

■白黒用フォトセット (全7点セット) ¥5,500

ご注文は電話又はハガキで/ ☎東京03(850)6110・(859)1331

[全品送料無料] 営業時間 午前10時~12時 午後1時~5時・日曜、祭日は休業

ご注文は品名をハッキリ書いて下さい。遅くとも7日以内に代金引換郵便で送ります。近隣の郵便局から着荷の案内が行きまじ取り下しを押しして代金と共に持参しお受け取り下さい

〒121 東京都足立区平野3-7-17
(株)スリービーチ UFO係

[5日以内に返品可ですが、但し諸費用申受けます]

スペース・ドキュメント
衝撃の1枚! 絶賛発売中!

このレコードによって、ついに証明された
 スター・ピープルの存在!

未知なる訪問者

～驚異のコンタクティ証言～

偉大なるコンタクティ「宇宙語書き取り」に成功(大僧正・北野恵宝師の証言①) / これが宇宙語だ～地球人類への警告(日本語訳付)①～今地球は傾き始めている～ / 大僧正・北野恵宝師の証言② / UFO写真と少年～田中博人君の証言～ / 宇宙人の写真撮影に成功～驚くべき放電現象と電子音～UFO写真家・塩田義一氏の証言 / 群馬県箕郷町で起きた怪奇な石傷事件 / ぶどう畑に着陸したUFOと宇宙人目撃～少年・河野雅人君と山崎克博君の証言～ / これが宇宙語だ～地球人類への警告(日本語訳付)②

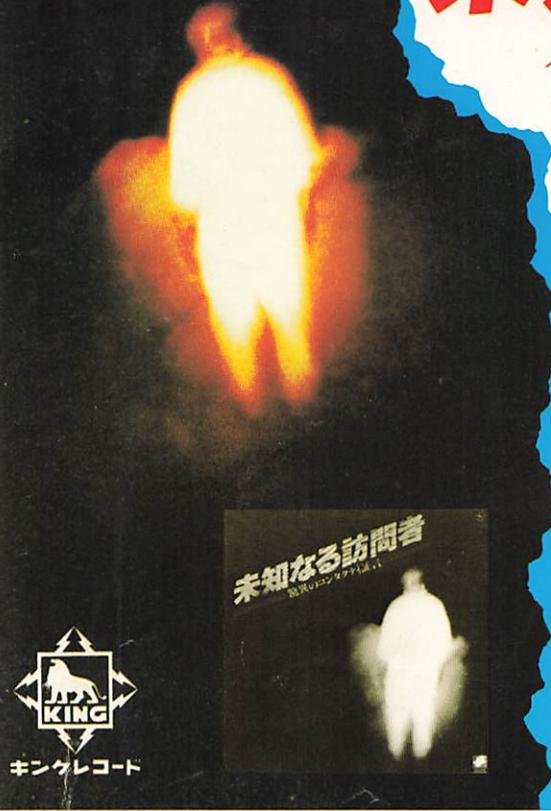
● 厳然たる事実を追って

宇宙にいるのは、我々地球人だけではない……現代人なら誰しもそう思うだろう。地球以外の天体から、人間以上の知性体がやって来ているのである。

ことに、戦後においては、世界各地のあらゆる分野の人々から数限りないUFO・宇宙人の目撃事件が報告されており、これらの存在を否定している人々にとっても、今や「厳然たる事実」として受けとめなければならない時代が来たのである。

このアルバムは、日本国内における「驚くべき事件」から事実に基づいて企画・構成したものであり、最も信ぴょう性の高いコンタクティの証言を実録でつづった世界でも類を見ない記録レコードである。

●SKD(H)501(ステレオ30cmLP) ¥2,000



KING
 キングレコード

スター・ウォーズ

スター・ウォーズ・ストーリー [日本語版]

人気声優多数出演、もちろん音楽や、サウンド・エフェクトはオリジナルだ!

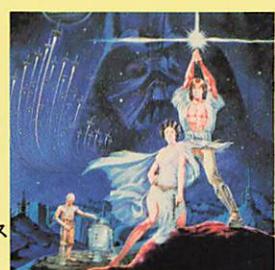
- 特典
- ① 初回のみロボット組立モデル付
 - ② 8ページの解説及びカラー・ポストレート付
 - ③ 先着20万名様にオリジナル・ポスター付

●FML-96 ¥2,500
 ■カセットAOF-5058 ¥2,500

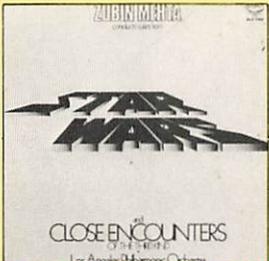
- ★アカデミー賞
7部門受賞
- ★グラミー賞
3部門受賞



音楽=ジョン・ウィリアムス
 監督=ジョージ・ルーカス



スター・ウォーズ・ストーリー
 [英語版] (豪華特典付)
 オリジナル・キャスト
 プロデュース:ジョージ・ルーカス
 ●FML-95/¥2,500
 ■カセットAOF-5059/¥2,500



ジョン・ウィリアムスがメータのために
 組曲化!
メータ/ロスフィル盤
 「未知との遭遇」組曲付
 ●SLA-1160/¥2,500
 ●カセットAOF-1028/¥2,500
 ●オープンTOK-1052/¥3,500



サントラ盤
 ★史上空前の売上げ400万セット突破!
 ジョン・ウィリアムス指揮
 ロンドン交響楽団
 ●FMW-37-8(2枚組)/¥3,600
 ■カセットCF-5036/¥3,500

発売元 キングレコード株式会社